

業務用放送設備

型名 EM-D300シリーズ

設置説明書

【工事編】

- 1 . はじめに
- 2 . システム確認とプログラムシートの確認
- 3 . ラックケースの設置・固定
- 4 . ユニットを取り付ける
- 5 . ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け
- 6 . 外線の接続
- 7 . 各ユニットの設定と調節
- 8 . デジタル音源(PA-D)シリーズを使用した放送
- 9 . 緊急優先放送を使用するシステムについて
- 10 . マトリックス(多元)放送
- 11 . 入出力拡張について
- 12 . 接続完了の確認と総合動作確認
- 13 . システム概要

【設定編】

- 14 . システム設定について
- 15 . 環境設定
- 16 . 動作設定
- 17 . 回線No.の設定
- 18 . 設定データについて
- 19 . 設置工事、システム設定後の確認について
- 20 . 履歴情報の確認
- 21 . エラー表示について
- 22 . 付録シート

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「設置説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

1. はじめに

1-1. もくじ

【工事編】

1. はじめに

1-1. もくじ	2
1-2. 安全上のご注意	6
1-3. 設置・設定時のご注意	6
1-4. 設置・設定の推奨手順	7

2. システム確認とプログラムシートの作成

2-1. プログラムシートを書く前に	8
スピーカー回線の割り当て	8
2-2. 環境 / 動作設定プログラムシートの書きかた	9
環境設定プログラムシートの書きかた	9
動作設定プログラムシートの書きかた	9
2-3. 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	10
緊急優先ブロッカー回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	10
業務ブロッカー回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	10
メッセージブロッカー回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	11
BGM ブロッカー回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	11
マルチ業務リモコン / 拡張ユニット回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	12
起動入力回線 No. 設定(単元放送時)プログラムシートの書きかた	13
起動入力回線 No. 設定(多元放送時)プログラムシートの書きかた	13

3. ラックケースの設置・固定

3-1. ラックケースを固定する	14
アンカーボルトで固定する	14
3-2. ユニットの取り付け準備	14
ユニットのカバーなどを取りはずす	14
サイドカバー、ベースを取りはずす	15
ラックを連結する	15
ラック内へ外線を引き込む	15
3-3. ファンユニットを取り付ける	16
ファンユニット(PS-R413B)を取り付ける	16
ファンユニット(PS-RU40)を取り付ける	16

4. ユニットを取り付ける

4-1. 業務操作器(EM-D36)と回線追加ケース(EM-E12)を取り付ける	17
4-2. 主制御ユニット(EM-L32)と回線制御ユニット(EM-L92)を取り付ける	17
4-3. パワーアンプを取り付ける	18
4-4. 非常電源ユニット(EM-N112)を取り付ける	18
4-5. その他のユニットを取り付ける	19
EIA1U サイズのユニットを取り付ける	19
EIA2U サイズのユニットを取り付ける	19
EIA3U サイズのユニットを取り付ける	19
ラックマウント金具を使用して取り付ける	19

5. ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け 20

5-1. 業務操作器(EM-D36)の接続	20
接続方法	20
コネクター端子台への接続方法	21
時刻校正用親時計の接続	22
5-2. 回線追加ケース(EM-E12)の接続と回線追加ユニット(EM-E5)の組み込み	23
回線追加ケース(EM-E12)の組み込みと接続	23
回線追加ユニット(EM-E5)の組み込みと接続	23
5-3. 主制御ユニット(EM-L32)の接続	24
5-4. 回線制御ユニット(EM-L92)の接続	25
回線制御ユニット間の接続	26
5-5. パワーアンプの接続	27
5-6. 追加 DC ユニット(EM-P22)の接続	29
5-7. 非常電源ユニット(EM-N112)の接続とニッカド蓄電池(NB-35B/60)の収納	29
接続方法	29
ニッカド蓄電池(NB-35B/60)を収納する	30
5-8. モニターユニット(EM-S102)の接続	31
接続方法	31
5-9. ミキサーユニットの接続とラジオチューナーユニットの組み込み	32
ミキサーユニット(EM-M102)の接続	32
ラジオチューナー(PA-F3)の組み込み方法	33
5-10. 主電源ユニット(EM-P11)の接続	34
接続方法	34
AC ケーブルの接続方法	34
5-11. 本体の総合接続図(予備電源なし)	35
オーディオ信号、電源、制御信号接続例	35
5-12. 本体の総合接続図(予備電源あり)	35
オーディオ信号系と電源系接続例	36
制御信号系接続例	37
5-13. 接続コード一覧	38
付属コード	38
ケーブルセット EM-CN90	40
サービス窓口扱い接続コード	40

6. 外線の接続

6-1. 外線の引き回しと接続部位	41
主制御ユニット(EM-L32)	41
回線制御ユニット(EM-L92)	41
6-2. スピーカー回線の接続	42
接続方法	42
6-3. 緊急優先放送時制御信号(RB 出力)の 接続	43
電源遮断ユニット(RB-1C)/ スピーカー制御ユニット(RB-2C)の接続、 緊急優先放送時リレー端子について	43
6-4. 非常用放送設備との接続	44
スピーカー切換器(PA-X13)を 使用した接続	44
非常放送時の音声遮断機能	45
6-5. マルチ業務リモコン(PA-C620)の 設置	46
マルチ業務リモコン(PA-C620)の接続	46
フロントカバーをはずす	47
フレキシブルマイクを取り付ける	47
ケーブルの引き込みかた	48
マルチ業務リモコン(PA-C620) その他の端子について	49
PA-C620 壁掛け用金具 PA-ZC620KJ(あっせん品)設置説明	50
PA-C620 壁掛け用金具 PA-ZC620KJ(あっせん品)寸法	51
6-6. 業務リモコン(PA-C50 シリーズ)の 設置	52
業務リモコンの接続	52
6-7. アナウンスユニットの設置	54
プログラムタイマー起動の デジタルボイスファイル(PA-DR600)の 接続	54
6-8. 電話ページング機器の設置	55
電話ページング機器の接続	55
6-9. 接続先表示シートを 貼り付ける (EM-L32, EM-L92)	56

7. 各ユニットの設定と調節

7-1. 業務操作器(EM-D36)と 回線追加ケース(EM-E12)	58
業務操作器(EM-D36)の設定と調節	58
業務操作器と回線追加ケースの E12 アドレス設定	59
7-2. ネームカードの作成・表示	60
出力スイッチのネームカード記入	60
ネームカードの取り付け	60
7-3. 主制御ユニット(EM-L32)の設定	61
切換スイッチの設定	61
7-4. 回線制御ユニット(EM-L92)の設定	62
アドレス設定のポジション切り換え	62
7-5. ミキサーユニット(EM-M102)の設定	63
切り換えスイッチの設定、音量調節	63
7-6. 電源ユニット(EM-N112)の設定確認	63
7-7. マルチ業務リモコン(PA-C620)の設定 音量調節と設定	64

8. デジタル音源(PA-D)シリーズを使用した放送

8-1. デジタル音源(PA-D)シリーズの 使用方法	65
PA-D シリーズを使用したシステム例	67
8-2. PA-D シリーズのユニット選定と 使用台数	78
8-3. PA-D シリーズの接続方法	79

9. 緊急優先放送を使用するシステムについて

9-1. 緊急優先放送を 使用するシステムについて	83
------------------------------------	----

10. マトリックス(多元)放送

10-1. マトリックス(多元)放送とは	85
マトリックス放送のシステム例	85
マトリックス放送時の動作	86
デジタルマトリックス放送のシステム例	87
デジタルマトリックス放送時の動作	89
10-2. マトリックス(多元)システム用の ユニット選定	92
ユニットの選定と使用台数	92
システム例で使用するユニット	92
10-3. マトリックスコントロールユニット (PA-MX52)の設置	93
基本接続	93
接続方法	94
システム拡張の接続	96
システム例の音声線、制御線の接続	98
音声信号系のフォンプラグ接続	99
基本設定と調節	100
記名シート記入と取り付け	102
10-4. デジタルマトリックスユニット (PA-MX92)の設置	103
基本接続	103
接続方法	104
拡張(20 入力 20 出力)システムの接続	106
システム例の音声線、制御線の接続	107
コネクター端子台の入出力信号接続	108
基本設定と調節	109
記名シート記入と取り付け	110
10-5. マトリックス(多元)放送時の マルチ業務リモコンの動作	111
10-6. マトリックス(多元)放送時の注意点	112

11. 入出力拡張について

11-1. 設定のしかた	113
11-2. 起動入力 21 ~ 80 の使いかた	113
11-3. 制御出力 11 ~ 30 の使いかた	114
11-4. 起動入力 制御出力 接続先表示シートの 貼り付け	115

次のページへつづく...

1-1. もくじ (つづき)

12. 接続完了の確認と総合動作確認	
12-1. 確認チェックポイント	116
12-2. システム設定と総合動作確認	116
13. システム概要	
13-1. システムユニットの選択	117
出力スイッチとスピーカー回線	118
パワーアンプ	119
システム電源ユニット	122
起動入力	125
主制御ユニット(EM-L32)と 回線制御ユニット(EM-L92)	125
主電源ユニット(EM-P11)	125
業務操作器(EM-D36)のオーディオ系統図	126
放送優先順位の設定	127
13-2. 状態出力について	128
13-3. 停電時の放送について	129
13-4. 主制御ユニット(EM-L32)、 回線制御ユニット(EM-L92)の 取り付け応用	130
一般ラックへの取り付け	130
組立参考図	130

【設定編】

14. システム設定について	
14-1. システム設定の項目	131
13-2. システム設定の手順	132
14-3. システム設定用スイッチについて	134
設定スイッチのはたらき	134
14-4. システム設定メニューについて	135
14-5. システム設定パラメーター一覧表	136
14-6. 時計を合わせる	138
15. 環境設定	
15-1. 環境設定画面の表示	139
15-2. スイッチ列の設定	140
15-3. マトリックスユニットの設定	142
15-4. 音声入力端子の設定	144
15-5. デジタル音源(PA-D)シリーズの設定 ...	145
15-6. デジタルパワーアンプの設定	147
15-7. メンテナンス時刻の設定	147
15-8. LCD バックライトの設定	148
16. 動作設定	
16-1. 動作設定画面の表示	149
16-2. アンプウェイト時間の設定	150
16-3. チャイムの設定	151
16-4. BGM ミキシング放送の設定	152
16-5. 業務リモコン一斉放送の設定	153
16-6. 放送の優先順位設定	153
17. 回線 No. の設定	
17-1. 回線設定画面の表示	155
17-2. 緊急優先ブロックの設定	156
17-3. 業務ブロックの設定	157
17-4. メッセージブロックの設定	159
17-5. BGM ブロックの設定	161
17-6. 起動入力の設定	164
17-7. マルチ業務リモコン/ 拡張ユニットの設定	169
18. 設定データについて	
18-1. 設定データの初期化	171
18-2. 設定データの保存	173
18-3. 設定データの移動	174

19. 設置工事、システム設定後の確認について	
19-1. 主な確認の概要	176
システム点検モードによる確認	176
システム動作の確認	176
19-2. システム点検モードによる確認	177
システム点検画面の表示	178
システム構成の確認	179
スピーカー回線の短絡点検	180
パワーアンプ点検	181
蓄電池点検	182
全項目点検	183
19-3. システム動作の確認	184
各放送の動作確認	184
19-4. 絶縁抵抗試験のしかた	188
スピーカー回線の絶縁抵抗試験	188

20. 履歴情報の確認	
20-1. 履歴情報の確認のしかた	189
20-2. 履歴情報コード表	191

21. エラー表示について	
21-1. 本体のエラー表示と動作状態について ..	194
21-2. マルチ業務リモコンの エラー表示と動作状態について	196
21-3. デジタルマトリックスユニットの エラー表示と動作状態について	197

22. 付録シート	198
------------------	------------

1. はじめに

1-2. 安全上のご注意

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態の時は、すぐに電源分電盤のブレーカーをオフするとともに、蓄電池のコネクタをはずしてください。
- 落雷により不具合が発生した場合は、すみやかにサービス窓口にご連絡ください。
- ラックは、転倒・移動防止のために必ずアンカーボルトで床面に固定してください。倒れたり、動いたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機を壁面に取り付ける際には、機器の重量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付けてください。強度が足りない場合は、落下し、けがをすることがあります。
- 取り付けネジやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので確実に締め付けてください。
- 機器の上部や操作面の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと機器内部の温度が上昇し、故障ややけどの原因となることがあります。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
- 機器間の接続線に足などを引っかかないようご注意ください。つまずいてけがの原因になることがあります。
- AC100Vの接続には電気工事士の資格が必要です。機器への接続は十分注意してください。誤った配線・接続は火災や感電の原因となります。
- すべての工事・配線が完了したら、電源を入れる前にもう一度、すべての結線・配線・コネクタが確実に接続できているか、また、極性間違いがないか確認してください。予期せぬ事故を未然に防げます。

1-3. 設置・設定時のご注意

- 設置工事は、必ず電源を切った状態で行なってください。
- 本システムでは、商用電源または蓄電池が接続されていると、各種設定スイッチの変更が反映されません。各種設定スイッチを変更した後は、業務操作器(EM-D36)のポケットカバー内にあるコンピュータースイッチを3秒以上「切」側にした後で「入」側へ戻してください。各種設定スイッチの状態を機器内部のCPUが再度読み込んで、設定を反映します。
- 本システムが蓄電池を接続している場合、停電状態になっても内部回路の保護動作のため、すぐにシステムの電源が切れないようになっています。非常電源ユニット(EM-N112)1台時はシステムの電源が切れるまで約10秒かかります。この時間はEM-N112が1台増えるごとに約7秒長くなります。
- 接続コード、コネクタの抜き差しをするときは、必ず蓄電池をはずし、商用電源を切ってから作業してください。

1-4. 設置・設定の推奨手順

下記は、設置工事の標準的な手順です。
次の Step1 ~ Step11 を参考に進めてください。

Step1	システムの確認とプログラムシートの作成 (☞ 8 ページ) 設置工事前にシステムの再確認を行い、使用ユニットとラックマウントレイアウトをチェックしてください。また、システム設定プログラムシートを作成しておくこと、設置 / 設定作業を効率的に進められます。
-------	---



Step2	機材搬入
-------	-------------



Step3	ラックケースの設置・固定 (☞ 14 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ● ラックケースの転倒・移動防止は確実に行ってください。 ● ファンユニットの取り付けは、他の機器を組み込む前に行なってください。
-------	--



Step4	ユニットを取り付ける (☞ 17 ページ)
-------	------------------------------



Step5	ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け (☞ 20 ページ)
-------	--



Step6	外線の接続 <ul style="list-style-type: none"> ● 外線のラック内への通線位置 / 方法およびラック内の引き回し場所については、ケーブル接続点へ無理な力が掛からない方法、保守点検のしやすさなどを配慮してください。 (1) スピーカー回線の接続 (☞ 42 ページ) (2) マルチ業務リモコンの設置 (☞ 46 ページ) (3) 業務リモコンの設置 (☞ 52 ページ) (4) 本体外部起動機器との接続 (☞ 54 ページ) (5) PA-D シリーズの接続 (☞ 65 ページ) (6) マトリックスユニットの接続 (☞ 85 ページ)
-------	--



Step7	各ユニットの設定と調節 (☞ 58 ページ)
-------	-------------------------------



Step8	接続完了の確認 (☞ 116 ページ) システム設定作業に入るための最終確認です。
-------	---



Step9	絶縁抵抗試験を行う (☞ 188 ページ)
-------	------------------------------



Step10	システム設定・総合動作確認 (☞ 131 ページ) システム制御を行うためのデータを入力設定します。 事前にプログラムシートを作成しておくこと、効率的に設定作業を行うことができます。
--------	--



Step11	設備引渡し 取扱説明書、プログラムシート(システム設定内容を記載)などを指定様式で提出してください。
--------	--



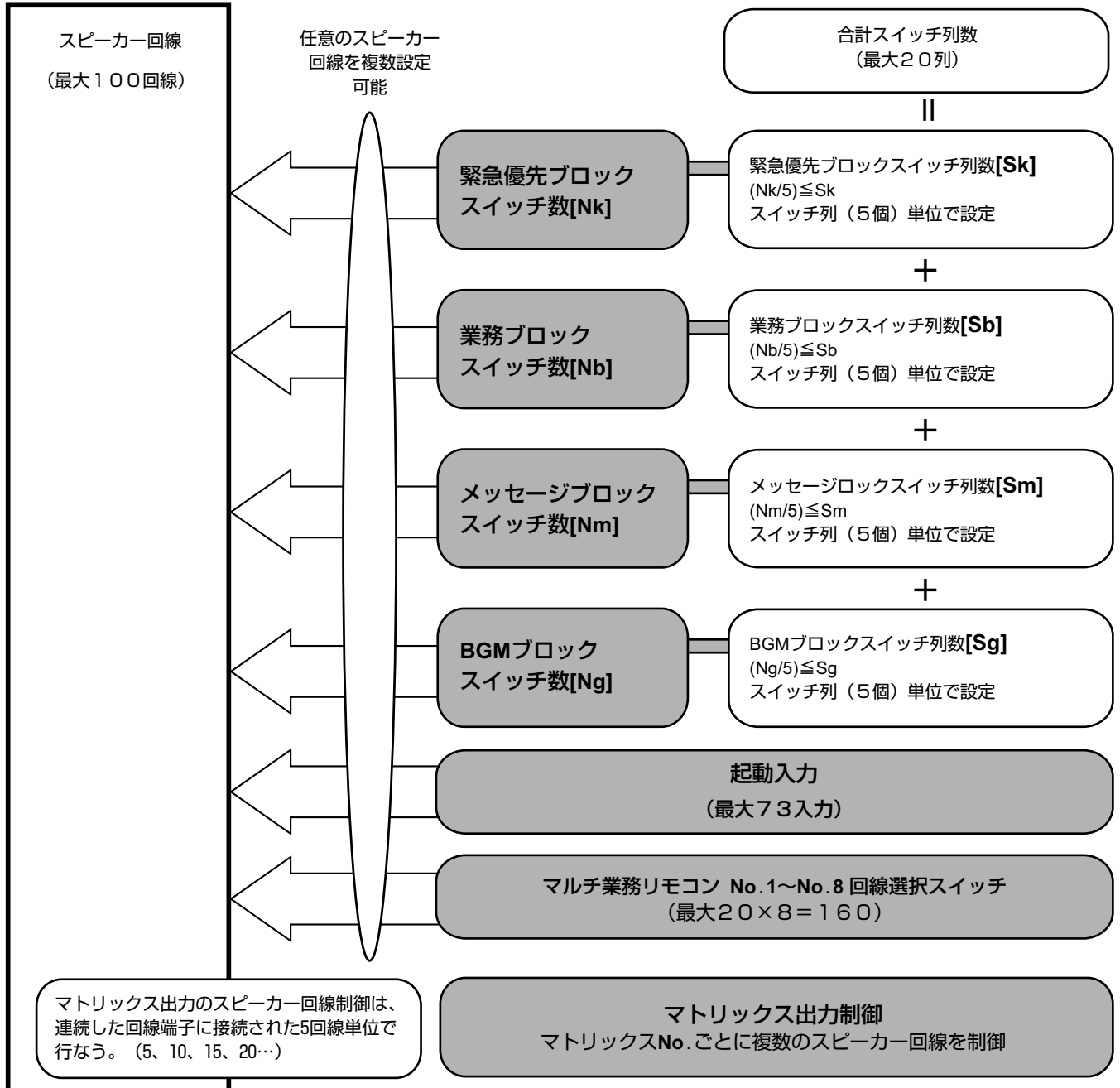
作業完了

2. システム確認とプログラムシートの作成

2-1. プログラムシートを書く前に

- 設置工事着手前に、下記の準備を行ってから、工事に着手してください。
 - ・ ユニットの選択
 - ・ システム概要とユニット選択 (P. 117 ページ)
 - ・ デジタル音源(PA-D)シリーズを使用した放送 (P. 65 ページ)
 - ・ マトリックス(多元)放送 (P. 85 ページ)
 - ・ 必要台数の手配などを完了させる
 - ・ ユニットのラックマウントレイアウトの決定
 - ・ ケーブルの引き回し確認
 - ・ システム設定の確認
- プログラムの入力を容易にするために、201～207ページの回線No. 設定プログラムシートと199ページ～200ページの間環境/動作設定プログラムシートをコピーし、記入してください。
また、設置時に設定したプログラムの内容は、将来システム変更、増設時に必要となりますので、プログラムシートの写しをお客様へお渡しください。

スピーカー回線の割り当て



2-2. 環境 / 動作設定プログラムシートの書きかた

199 ページの環境設定プログラムシート、200 ページの動作設定プログラムシートを使用します。

環境設定プログラムシートの書きかた

■ 1~4

列数(0 ~ 20)を記入します。

■ 5

回線数(1 ~ 100)を記入します。

■ 6

"なし"または入力端子を記入します。

■ 7

台数、制御モードを記入します。

■ 8

台数を記入します。

■ 9

時刻を記入します。

■ 10

選択してチェックマーク("レ")を記入します。

■ 11

出力 No.(1 ~ 20)を記入します。

■ 12

ミキシングレベル、フェーダーパターンをそれぞれ選択してチェックマーク("レ")を記入します。

環境設定プログラムシート (コピーしてお使いください)

1. 緊急優先ブロックスイッチ列 1列 2列 3列 4列 5列 6列 7列 8列 9列 10列 11列 12列 13列 14列 15列 16列 17列 18列 19列 20列

2. 業務ブロックスイッチ列 1列 2列 3列 4列 5列 6列 7列 8列 9列 10列 11列 12列 13列 14列 15列 16列 17列 18列 19列 20列

3. メッセージブロックスイッチ列 1列 2列 3列 4列 5列 6列 7列 8列 9列 10列 11列 12列 13列 14列 15列 16列 17列 18列 19列 20列

4. BGMブロックスイッチ列 1列 2列 3列 4列 5列 6列 7列 8列 9列 10列 11列 12列 13列 14列 15列 16列 17列 18列 19列 20列

5. スピーカー回線数 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

6. 音声入力端子 報時チャイム なし あり-入力2
 緊急優先 なし あり-入力3
 メッセージ なし あり-入力4
 電話ページング なし あり-入力1
 ミキサー なし あり-入力1
 アナウンスユニット なし あり-入力1
 拡張ユニット なし あり-入力1

7. PA-Dシリーズ連動接続・フェーダーパターン 2台 1台 0台 1台 2台 3台 4台 5台 6台 7台 8台 9台 10台

8. デジタルパワーアンプ接続 0台 1台 2台 3台 4台 5台 6台 7台 8台 9台 10台

9. メンテナンス時刻 0時 0分 1時 0分 2時 0分 3時 0分 4時 0分 5時 0分 6時 0分 7時 0分 8時 0分 9時 0分 10時 0分 11時 0分 12時 0分

10. マトリックス入出力 なし 8入力8出力 (MX52) 8入力16出力 (MX52) 16入力8出力 (MX52) 16入力16出力 (MX52) 20入力10出力 (MX92) 20入力20出力 (MX92)

11. マトリックス設定

回線No.	出力No.	回線No.	出力No.	回線No.	出力No.	回線No.	出力No.
1-5	1	26-30		51-55		76-80	
6-10	2	31-35		56-60		81-85	
11-15	3	36-40		61-65		86-90	
16-20	4	41-45		66-70		91-95	
21-25		46-50		71-75		96-100	

12. デジタルマトリックス設定

分	ミキシングレベル	フェーダーパターン	分	ミキシングレベル	フェーダーパターン
1	大 中 小 無	0 1 2 3 4 5	11	大 中 小 無	0 1 2 3 4 5
1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	11	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	12	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	13	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	14	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	15	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	16	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
7	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	17	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
8	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	18	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
9	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	19	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
10	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	20	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>

動作設定プログラムシートの書きかた

■ 1、2、4~6

選択してチェックマーク("レ")を記入します。

■ 3

数値を記入します。

動作設定プログラムシート (コピーしてお使いください)

1. パワーアンプウェイト 1秒 なし

2. チャイム種類 アップ: 4音はやい 4音おそい 2音 1音
 ダウン: 4音はやい 4音おそい 2音 1音

3. チャイム音量 5

4. BGMミキシング放送 あり なし

5. 業務リモコン斉放送 緊急一音 通常一音

6. 放送機器 (放送グループ) の優先順位

1 2 3 4 5 6

緊急優先放送 (固定)

本体

マルチ業務リモコン1

マルチ業務リモコン2

マルチ業務リモコン3

マルチ業務リモコン4

マルチ業務リモコン5

マルチ業務リモコン6

マルチ業務リモコン7

マルチ業務リモコン8

業務リモコン

電話ページング

報時チャイム

メッセージ

BGM (固定)

アナウンスユニット

拡張ユニット

2. システム確認とプログラムシートの作成

2-3. 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

緊急優先ブロッカー回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

201 ページの回線 No. 設定プログラムシート1を使用します。

放送エリア	緊急優先 ブロック スイッチNo	出力 スイッチNo	PA-D ID.	PA-D 制御出力No.	緊急指定	スピーカー回線														
						1F テナント	2F テナント	B1 憩いの広場		1F ロビー	2F 休憩所									
事務所	1	1	1-1	6	○															
機械室	2	2	1-1	1	○															
ロビー	3	3	1-1	5	○															
テナント	4	4	1-1		○	○	○													
共用	5	5	1-1		○															
	6		1-1		○															

- a 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b マトリックスユニットを使用する場合は、5回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- c 縦軸に緊急優先ブロックスイッチ No. に対応するエリアを記入し、出力スイッチ No. も記入します。
- d デジタル音源(PA-D) シリーズを連動させて放送する場合は、PA-D の制御出力 No. を記入します。(ID は 1-1 に固定)
- e 緊急優先ブロック放送の場合は、強制的に緊急指定となります。
- f 緊急優先ブロックスイッチで放送する回線 No. に"○"をつけます。

業務ブロッカー回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

202 ページの回線 No. 設定プログラムシート2を使用します。

放送エリア	業務ブロック スイッチNo	出力 スイッチNo	緊急指定	スピーカー回線																
				1F テナント	2F テナント	B1 憩いの広場		1F ロビー	2F 休憩所											
事務所	1	6	○																	
機械室	2	7	○																	
ロビー	3	8	○																	
テナント	4	9	○	○	○															
共用	5	10	○																	
	6																			

- a 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b マトリックスユニットを使用する場合は、5回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- c 縦軸に業務ブロックスイッチ No. に対応するエリアを記入し、出力スイッチ No. も記入します。
- d 緊急指定をする場合には、緊急指定の欄に"○"をつけます。
- e 業務ブロックスイッチで放送する回線 No. に"○"をつけます。

メッセージブロック-回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

203 ページの回線 No. 設定プログラムシート3を使用します。

放送エリア	マトリックス 入力No.	メッセージ ブロック スイッチNo	PA-D ID.	PA-D 制御出力No.	出力 スイッチNo.	緊急指定	スピーカー エリア													
							1F エスカレーター	2F エスカレーター	B1 強いの広場	1F ロビー	2F 休憩所									
							マトリックス 出力No.													
							スピーカー 回線													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
ロビー	2	1	1-1	1	11															
エスカレーター	3	2	1-1	10	12		○	○												
共用	4	3	2-1	30	13									○	○	○				
雨注意	4	4	2-1	50	14		○	○						○	○	○				
		5																		
		6																		

- a 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b マトリックスユニットを使用する場合は、5回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- c 縦軸にメッセージブロックスイッチ No. に対応するエリアを記入し、出力スイッチ No. も記入します。
- d マトリックスユニットを使用する場合は、マトリックス入力 No. を記入します。
- e メッセージブロックスイッチは、デジタル音源(PA-D)シリーズを連動させて放送するスイッチなので、PA-D の ID 番号と制御出力 No. を記入します。
- f 緊急指定をする場合には、緊急指定の欄に"○"をつけます。
- g メッセージブロックスイッチで放送する回線 No. に"○"をつけます。

BGM ブロック-回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

204 ページの回線 No. 設定プログラムシート4を使用します。

放送エリア	マトリックス 入力No.	BGM ブロック スイッチNo	PA-D ID.	PA-D 制御出力No.	出力 スイッチNo.	緊急指定	スピーカー エリア													
							1F テナント	2F テナント	B1 強いの広場	1F ロビー	2F 休憩所									
							マトリックス 出力No.													
							スピーカー 回線													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
事務所 機械室	5	1			16															
ロビー 共用	6	2	1	15	17									○	○	○				
テナント	7	3	2	30	18		○	○												
雨共通	7	4	2	50	19		○	○						○	○	○				
		5																		
		6																		

- a 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b マトリックスユニットを使用する場合は、5回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- c 縦軸に BGM ブロックスイッチ No. に対応するエリアを記入し、出力スイッチ No. も記入します。
- d マトリックスユニットを使用する場合は、マトリックス入力 No. を記入します。
- e デジタル音源(PA-D)シリーズを連動させて放送する場合は、PA-D の ID 番号と制御出力 No. を記入します。
- f BGM ブロックスイッチで放送する回線 NO. に"○"をつけます。

次のページへつづく...

2-3. 回線 No. 設定プログラム シートの書きかた (つづき)

マルチ業務リモコン / 拡張ユニット-回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

205 ページの回線 No. 設定プログラムシート5を使用します。

放送エリア	マトリックス 入力No.	ブロック スイッチNo	スピーカー エリア	1F	2F	B1	B1	B1	1F	2F			
				事務所	事務所	機械室	通路	憩いの広場	ロビー	休憩所			
			マトリックス 出力No.	1					2				
			スピーカー 回線										
			緊急指定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事務所	8	1											
機械室		2			○								
地下		3				○	○		○				
共用		4					○		○	○	○		
		5											
		6											

- a 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b マトリックスユニットを使用する場合は、5回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- c 縦軸にブロックスイッチ No. に対応する放送エリアを記入します。
- d マトリックスユニットを使用する場合は、マトリックス入力 No. を記入します。
- e 緊急指定をする場合には、緊急指定の欄に"○"をつけます。
- f マルチ業務リモコンで放送する回線 NO. に"○"をつけます。

起動入力ー回線 No. 設定(単元放送時)プログラムシートの書きかた

206 ページの回線 No. 設定プログラムシート6を使用します。

放送エリア	接続機器名	起動チャイム	放送機器名	PA-D ID	PA-D 制御出力 No.	起動入力 No.	緊急指定	スピーカーエリア													
								1F テナント	2F テナント	1F 通路	2F 通路	B1 階の広	1F ロビー	2F 休憩所							
テナント	受付業務リモコン	○	業務リモコン			1		○	○												
共用	受付業務リモコン	○	業務リモコン			2			○	○											
開店、閉店	PA-DA600		報時チャイム			3		○	○	○	○										
開店前 閉店後	PA-DA600		アナウンス ユニット			4		○	○	○	○										
30分毎CM	PA-DA600		アナウンス ユニット			5		○	○	○	○										
緊急 メッセージ	PA-DR600		緊急優先	1	4	6		○	○	○	○										

- a 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b 単元放送のときは記入しません。
- c 縦軸に起動入力 No. に対応する放送エリア、接続機器名、放送機器(放送グループ)名を記入します。
- d 起動時のチャイムを鳴らす場合には"○"をつけます。
- e デジタル音源(PA-D)シリーズを連動させて放送する場合には、PA-D の ID 番号と制御出力 No. を記入します。
- f 緊急指定をする場合には、緊急指定の欄に"○"をつけます。
- g 起動入力で放送する回線 NO. に"○"をつけます。

起動入力ー回線 No. 設定(多元放送時)プログラムシートの書きかた

207 ページの回線 No. 設定プログラムシート7を使用します。

放送エリア	接続機器名	マトリックス 入力No.	放送機器	PA-D ID	PA-D 制御出力 No.	起動入力 No.	緊急指定	スピーカーエリア													
								1F テナント	2F テナント	1F 通路	2F 通路	B1 階の広	1F ロビー	2F 休憩所							
テナント	受付業務リモコン	5	業務リモコン			1		○	○												
共用	受付業務リモコン	6	業務リモコン			2			○	○											
開店、閉店	PA-DA600	7	報時チャイム			3		○	○	○	○										
開店前 閉店後	PA-DA600	7	アナウンス ユニット			4		○	○	○	○										
30分毎CM	PA-DA600	7	アナウンス ユニット			5		○	○	○	○										
緊急優先 メッセージ	PA-DR600	7	緊急優先	1	4	6		○	○	○	○										

- a 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b 5 回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- c 縦軸に起動入力 No. に対応する放送エリア、接続機器名、放送機器(放送グループ)名を記入します。
- d マトリックス入力 No. を記入します。
- e デジタル音源(PA-D)シリーズを連動させて放送する場合には、PA-D の ID 番号と制御出力 No. を記入します。
- f 緊急指定をする場合には、緊急指定の欄に"○"をつけます。
- g 起動入力で放送する回線 No. に"○"をつけます。

3. ラックケースの設置・固定

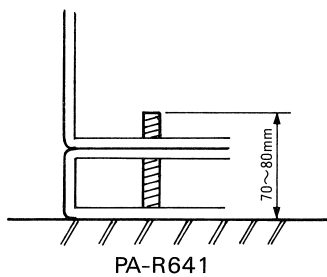
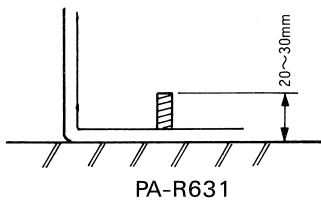
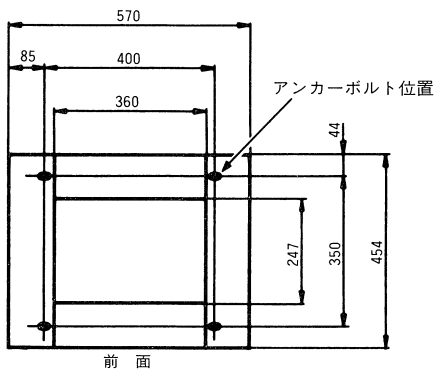
3-1. ラックケースを固定する

アンカーボルトで固定する

アンカーボルト(M10～M12)4本を使って、ラックを床面に固定します。

ご注意

- アンカーボルトが床面から出る寸法は、下記になるように埋め込みをしてください。
標準ラック(PA-R641): 70 mm～80 mm
ミニラック(PA-R631): 20 mm～30 mm

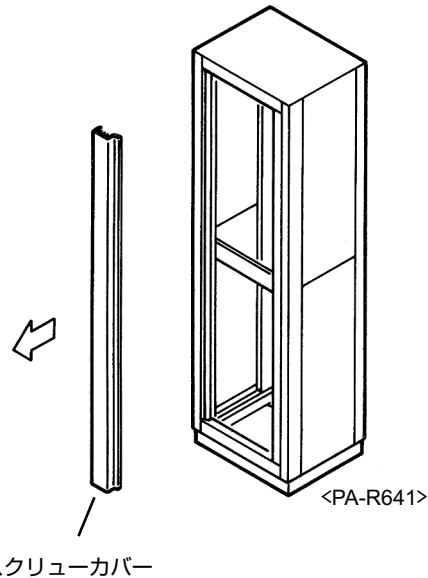


3-2. ユニットの取り付け準備

ユニットのカバーなどを取りはずす

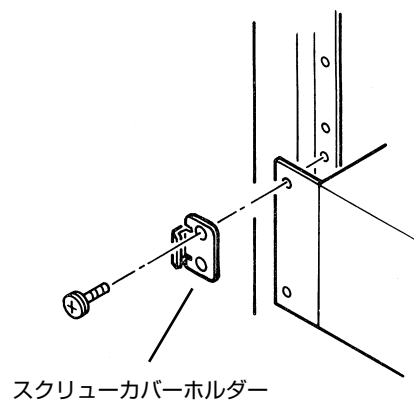
1. スクリューカバーを取りはずす。

標準ラック(PA-R641)のスクリューカバーを上下どちらかを手前に引き出して取りはずします。



2. スクリューカバーホルダーを取りはずす。

パネル固定ネジを左に回してはずします。

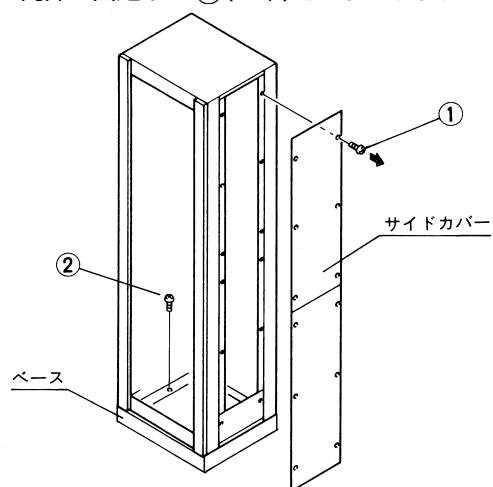


メモ

- 各ユニットを取り付けるとき、パネル固定ネジでユニットパネルとスクリューカバーホルダーを同時に固定します。このとき、スクリューカバーホルダーが、上、下と中央に均等になるように取り付けます。

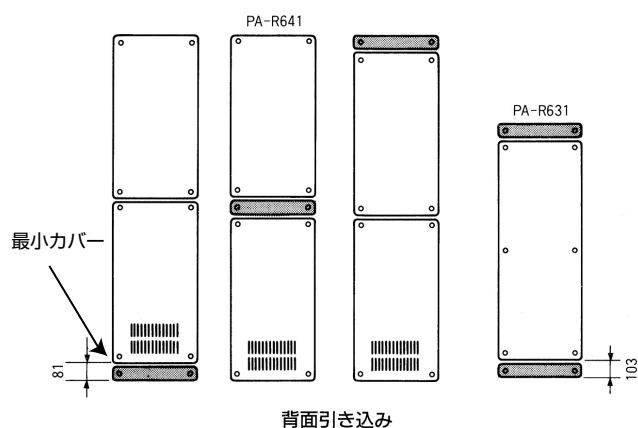
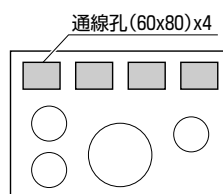
サイドカバー、ベースを取りはずす

- サイドカバーの取りはずしが必要な場合、固定ネジ ① を左にまわします。
- ラック最下部のベースの取りはずしが必要な場合、ボトムカバー内部の固定ネジ ② (6本) をはずします。



ラック内へ外線を引き込む

- ラックへの外線引き込みは底面、天面、背面より行います。
- 引き込みスペースは、床面ダクトやボックスからは底面開口部を、天井のケーブルダクトなどからは天面通線孔を、壁面端子盤などからは背面の最小カバーを外して通線スペースにします。(工場出荷時は背面の最小カバーは下部に取り付けてあります。)
- カバーの取り付け位置を移動して、引き込みスペースを変えることができます。

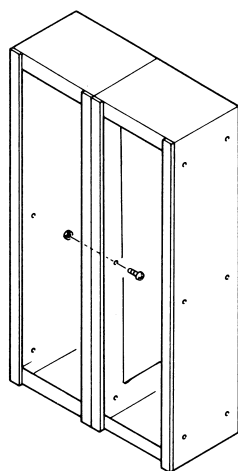


ラックを連結する

- 複数のラックを並べて設置するときや、チャンネルベース上に並べて使用するとき、ラックを連結してご使用ください。
- サイドカバーをはずして連結すると、ラック間のケーブル接続がしやすくなります。ラック両側面の連結ネジカバー (樹脂製6本) をはずし、ボルト (M4 ~ M6) で連結してください。
- 連結用のボルトは、添付されていません。別途ご用意ください。

ご注意

- 複数のラックを連結して設置する場合は、接地 (アース) を確実にするために、各ラックをアースワイヤーで互いに接続してください。



3. ラックケースの設置・固定

3-3. ファンユニットを取り付ける

内部放熱が必要な場合には、ラックにファンユニット(PS-R413B)2台、またはファンユニット(PS-RU40)のどちらかを取り付けてください。

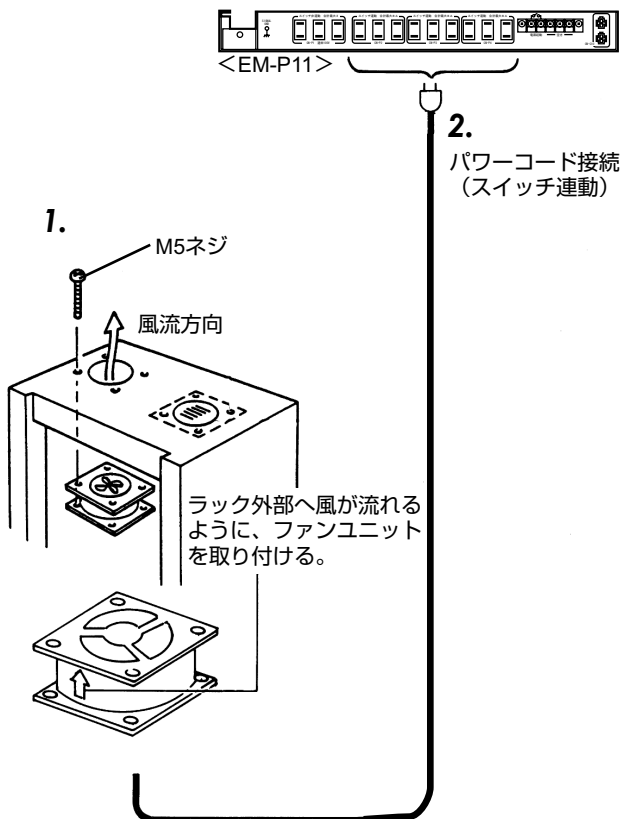
ファンユニットの取り付けが必要な場合

ラックケース内に取り付けるパワーアンプの定格出力合計が700 W以上のときは、ファンユニットを取り付けてください。

- ・160 W パワーアンプ(EM-A822D)5台以上のとき
- ・240 W パワーアンプ(EM-A243/A244)3台以上のとき
- ・320 W パワーアンプ(EM-A842D)3台以上のとき
- ・360 W パワーアンプ(EM-A363/A364)2台以上のとき

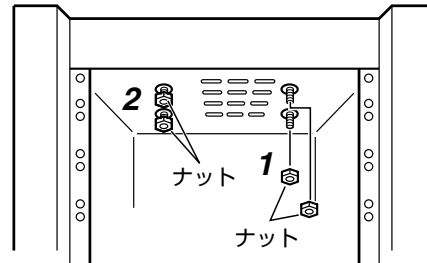
ファンユニット(PS-R413B)を取り付ける

1. ファンユニットは付属の M5 ネジを使って取り付けます。ファンユニットは必ず2台取り付けます。
2. ファンユニットに付属の電源ケーブル(AC100V)を、ファンユニットのコネクターに確実に差し込みます。また、AC プラグは、主電源ユニット(EM-P11)の AC アウトレット CN-P2~P4(スイッチ連動)のどれかに差し込んでください。

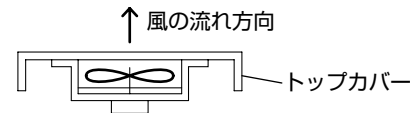
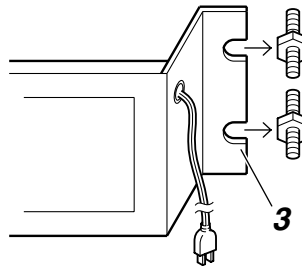


ファンユニット(PS-RU40)を取り付ける

1. トップカバー内側のナット4個のうち、右側の2個を取りはずします。
2. トップカバー内側のナット4個のうち、左側の2個を、約5 mm ゆるめず。



3. 2. でナットをゆるめた方のネジに、ファン金具の U 字部分を引っかけます。(2 箇所)



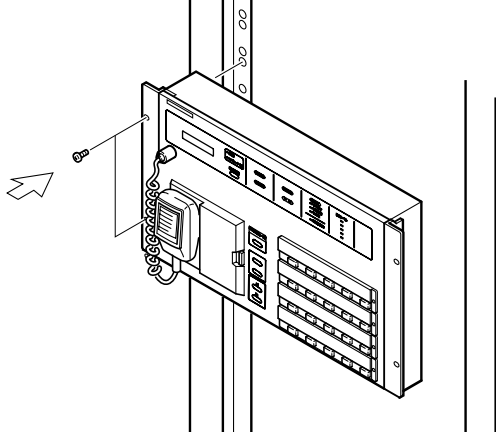
4. 1. でナットをはずした方のネジに、ファン金具の U 字部分(3. と反対側)を取り付けます。
5. 1. ではずしたナットと、2. でゆるめたナットを締め付けて、ファンユニットをしっかりと固定します。

ご注意

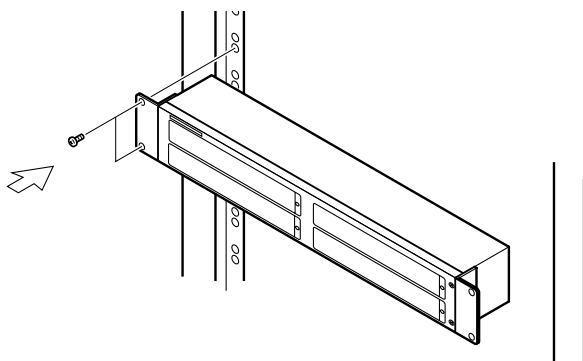
- ファンユニットが周辺に当たっていないことを確認してください。
- AC プラグは、主電源ユニット(EM-P11)の AC アウトレット CN-P2 ~ P4(スイッチ連動)のどれかに差し込んでください。

4-1. 業務操作器(EM-D36)と回線追加ケース(EM-E12)を取り付ける

- ユニートをラックケースに取り付けた後に、内部接続作業を行うときは、各ユニットに添付されているケーブルなど付属品を紛失、廃棄しないようご注意ください。
- 業務操作器(EM-D36)、回線追加ケース(EM-E12)に付属の固定ネジでラックへ取り付けます。



< EM-D36 >



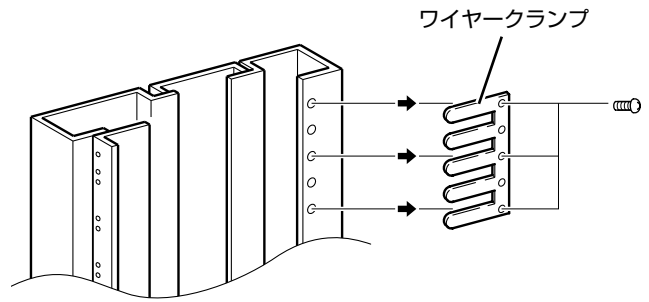
< EM-E12 >

4-2. 主制御ユニット(EM-L32)と回線制御ユニット(EM-L92)を取り付ける

必要台数と取り付け位置について

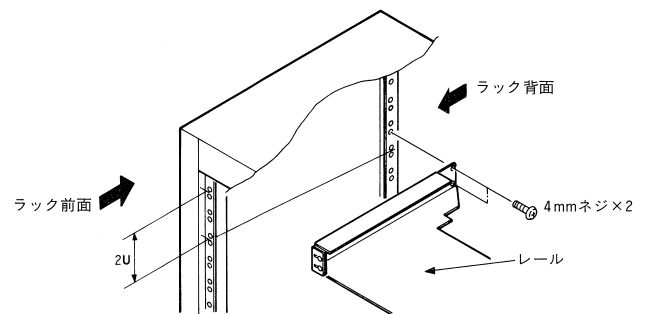
- 主制御ユニット(EM-L32)は、システムに必ず 1 台必要なユニットです。
- 回線制御ユニット(EM-L92)は、総スピーカー回線数が 21 回線以上の場合に必要となります。
1 台に接続できる最大スピーカー回線数 = 20
また、外部起動入出力数を拡張するときも、EM-L92 が 必要です。
- 取り付け位置は、多量の外線ケーブルを引き込み接続することになりますのでラック下部が適切です。
接続するケーブルの本数が多い場合は、最下部および EM-L92 と EM-L32 の上下に 1U 以上のブランクパネルを設けると、ケーブル接続作業、保守点検などがしやすくなります。

1. ラック背面に取り付けられているワイヤークランプを取りはずす。



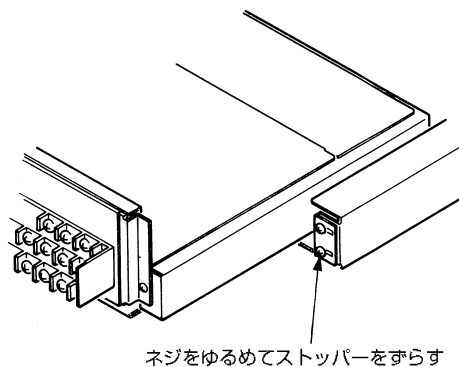
2. 付属のユニット用レールをラックに取り付ける。

- ラック背面側に、付属の固定ネジで確実に固定してください。
- このユニットは、点検などのために前面へ引き出せる機械構造になっています。
- 取り付け順は、取り付け位置を確定後、最下段のユニット用レールから上部に取り付けていきます。



3. 2. で取り付けした左右のユニット用レールの前ぶちに固定されているストッパーをゆるめて、外側に開く。

回線制御ユニット(EM-L92)、主制御ユニット(EM-L32)を、取り付け位置のレールに前方から挿入します。奥まで確実に挿入してください。



4. 3. のストッパーを内側に閉め、ネジを締めて確実に固定する。

4. ユニットを取り付ける

4-3. パワーアンプを取り付ける

ご注意

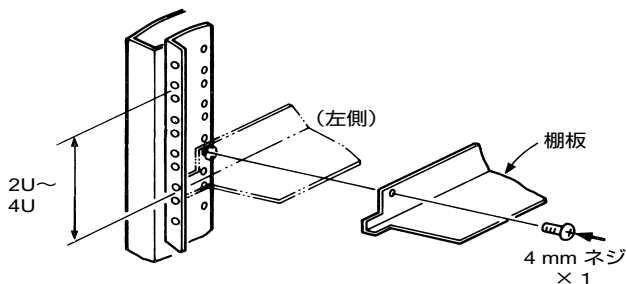
- 使用できるパワーアンプは、EM-A083/A163/A244/A364/A243/A363/A842D/A822D です。最大 30 台まで接続できます。
- パワーアンプとミキサーユニット(EM-M102)の間、パワーアンプとカセットデッキの間などは、誘導雑音防止のためにブランクパネル(PA-U1)を使用して、1U 以上離して取り付けてください。
- パワーアンプは、発熱による他の機器への影響を少なくするために、ラックケースの上部に取り付けてください。
- 同じラックケースに複数台数のパワーアンプを取り付けるときは、ベンチレートパネル(PA-U1V)を使用して、パワーアンプの間を 1U 以上離して取り付けてください。
やむを得ず、離さずに取り付ける場合は、下記の表にしたがってください。

パワーアンプの種類	台数
EM-A083	3 台まで
EM-A163	3 台まで
EM-A244	2 台まで ※
EM-A364	2 台まで ※
EM-A243	2 台まで ※
EM-A363	2 台まで ※
EM-A842D	3 台まで
EM-A822D	3 台まで

※ ファンユニット PS-R413B/PS-RU40 を装着し、パワーアンプの真下のユニットが奥行き 80 mm のユニット(EM-D36 や EM-E12)の場合、ラック最上部から 3 台積み重ねることができます。

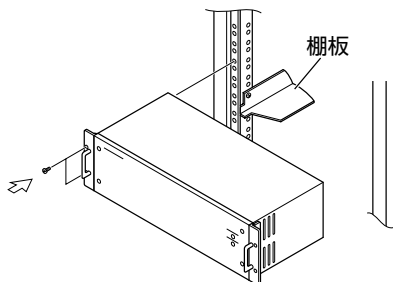
1. ラックに、付属の棚板を取り付ける。

パワーアンプを取り付ける位置に、付属の固定ネジで左右を固定します。



2. パワーアンプをラックに取り付ける。

棚板の上にパワーアンプを載せてから、付属の固定ネジでラックへ取り付けます。



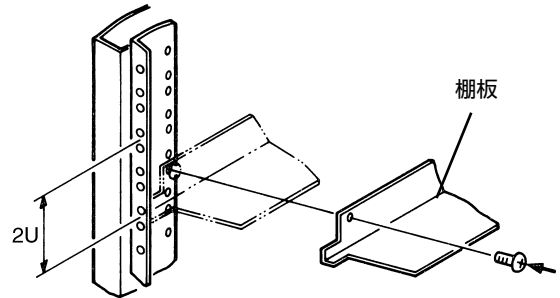
4-4. 非常電源ユニット (EM-N112) を取り付ける

ご注意

- 非常電源ユニットは、使用パワーアンプと台数・スピーカー回線数などシステムによって必要台数が決まりますので、確認の上取り付け位置を決定してください。(必要台数については、123 ページをご覧ください。)
- 非常電源ユニット(EM-N112)は、必ずパワーアンプ(EM-A083/A163/A244/A364/A243/A363/A842D/A822D)より下に取り付けてください。
- 同じラックケース内に、複数台数の非常電源ユニット(EM-N112)を取り付けるときは、各ユニット間にブランクパネル(PA-U1)、ベンチレートパネル(PA-U1V)を使用して、1U 以上の空間を確保してください。
- 非常電源ユニット(EM-N112)と、追加 DC ユニット(EM-P22)を同じラックケース内に取り付けるときは、両ユニット間にブランクパネル(PA-U1)とベンチレートパネル(PA-U1V)を使用して、1U 以上の空間を確保してください。

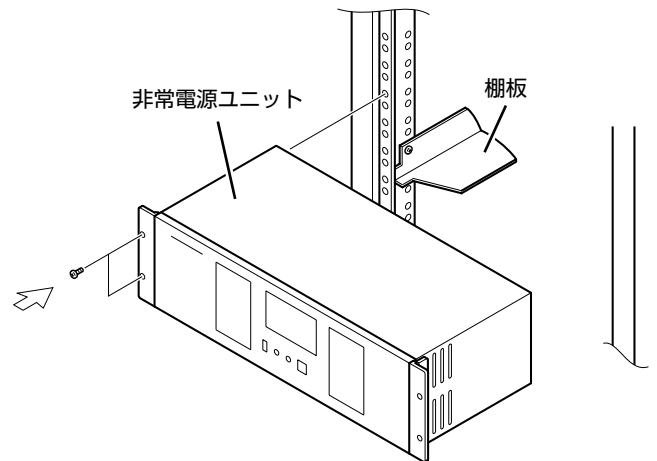
1. ラックに、付属の棚板を取り付ける。

非常電源ユニットを取り付ける位置に、付属の固定ネジで左右を固定します。



2. 非常電源ユニットをラックに取り付ける。

棚板の上に非常電源ユニットを載せてから、付属の固定ネジでラックへ取り付けます。



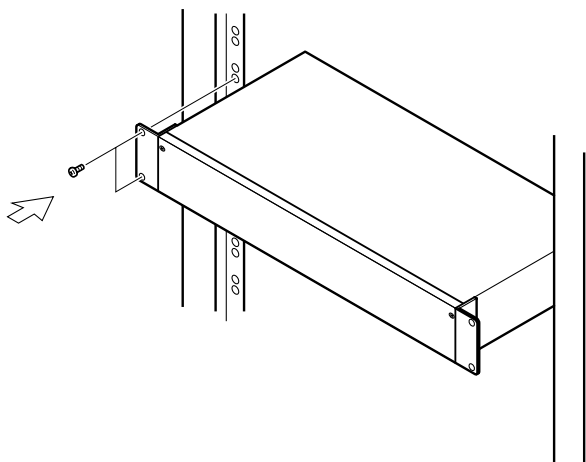
4-5. その他のユニットを取り付ける

各ユニット・製品は EIA ハーフピッチマウントのラックケースに取り付けます。

取り付け位置を確認して所定の位置へ取り付けてください。ラックへの取り付けは、各機器に付属しているネジをご使用ください。

EIA1U サイズのユニットを取り付ける 主電源ユニット (EM-P11)

- ・ブランクパネル(PA-U1)
- ・ベンチレートパネル(PA-U1V)

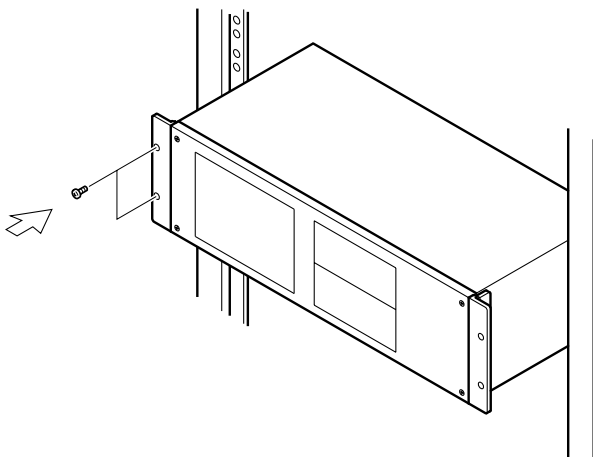


EIA2U サイズのユニットを取り付ける 追加 DC ユニット (EM-P22)

- ・ミキサーユニット(EM-M102)
- ・モニターユニット(EM-S102)
- ・デジタルマトリックスユニット(PA-MX92)
- ・マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)
- ・ブランクパネル(PA-U2)

EIA3U サイズのユニットを取り付ける

- ・ブランクパネル(PA-U3)

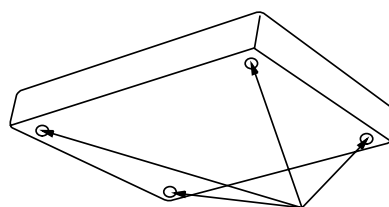


ラックマウント金具を使用して取り付ける

下記のユニットは、ラックマウント金具を取り付けてから、ラックケースに取り付けます。各ユニットの取り付け方法などは、各ユニットに付属している説明書をご覧ください。

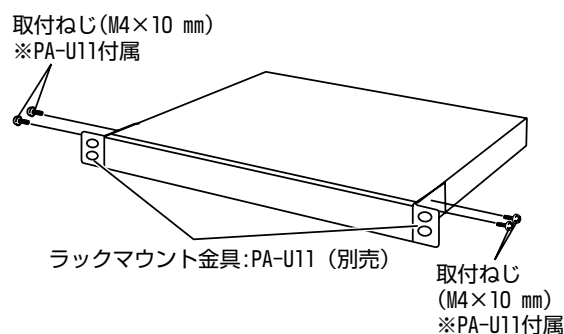
ユニット	使用するマウント金具 (別売)
デジタル音源シリーズ (PA-DT600/DA300/ DA600/DR600)	PA-U11 (EIA1U)
4 曲電子チャイム (PA-W53)	PA-U11 (EIA1U)
ワイヤレスチューナー (WT-902/904-H/B)	PA-U11/PS-RU11 (EIA1U)

1. 本機底面のフット (4 個) をはずす。

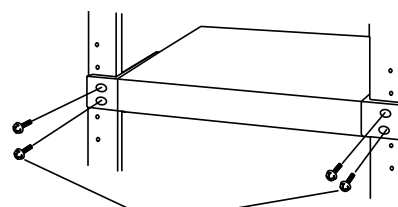


フットをはずす (4箇所)

2. 本機の左右側面の取付ねじ 4 本をはずす。



3. PA-U11 に付属のラック取付ねじ (M5 x 12 mm) 4 本を使って、本機をラックに取り付ける。



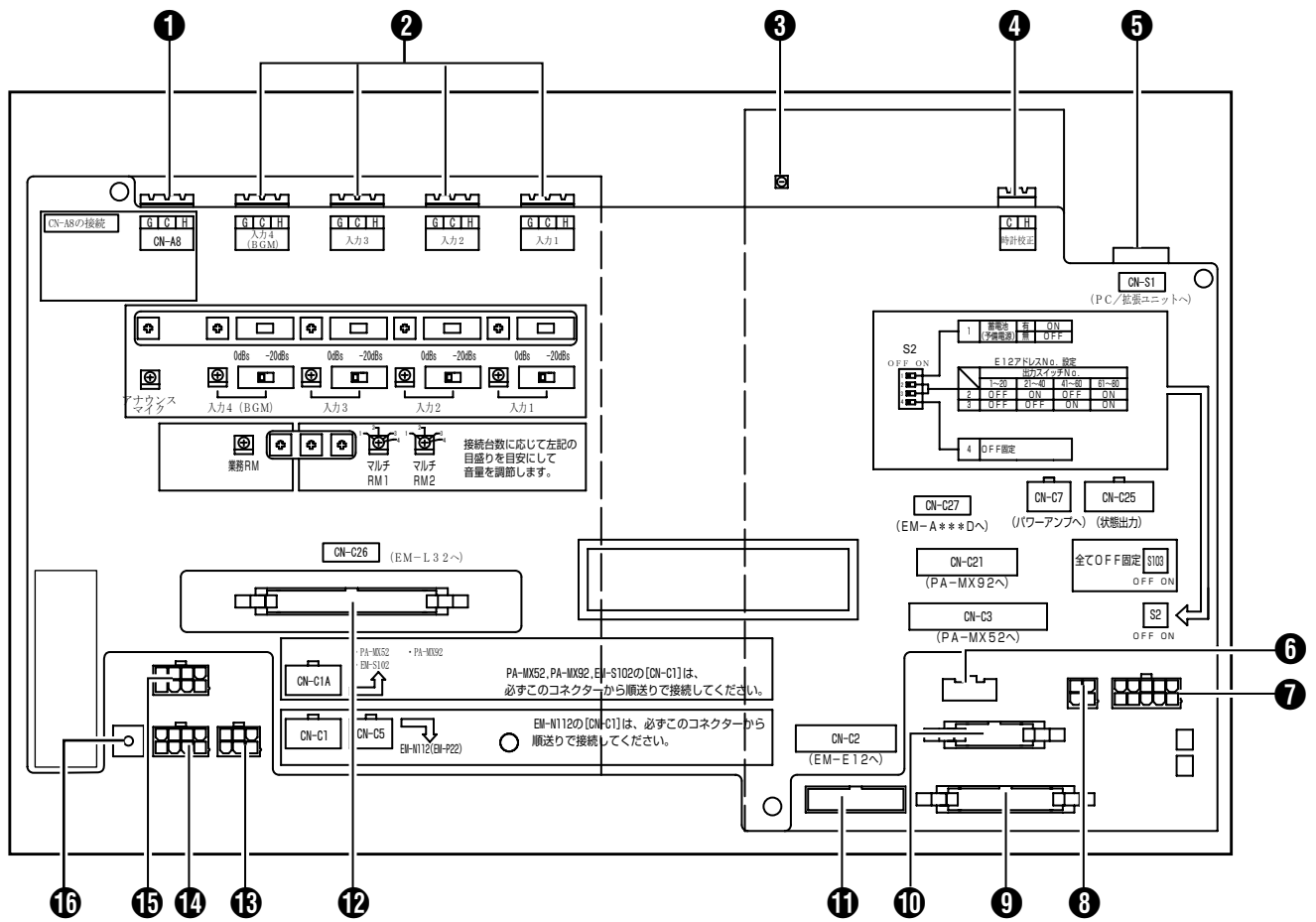
ラック取付ねじ (M5 x 12 mm) x 4本
※PA-U11 付属

ご注意

- 取付ねじやラック取付ねじは、必ず指定のものをご使用ください。指定以外の長いねじや短いねじを使用すると、故障や落下の原因となります。

5. ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け

5-1. 業務操作器 (EM-D36) の接続

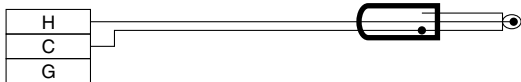


接続方法

① CN-A8 (平衡 0 dBs)

- パワーアンプの CN-A8 へ接続します。
- EM-D36 に付属の片端フォンプラグ～片端バラ線をコネクタ端子台へ接続して使用します。この時シールド線は C (コールド) 端子に接続します。
- パワーアンプを複数台数使用するときには、パワーアンプを順送り接続します。

パワーアンプ
フォンプラグ入力へ



② 音声入力端子 1～4

(平衡 -20 dBs / 0 dBs 切り換え)

- デジタル音源シリーズ、電話ページング、報時チャイム、アナウンスユニット、ミキサー、拡張ユニットなどの音声信号を入力します。
- 2芯シールド線で平衡接続します。
- BGM の入力端子は”入力 4”に固定されています。

③ LCD コントラスト

LCD 画面の表示が見えにくい場合に調節します。

④ 時計校正

内部時計の校正信号として、親子時計システムの子時計信号を接続します。信号には極性がありますので、注意してください。

⑤ CN-S1 (D-SUB 9P RS-232C)

- システムアップ時などに使用します。
- 設置支援アプリケーションソフト (EM-ZS300) を使用すると、システム設定や履歴の確認が簡単にできます。
- 接続には、RS-232C クロスケーブルが必要です。
- システムアップや設置支援アプリケーションソフト (EM-ZS300) については、営業窓口にご相談ください。

⑥ CN-C27 (ヒロセ 6P)

- デジタルパワーアンプ (EM-A842D/A822D) の CN-C27 に接続します。
- デジタルパワーアンプを複数台使用するときには、順送り接続してください。

7 CN-C25 (Molex 10P)

- 動作状態信号を出力します。
- 各種システムへ応用することができます。

8 CN-C7 (Molex 4P)

- パワーアンプ(EM-A シリーズ)の CN-C7 に接続します。
 - パワーアンプを複数台数使用するときは、順送りで接続してください。(30 台まで接続可能です。)
- (接続ケーブルは各パワーアンプに付属しています。)

9 CN-C3 (3M-20P)

マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の CN-C3 へ接続します。

10 CN-C21 (3M-10P)

デジタルマトリクスユニット(PA-MX92)の CN-C21 へ接続します。

11 CN-C2 (3M-20P)

回線追加ケース(EM-E12)を複数台数使用するときには、順送りで接続します。

12 CN-C26 (3M-34P)

主制御ユニット(EM-L32)の CN-C26 へ接続します。

13 CN-C5 (Molex 6P)

非常電源ユニット(EM-N112)の CN-C5 へ接続します。
EM-N112 を複数台数使用するときは、EM-N112 の 2 個の CN-C5 を受けと送りに使用し、順送りで接続してください。

14 CN-C1 (Molex 8P)

共通制御信号で、EM-P22、EM-N112 などの CN-C1 と接続します。

順送りで接続してください。

15 CN-C1A (Molex 8P)

他の機器の CN-C1 と接続します。ただし、マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)、デジタルマトリクスユニット(PA-MX92)、モニターユニット(EM-S102)は必ずこのコネクタから順送りで接続してください。

16 筐体アース

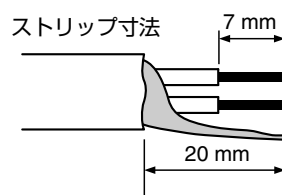
ラックに接続します。

(接続アースワイヤーは EM-D36 に付属しています。)

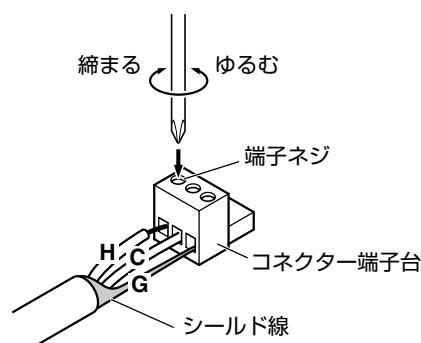
コネクタ端子台への接続方法

(+)No. 1 ドライバーを使用します。

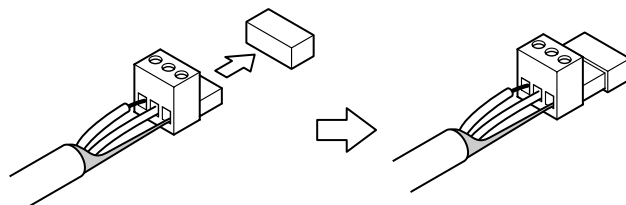
1. シールド線の被覆を下記のように処理する。



2. 芯線を各挟み込み口に挿入し、押さえネジを締める。

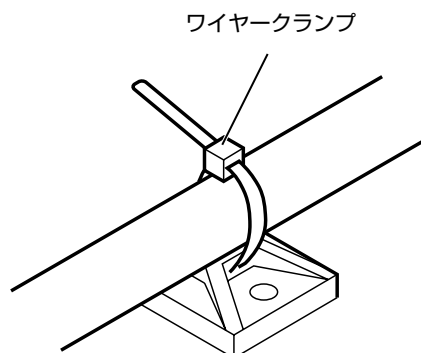


3. コネクタ部を、接続する端子台ベースに確実に差し込む。



メモ

- シールド線の抜け防止のため、必要に応じて EM-D36 に付属のクランプベースを使用してください。クランプベースを貼り付け、シールド線をワイヤークランプで固定します。

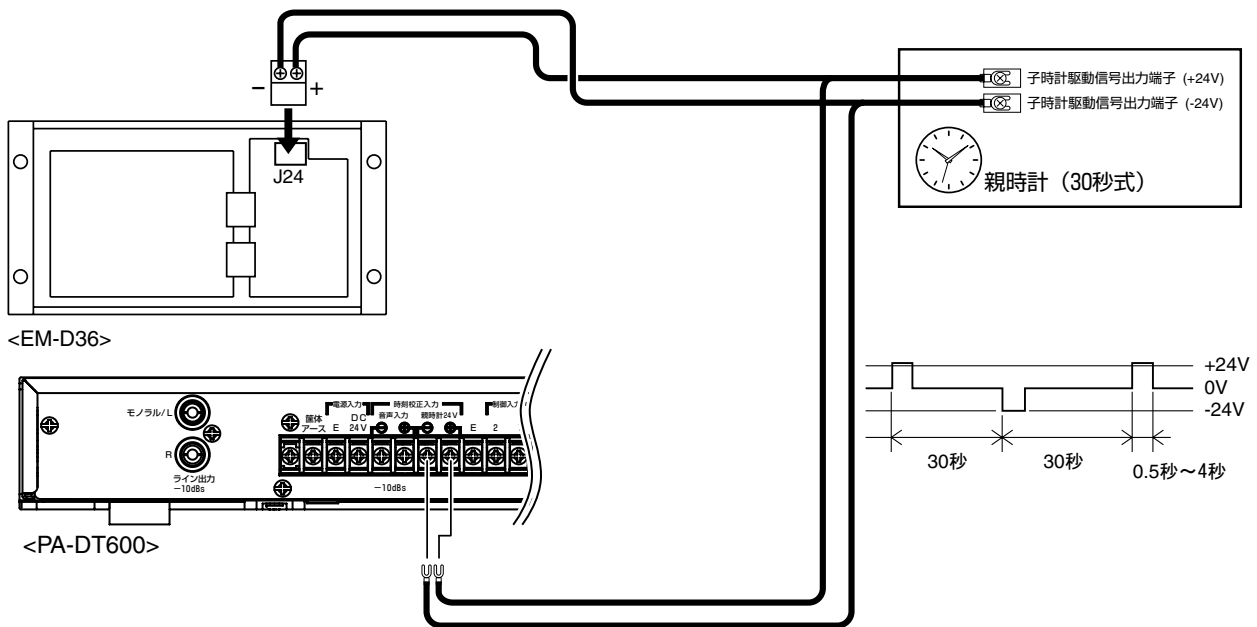


5. ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け

5-1. 業務操作器(EM-D36)の接続(つづき)

時刻校正用親時計の接続

- 業務操作器には、動作・点検記録を自動的に取得する履歴機能が搭載されています。
- この履歴の時間管理用時計を自動校正するために、工業用親時計信号を接続すると、常に精度の高い時間が記録されます。
- デジタルプログラムチャイム (PA-DT600)、デジタルミュージックマシン(PA-DA600)の時間校正にも親時計信号を利用できます。
このとき、EM-D36 と PA-DT600、PA-DA600 の校正用親時計信号入力はすべて並列接続します。
- 時計信号は、DC24V、30 秒有極パルス(工業用親子時計標準信号)です。

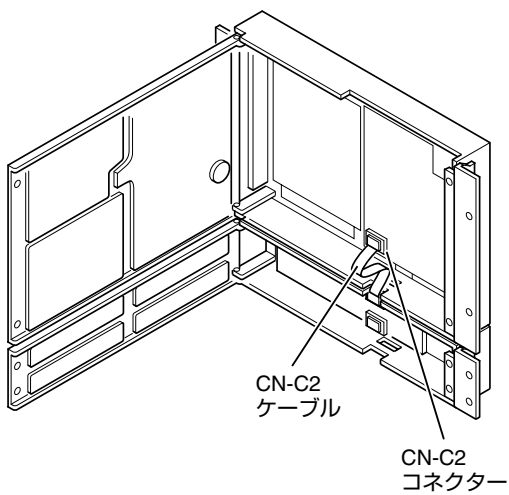


5-2. 回線追加ケース(EM-E12)の接続と回線追加ユニット(EM-E5)の組み込み

- 業務操作器(EM-D36)には、出力スイッチを 20 回路(4 列)内蔵しています。
- 21 回路以上使用するときは、回線追加ケース(EM-E12)を増設し、回線追加ユニット(EM-E5)を組み込んでください。
- 回線追加ケース(EM-E12)は最大4台まで増設できます。

回線追加ケース (EM-E12) の組み込みと接続

業務操作器(EM-D36)との接続は、下図のように EM-E12 に付属の CN-C2 ケーブルで、お互いの CN-C2 を接続してください。



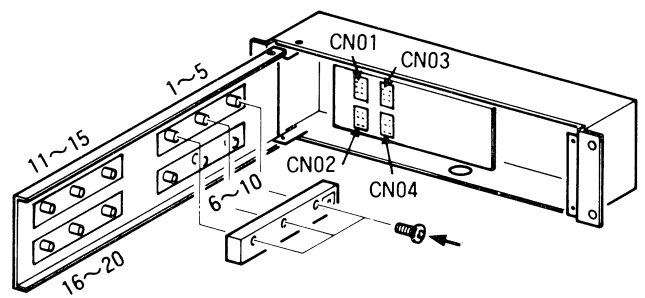
- 回線追加ケース(EM-E12)を増設接続するときは、CN-C2 を順送り接続としてください。
- EM-E12 に付属の CN-C2 ケーブル(20cm)では長さが足りないときは、ケーブルセット(EM-CN90)の CN-C2 ケーブル(1.1m)または、弊社サービスエンジニアリング扱いの CN-C2 ケーブル(1.1m)をご使用ください。

ご注意

- CN-C2 のケーブル長の合計は、必ず 3.5m 以内にしてください。

回線追加ユニット (EM-E5) の組み込みと接続

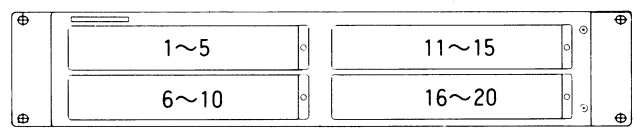
1. 回線追加ケース (EM-E12) の、フロントパネルと回線追加ユニットを組み込む場所の亚克力カバー固定ネジをはずします。
2. 各 EM-E5 を、フロントパネル背面から差し込み、EM-E5 に付属のネジ 3 本で取り付けてください。また、EM-E5 からのコネクターワイヤーを EME12 のコネクターに接続してください。



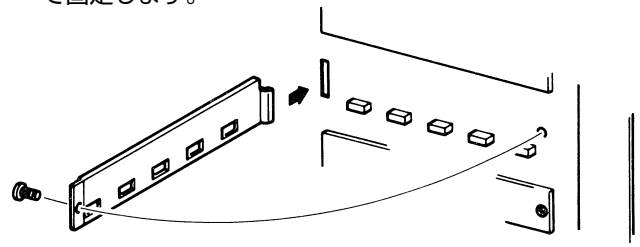
- CN01--- 選択スイッチ番号 1 ~ 5
- CN02--- 選択スイッチ番号 6 ~ 10
- CN03--- 選択スイッチ番号 11 ~ 15
- CN04--- 選択スイッチ番号 16 ~ 20

ご注意

- スイッチのレイアウト上、EM-E5 の取り付け位置と接続コネクターを変える場合には、順序が異なっていることを十分認識のうえ、対応してください。
- ワイヤーは、フロントパネルの開閉ができるようにクランプしてください。
- 回線追加ケース (EM-E12) 内コネクター基板のコネクター番号と、EM-E5 組み込み場所 (選択スイッチ No) は、下図のように対応していますのでご注意ください。



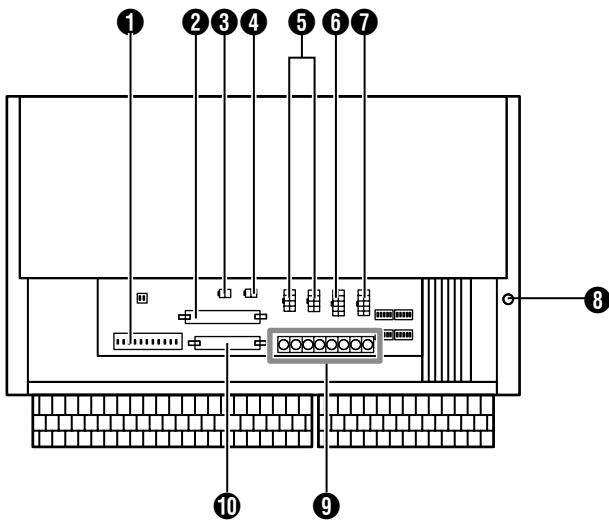
3. アクリルカバー、フロントパネルを1ではずした固定ネジで固定します。



メモ

- すでにネームカードに出力スイッチ名称の記載が完了しているときは、亚克力カバーと一緒に取り付けてください。

5-3. 主制御ユニット(EM-L32)の接続



接続方法

① 制御出力端子

デジタル音源シリーズ(PA-DA600/DA300/DR600)に接続します。

② CN-C26 (3M-34P)

業務操作器(EM-D36)に接続します。
(接続ケーブルは EM-D36 に付属)

③ CN-C10 [DELAYED] (Molex 2P)

- 主電源ユニット(EM-P11)のCN-C10に接続します。(最大5台) (接続ケーブルは EM-P11 に付属)
- 通常は、CN-C10④を使用します。
- CN-C10[DELAYED]は通常使用するCN-C10より0.3秒遅く動作します。
- 多くのパワーアンプを使用するシステムの場合、通常のCN-C10とCN-C10[DELAYED]を併用して使用することによりパワーアンプオン時の電源変動を少なくし、電源変動による他の機器への影響を軽減できます。

④ CN-C10(Molex 2P)

主電源ユニット(EM-P11)のCN-C10に接続します。(最大5台) (接続ケーブルは EM-P11 に付属)

⑤ CN-C1 (Molex 8P) × 2

他の機器(上部)の CN-C1 に接続、また、下部の機器の CN-C1 に接続します。
(接続ケーブルは、EM-P22 または EM-N112 などに付属)

⑥ CN-C11 (Molex 10P)

マルチスピーカコントローラー(EM-X33)のCN-C11に接続します。
詳細は、EM-X33 の設置説明書をご覧ください。
(接続ケーブルは EM-X33 に付属)

⑦ CN-C12 (Molex 10P)

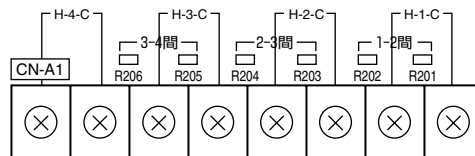
マルチスピーカコントローラー(EM-X33)のCN-C12に接続します。
詳細は、EM-X33 の設置説明書をご覧ください。
(接続ケーブルは EM-X33 に付属)

⑧ 筐体アース

ラックに接続します。
(接続アースワイヤーは EM-L32 に付属しています。)

⑨ CN-A1 (端子台)

パワーアンプのCN-A1 に接続します。
(接続ケーブルはパワーアンプに付属)



■ 回線制御の分割(5回線単位)

- マトリックス(多元)放送システムを構成するときや、パワーアンプの並列運転を回避するときなどに、回線制御を5回線単位に分割してパワーアンプを接続できます。この場合は、必要に応じて抵抗 R201 ~ R206 をカットして、分割回路をつくります。

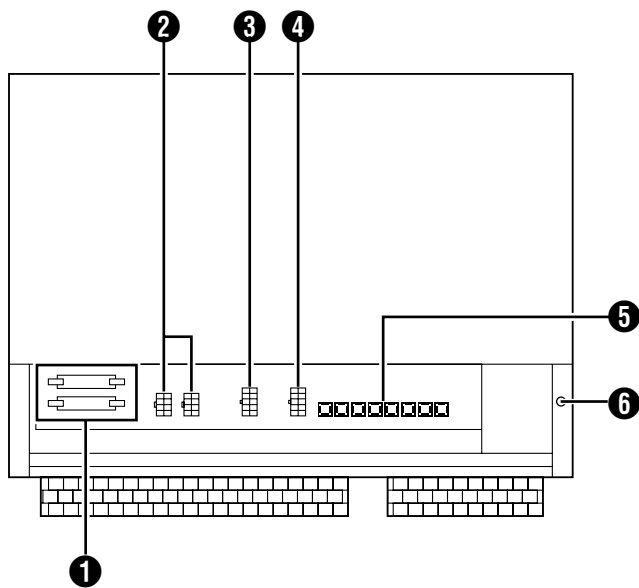
- ・ R201, R202 をカットで回線 1 ~ 5 と回線 6 ~ 10 間を分割します。
- ・ R203, R204 をカットで回線 6 ~ 10 と回線 11 ~ 15 間を分割します。
- ・ R205, R206 をカットで回線 11 ~ 15 と回線 16 ~ 20 間を分割します。

- 分割した回線へ出力するパワーアンプのCN-A1に接続します。

⑩ CN-C8 (3M-26P)

回線制御ユニット(EM-L92)に接続します。
EM-L92 を複数台数使用するときは、各 EM-L92 を順送り接続します。
(接続ケーブルは EM-L92 に付属)

5-4. 回線制御ユニット (EM-L92)の接続



接続方法

① CN-C8 (3M-26P) × 2

- 主制御ユニット(EM-L32)に接続します。
- また、EM-L92 を複数台数使用のときは、順送りで接続してください。(接続ケーブルは EM-L92 に付属)

② CN-C1 (Molex 10P)

他の機器(上部)の CN-C1 に接続、また、下部の機器の CN-C1 に接続します。

③ CN-C12 (Molex 10P)

マルチスピーカコントローラー(EM-X33)のCN-C12に接続します。

詳細は、EM-X33 の設置説明書をご覧ください。
(接続ケーブルは EM-X33 に付属)

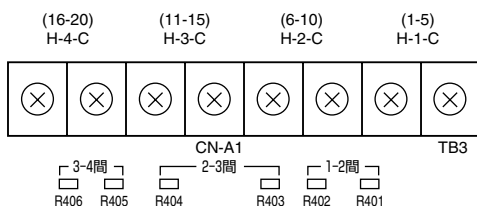
④ CN-C11 (Molex 10P)

マルチスピーカコントローラー(EM-X33)のCN-C11に接続します。

詳細は、EM-X33 の設置説明書をご覧ください。
(接続ケーブルは EM-X33 に付属)

⑤ CN-A1 (端子台)

パワーアンプのCN-A1 に接続します。
(接続ケーブルはパワーアンプに付属)



■ 回線制御の分割(5回線単位)

- マトリックス(多元)放送システムを構成するときや、パワーアンプの並列運転を回避するときなどに、回線制御を5回線単位に分割してパワーアンプを接続できます。この場合は、必要に応じて抵抗 R401 ~ R406 をカットして、分割回路をつくります。
 - ・ R401、R402 をカットで回線 1 ~ 5 と回線 6 ~ 10 間を分割します。
 - ・ R403、R404 をカットで回線 6 ~ 10 と回線 11 ~ 15 間を分割します。
 - ・ R405、R406 をカットで回線 11 ~ 15 と回線 16 ~ 20 間を分割します。
- 分割した回線へ出力するパワーアンプのCN-A1に接続します。

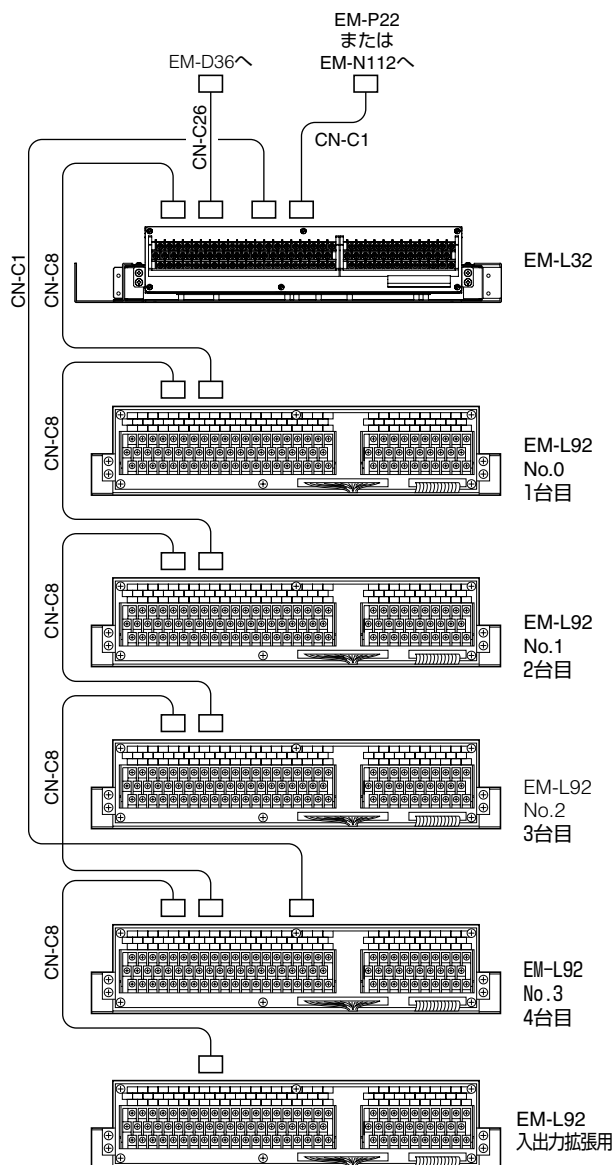
⑥ 筐体アース

ラックに接続します。
(接続アースワイヤーは EM-L92 に付属しています。)

5-4. 回線制御ユニット (EM-L92)の接続(つづき)

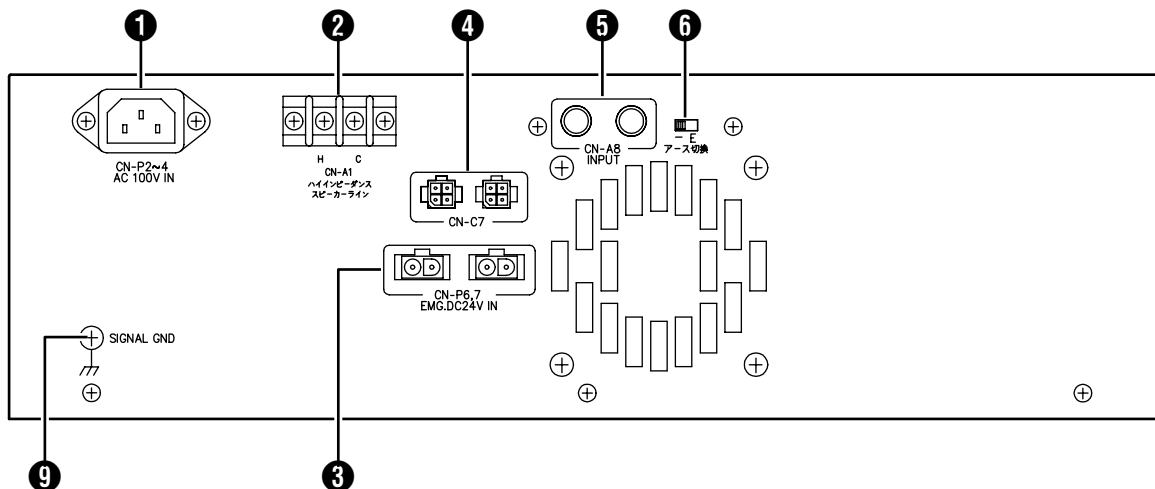
回線制御ユニット間の接続

- 回線制御ユニット(EM-L92)は最大4台(80回線)接続でき、別に入出力拡張ユニットとして1台接続できます。
- CN-C8は主制御ユニット(EM-L32)から順送りに接続します。
CN-C8は合計長さ20m以下にしてください。
- CN-C1は主制御ユニット(EM-L32)から4台目の回線制御ユニット(EM-L92)に接続します。接続には別売のケーブルセットEM-CN90のCN-C1をご使用ください。

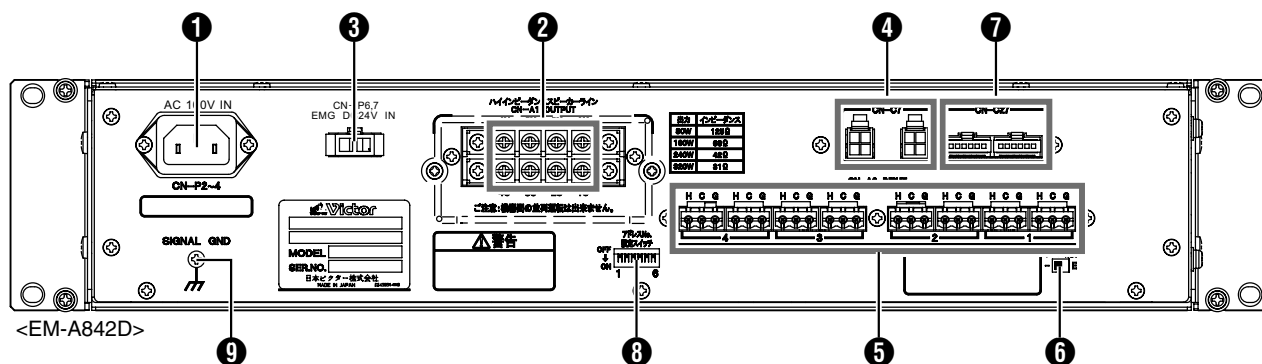


5-5. パワーアンプの接続

■ パワーアンプ(EM-A083/A163/A244/A364/A243/A363)



■ デジタルパワーアンプ(EM-A842D, EM-A822D)



接続方法

① CN-P2 ~ 4 (AC100 V)

主電源ユニット(EM-P11)のCN-P2 ~ P4(連動)に接続します。

EM-A364/A363(360W)、EM-A244/A243(240W)およびEM-A842D(320W)は消費電力が大きいので、EM-P11のCN-P2、CN-P3およびCN-P4へ、それぞれ1台だけ接続してください。

ご注意

- 機器の消費電力によって付属の電源コードが異なります。必ず機器に付属の電源コードを使用してください。

② CN-A1(端子台)

パワーアンプの出力です。

モニターユニット(EM-S102)、主制御ユニット(EM-L32)、回線制御ユニット(EM-L92)に接続します。

(接続ケーブルは各パワーアンプに付属)

③ CN-P6, P7

- 非常 DC 電源入力です。
- 非常電源(EM-N112)のCN-P6 および CN-P7 のどちらかに接続します。
- EM-A364/A363は、CN-P6 と CN-P7 の両方とも接続してください。
- 異なる容量のニッカド蓄電池(NB-35B/60)を収納したときは、蓄電池接続端子に注意してください。
CN-P6 …蓄電池 1
CN-P7 …蓄電池 2

④ CN-C7(Molex 4P)

- 業務操作器(EM-D36)のCN-C7に接続します。
- パワーアンプを複数台数使用するときには、すべてのパワーアンプを順送り接続してください。
(接続ケーブルは各パワーアンプに付属)

次のページへつづく...

5. ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け

5-5. パワーアンプの接続 (つづき)

接続方法 (つづき)

⑤ CN-A8

- 業務操作器(EM-D36)のCN-A8に接続します。
(接続ケーブルはEM-D36に付属)
- パワーアンプを複数台数使用するときは、パワーアンプの入力(CN-A8)を順送りで接続してください。

⑥ アース切換スイッチ

下記のことを参考にして、システムの設置後に動作させ、雑音の小さい方へ切り換えてください。

- パワーアンプ 1 台のときは、アース切り換えを“E”にしてください。
- 複数のパワーアンプを使用するときは、1 台を“E”とし、他は“-”として、1 点アースにします。ただし、雑音が多いときは、何台か“E”にすると雑音が低下することもありますので、チェックしてください。
- カセットデッキ、CD プレーヤ等は、信号アースが筐体に接続されていますので、これらの機器を使用するときは、アース切り換えを必ず“-”にして 2 点アースを避けてください。

ご注意

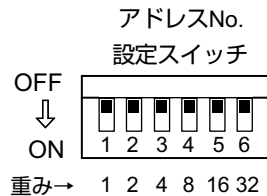
- スイッチや端子の配置は、パワーアンプの機種によって異なります。

⑦ CN-C27

- 業務操作器(EM-D36)のCN-C27に接続します。
- デジタルパワーアンプを複数台使用するときは、順送りで接続します。

⑧ アドレス設定スイッチ

- 台数に応じて「1」から順につづき番号で設定します。最大値は「30」となります。「31」～「40」はシステムアップ時に使用します。この設定は、電源投入時に有効となります。設定後は必ず、電源を入れなおしてください。
- ON(↓)にしたスイッチの重みの合計がアドレス番号になります。



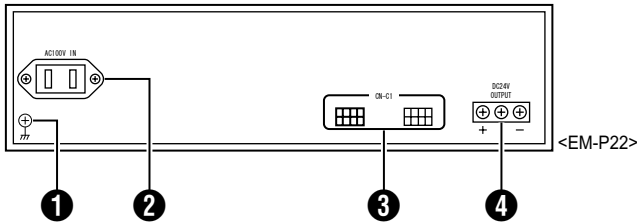
アドレス	設定スイッチの状態					
	1	2	3	4	5	6
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
5	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
6	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
7	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF
8	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
9	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
10	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
...						
30	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF

⑨ 筐体アース

- ラックに接続します。
(接続アースワイヤーはパワーアンプに付属)

5-6. 追加 DC ユニット (EM-P22) の接続

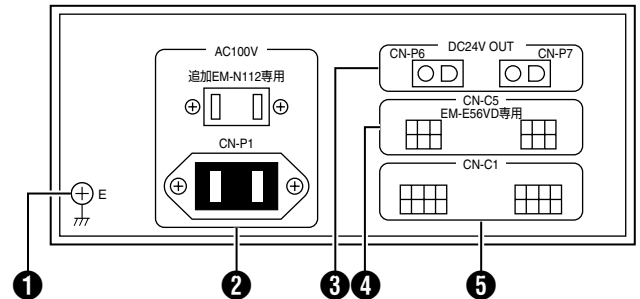
本機は、AC100V 動作時の制御電流を供給するユニットで、DC24V を最大 3.2A 供給できます。DC24V 出力は安定化されていませんので、無負荷で約 32V になります。



接続方法

- ① 筐体アース
ラックに接続します。
(接続アースワイヤーは EM-P22 に付属)
- ② CN-P1 (AC100 V)
主電源ユニット(EM-P11)または非常電源ユニット(EM-N112)の CN-P1 に、電源ケーブル(付属)で接続します。
- ③ CN-C1 (Molex 8P) × 2
他の機器(上部)の CN-C1 へ接続、また、下部の機器の CN-C1 に接続します。
(接続ケーブルは EM-P22 に付属)
- ④ DC24 V OUTPUT
AC 時 24V 電源として利用できます。システム制御電流を確認のうえ、ご利用ください。

5-7. 非常電源ユニット (EM-N112) の接続と ニッカド蓄電池(NB-35B/60)の収納



接続方法

- ① 筐体アース
ラックに接続します。
(接続アースワイヤーは EM-N112 に付属)
- ② CN-P1 (AC100 V)
主電源ユニット(EM-P11)の CN-P1 に付属の電源ケーブルで接続します。
EM-N112 を複数台数使用するときは、順送り接続してください。
- ③ CN-P6/P7 (DC24 V OUT)
 - パワーアンプの CN-P6 および CN-P7 に接続します。
 - パワーアンプ EM-A364/A363 へは、CN-P6 および CN-P7 とともに接続してください。
 - 異なる容量のニッカド蓄電池(NB-35B/60)を収納したときは、蓄電池接続端子に注意してください。
CN-P6 …蓄電池 1
CN-P7 …蓄電池 2
 - 追加制御用非常電源(☞ 124 ページ)として取り付ける EM-N112 と、パワーアンプは接続しないでください。
- ④ CN-C5 (Molex 6P) × 2
業務操作器(EM-D36)の CN-C5 に接続します。
EM-N112 を複数台数使用するときは、順送り接続します。
(接続ケーブルは EM-N112 に付属)
- ⑤ CN-C1 (Molex 8P)
他の機器(上部)の CN-C1 に接続、また下部の機器の CN-C1 に接続します。(接続ケーブルは EM-N112 に付属)

メモ

- CN-C1 の② (AC 時 24V) と⑤ (常時 24V) の両方から取り出せる合計電流は 1.6A です。
- システム電源ユニットの選択と使用台数については 122 ページ「システム電源ユニット」をご覧ください。

5. ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け

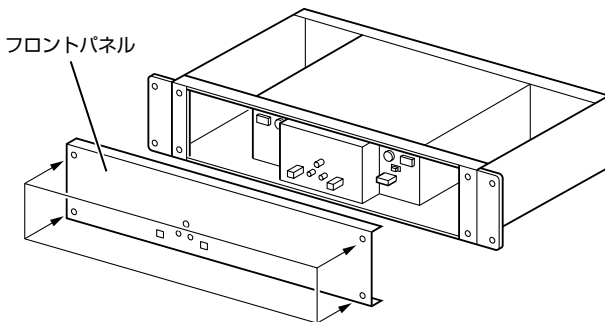
5-7. 非常電源ユニット (EM-N112) の接続と ニッカド蓄電池 (NB-35B/60) の収納(つづき)

ニッカド蓄電池 (NB-35B/60) を収納する

ご注意

- 蓄電池は、商用電源を入れているときに接続してください。商用電源を切っているときに蓄電池を接続すると、非常電源ユニットEM-N112のヒューズが切れる場合があります。
- 蓄電池を取り外すときは、商用電源が入っている状態で取り外します。商用電源を切った状態で蓄電池を取り外すと、非常電源ユニットEM-N112のヒューズが切れる場合があります。
- 本システムが蓄電池を接続している場合、停電状態となっても内部回路の保護動作のため、すぐにシステムの電源が切れないようになっています。非常電源ユニット (EM-N112) 1台時はシステムの電源が切れるまで約10秒かかります。この時間はEM-N112が1台増えるごとに約7秒長くなります。
- 接続コード、コネクターの抜き差しをするときは、必ず、蓄電池を外し、商用電源を切ってから作業してください。

1. 非常電源ユニット (EM-N112) のフロントパネルをはずす。



2. ニッカド蓄電池を収納する。

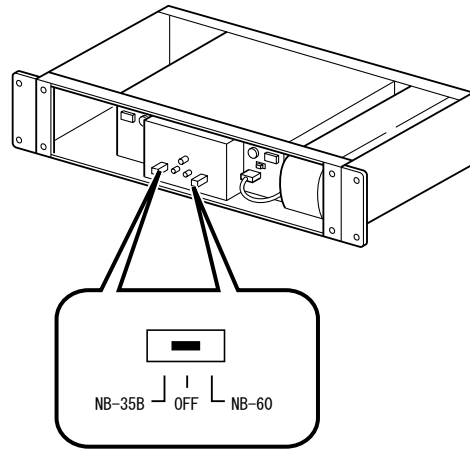
- EM-N112に、ニッカド蓄電池1台だけ収納するときは、必ず”蓄電池1”(右側)に収納してください。

ご注意

- ニッカド蓄電池のコネクタは、すべての結線が完了し、総合動作確認を行うときまでは接続しないでください。
- コネクタを接続すると、蓄電池は放電されますので、ご注意ください。

3. 充電スイッチを設定する。

- 収納した電池機種名(”NB-35B”または”NB-60”)にスイッチを合わせます。
- 蓄電池を収納していないときは、設定スイッチを”OFF”に合わせてください。



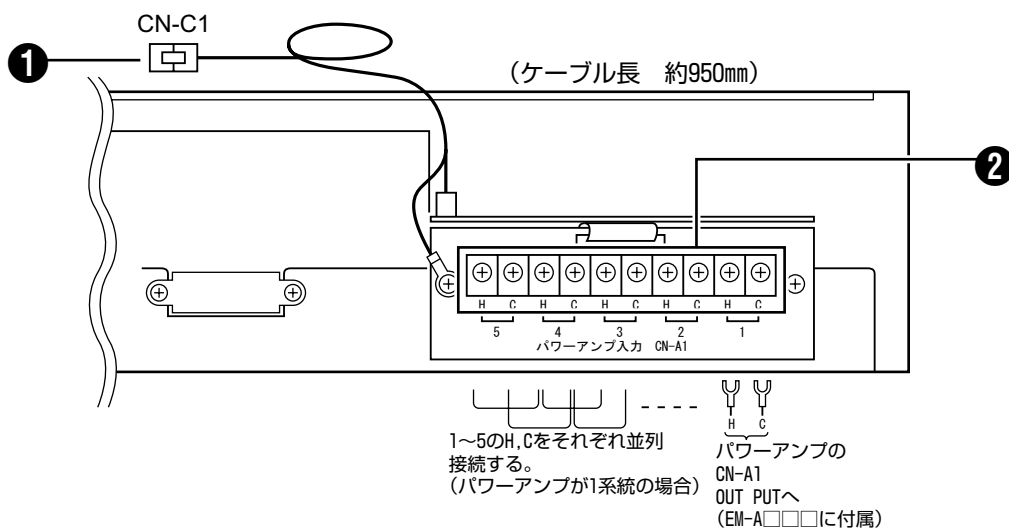
ご注意

- 異なる設定をすると、過充電電流により破損することがありますので、正しく設定してください。

4. フロントパネルを固定する。

5. 業務操作器 (EM-D36) の予備電源設定スイッチ (☞ 59 ページ) を ON にする。

5-8. モニターユニット (EM-S102)の接続



接続方法

① CN-C1 (Molex 8P)

他の機器(下部)の CN-C1 から接続します。

② CN-A1

■ パワーアンプが1系統の場合 (1台または並列運転で1系統のとき)

パワーアンプからの CN-A1 ワイヤーを、1の H および C に接続します。

1~5のどのモニターが選択されてもモニター音を出力させるときは、1~5の H および C のそれぞれを並列接続してください。

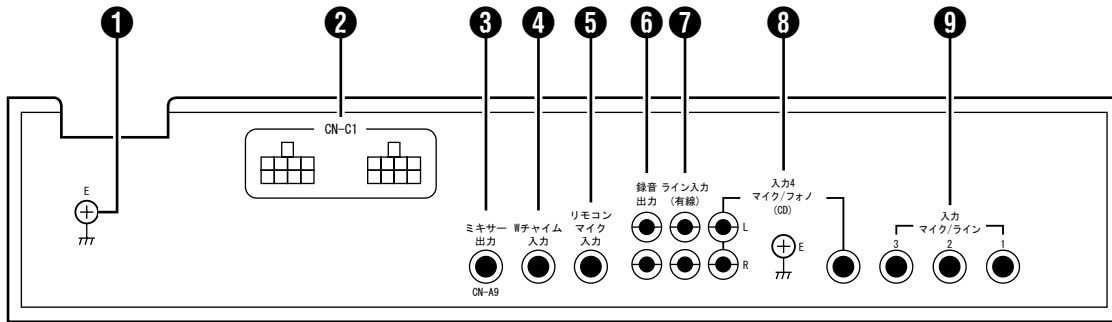
■ パワーアンプが2系統以上の場合

各パワーアンプからの CN-A1 ワイヤーを、1~5の H および C に接続します。

系統別を選択してモニターができます。

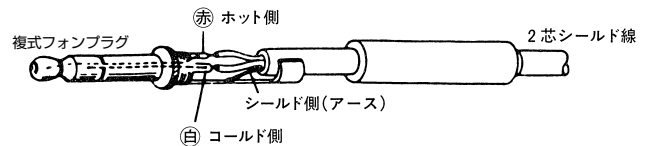
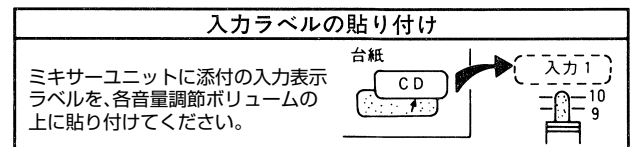
5-9. ミキサーユニットの接続とラジオチューナーユニットの組み込み

ミキサーユニット (EM-M102) の接続



ご注意

- フロントパネルの電源スイッチは“切”のままにしてください。
- 入力 1 ~ 4、ライン入力に接続する機器が決まりましたら、添付の入力表示ラベルを音量調節ボリュームの上に貼り付けてください。
- マイクコードは、複式フォンプラグを使用して、平衡接続でご使用ください。



※ 単芯コードを使用し、モノラルプラグ(不平衡型)として使用の場合はシールド側とコールド側を結びます。

① 筐体アース

ラックに接続します。

② CN-C1 (Molex 8P) × 2

他の機器(上部)の CN-C1 に接続、また、下部の機器の CN-C1 に接続します。
(接続ケーブルは EM-M102 に付属)

③ CN-A9 ミキサー出力(複式フォン / 平衡)

業務操作器(EM-D36)の音声入力端子 1 ~ 3 に接続します。
(接続用フォンプラグコードは EM-M102 に付属)

④ W チャイム入力(複式フォン / 平衡)

報時チャイムの音声出力信号を接続します。

⑤ リモコンマイク入力(複式フォン / 平衡)

業務リモコンの音声信号を接続します。

ご注意

- 業務操作器 (EM-D36) 使用のシステムでは、W チャイムおよびリモコンマイクの音声信号は、EM-D36 に接続してください。

⑥ 録音出力(ピン R/L)

カセットデッキ等の録音入力に接続します。
(カセットデッキ等の付属コードを使用)

⑦ ライン入力(ピン R/L)

カセットデッキ、CD プレーヤー等の再生信号を接続します。
(カセットデッキ等の付属コードを使用)

⑧ 入力4 (ピン - 10 dB/RIAA 切り換え)

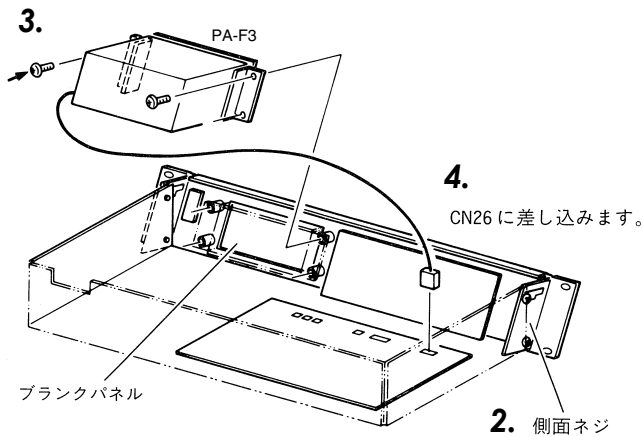
- ” - 10 dB” : カセットデッキ、CD プレーヤー等の再生信号を接続します。
- ” RIAA” : レコードプレーヤー(MM 型)を接続します。

⑨ 入力1、2、3 (複式フォン マイク / ライン切り換え)

- ” マイク” (- 60 dB) : 平衡型マイクロホンを複式フォンプラグで接続します。
- ” ライン” (- 10 dB) : カセットデッキ、CD、ミュージックマシンおよびデジタルボイスファイルなどを接続できます。

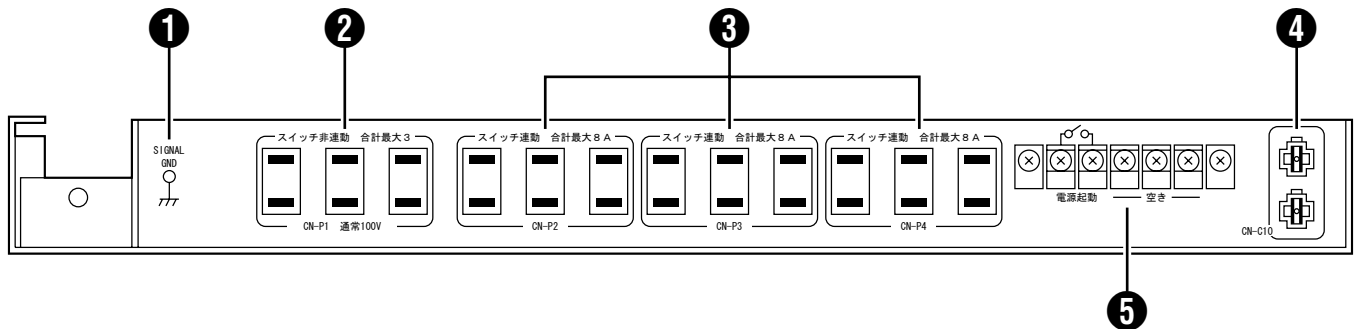
ラジオチューナー (PA-F3) の組み込み方法

1. ミキサーユニット (EM-M102) のトップカバーをはずす。
2. フロントパネルを手前に倒す。
下図のように、フロントカバーを固定している側面のネジを軽くゆるめ、下図のように倒します。
3. PA-F3 を取り付ける。
ブラックパネルをはずした場所に、PA-F3 をネジ4本で取り付けます。
4. ワイヤークネクターを基板内の CN26 に差し込む。



5. フロントパネルを元に戻す。
倒したフロントパネルを戻して、側面のネジ4本をしめます。
6. トップカバーを固定する。

5-10. 主電源ユニット (EM-P11) の接続



接続方法

① SIGNAL GND (筐体アース)

ラックに接続します。
(接続アースワイヤーは EM-P11 に付属)

② CN-P1 (スイッチ非連動)

- 常時 AC100V が出力しているアウトレットです。
- 追加 DC ユニット(EM-P22)、非常電源ユニット(EM-N112)、デジタル音源(PA-D)シリーズなど、常時電源を入れておく機器を接続します。
- 3 個のアウトレット合計で最大 3A です。接続する機器の消費電力にご注意ください。

③ CN-P2, P3, P4 (スイッチ連動)

- CN-C10 への起動信号により AC100V が出力されるスイッチ連動アウトレットです。
- パワーアンプの AC 電源はこの CN-P2 ~ P4 に接続します。
- CN-P2、CN-P3、および CN-P4 それぞれアウトレット 3 個の合計は、最大 8A 以内になるようご使用ください。

④ CN-C10 (Molex 2P)

- 主制御ユニット(EM-L32)の CN-C10 に接続します。
- EM-P11 を複数台数使用するときは、順送り接続してください。(接続ケーブルは EM-P11 に付属)

⑤ 制御端子

本システムでは使用しません。

AC ケーブルの接続方法

ご注意

- AC100V の接続は、電気工事士の有資格者が行なってください。
- AC100V ケーブルの接続用ネジは確実に締め、ゆるみのないように接続してください。ネジのゆるみは、発熱、導通不良による動作不良の原因になりますのでご注意ください。
- 接地工事 (アース線) は D 種接地工事 (φ 1.6 以上、100Ω 以下) としてください。

1. フロントパネルをはずす。

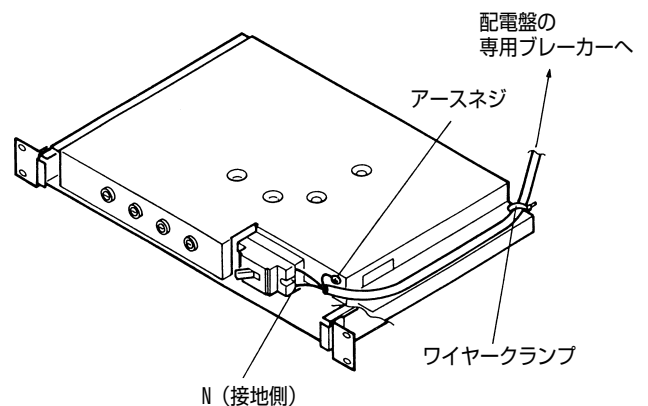
2. 内蔵のブレーカーに AC100V ケーブルを直接接続する。

- AC100V にも極性(片極接地)があります。極性はブレーカーの表示(N=接地)に合わせてください。
- アース線はアースネジに接続します。

ご注意

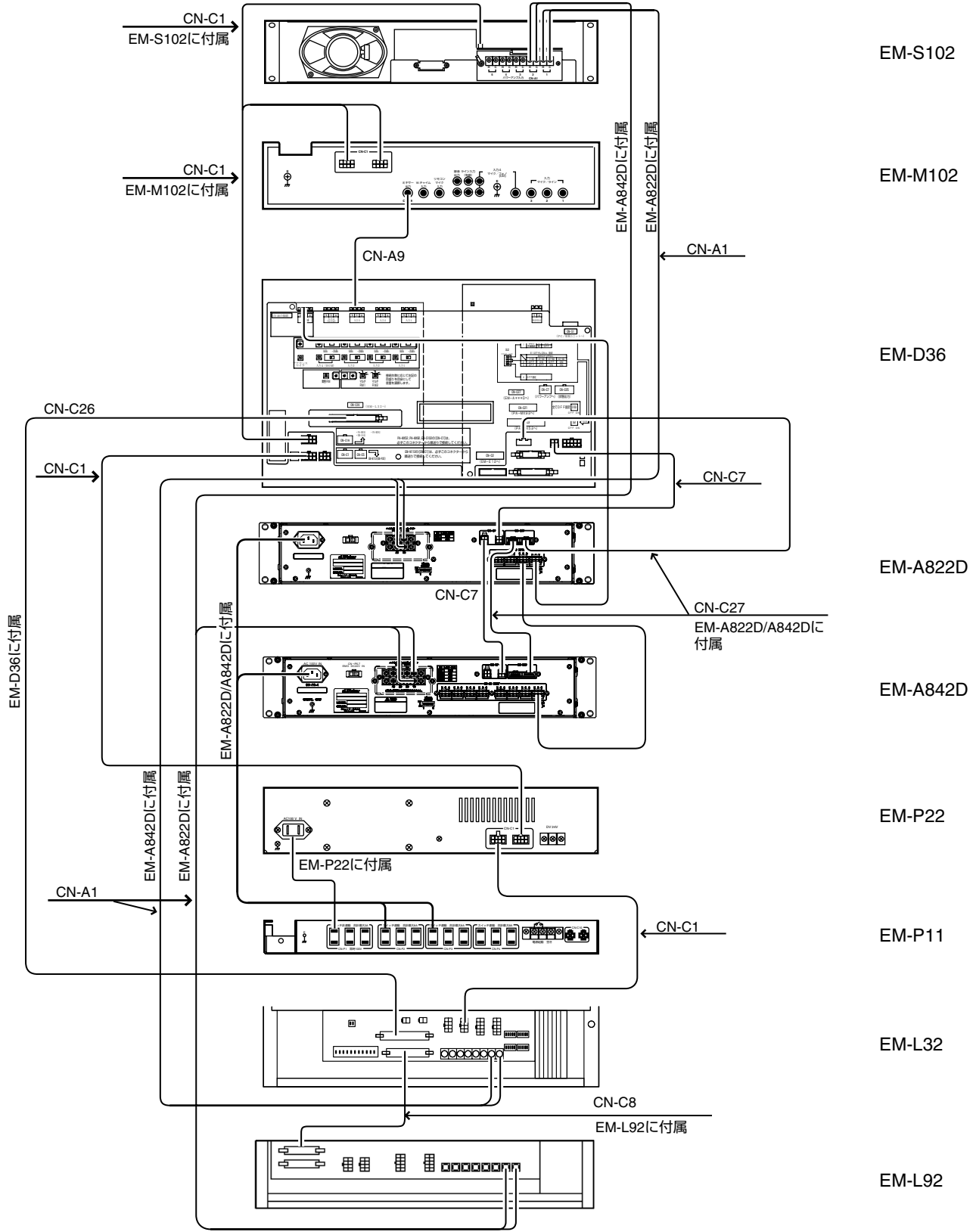
- ケーブルの接続部分に力が加わらないように、ワイヤークランプで固定してください。

3. 1. ではずしたフロントパネルを取り付ける。
接続、および接続確認が終わったら、ブレーカーは"OFF"のまま、フロントパネルを仮に取り付けてください。



5-11. 本体の総合接続図 (予備電源なし)

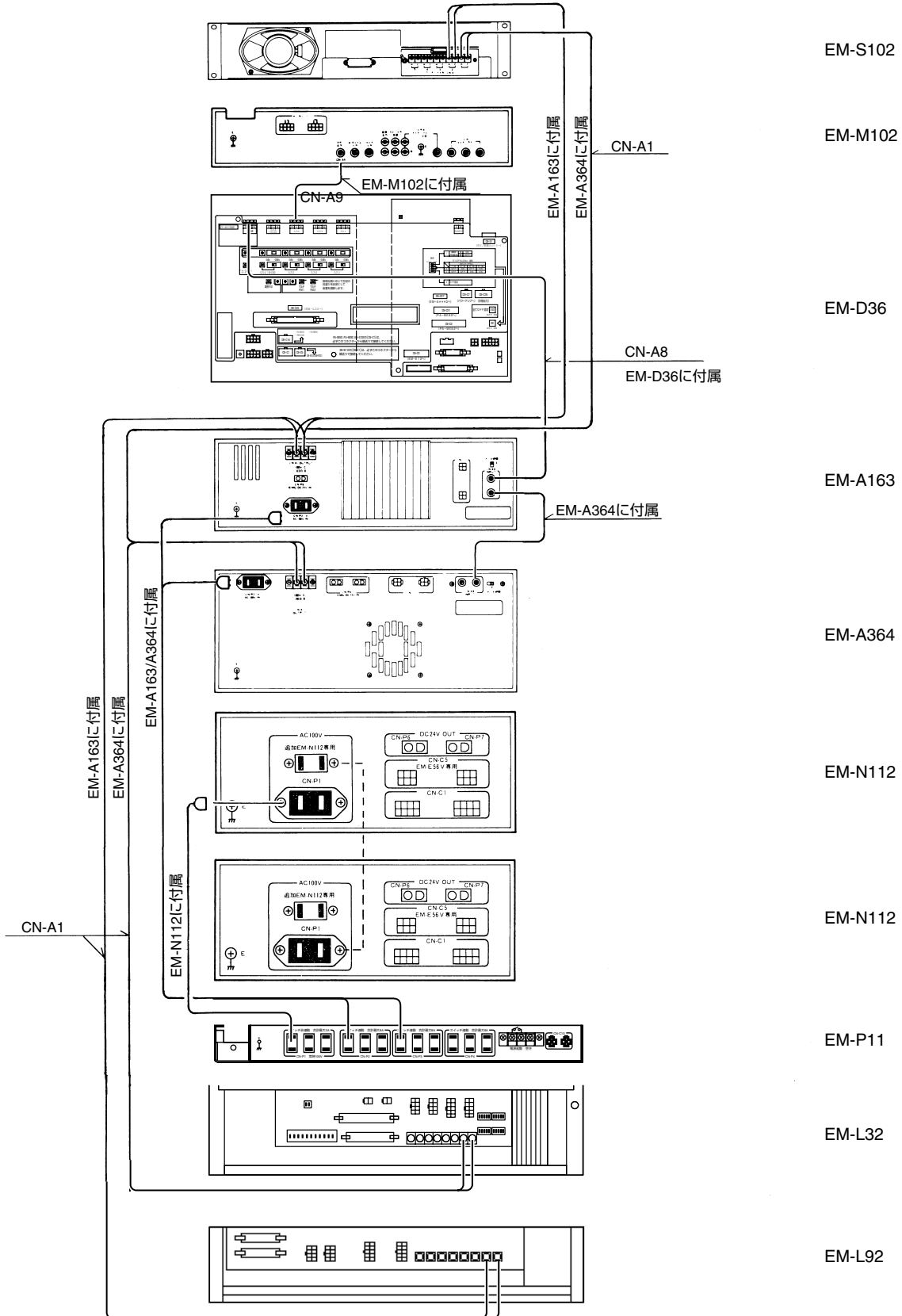
オーディオ信号、電源、制御信号接続例



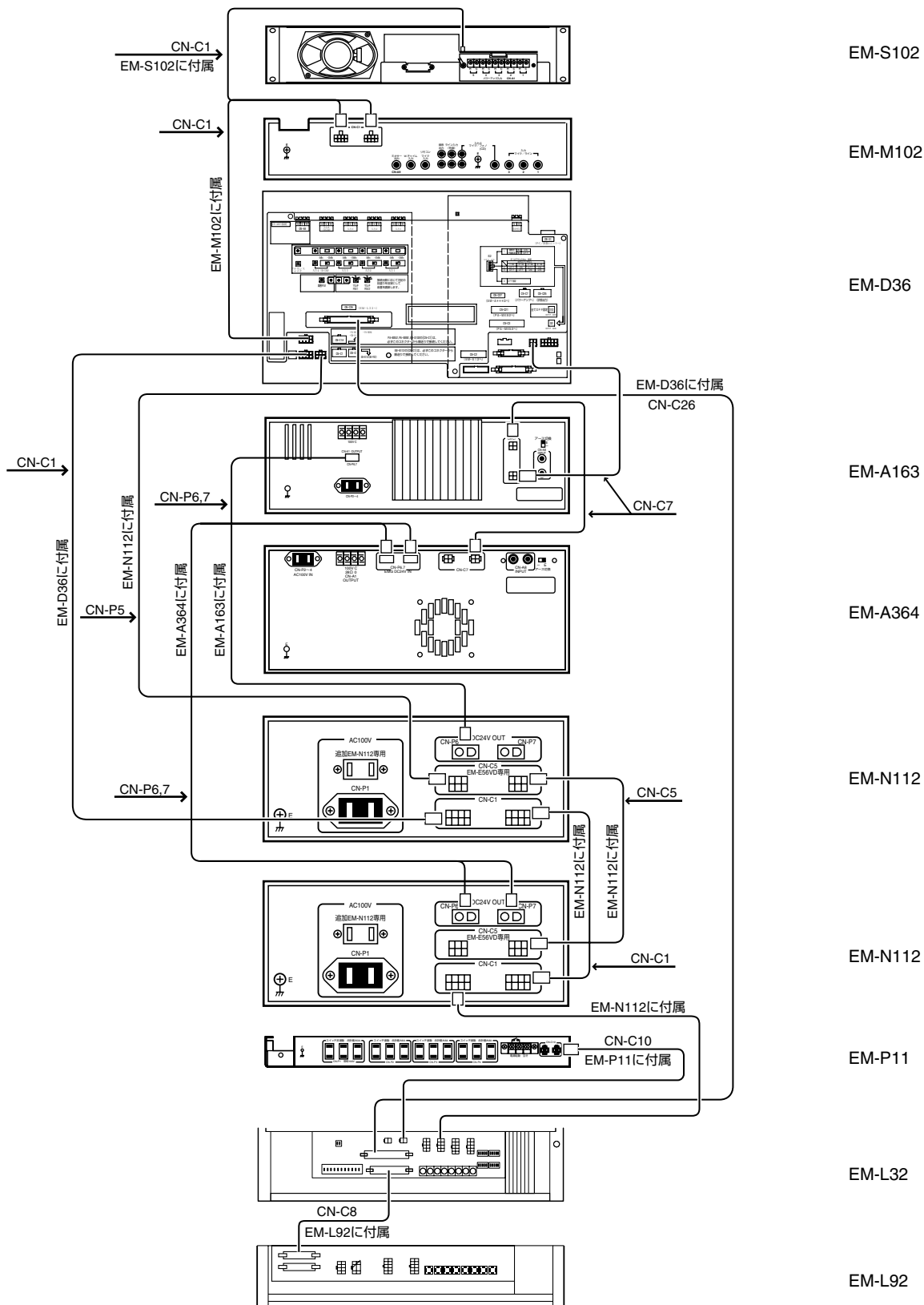
5. ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け

5-12. 本体の総合接続図
(予備電源あり)

オーディオ信号系と電源系接続例



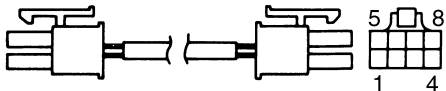
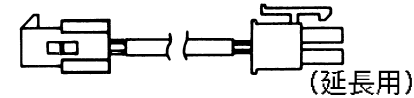
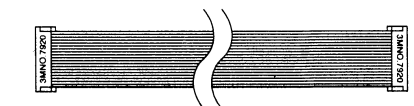
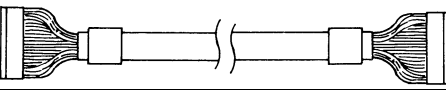
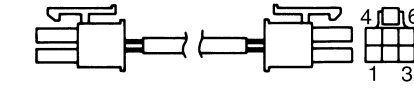
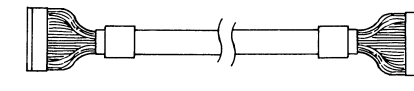
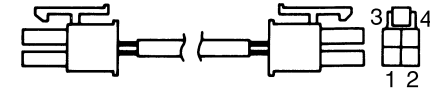
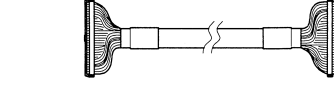
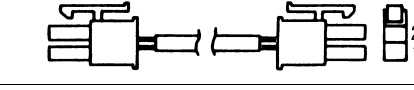
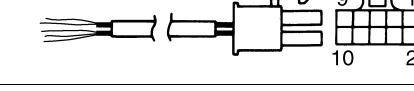
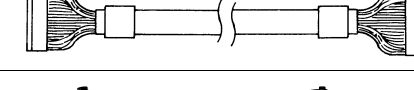
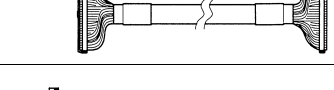
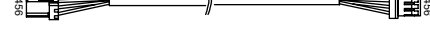
制御信号系接続例



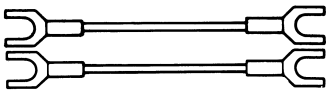
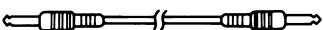
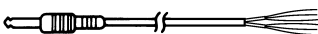
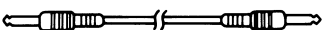
5. ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け

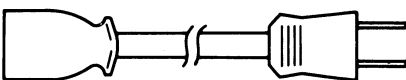
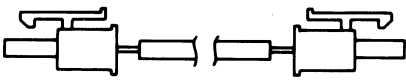
5-13. 接続コード一覧

付属コード

コネクタNO	形状	付属ユニット	数量	部品番号
CN-C1		EM-D36 EM-L32 EM-M102 EM-N112 EM-P22 EM-X33 PA-MX52 PA-MX92	1	QAM1523-002 (EM-D36 / L32) Molex 8P 1.5 m QAM1523-001 Molex 8P 1 m
CN-C1 延長用		EM-S102	1	QAM1525-001 Molex 8P(オスメス)
CN-C2		EM-E12	1	SS31001-20-20 フラットケーブル 20P 20 cm
CN-C3		PA-MX52	1	QAM0886-001 3M-20P 1 m
CN-C5		EM-N112	1	QAM1527-001 Molex 6P 2 m
CN-C26		EM-D36	1	QAM1036-001 3M-34P 2 m
CN-C7		EM-A083 EM-A163 EM-A243 EM-A363 EM-A244 EM-A364 EM-A842D EM-A822D	1	QAM1528-001 Molex 4P 3 m
CN-C8		EM-L92	1	QAM0606-002 3M-26P 1 m
CN-C10		EM-P11	1	WJJ0566-001A-E Molex 2P 1 m
CN-C11 CN-C12		EM-X33	1	QAM1526-001 Molex 10P 2 m
CN-C21		PA-MX92	1	3M-10P 1.5 m
CN-C22 CN-C23		PA-MX92	1	3M-30P 30 cm
CN-C27		EM-A842D EM-A822D	1	WJZ0335-001A-E ヒロセ -6P 3 m

制御系

コネクタ NO	形状	付属ユニット	数量	部品番号
オーディオ系 CN-A1		EM-A083 EM-A163 EM-A243 EM-A363 EM-A244 EM-A364	1 式 合計 4 本	WJV0154-001A-E(1.5 m) WJV0154-002A-E(1.5 m) WJV0154-003A-E(2 m) WJV0154-004A-E(2 m)
		EM-A842D	4 式 合計 16 本	
		EM-A822D	2 式 合計 8 本	
CN-A8		EM-A083 EM-A163 EM-A243 EM-A363 EM-A244 EM-A364 PA-MX52	1	QAM1319-002 複式フォンコード 2 m
		EM-D36	1	QAM1068-001 フォンバラ 1 m
CN-A9		EM-M102	1	QAM1319-002 複式フォンコード 2 m

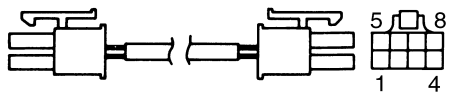
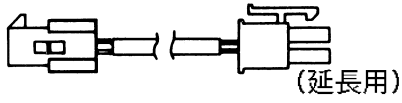
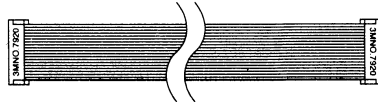
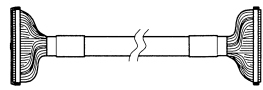
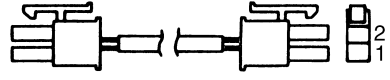
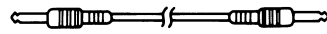
コネクタ NO	形状	付属ユニット	数量	部品番号
パワー系 CN-P1 CN-P2 CN-P3 CN-P4		EM-A083 EM-A163 EM-N112	1	QMPB900-200-K5 パワーコード 2 m
		EM-P22 EM-X33 PA-MX52 EM-A822D	1	QMPB900-200-K5 パワーコード 2 m
		EM-A842D	1	QMPB930-200-K5 パワーコード 2 m
		EM-A243 EM-A363 EM-A244 EM-A364	1	QMPB930-200-K5 パワーコード 2 m
CN-P6 CN-P7		EM-A083 EM-A163 EM-A244 EM-A364	1	WJJ0533-001A-E Molex 2P 2.5 m
		EM-A363 EM-A364	2	
		EM-A842D EM-A822D	1	

5. ラック内部の接続と組み込みユニットの取り付け

5-13. 接続コード一覧(つづき)


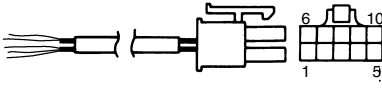
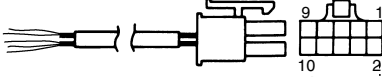
ケーブルセット EM-CN90

スピーカー回線数が81回線以上の場合、または2ラック構成以上になった場合にお買い求めください。

	コネクタ NO	形状	数量	仕様	使用ユニット
制御系	CN-C1		2	8P 1.5 m	EM-N112 EM-L32 EM-P22 EM-X33
	CN-C1 (延長用オスマス)		1	8P 2 m	PA-MX92 EM-D36 EM-L92 EM-M102 PA-MX52
	CN-C2		1	20P 1.1 m	EM-D36 EM-E12
	CN-C8		1	26P 1.5 m	EM-L92 EM-L32
オーディオ系	CN-C10		1	2P 2 m	EM-P11 EM-L32
	CN-A8		1	標準プラグ (モノラル) 2 m	EM-A083 EM-A163 EM-A244 EM-A364 EM-A363 EM-A243

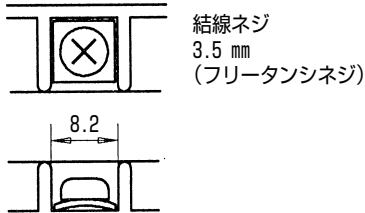
サービス窓口扱い接続コード

下記の接続コードは、ユニットには付属していませんので別途お買い求めください。

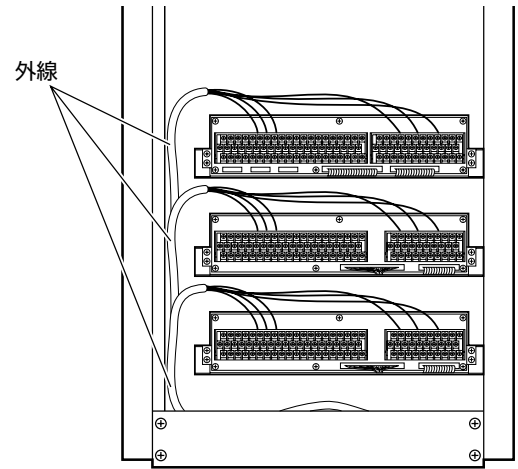
コネクタ NO	形状	使用機器	部品番号	備考
CN-C2 (1.1 m)		EM-D36 EM-E12	SS31001-20-B0 フラットケーブル 20P 1.1 m	CN-C2 のケーブル長の 合計は、3.5 m 以下で ご使用ください。
PA-MX52 外部起動用		PA-MX52	SS49807-00A Molex 10P 2 m	
CN-C25		EM-D36	SS48303-C11 Molex 10P 2 m	状態表示用

6-1. 外線の引き回しと接続部位

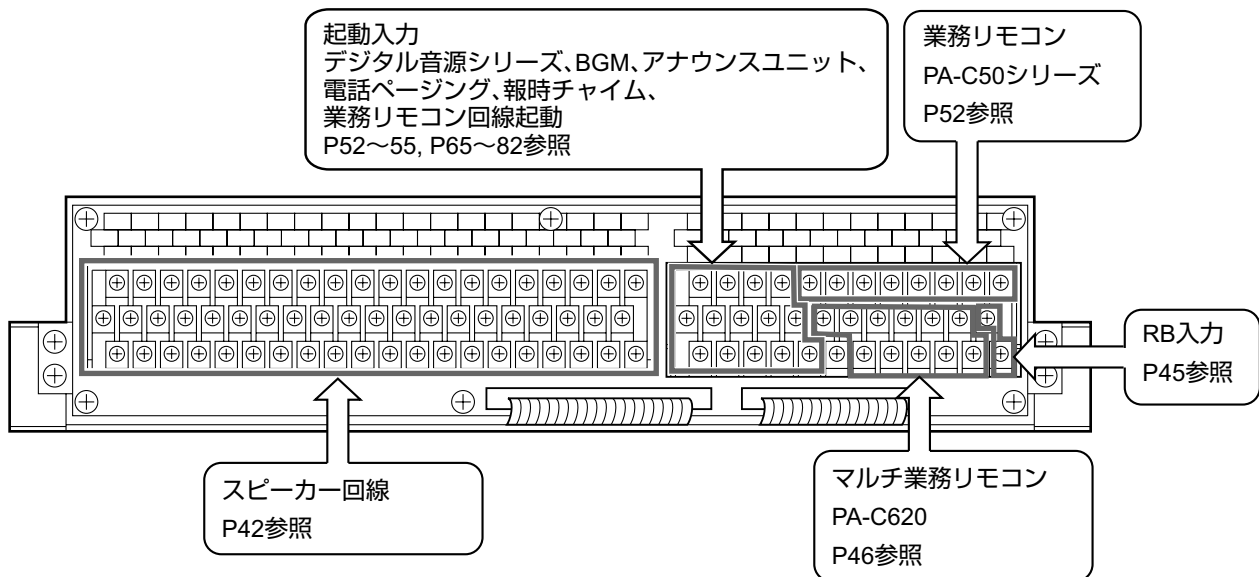
- 保守点検などメンテナンスの作業性を考慮した施工を行なってください。
- 接続には圧着ラグ端子をご使用ください。
1つの端子に2本以上接続する場合は、必ずラグ端子をご使用ください。



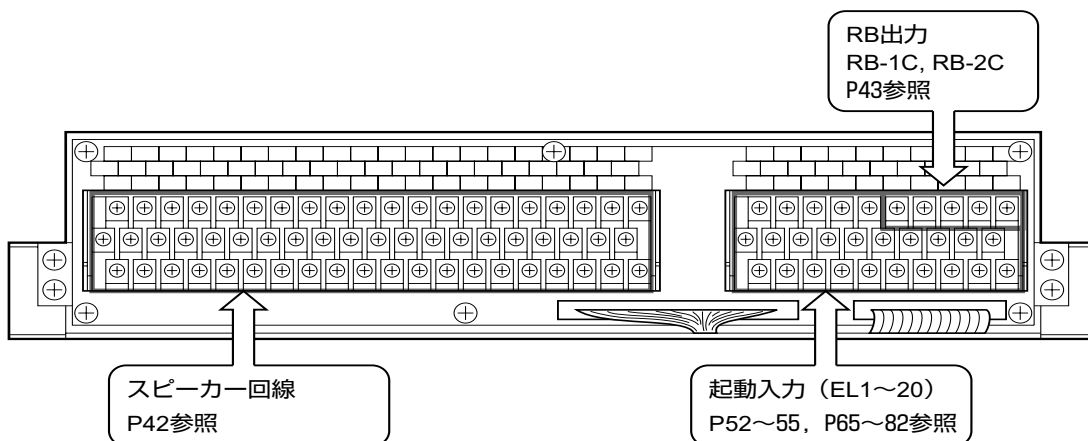
EM-L32, L92の端子台の寸法



主制御ユニット(EM-L32)



回線制御ユニット(EM-L92)

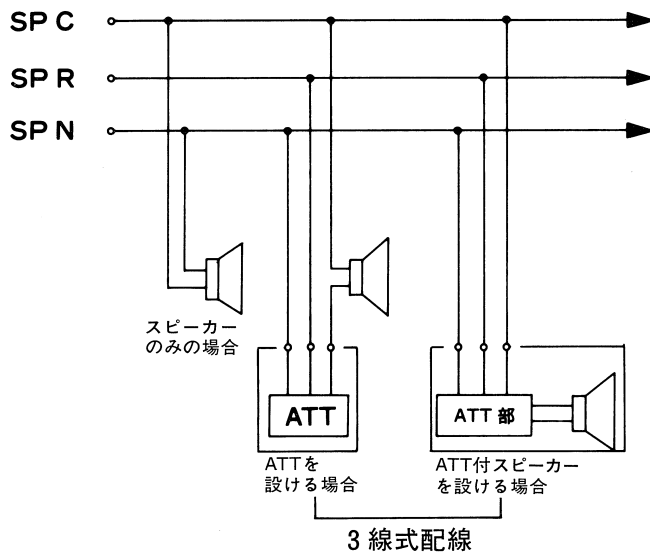
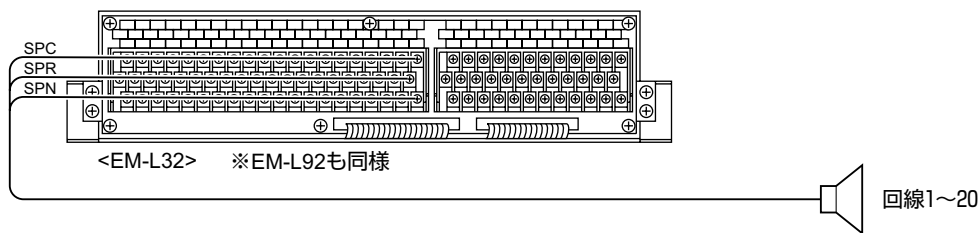


6. 外線の接続

6-2. スピーカー回線の接続

- 自動短絡検出回路を保有していますので、スピーカー回線ごとにスピーカー負荷合計を確認してください。
- 1 回線あたりの、スピーカー負荷の最大は 200W です。
- スピーカー回線短絡検出感度は、80W/200W の 2 種類があり、工場出荷時は 80W に設定されています。
1 回線あたりのスピーカー負荷が 80W を越える場合は、該当する回線の「短絡検出感度切換スイッチ」を ON(200W 側) にしてください。(☞ 61、62 ページ)
- 使用するスピーカーは、ハイインピーダンスライン用スピーカーを使用してください。
- スピーカー線と、他の信号線(マイク、リモートコントロール線など)を同一配管内に通線しないでください。
発振の原因となり、パワーアンプなどが故障する場合があります。

接続方法



警告

- 音声出力時にスピーカー端子に触れると、感電の原因となります。スピーカーの接続は必ず電源を切ってから行ってください。



ご注意

- スピーカー負荷が 80W を越える場合は、該当する回線の「短絡検出感度切換スイッチ」を ON (200W 側) にしてください。(☞ 61、62 ページ)

6-3. 緊急優先放送時制御信号 (RB 出力)の接続

電源遮断ユニット(RB-1C)/ スピーカー制御ユニット(RB-2C)の接続、緊急優先放送時リレー端子について

※以下の機能を使用するには EM-L92 が必要です。

■ 緊急優先放送時制御信号”RB 出力”とは

- 通常時 DC24V の電圧と、最大 300 mA の電流を供給します。
- 緊急優先放送時には、無電圧となり電力供給が無くなります。メーク接点信号ではありませんので、ご注意ください。

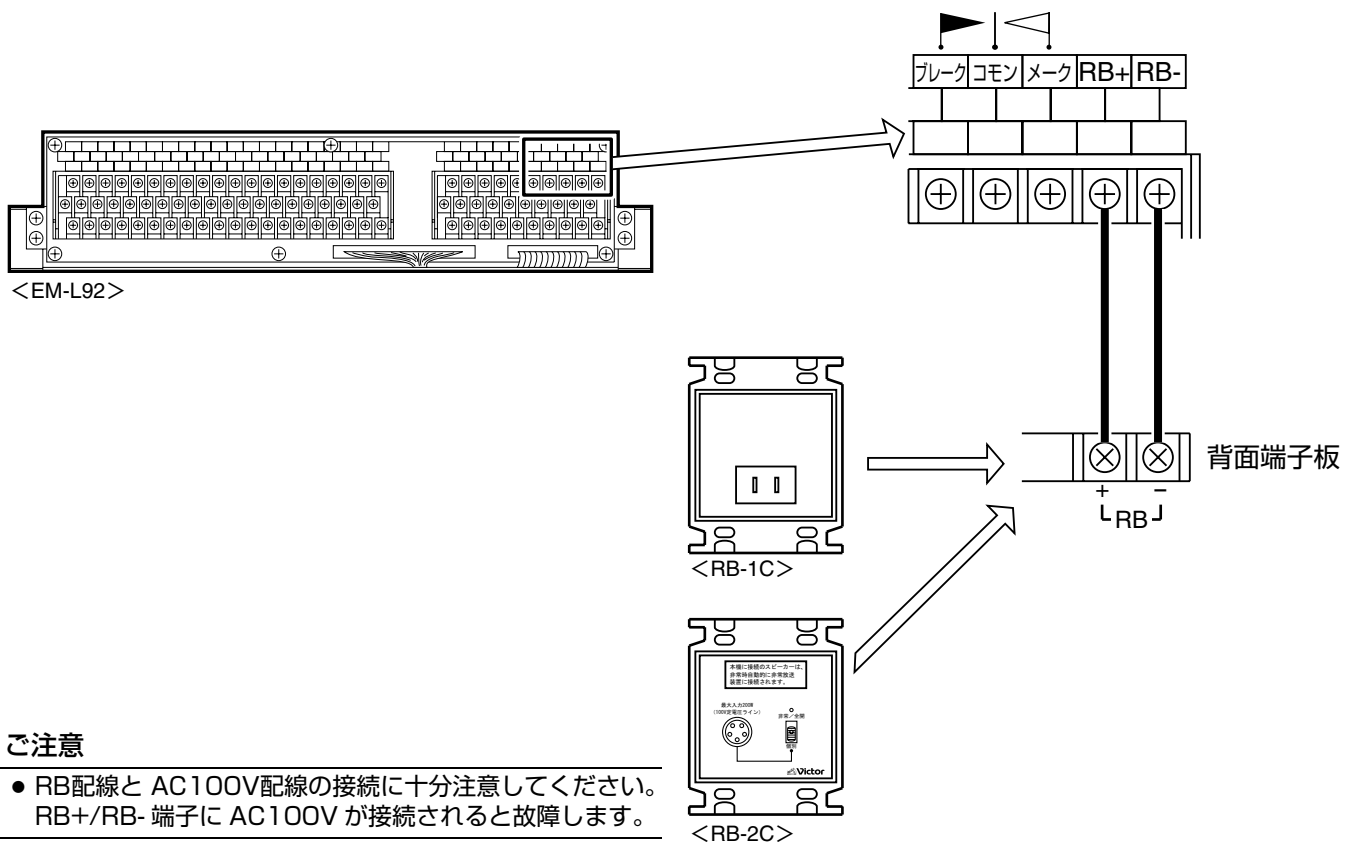
【RB-1C、RB-2C の消費電流】

RB-1C = 2 mA

RB-2C = 2 mA

■ 緊急優先放送時リレー端子とは

- 緊急優先放送時にコモンとメークがショートします。
- 通常時にはコモンとブレークがショートします。各種制御にご利用ください。
- DC 30V 1A 以下で使用します。



ご注意

- RB配線と AC100V配線の接続に十分注意してください。RB+/RB- 端子に AC100V が接続されると故障します。

6-4. 非常用放送設備との接続

スピーカー切換器(PA-X13)を使用した接続

- スピーカー切換器(PA-X13)を使用して、通常EM-D300システムで使用しているスピーカー回線を、非常放送時に自動的に非常用放送設備へ接続します。
- 非常放送側のスピーカー線は2線式のため、非常放送側からの放送は各スピーカーのアッテネーターが常に無効になります。
- 非常放送が最優先ですが、「制御」を接続した場合、非常用放送設備からの通常放送とEM-D300システムからの放送では、非常用放送設備からの通常放送が優先されます。「制御」を接続しない場合、通常放送機側の電源が切れないため、非常用放送設備からの通常放送は使用できません。

【EM-D300システム + PA-X13 + 非常用放送設備の優先順位】

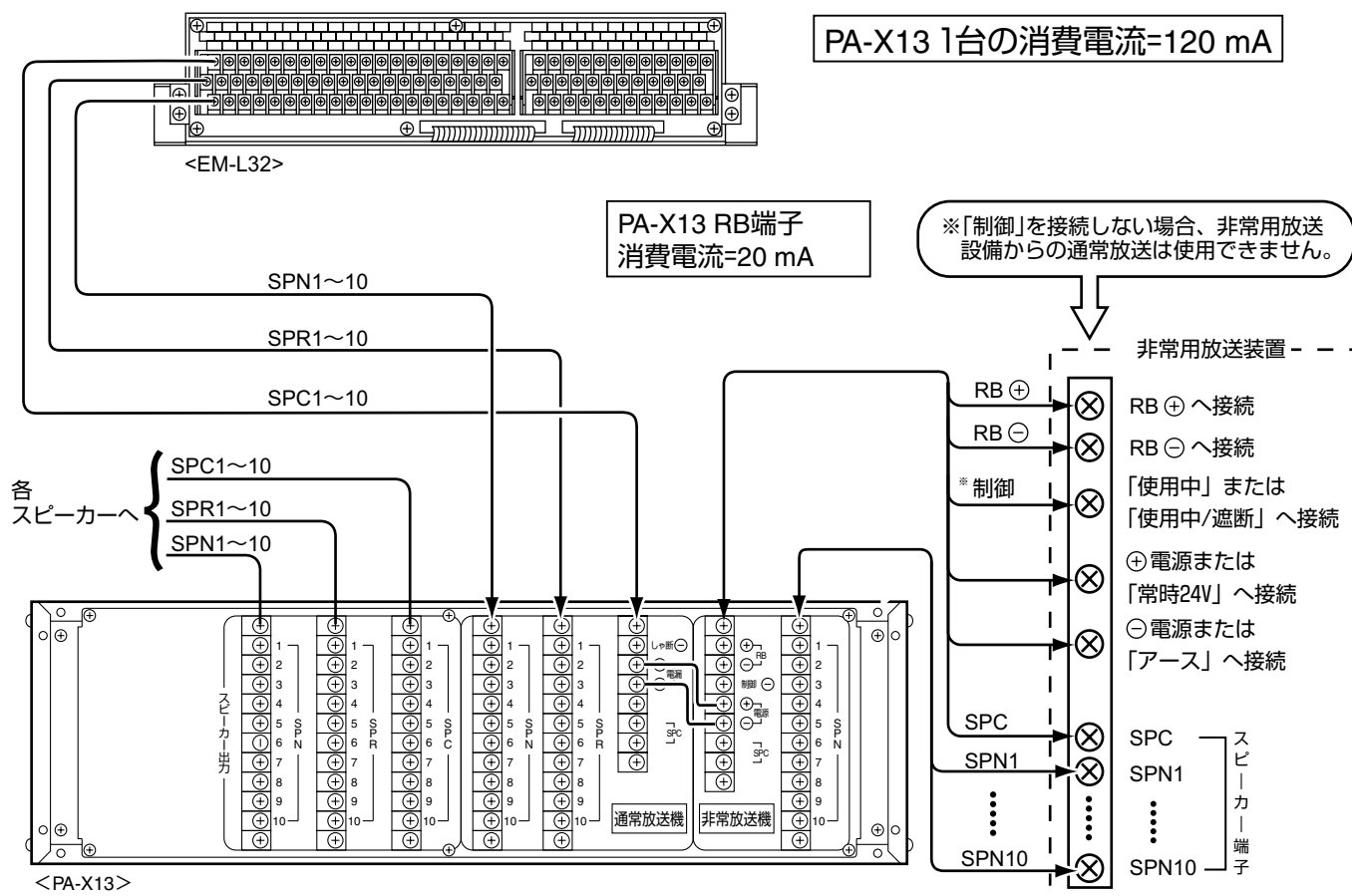
「制御」接続あり：①非常放送 ②非常用放送設備からの通常放送 ③EM-D300システムからの放送

「制御」接続なし：①非常放送 ②EM-D300システムからの放送

- 電源 +、-は、非常放送側、通常放送側の両方とも非常用放送設備の常時24Vが出力される端子から供給します。

メモ

- EM-D300システム側の制御用電源に、EM-L32の業務リモコン用電源(RM+24V端子)を使用しても通常状態では問題ありませんが、コンピューターにトラブルが発生して、コンピュータースイッチを”切”にて運用するときに、この端子は電源断となるため、EM-D300システム側に切り換わりません。



SPC線について

- PA-X13がEM-D300システム側に設置される場合には、非常用放送装置からのSPC線は必ず回線数分接続してください。
- 非常用放送装置側に接地する場合でも、EM-D300システムとの距離が長くなるときには、EM-D300システムからのSPC線は回線数分接続してください。

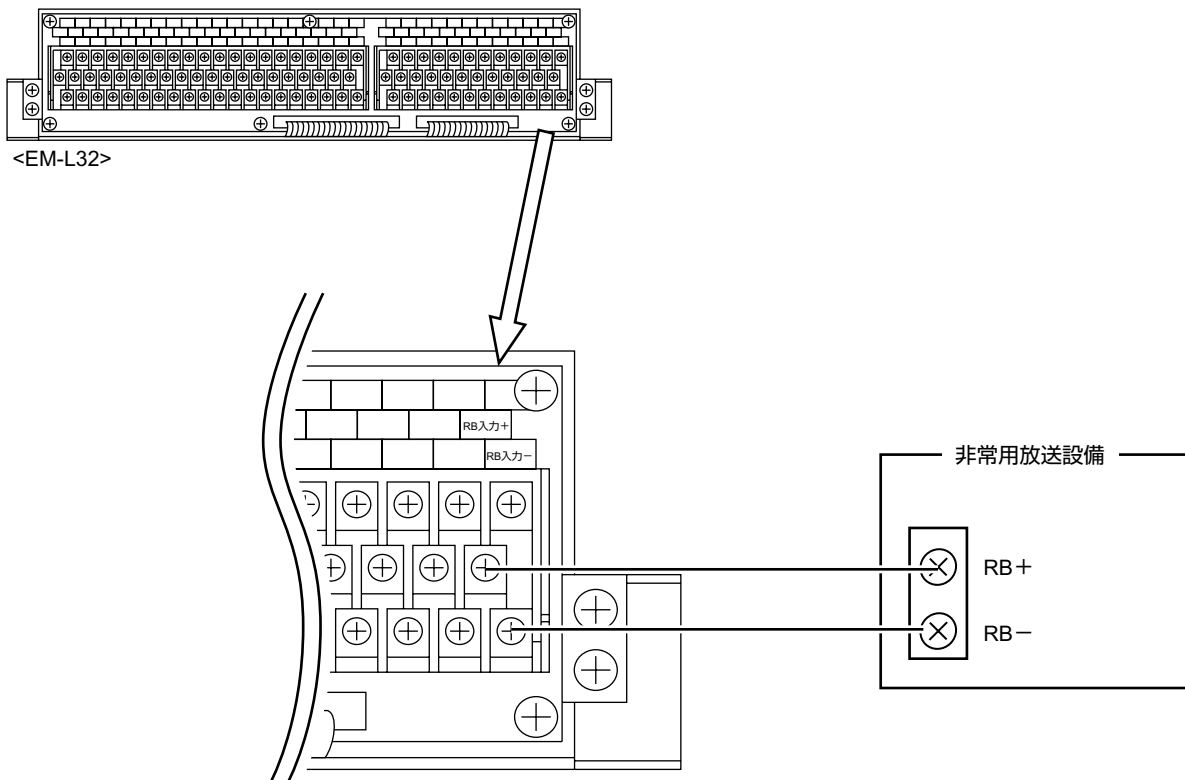
非常放送時の音声遮断機能

- 非常放送時に本システム (EM-D300 シリーズ) の音声遮断機能を使用する場合、主制御ユニット (EM-L32) の RB 入力端子を非常用放送設備に接続します。
- RB 入力端子に DC24V が供給されていると、本システムから放送が可能です。非常放送時に無電圧になると、本システムからの放送を遮断します。

ご注意

- 非常用放送設備と RB 入力端子を接続する場合、RB 入力端子を "有効" にするために、EM-L32 の S1 の # 1 を "ON" にしてください。(※ 61 ページ)

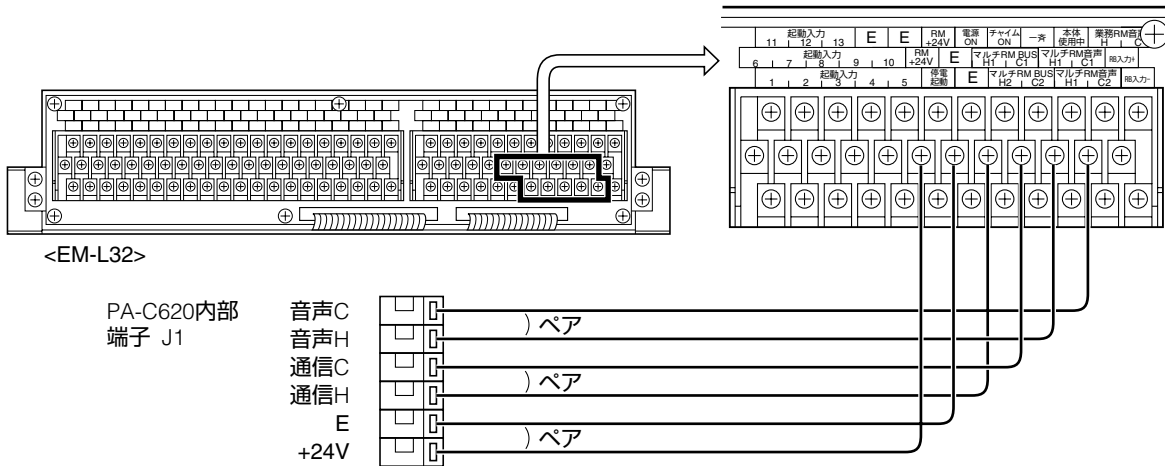
6



6-5. マルチ業務リモコン (PA-C620) の設置

マルチ業務リモコン (PA-C620) の接続

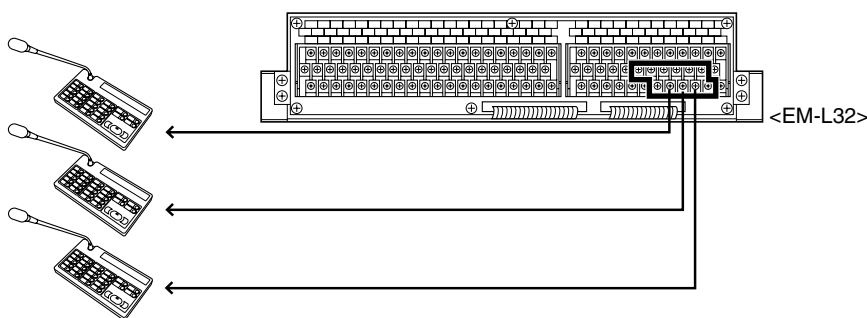
- PA-C620 を最大 8 台まで接続できます。
- PA-C620を複数台数使用するときは、主制御ユニット(EM-L32)の端子から各PA-C620へ直接接続してください。(スター配線)
- 対撚りケーブルの各ペア線を、RM+ 24V/E、マルチ RM BUS H/C、マルチ RM 音声 H/C に使用してください。
- 使用ケーブルの1線あたりの線路抵抗は、5Ω以下としてください。または、+24V、Eのみ5Ω以下とし、通信と音声は10Ω以下としてください。
- 多元放送時は、PA-C620 の音声 H、音声 C をマトリックスユニット (PA-MX52/MX92) に接続します。



■ 対撚り 3P ケーブル使用時の最大配線距離 (5 Ω)

ケーブル径	距離
0.65 mm	90 m
0.9 mm	170 m
1.2 mm	300 m

■ EM-L32 から「スター接続」する



ご注意

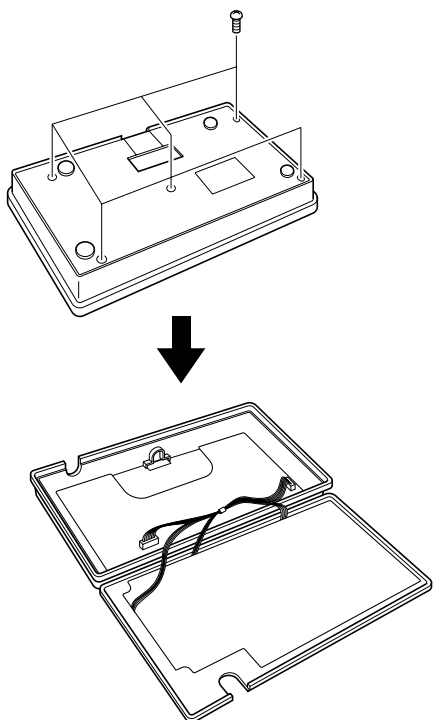
- PA-C620 と接続する EM-L32 の端子は電源 (RM+ 24V、E) と通信 (マルチ RM BUS H、C)、音声 (マルチ RM 音声 H、C) が 2 系統あります。電源と通信、および音声の各系統への最大接続数は 4 台までです。PA-C620 を複数接続するときはバランス良く分散接続してください。
- ” RM+24V ” 端子から供給できる電流は 2000 mA です。

<各ユニットの消費電流>

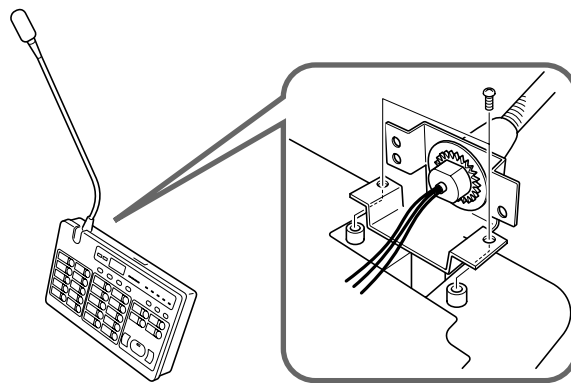
- PA-C620 : 220 mA
- PA-C50 : 55 mA

フロントカバーをはずす

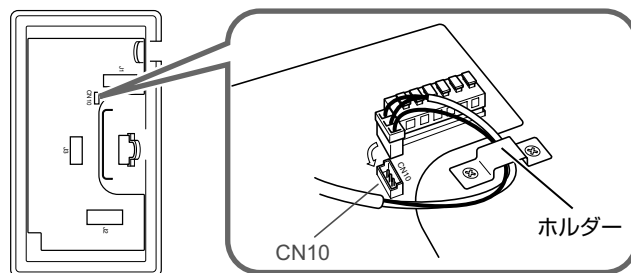
- PA-C620 を裏返し、下図部のネジ 5 本をはずします。



■ 壁面に設置する場合



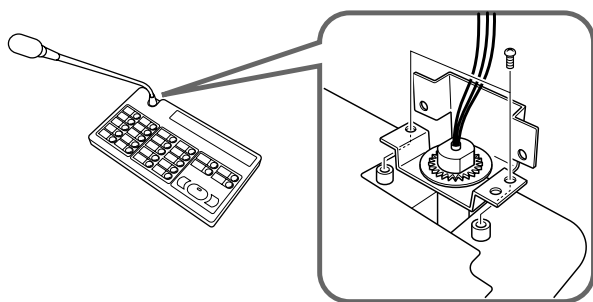
フレキシブルマイクからのケーブルをホルダーに通し、CN-10 に接続します。



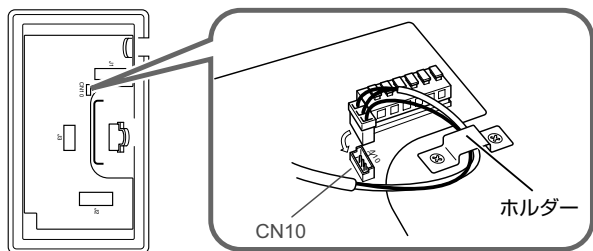
フレキシブルマイクを取り付ける

- フレキシブルマイクは設置状態により、2 方向に取り付けることができます。
- 設置状態にあわせて取り付けてください。

■ 机上に設置する場合



フレキシブルマイクからのケーブルをホルダーに通し、CN-10 に接続します。



ご注意

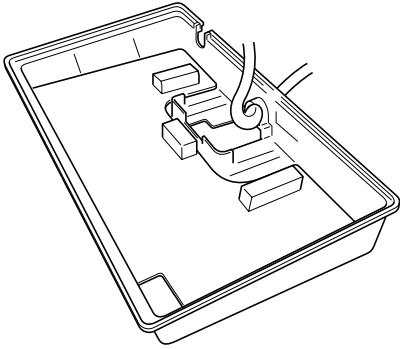
- フレキシブルマイクを PA-C620 に取り付ける場合、取り付けネジの締めすぎによりネジ山を壊さないようご注意ください。
- フレキシブルマイクの金具は、パネルに押し付けてすまができませんように取り付けてください。
- フロントカバーを取り付ける際に、マイクのケーブルをカバーにはさみ込まないようご注意ください。
- 壁面に設置する場合は、設置状況に応じて、フレキシブルマイク（アーム短）PA-ZC620MJ（あっせん品）をご使用ください。

6-5. マルチ業務リモコン (PA-C620) の設置 (つづき)

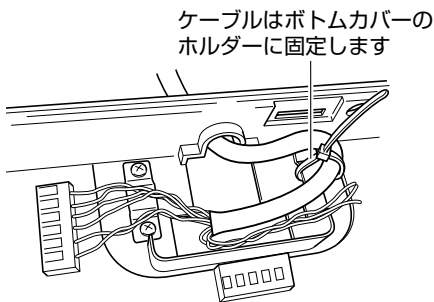
ケーブルの引き込みかた

■ 机の上に設置する場合

1. 通線穴からケーブルを引き込み結線します。

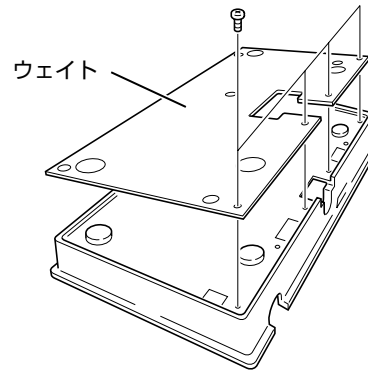


2. ケーブルをボトムカバーのホルダーに固定します。

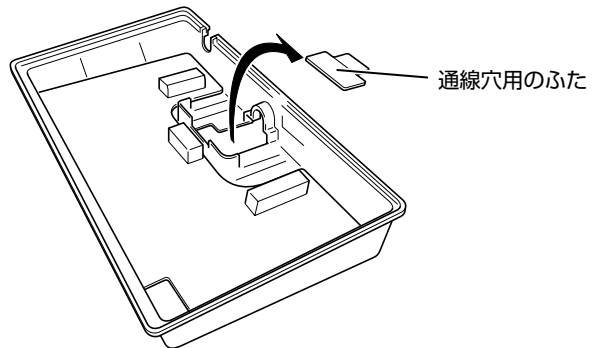


■ 壁面に設置する場合

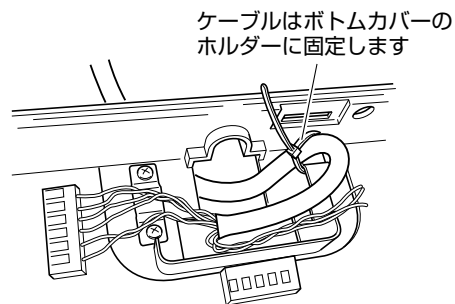
1. 底面のウェイトをはずします。



2. ボトムカバーの通線穴用のふたをはずします。



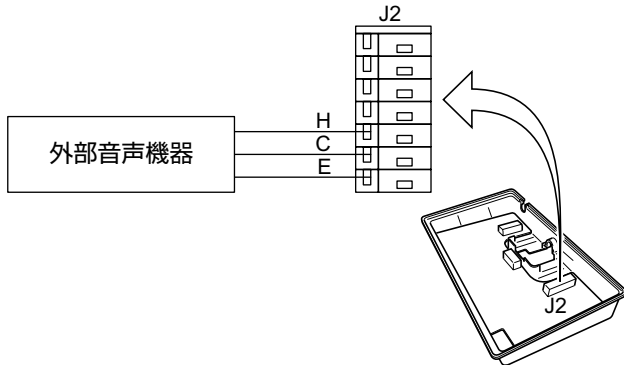
3. 2. ではずした通線穴からケーブルを引き込み、結線します。ケーブルをボトムカバーのホルダーに固定します。



マルチ業務リモコン(PA-C620) その他の端子について

■ 外部音声入力

CD プレーヤーなどの機器を接続して、放送を行う場合は AUDIO PWB ASS' Y 上の J2(外部入力音声端子)に接続します。(− 20dBs、電子平衡)

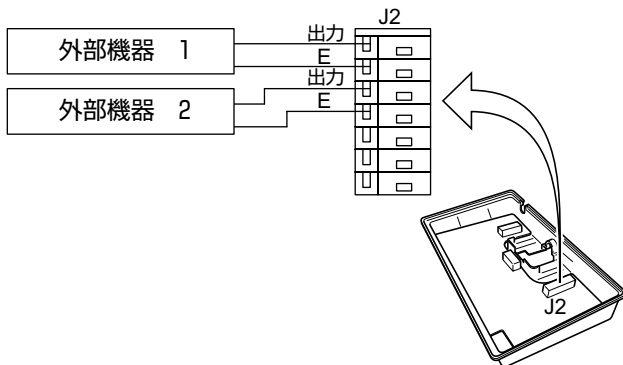


■ 制御出力

制御 1、制御 2 スイッチを押したときに AUDIOPWB ASS' Y 上の J2(制御出力端子)を使って、接続機器の入/切などを行うことができます。

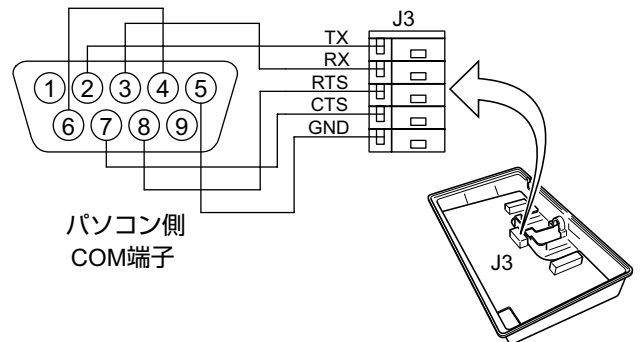
外部制御出力は DC24V、100mA の負論理オープンコレクタ出力です。

PA-C620 リアパネルのモード設定スイッチにより、接続機器に適した制御スイッチの動作を切り換えます。



■ パソコンとの接続 (PC 接続端子)

AUDIO PWB ASS' Y 上の J3(PC 接続端子)を使って、システムアップを行うことができます。
システムアップについては営業窓口にご相談ください。
パソコンとの接続は下図のように行います。



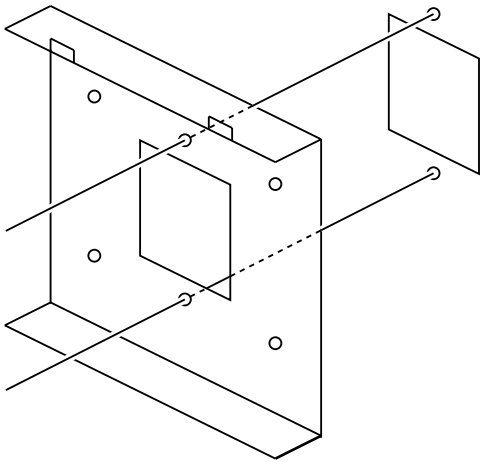
インターフェース:RS-232C 準拠のインターフェース

6-5. マルチ業務リモコン (PA-C620)の設置 (つづき)

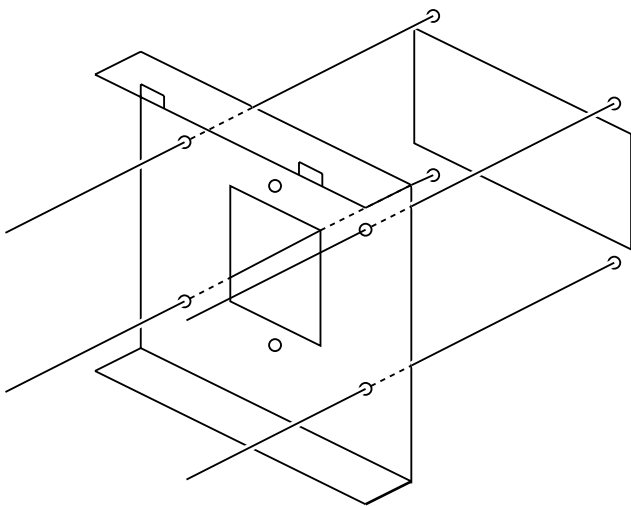
PA-C620 壁掛け用金具 PA-ZC620KJ(あっせん品)設置説明

PA-C620 を壁面に取り付けるためには専用の金具 PA-ZC620KJ(あっせん品)が必要です。正しく設置願います。(寸法は (P. 51 ページ) をご覧ください)

■ 金具の取り付け



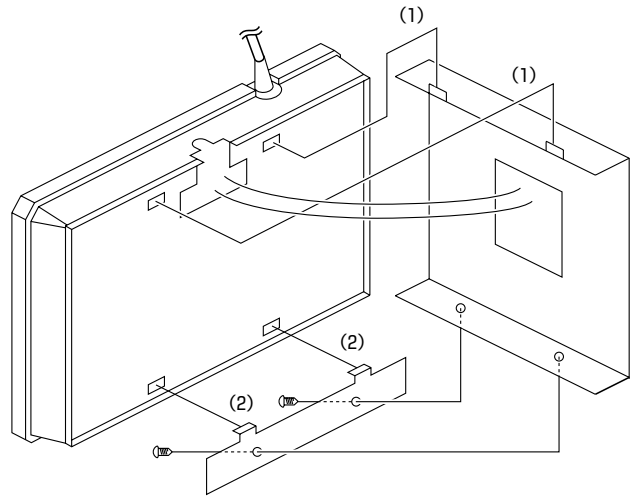
< 1 個口用ボックスへの取り付け >



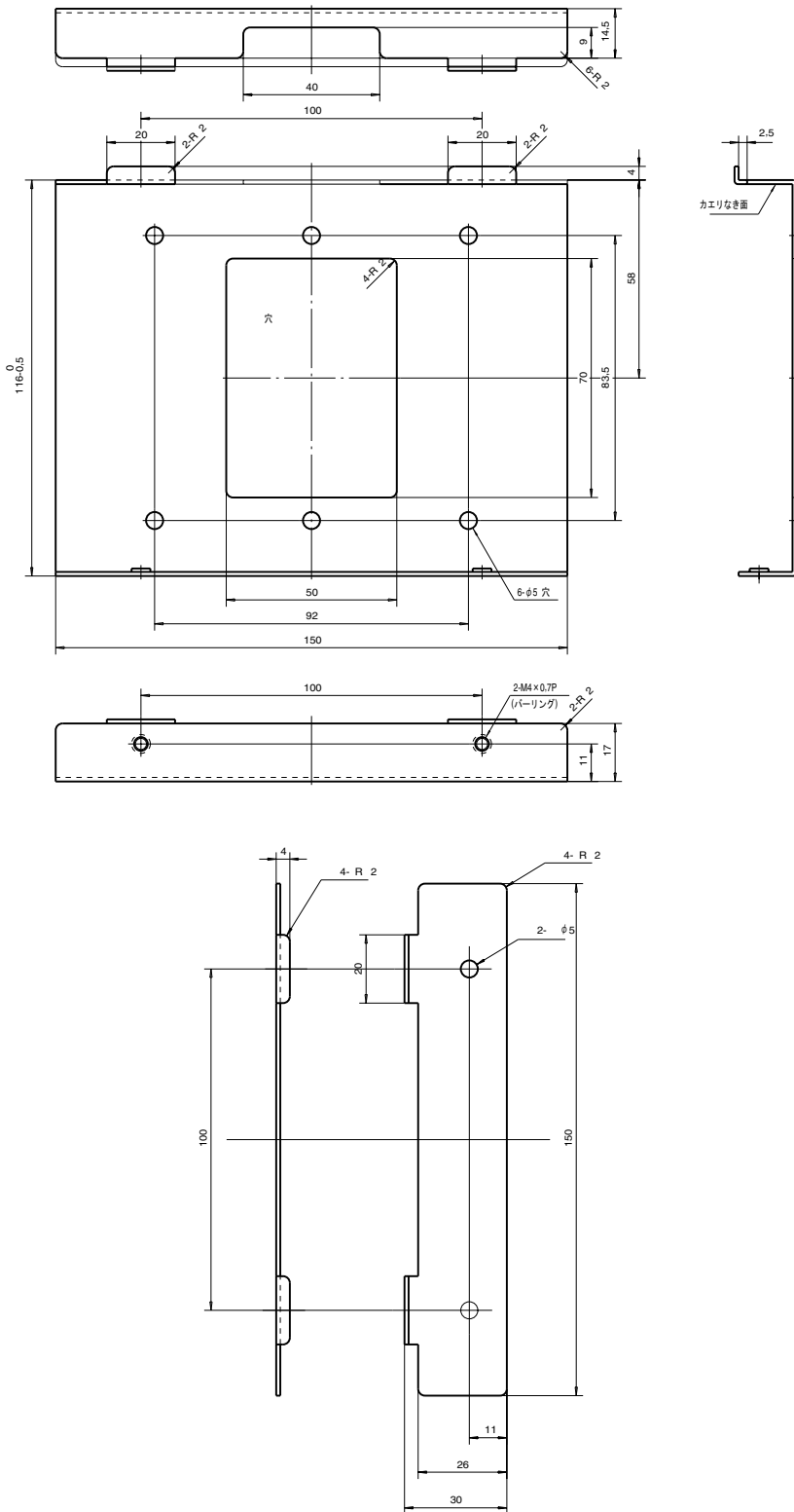
< 3 個口用ボックスへの取り付け >

■ PA-C620 の取り付け

1. 金具のツメ部分を PA-C620 の上側の穴に引っかける。
2. 下側の穴に金具を引っかけて付属のネジで固定する。



PA-C620 壁掛け用金具 PA-ZC620KJ(あっせん品)寸法

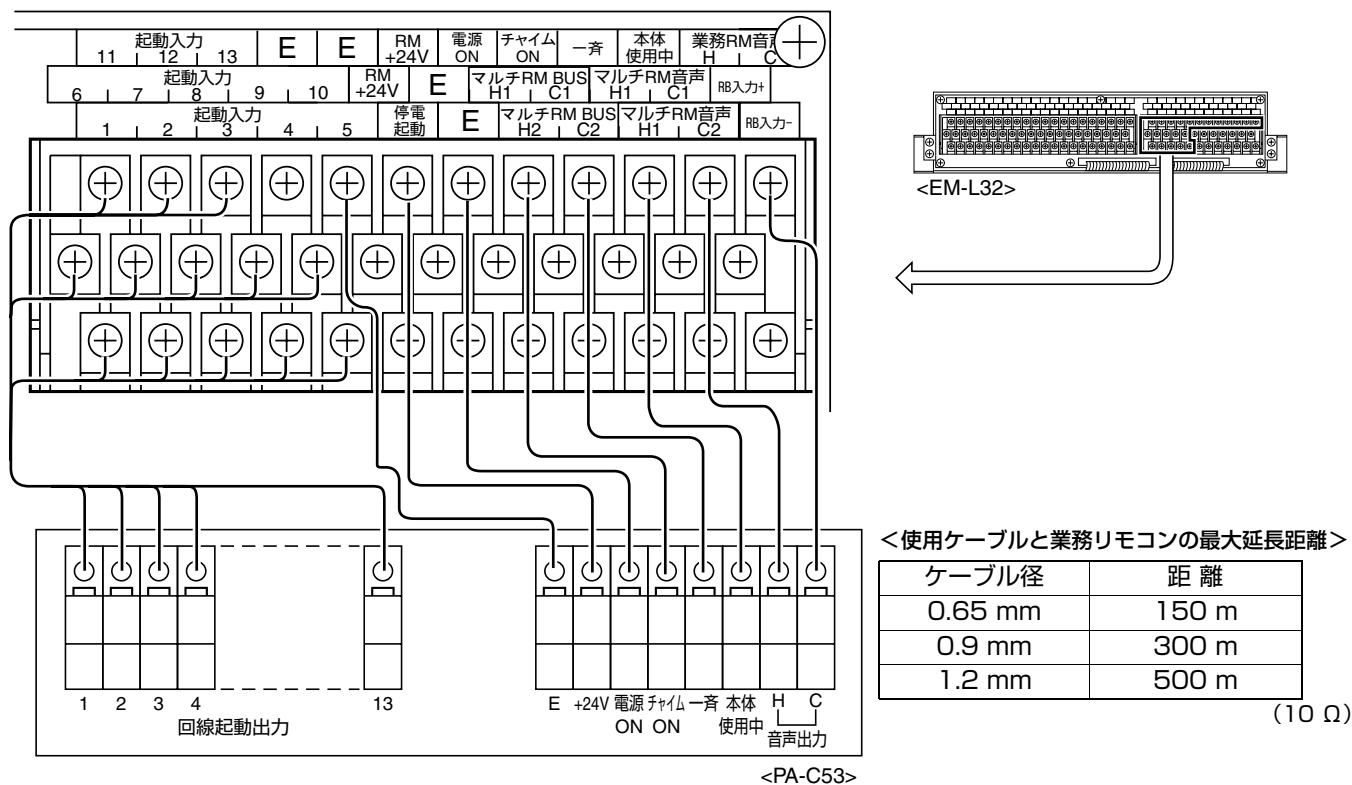


6-6. 業務リモコン(PA-C50 シリーズ)の設置

業務リモコンの接続

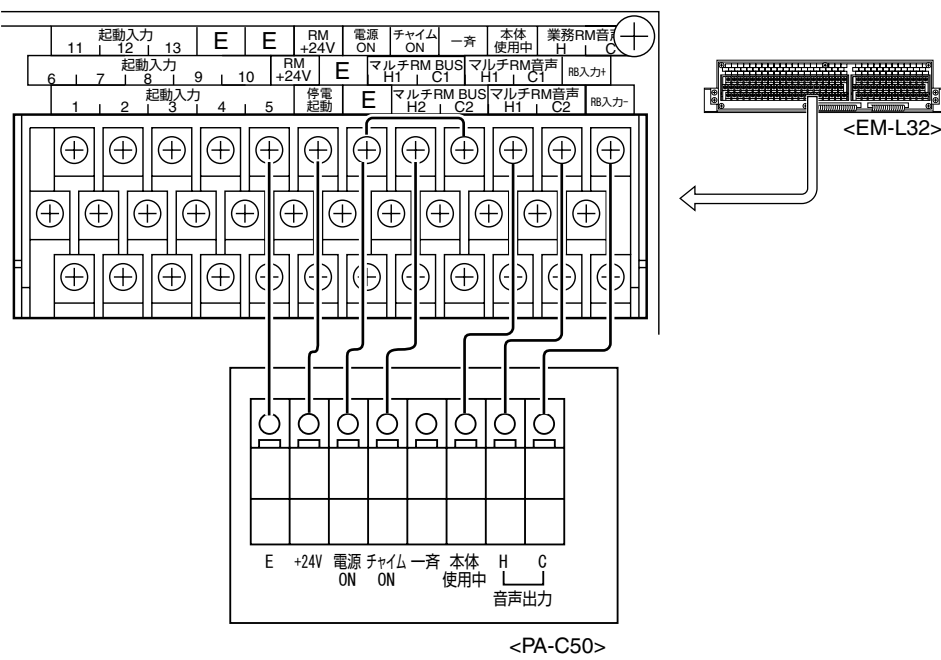
- 業務リモコンのスピーカー回線選択数と機種は次のとおりです。
 - PA-C50 : 全回線一斉
 - PA-C51 : 5 回線
 - PA-C52 : 10 回線
 - PA-C53 : 20 回線 (14 回線以上使用する場合は、回線制御ユニット(EM-L92)が必要です。)
- 業務リモコンの回線選択は、起動入力信号として接続します。
 起動入力は、システム設定で入力ごとにスピーカー回線を任意に複数回線で設定できます。
- 業務リモコンは最大 4 台まで接続できます。(単元放送システムの場合)
 - ※ 複数台数使用するときは、音声信号入力を並列接続します。
 並列接続した業務リモコンが「ON」のときには音声信号レベルが低下しますので、動作試験・調整時にレベル調整を行なってください。
- 接続線は、CPEV0.65 ケーブル等を使用しますが、1 線あたりの線路抵抗は 10Ω 以下としてください。
- 多元放送時は、音声信号入力をマトリックスユニット(PA-MX52/MX92)に接続します。

■ 回線別業務リモコンの接続例



- ※ 接続例は、起動入力 1～13 を使用しています。
- ※ 14 回線以上選択する場合は、”回線起動出力 14～20” を回線制御ユニット (EM-L92) の EL 端子へ接続します。

■ 一斉式業務リモコンの接続例



ご注意

- "RM+24V" 端子から供給できる電流は 2000 mA です。

<各ユニットの消費電流>

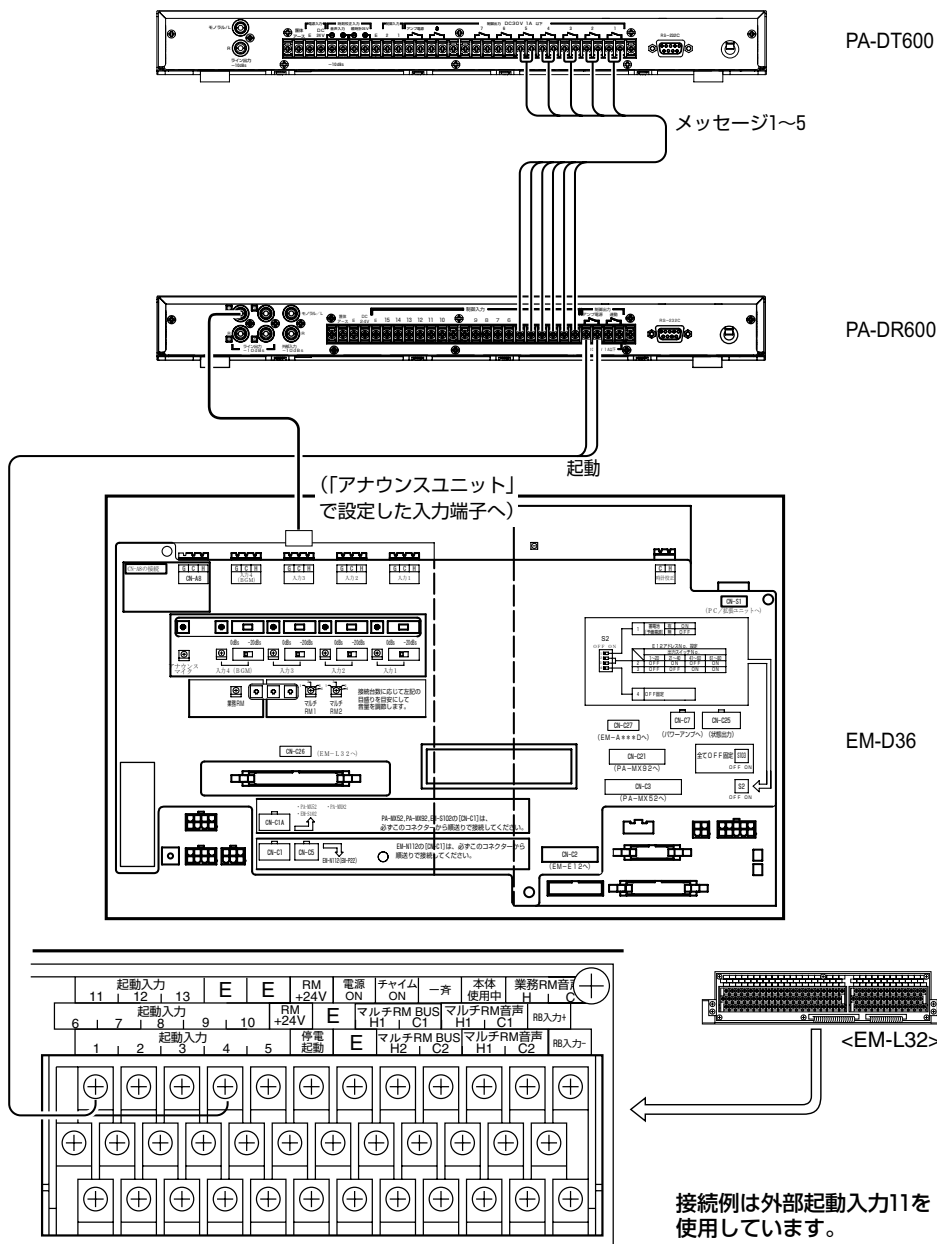
PA-C620 : 220 mA

PA-C50 : 55 mA

6-7. アナウンスユニットの設置

プログラムタイマー起動のデジタルボイスファイル(PA-DR600)の接続

- デジタルボイスファイル(PA-DR600)に録音された5種類のメッセージを、プログラムタイマーで異なる時間に放送するシステム例です。
- デジタルプログラムチャイム(PA-DT600)のタイマー起動信号でデジタルボイスファイル(PA-DR600)のファイル番号を指定起動します。PA-DR600のアンプ電源信号を、主制御ユニット(EM-L32)の外部起動へ接続して、本放送システムを起動させます。
- 起動入力の設定で放送機器(放送グループ)として「アナウンスユニット」を指定し、放送したいスピーカー回線No.を設定します。
詳しくは「起動入力の設定」(p.164 ページ)をご覧ください。
- 多元放送時は、アナウンスユニットのオーディオ線を、マトリクスユニット(PA-MX52/MX92)に接続します。
- 本システムは起動信号を受信してから、システムが完全動作するまでに約2秒かかりますので、PA-DR600の再生ウェイト時間を3秒以上に設定してください。

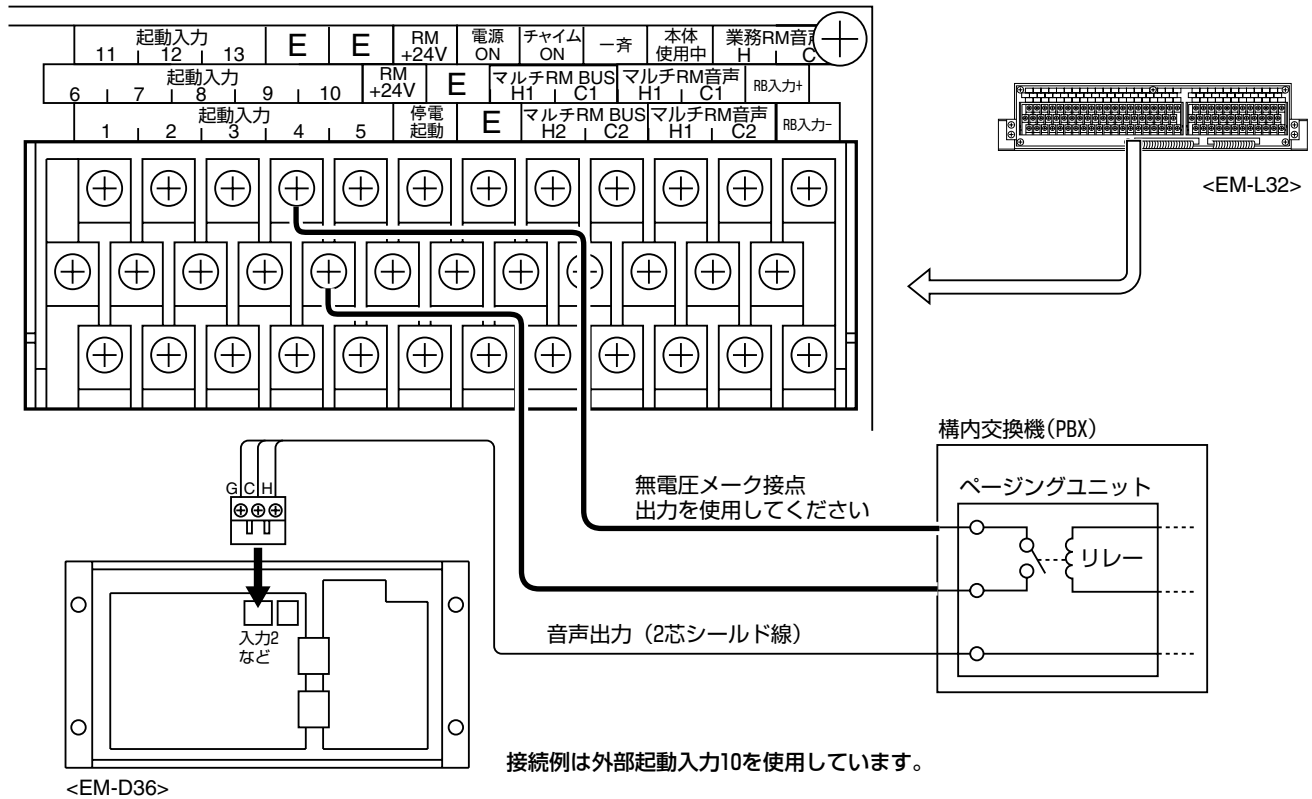


6-8. 電話ページング機器の設置

電話ページング機器の接続

- 構内電話からページングトランク(ページング指定内線番号)経由で本システムを起動します。
- 起動信号は起動入力へ接続します。
- 起動入力設定で、放送機器(放送グループ)として「ページング」を指定し、放送したいスピーカー回線 No. を設定します。詳しくは「起動入力の設定」(P. 164 ページ)をご覧ください。
- 多元放送時は、ページングトランクのオーディオ線を、マトリックスユニット (PA-MX52/MX92) に接続します。

6



6. 外線の接続

6-9. 接続先表示シートを貼り付ける (EM-L32, EM-L92)

- スピーカー回線の接続および業務リモコン、外部起動機器の接続が完了したら、主制御ユニット(EM-L32)に付属のシートに記入します。
回線制御ユニット(EM-L92)を接続している場合は、業務操作器(EM-D36)に付属のシートに記入します。
- シートに記入し、各機器のフロントパネルに貼り付けておくと、メンテナンスやシステム変更時に有効です。

■ EM-L32

スピーカー回線/起動入力 接続先表示シート(記入後、主制御ユニットEM-L32のフロントパネル裏に貼付けてください)

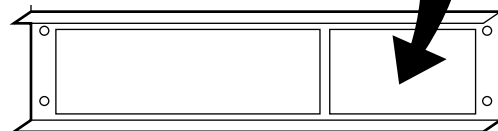
スピーカー回線No.	スピーカーエリア	スピーカー回線No.	スピーカーエリア	起動入力No.	放送機器	接続機器	放送エリア	起動入力No.	放送機器	接続機器	放送エリア
1	B3 駐車場	11	B1dy 食料品	1	業務リモコン	5F 業務リモコン	5F 子供服	11	報時チャイム	PA-DT600	5時
2	B3 共用通路	12	B1 レストラン	2	業務リモコン	5F 業務リモコン	5F おもちゃ、文具	12	電話ページング	食品マイク1	食料品案内
3	B2 駐車場	13	1F 東テナント	3	業務リモコン	5F 業務リモコン	5F 贈答品、日用雑貨	13	電話ページング	食品マイク2	食料品案内全部
4	B2 共用通路	14	1F 西テナント	4	業務リモコン	7F 業務リモコン	F レストラン CD				
5	B1 憩いの広場	15	2F 東テナント	5	業務リモコン	8F 業務リモコン	3F レストラン				
6	1F ロビー	16	2F 西テナント	6	BGM	PA-DA600	開店、閉店				
7	エスカレーター	17	3F 東テナント	7	アナウンスユニット	PA-DA600	制店前、閉店				
8	エレベーター	18	3F 西テナント	8	アナウンスユニット	PA-DA600	30分毎				
9		19	4F 東テナント	9	報時チャイム	PA-DT600	12時				
10		20	4F 西テナント	10	報時チャイム	PA-DT600	3時				

スピーカーエリア名を記入します。

放送機器(放送グループ)名を記入します。

放送エリア名を記入します。

接続機器名を記入します。



フロントパネルに貼り付ける

スピーカー回線/起動入力 接続先表示シート(記入後、回線制御ユニットEM-L92のフロントパネル裏に貼付けてください)

スピーカー回線No.	スピーカーエリア	スピーカー回線No.	スピーカーエリア	ELNo.	起動入力No.	放送機器	接続機器	放送エリア	ELNo.	起動入力No.	放送機器	接続機器	放送エリア
1	1F 事務所	11		1	21	業務リモコン	5F 業務リモコン	1F 事務所	11				
2	2F 事務所	12		2	22	業務リモコン	5F 業務リモコン	2F 事務所	12				
3	3F 事務所	13		3	23	業務リモコン	5F 業務リモコン	3F 事務所	13				
4		14		4	24	業務リモコン	7F 業務リモコン	事務所全体	14				
5		15		5	25	業務リモコン	8F 業務リモコン	風除室	15				
6	風除室1	16		6					16				
7	風除室2	17		7					17				
8		18		8					18				
9		19		9					19				
10		20		10					20				

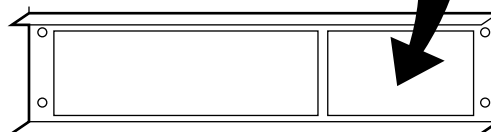
スピーカーエリア名を記入します。

放送機器(放送グループ)名を記入します。

放送エリア名を記入します。

起動入力Noを記入します。
EM-L92アドレス1 : 21~40
EM-L92アドレス2 : 41~60
(設定のしかた 62ページ)

接続機器名を記入します。



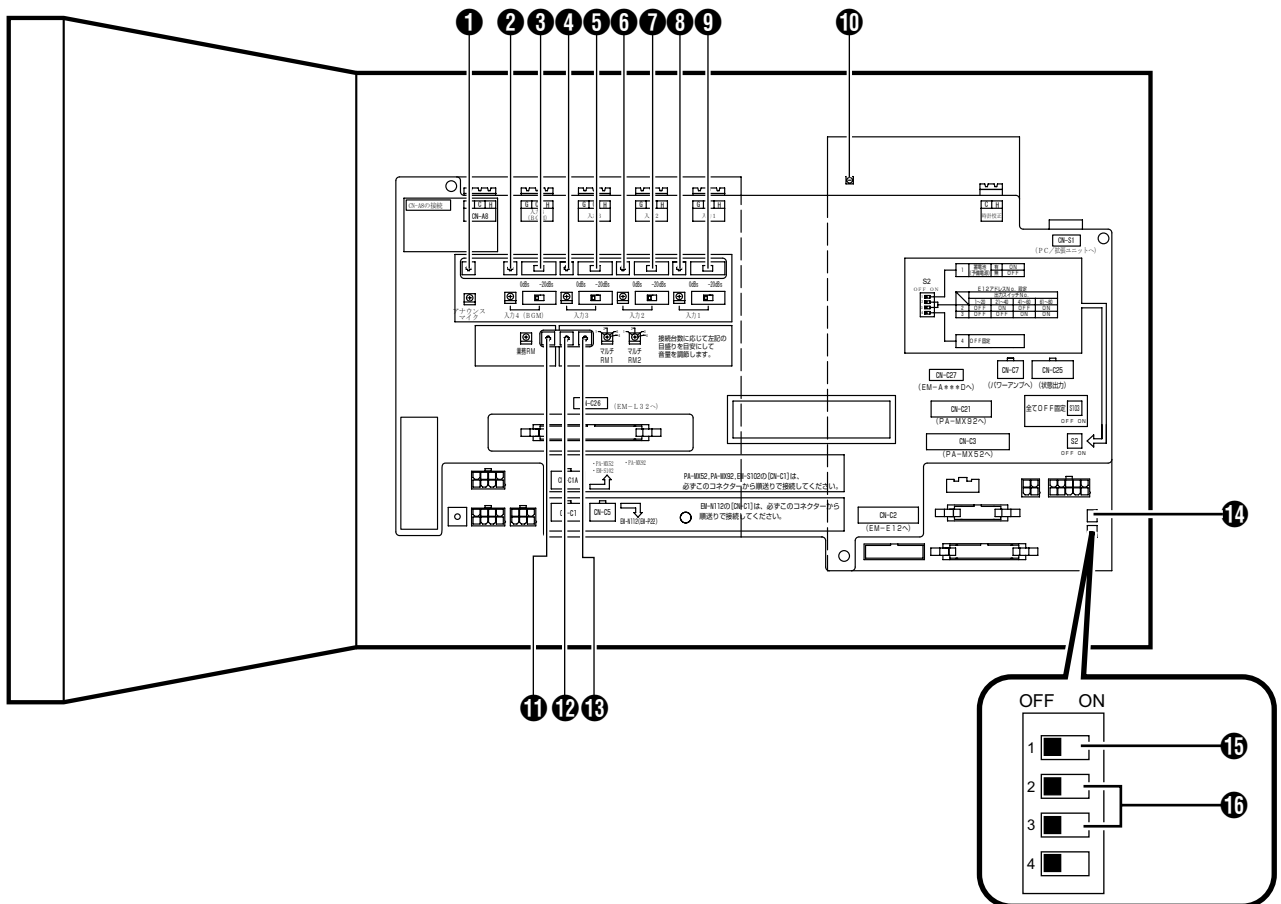
フロントパネルに貼り付ける

7. 各ユニットの設定と調節

7-1. 業務操作器(EM-D36)と 回線追加ケース(EM-E12)

ソフトウェア設定は「設定編」(P.131 ページ) をご覧のうえ、後ほど設定作業を行なってください。
EM-D36 の詳しいオーディオ系統図は 126 ページをご覧ください。

業務操作器(EM-D36)の設定と調節



① マイク音量ボリューム

操作パネルのアナウンスマイク音量を調節します。

② 入力 4(BGM)音量ボリューム

入力 4(BGM)の音量を調節します。

③ 入力 4 レベル切り換えスイッチ

- -20 dBs / 0 dBs の切り換え。
- 入力 4 端子へ接続する機器の出力レベルに合わせてください。

④ 入力 3 音量ボリューム

入力 3 の音量を調節します。

⑤ 入力 3 レベル切り換えスイッチ

- 0 dBs / -20 dBs の切り換え。
- 入力 3 端子へ接続する機器の出力レベルに合わせてください。

⑥ 入力 2 音量ボリューム

入力 2 の音量を調節します。

⑦ 入力 2 レベル切り換えスイッチ

- 0 dBs / -20 dBs の切り換え。
- 入力 2 端子へ接続する機器の出力レベルに合わせてください。

⑧ 入力 1 音量ボリューム

入力 1 の音量を調節します。

⑨ 入力 1 レベル切り換えスイッチ

- 0 dBs / -20 dBs の切り換え。
- 入力 1 端子へ接続する機器の出力レベルに合わせてください。

⑩ LCD コントラストボリューム

フロントパネル LCD の表示文字のコントラスト(明暗)を調節します。

⑪ 業務 RM 音量ボリューム

業務リモコンの放送音量を調節します。

⑫ マルチ RM1 音量ボリューム

マルチ業務リモコン(1 系統)の放送音量を調節します。

⑬ マルチ RM2 音量ボリューム

マルチ業務リモコン(2 系統)の放送音量を調節します。

⑭ モード設定スイッチ

動作設定スイッチです。

設定の必要はありません。(すべて"OFF"に固定)

⑮ 予備電源設定スイッチ

非常電源ユニット(EM-N112)を接続し、ニッカド蓄電池(NB-35B/60)を収納してある場合は"ON"に設定します。

⑯ E12 アドレス No 設定スイッチ

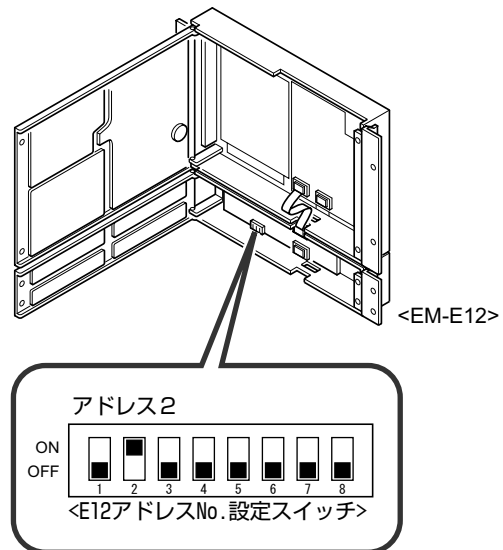
- 本機の回線スイッチへの設定をします。
- 本機の標準は"1"の設定ですが、右表をご覧のうえ設定を行なってください。

業務操作器と回線追加ケースのE12アドレス設定

業務操作器の E12 アドレス NO. 設定スイッチと回線追加ケースのE12アドレスNO.設定スイッチを、下表にしたがって設定してください。

	EM-D36 の EM12 アドレス No スイッチ		EM-D36 の EM12 アドレス No スイッチ
アドレス 1	OFF ON <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	アドレス 3	OFF ON <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
アドレス 2	OFF ON <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	アドレス 4	OFF ON <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

7



出力スイッチ No	E12 アドレス No
1 ~ 20	1
21 ~ 40	2
41 ~ 60	3
61 ~ 80	4
81 ~ 100	5

7-2. ネームカードの作成・表示

出力スイッチのネームカード記入

- 業務操作器(EM-D36)、および回線追加ケース(EM-E12)のネームカードは、A5 標準紙でレイアウトされています。
- ネームカード色は 4 色用意されていますので、選択スイッチの種別により区別してください。
- 橙、緑、青、黄 4 色のカードをお使いください。

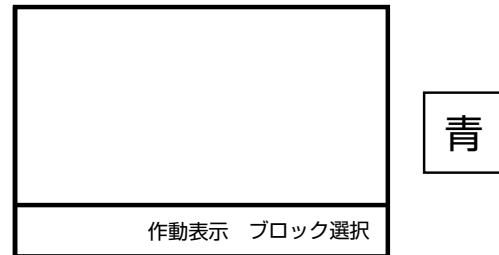
■ 緊急優先ブロックスイッチ用(橙色のカード)

緊急優先放送用のスイッチとして使います。



■ メッセージブロックスイッチ用(青色のカード)

メッセージ放送用のスイッチとして使います。



■ 業務ブロックスイッチ用(緑色のカード)

業務放送用のスイッチとして使います。



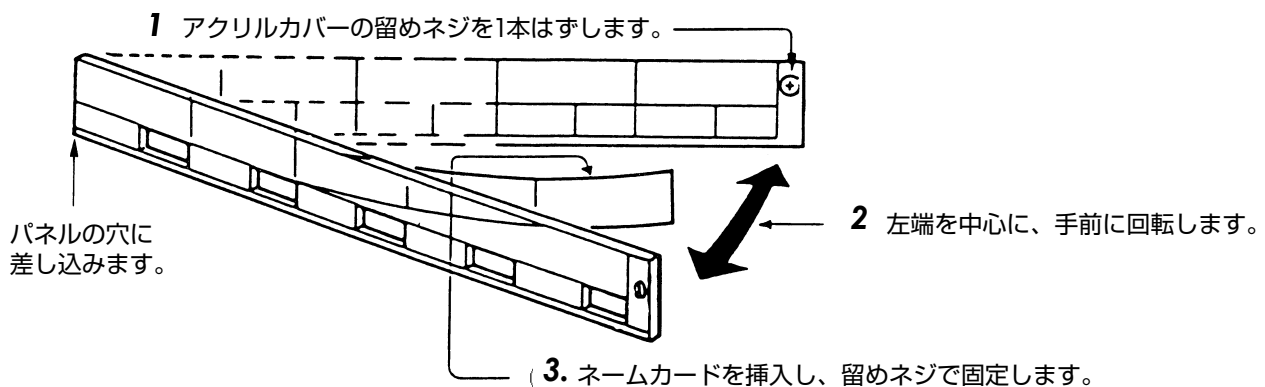
■ BGM ブロックスイッチ用(黄色のカード)

BGM 放送用スイッチとして使います。



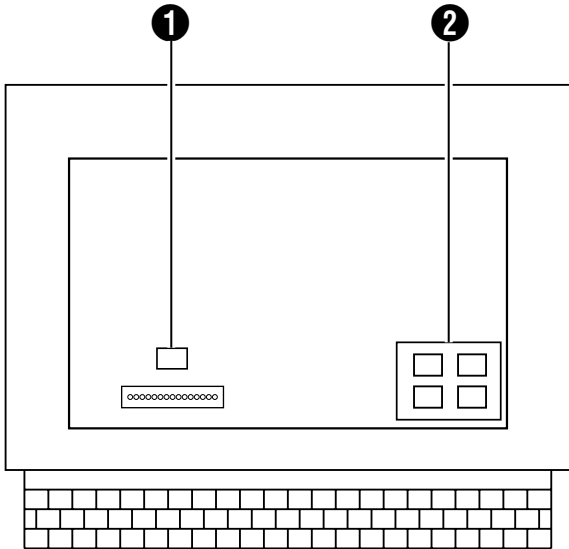
ネームカードの取り付け

- 選択スイッチの亚克力カバー右部の固定ネジを外し、亚克力カバーを手前に回転させて、ネームカードを挿入します。
- ネームカードが正しい位置にあることを確認して、亚克力カバー右部の固定ネジ止めてください。



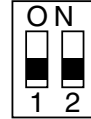
7-3. 主制御ユニット(EM-L32) の設定

切換スイッチの設定



① RB 入力設定スイッチ

S1 の #1 を ON にすると、RB 入力が有効になります。



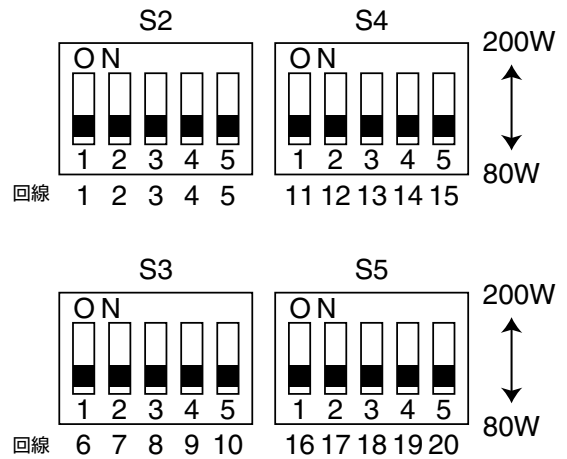
↑
RB入力

② 短絡検出感度切換スイッチ

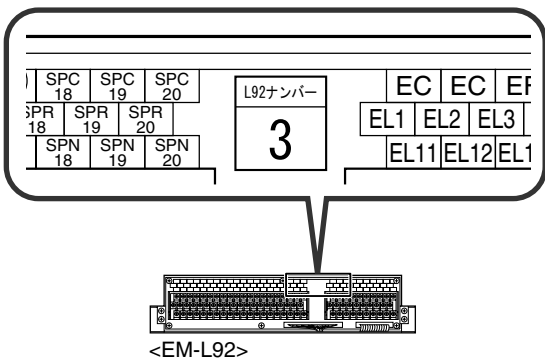
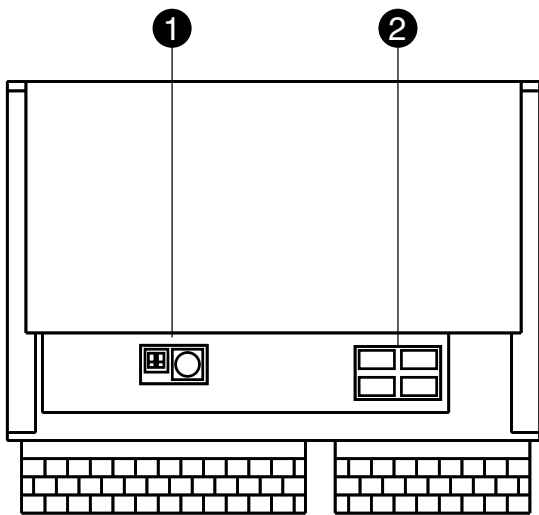
- 回線の短絡は電子回路で検出していますので、当該スピーカー回線に接続されているスピーカーの出力(W)の総和により、スイッチで選択設定してください。誤った設定範囲が選択されていると、正しい短絡動作ができなくなりますのでご注意ください。
- スピーカー出力(W)の総和によりディップスイッチを下記のように合わせてください。

0 ~ 80 W のとき : OFF

81 ~ 200 W のとき : ON



7-4. 回線制御ユニット (EM-L92) の設定



※ 設定したアドレス NO. を「L92 ナンバー」欄に記入してください。メンテナンスやシステム変更時に有効です。
上記の例は、アドレス NO.3 の場合です。

ご注意

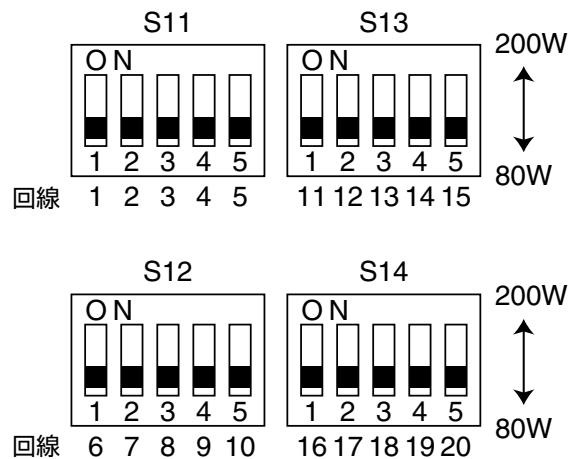
- S2が正しく設定されていないと、起動入力信号を受信したときに正常に動作ができません。

S2	S1	スピーカー回線 No	起動入力(EL)	制御出力(SPN)
OFF	1	21 ~ 40	21 ~ 40	—
OFF	2	41 ~ 60	41 ~ 60	—
OFF	3	61 ~ 80	—	—
OFF	4	81 ~ 100	—	—
ON	0	—	61 ~ 80	11 ~ 30

② 短絡検出感度切換スイッチ

- 回線の短絡は電子回路で検出していますので、当該スピーカー回線に接続されているスピーカーの出力(W)の総和により、スイッチで選択設定してください。誤った設定範囲が選択されていると、正しい短絡動作ができなくなりますのでご注意ください。
- スピーカー出力(W)の総和によりディップスイッチを下記のように合わせてください。

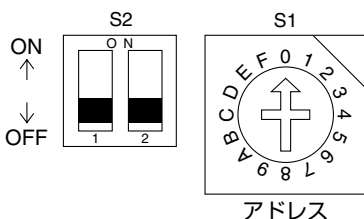
0 ~ 80 W のとき : OFF
81 ~ 200 W のとき : ON



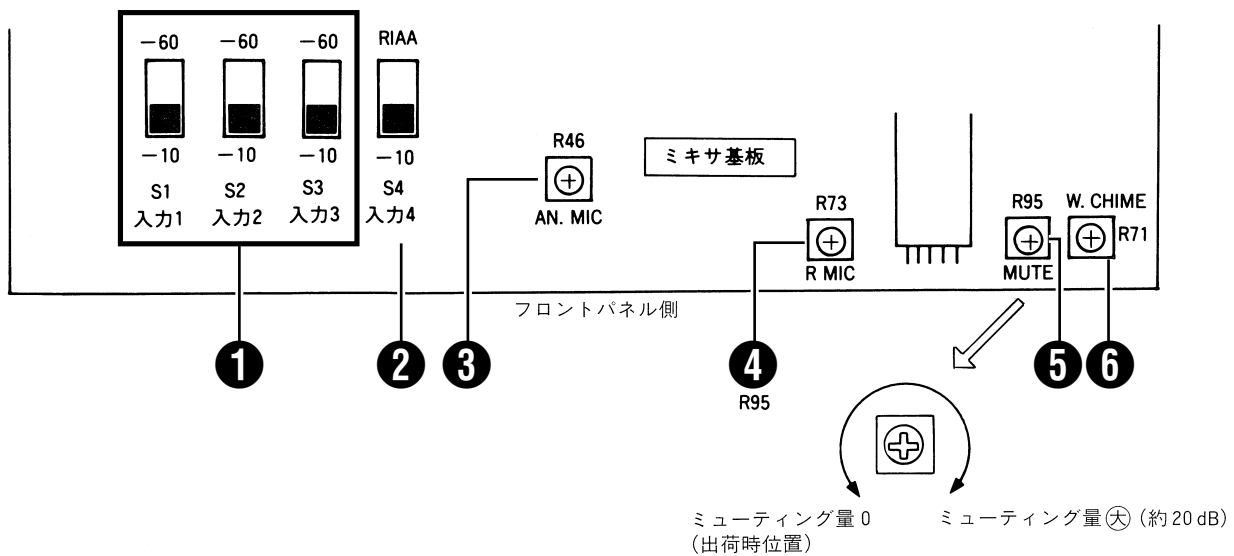
アドレス設定のポジション切り換え

① ユニット NO 設定スイッチ

- 回線制御ユニット(EM-L92)が複数台数使用されるときは、システム上の順番をアドレス No として付与します。
- 設定スイッチは回転式のスイッチ(S1)とスライド式のスイッチ(S2)で構成されています。
- スピーカー回線制御として使用する場合は S2 をどちらも OFF にしてください。
- 入出力拡張用として使用する場合は S2 をどちらも ON にしてください。



7-5. ミキサーユニット (EM-M102)の設定



切り換えスイッチの設定、音量調節

① 入力 1 ~ 3 レベル切り換えスイッチ

- マイクロホンを接続するときは“- 60”へ切り換えてください。
- CD、カセットデッキ等接続するときは“- 10”に切り換えてください。

② 入力 4 レベル切り換えスイッチ

- レコードプレーヤー(MM 型)を接続するときは、“RIAA”へ切り換えてください。
- CD、カセットデッキ等接続するときは“- 10”に切り換えてください。

③ AN.MIC (R46) ボリューム

フロントパネル入力に接続したアナウンスマイクの音量を調節します。

④ R.MIC (R73) ボリューム

本機リモコンマイク入力に接続した業務リモコンの音量を調節します。

⑤ MUTE (R95) ボリューム

本機に接続のアナウンスマイク、リモコンマイク、W. チャイムに音声信号が入力されると、入力 1 ~ 4、外部入力信号をミュート(減衰)させます。このミュート量を調節します。

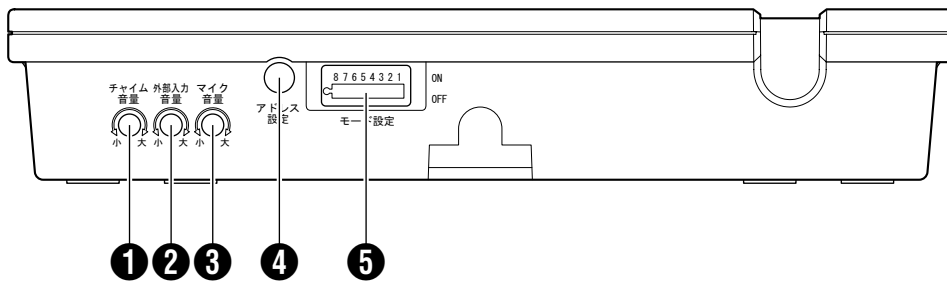
⑥ W.CHIME (R71) ボリューム

本機 W. チャイム入力へ接続の W. チャイムの音量を調節します。

7-6. 電源ユニット(EM-N112) の設定確認

充電電流設定スイッチが、収納のニッカド電池型名と同じであることを確認してください。
(☞ 30 ページ)

7-7. マルチ業務リモコン (PA-C620) の設定



音量調節と設定

① チャイム音量ボリューム

本機から出力されるチャイム音量を調節します。

② 外部入力音量ボリューム

外部入力端子に入力された音量を調節します。

③ マイク音量ボリューム

フレキシブルマイクの音量を調節します。

④ アドレス設定スイッチ

- 本機のアドレス No. を設定します。
- 本機は最大 8 台まで接続できます。ドライバーで回転させて 1 ~ 8 の数字にあわせませす。(複数台接続する場合は、異なる No. を割り当ててください。)
※0 と 9 は使用しません。

⑤ モード設定スイッチ

PA-C620 の動作を設定します。(工場出荷時はすべて OFF)

■ スイッチ 1,2:制御 1,2 スイッチ動作設定

PA-C620 の制御出力(EM-L92 の制御出力)の動作を選択します。接続する機器に合わせてロック動作かノンロック動作を選択します。

- OFF : 制御出力の動作をロック動作します。
制御 1/2 スイッチを押すと制御出力が ON(メーク)します。もう一度、制御 1/2 スイッチを押すと OFF(ブレーク)します。
- ON : 制御出力の動作をノンロック動作します。
制御 1/2 スイッチを押したときだけ、制御出力が 3 秒間 ON(メーク)します。

■ スイッチ 3:外部入力スイッチ動作設定

- OFF : 外部入力スイッチ点灯時に外部入力端子に入力した音声とマイクからの音声をミキシングして出力します。
- ON : 外部入力スイッチ点灯時にマイクからの音声を出力せず、外部入力端子に入力した音声のみを出力します。

■ スイッチ 4:自動復旧機能設定

- OFF : 放送している時に 2 分間音声の無い状態が続くと自動的に放送を切ります。
- ON : 自動復旧機能が動作しないようにします。
※ お客様からの指定がないときは OFF (工場出荷設定) の設定にしてください。

■ スイッチ 5:チャイム自動送出機能設定

放送/復旧スイッチを押すとチャイムボタンを押さなくても、放送開始時にはアップチャイムが鳴り、放送終了時にはダウンチャイムが鳴るように設定することができます。

- OFF : チャイムの自動送出を行いません。チャイムを送出するときはチャイムボタンを押します。
- ON : チャイム自動送出を行います。チャイムスイッチは無効になります。

■ スイッチ 6:チャイム鳴動速度設定

- OFF : チャイムの鳴動速度を早くします。
- ON : チャイムの鳴動速度を遅くします。

■ スイッチ 7:PC 接続設定

- OFF : PA-C620 の PC 接続端子を使用しないときに設定します。
- ON : PA-C620 の PC 接続端子を使用するときに設定します。

■ スイッチ 8:放送オン / オフ時間設定

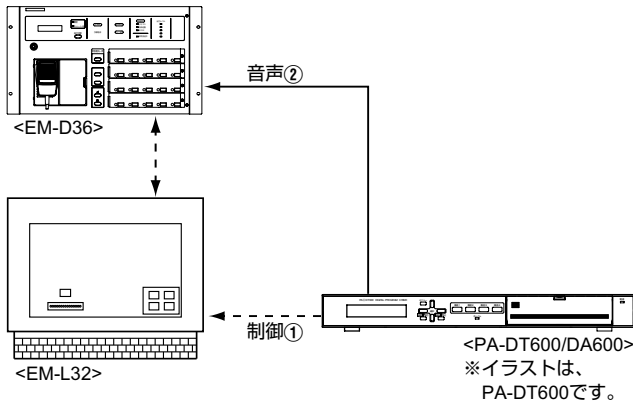
- OFF : 放送スイッチを押すと放送ランプが点滅し、1.5秒経過すると点灯状態になり放送が可能になります。
- ON : 放送スイッチを押すと放送ランプが点滅し、3.0秒経過すると点灯状態になり放送が可能になります。

8-1. デジタル音源(PA-D) シリーズの使用方法

PA-D シリーズを使用する場合の接続形態は、「基本接続」と「PA-D 連動接続」の2種類があります。

● 基本接続

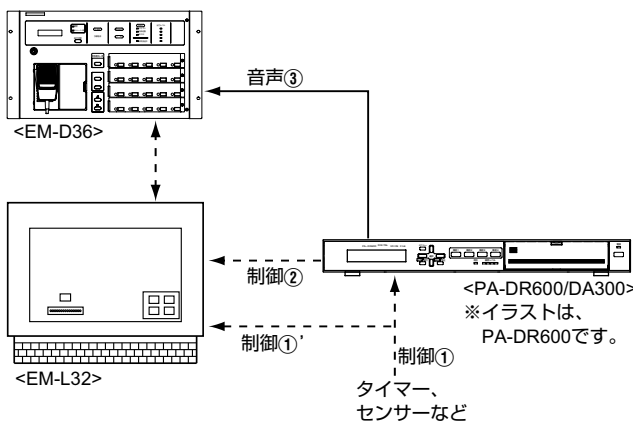
<タイマーによる起動>



動作

- ① PA-DT600/DA600の1日/週間/年間スケジュールタイマーにしたがって、「CM/BGM/ アンプ電源端子」から制御信号を出力してEM-D300システムへ起動をかけます。放送内容によって放送先を変えたい場合は、「制御出力端子」から起動をかけます。
- ② タイマーによって、PA-DT600/DA600 よりチャイム、メッセージ(CM など)、BGM を出力し、放送を行ないます。

<外部起動>



動作

- ① 外部のタイマーやセンサーなどから PA-DR600/DA300 の制御入力へ起動をかけます。
- ② ①によってPA-DR600/DA300の「CM/BGM/アンプ電源端子」から制御信号を出力して EM-D300 システムへ起動をかけます。起動ごとに放送先を変えたい場合は、①' から起動をかけます。
- ③ ①によって PA-DR600/DA300 よりメッセージ(CM など)、BGM を出力し、放送を行います。

ご注意

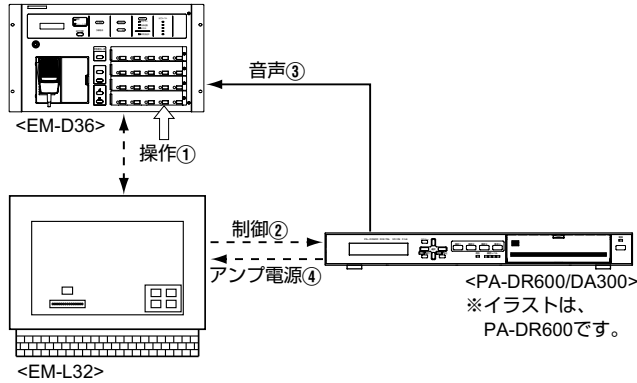
- EM-D36 の起動入力端子はレベル入力となっていますので、制御中はメークしつづけてください。また、起動が重複した場合は後から入力した信号が優先されます。
- PA-DT600/DA600の制御出力から起動をかける場合は、リレー制御のステップを登録する必要があります。
- アンプには起動時間があるため、PA-DT600/DA600の「CM/BGM/ アンプ電源端子」で起動をかける場合は、アンプウェイト、サイセイウェイトを2秒以上に設定してください。「制御出力端子」から起動をかける場合は、音源再生の2秒以上前に起動をかけてください。
- システムによっては回線切換時に、前後の回線へ音もれが発生する場合があります。設置時には必ずご確認ください。音もれが発生する場合は起動終了時刻と次の起動開始時刻間に1秒以上の空白期間を設けることをおすすめします。
- PA-DA600/DT600にある「機能ボタン1~4」に「プレイリスト(チャイム)再生」を割り当てて使用することができますが、この場合「CM/BGM/ アンプ電源端子」を使用した起動のみとなります。(同じボタンに「プレイリスト(チャイム)」と「リレー(制御出力)制御」の機能を割り当ててることができないためです。)

次のページへつづく...

8-1. デジタル音源(PA-D) シリーズの使用方法 (つづき)

● PA-D 連動接続

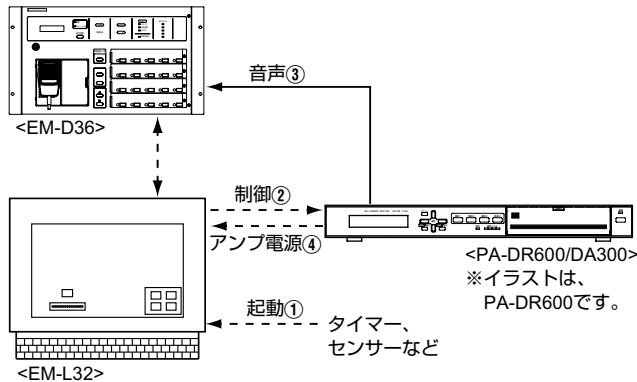
<ブロックスイッチによる起動>



動作

- ① EM-D300 システムにおいて、連動して音源再生する動作を割り当てた緊急優先、メッセージまたは、BGM ブロックスイッチを操作します。
- ② EM-D300 システムから PA-DR600/DA300 へ制御信号を出力します。
- ③ ② によって PA-DR600/DA300 よりメッセージ (CM など)、BGM を出力し、放送を行います。
- ④ PA-DR600/DA300 のアンプ電源出力により再生終了を検出し、自動的に放送復旧します。

<外部起動>



動作

- ① EM-D300 システムにおいて、連動して音源再生する動作を割り当てた起動入力へ、外部のタイマーやセンサーなどから起動をかけます。
- ② EM-D300 システムから PA-DR600/DA300 へ制御信号を出力します。
- ③ ② によって PA-DR600/DA300 よりメッセージ (CM など)、BGM を出力し、放送を行います。
- ④ PA-DR600/DA300 のアンプ電源出力により再生終了を検出します。
- ⑤ 外部のタイマーやセンサーなどからの起動が終了すると、放送復旧します。

ご注意

■ 他の放送と重複した場合の注意

- 優先順位上位の放送中はブロックスイッチ、外部起動は無効です。
上位の放送が終了したときに継続して起動をかけていても、放送は行われません。ただし、外部起動によるBGM放送は上位の放送中でも起動を受け付けるため、上位の放送が終了したときに継続して起動をかけていれば、放送が行われます。
- BGM ミキシング放送やデジタルマトリックスユニット放送の場合は、上位の放送中(緊急優先放送以外)でもブロックスイッチ、外部起動によってBGM放送の起動をかけることができます。
- 同じ放送機器(放送グループ)同士が重複した場合(多元放送時は、かつ同じ入力 No. の場合のみ)は、前の再生を停止し次の再生を開始します。ただし、BGM 放送同士が重複した場合に前後のPA-D制御出力 No. が同じであれば、再生停止は行わず再生を継続します。

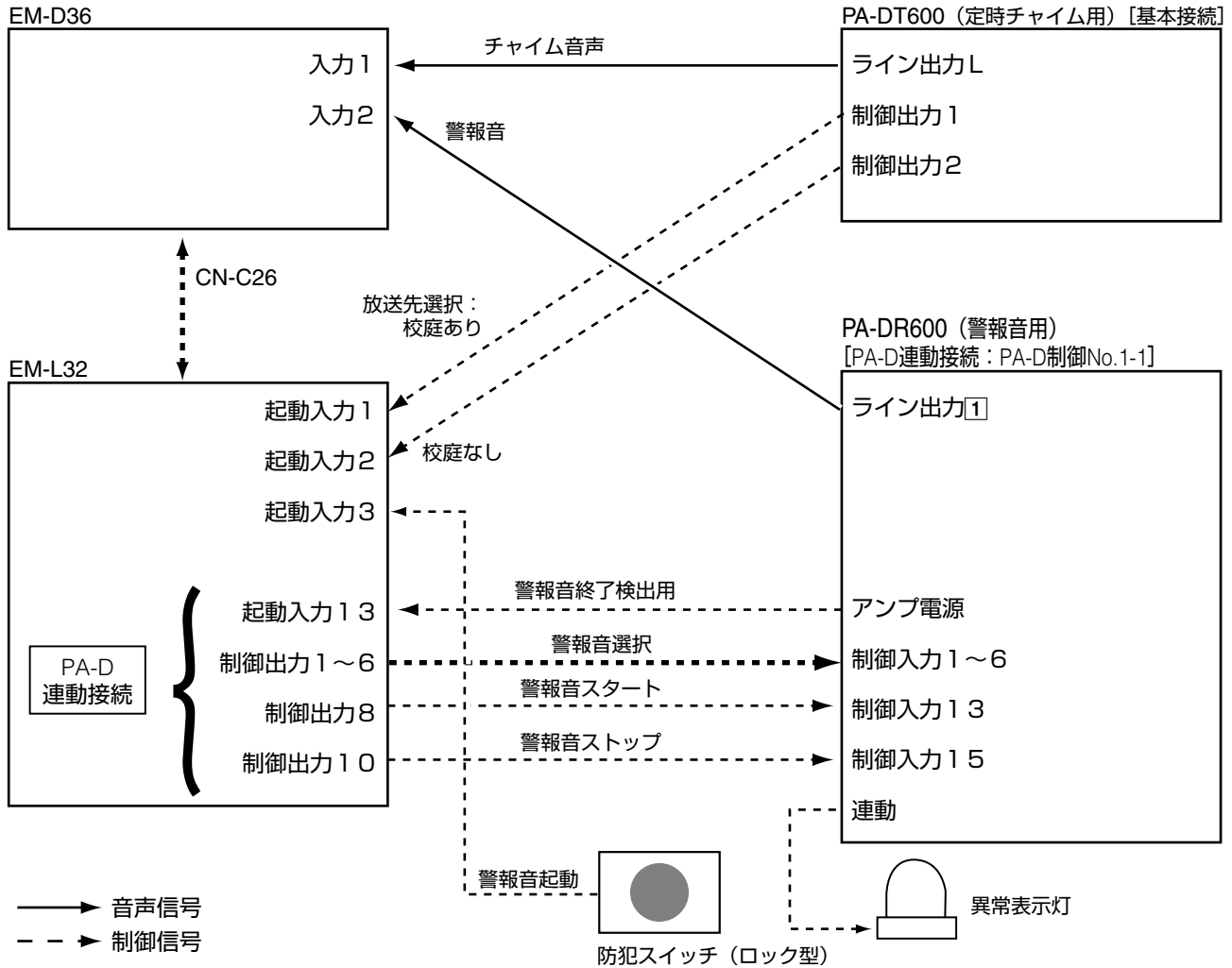
■ その他の注意

- PA-DR600/DA300 の CM、BGM のブランク / インターバル設定は必ず”オン”に設定し、再生中にアンプ電源制御を連続して出力するようにしてください。
- PA-D を制御して CM メッセージ、BGM を放送している間は、PA-D からの音声出力や回線切替と同期をとるため、業務ブロック放送などの PA-D 制御のない放送を含むすべての操作において、作動表示灯、キー操作音の動作が遅れます。
- PA-D シリーズにある「機能ボタン 1～4」には「プレイリスト」を割り当てないでください。機能ボタンでプレイリスト再生を行なうと、システムが停止する場合があります。プレイリスト再生は、必ず EM-D36 のブロックスイッチを使用してください。

PA-D シリーズを使用したシステム例

■ 学校のシステム例

- 週間 / 年間タイマーでチャイム、音楽(昼、掃除など)を放送(放送先を選択可能)
- 廊下に設置した防犯スイッチで警報音を放送、異常表示灯を ON/OFF 制御



<動作1>

PA-DT600 のスケジュール設定にしたがってチャイム、昼の音楽などを放送します。
PA-DT600 の制御出力によって放送先を選択します。

<動作2>

防犯スイッチが押されると、スイッチに応じたメッセージ、警報音が PA-DR600 から放送されます。警報音再生中は異常表示灯を点灯させます。

8. デジタル音源 (PA-D) シリーズを使用した放送

8-1. デジタル音源(PA-D) シリーズの使用方法 (つづき)

PA-D シリーズを使用したシステム例(つづき)

■ 学校のシステム例 (つづき)

各ユニットの設定値 (関連箇所のみ)

< EM-D36 >

設定項目	設定メニュー	設定値
音声入力端子	1-1-3. ニュウリョクタンシ	ホウジチャイム センタク:1 キンキュウユウセン センタク:2
PA-D 接続設定 (PA-DR600 の連動接続)	1-1-4.PA-D セッテイ	PA-D セイギョモード バイナリ PA-D セツゾク ダイスウ:1
起動入力端子	1-3-5. キドウニュウリョク	センタク:01 ホウジチャイム カイセンセンタク(任意(校庭あり)) ツウジョウ(緊急指定なし) キドウジチャイム:ナシ
		センタク:02 ホウジチャイム カイセンセンタク(任意(校庭なし)) ツウジョウ(緊急指定なし) キドウジチャイム:ナシ
		センタク:03 キンキュウユウセン カイセンセンタク(任意の回線選択) ツウジョウ/PA-D セイギョ→PA-D セイギョ(PA-D 連動) PA-D セイギョシュツリョク:01

< PA-DT600 >

設定項目	設定メニュー	設定値
パターンの作成	2-2. パターンサクセイ	設定例:センタク 01 >ヘイジツ:S001 S001 リレー1 09:59:58 - 10:00:30 (アンプの起動時間のため、チャイムより 2秒以上早く ON してください。 S002 チャイム 01 10:00:00 01 カイ S003 リレー2 11:59:58-12:01:04 (アンプの起動時間のため、チャイムより 2秒以上早く ON してください。 S004 チャイム 26 12:00:00 01 カイ

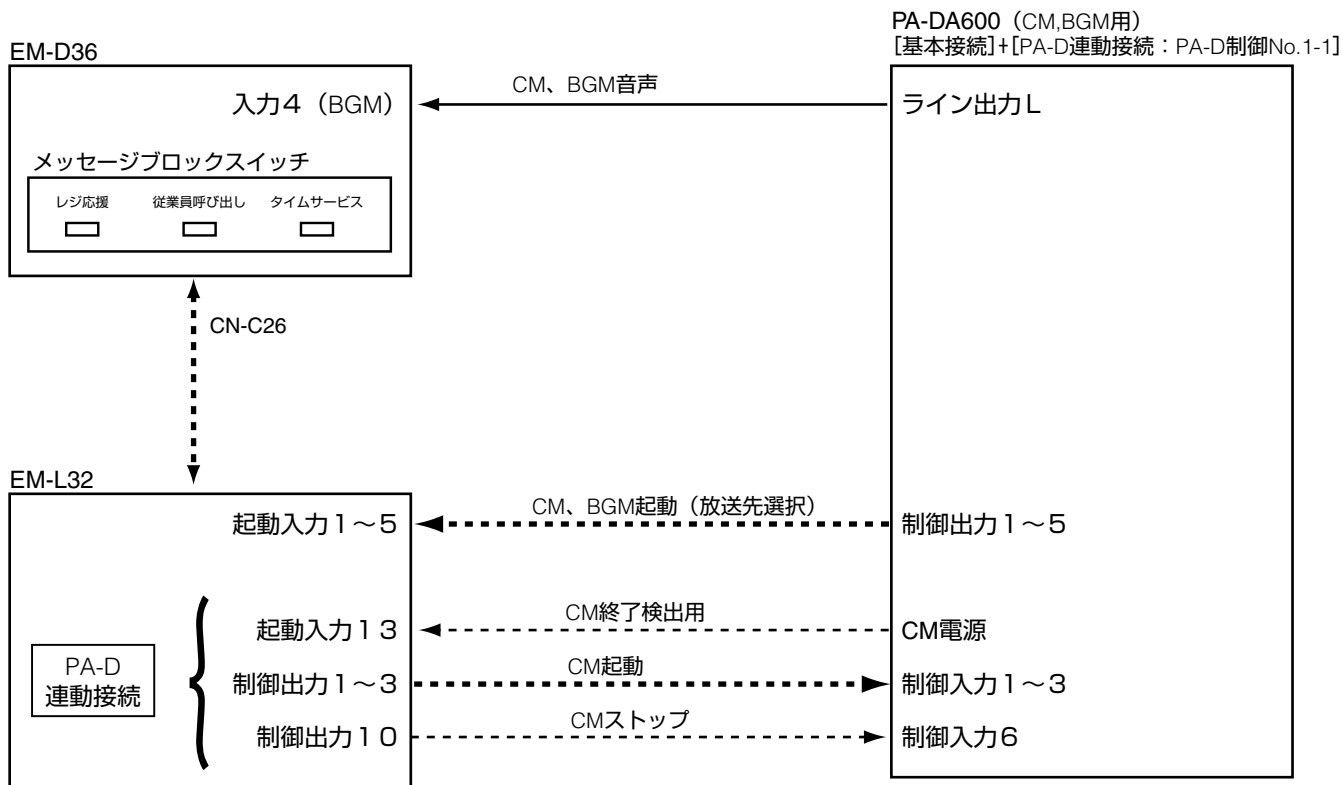
※ チャイムの放送先が 1 種類の場合は、PA-DT600 のアンプ電源端子を EM-D36 の起動入力端子へ接続することによって、リレー制御ステップは不要になります。

< PA-DR600 >

設定項目	設定メニュー	設定値
出力モード設定	1-3. シュツリョクセッテイ	1 ゲンシュツリョク
制御入力の優先モード	1-4. キドウユウセン	アト-パルス
制御入力モード	1-5. セイギョニュウリョクモード	バイナリ
再生ウェイト時間	1-6. サイセイウェイトジカン	ビョウ:02(アンプ起動時間)
連動出力モード	1-7. レンドウシュツリョク	キンキュウ
制御入力への動作割り当て	2-7. セイギョニュウリョク	設定例: キドウバンゴウ E001 センタク 001 >ケイホウ (警報音のプレイリスト) サイセイモード:レンゾク サイセイカイスウ:エンドレス サイセイインターバル 00:00 シャッフル:オフ キンキュウ

■ スーパーマーケットのシステム例

- 週間 / 年間タイマーによって BGM(通常、閉店時、掃除タイムなど)や、CM メッセージを自動的に放送
- 状況に応じて、手動でレジ応援要請、従業員呼び出し、タイムサービスなどの CM メッセージを放送(4 種類まで)
- BGM、CM はミックスして放送(ミックスなしも可能)



——▶ 音声信号
- - - -▶ 制御信号

<動作1>

平日 / 土日、時間帯、開店 / 閉店時、掃除の時間など、PA-DA600 のスケジュール設定にしたがって BGM、CM メッセージを自動的にミックスして放送します。PA-DA600 の制御出力によって放送先を選択します。

<動作2>

タイマーによる自動放送中であっても業務操作器 (EM-D36) のメッセージブロックスイッチを操作することによって、レジ応援要請、従業員呼び出し、タイムサービスのアナウンスなどを放送することができます。

8. デジタル音源 (PA-D) シリーズを使用した放送

8-1. デジタル音源(PA-D) シリーズの使用方法 (つづき)

PA-D シリーズを使用したシステム例(つづき)

■ スーパーマーケットのシステム例 (つづき)

各ユニットの設定値 (関連箇所のみ)

< EM-D36 >

設定項目	設定メニュー	設定値
音声入力端子	1-1-3. ニュウリョクタンシ	アナウンユニット センタク 4 (PA-DA600 から起動) メッセージ センタク4 (PA-D 連動放送) (BGM は入力 4 に固定されています。)
PA-D 接続設定	1-1-4.PA-D セッテイ	PA-D セイギョモード ダイレクト PA-D セツゾク ダイスウ: 1
BGM ミキシング設定	1-2-4.BGM ミックス	BGM ミックス:アリ
メッセージブロック スイッチ設定	1-3-3. メッセージ	メッセージブロック No:001 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) PA-D セイギョ No センタク: 1 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 01 (レジ応援要請アナウンス の起動番号) メッセージブロック No:002 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) PA-D セイギョ No センタク: 1 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 02 (従業員呼出しアナウンスの起動番号) メッセージブロック No:003 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) PA-D セイギョ No センタク: 1 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 03 (タイムサービスアナウンスの起動番号)
起動入力端子	1-3-5. キドウニュウリョク	センタク:01 アナウンスユニット カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) キドウジチャイム: ナシ センタク:02 アナウンスユニット カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) キドウジチャイム: ナシ センタク:03 アナウンスユニット カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) キドウジチャイム: ナシ センタク:04 アナウンスユニット カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) キドウジチャイム: ナシ センタク:05 BGM カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ/PA-D セイギョ→ツウジョウ(PA-D 連動なし) キドウジチャイム: ナシ

< PA-DA600 >

設定項目	設定メニュー	設定値
パターンの作成	3-3-2. パターンサクセイ	設定例: センタク 01 > ヘイジツ: S001 S001 リレー-1 09:59:58 - 22:50:00 (・CM1 起動用。 ・リレーを制御する場合は必ず CM の再生に連動させて ON/OFF してください。 ・アンプの起動時間のため、CM 再生より 2 秒以上早く ON してください。) S002 CM CM1 10:00:00 01 カイ シャッフル: オフ S003 CM CM1 10:30:00 01 カイ シャッフル: オフ S004 リレー-5 09:49:58-23:00:00 (・BGM 起動用。 ・リレーを制御する場合は必ず BGM の再生に連動させて ON/OFF してください。 ・アンプの起動時間のため、BGM 再生より 2 秒以上早く ON してください。) S005 BGM BGM1 09:50:00-22:49:58 ※ サイセイインターバル 00:00 シャッフル: オン S006 BGM BGM2 22:50:00-23:00:00 ※ サイセイインターバル 00:00 シャッフル: オフ
再生ウェイト時間	2-6. サイセイウェイトジカン	ビョウ:02(アンプ起動時間)
BGM ブランク/インターバル	2-7.BGMブランク/インターバル	オン
CM ブランク/インターバル	2-8.CM ブランク/インターバル	オン
BGM 連動出力モード	2-9.BGM レンドウシュツリョク	セイギョシュツリョク
CM 連動出力モード	2-10.CM レンドウシュツリョク	セイギョシュツリョク
音源の優先順位	2-11. ヌウセンオンゲン	CM>BGM> 外部
フェードイン	2-13. フェードイン	ビョウ:00 ~ 10(ミックスありの場合) ビョウ:02 ~ 10(ミックスなしの場合)
フェードアウト	2-14. フェードアウト	ビョウ:00 ~ 10(ミックスありの場合) ビョウ:00(ミックスなしの場合)
ミキシングレベル	2-15. ミキシングレベル	10 ~ 90%(ミックスありの場合) 0%(ミックスなしの場合)
制御入力の動作設定	3-9. セイギョニュウリョク	設定例: E1 プレイリスト CM/BGM → CM 001> レジオウエン サイセイモード: レンゾク サイセイカイスウ: 02 サイセイインターバル 00:00 シャッフル: オフ ツウジョウ (緊急指定なし) E2 プレイリスト CM/BGM → CM 002> ヨビダシ サイセイモード: レンゾク サイセイカイスウ: 02 サイセイインターバル 00:00 シャッフル: オフ ツウジョウ (緊急指定なし) E3 プレイリスト CM/BGM → BGM 003> タイムサービス サイセイモード: レンゾク サイセイカイスウ: 01 サイセイインターバル 00:00 シャッフル: オフ キンキュウシテイ: ツウジョウ E6 CM テイシ

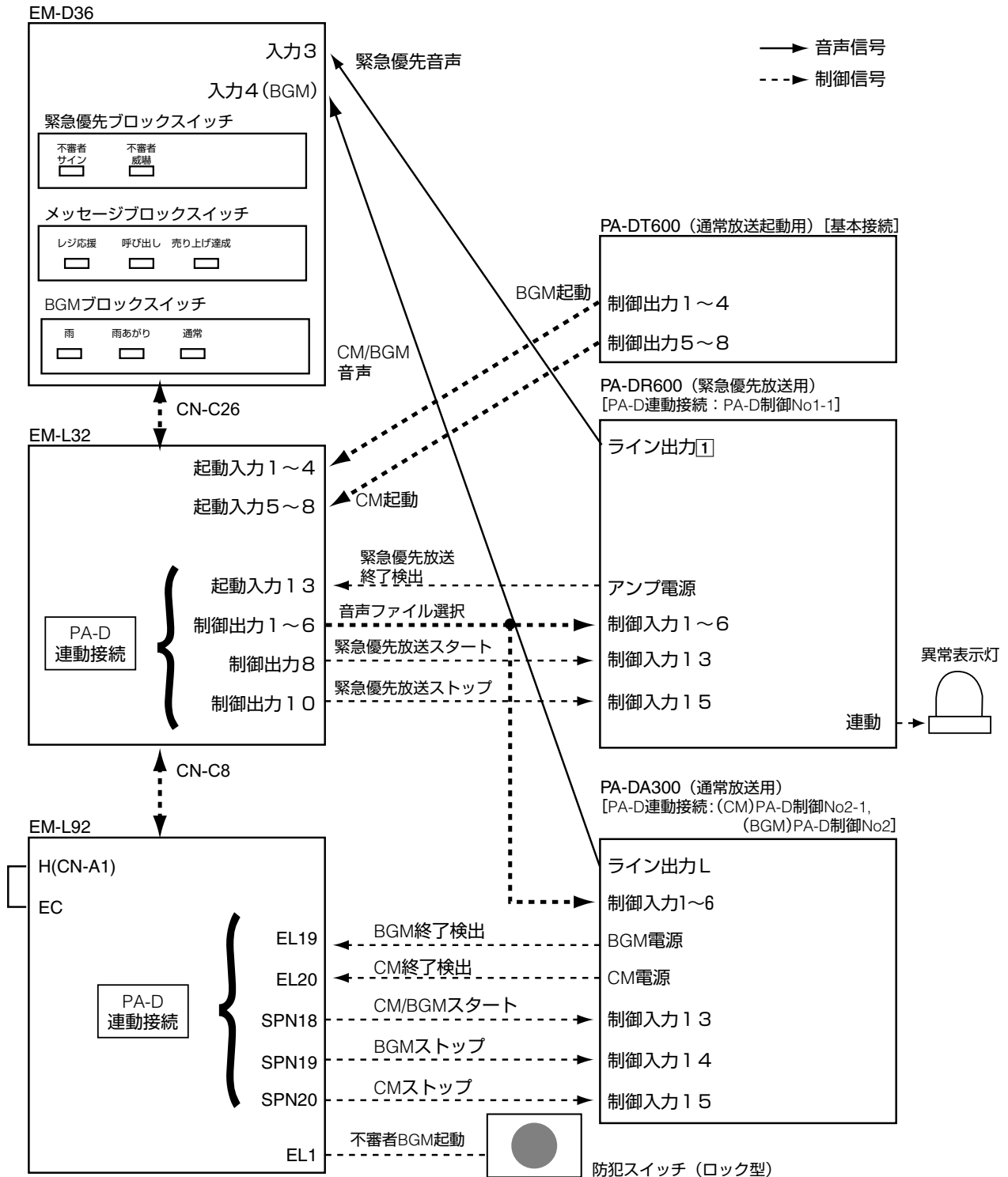
* 再生する BGM プレイリストを切り換える場合は、再生ウェイト時間以上の間をあけてください。

8-1. デジタル音源(PA-D) シリーズの使用方法 (つづき)

PA-D シリーズを使用したシステム例(つづき)

■ ショッピングセンターのシステム例

- 週間 / 年間タイマーによって BGM(通常、閉店、掃除タイムなど)や、CM メッセージを自動的に放送
- 不審者侵入時には緊急優先ブロックスイッチによるメッセージ(不審者侵入サイン音など)の放送や、防犯スイッチによる特別な BGM へ切り換えなどが可能
- 天候、その他の状況に応じて手で BGM(雨、雨あがりなど)を切り換えたり、特別な CM メッセージ(レジ応援要請、従業員呼び出し、売り上げ達成など)を放送(PA-DR600、PA-DA300 それぞれ 63 種類のファイルを再生可能)



<動作1>

平日 / 土日、時間帯、開店 / 閉店時など、PA-DT600 のスケジュール設定にしたがって BGM、CM メッセージを自動的に放送します。PA-DT600 の制御出力によって放送先を選択します。BGM、CM のミキシング放送が可能です。

<動作2>

タイマーによる自動放送中であっても、不審者が侵入した場合などには、業務操作器 (EM-D36) の緊急優先ブロックスイッチを操作することによって、最優先で不審者侵入のサイン音や威嚇音などを放送することができます。

<動作3>

タイマーによる自動放送中であっても、売場で不審者を発見した場合などには、防犯スイッチにより不審者発見を知らせる特別な BGMなどを放送することができます。

<動作4>

タイマーによる自動放送中であっても、業務操作器 (EM-D36) のメッセージブロックスイッチを操作することによって、レジ応援要請、従業員呼出し、タイムサービスのアナウンスなどを放送することができます。

各ユニットの設定値 (関連箇所のみ)

< EM-D36 >

設定項目	設定メニュー	設定値
音声入力端子	1-1-3. ニュウリョクタンシ	キンキュウユウセン センタク 3 (PA-D 連動放送) メッセージ センタク 4 (PA-D 連動放送) (BGM は入力 4 に固定されています。)
PA-D 接続設定	1-1-4. PA-D セッテイ	PA-D セイギョモード バイナリ PA-D セツゾク ダイスウ: 2
BGM ミキシング設定	1-2-4. BGM ミックス	BGM ミックス: アリ
緊急優先ブロック スイッチ設定	1-3-1. キンキュウブロック	キンキュウユウセンブロック No: 001 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ / PA-D セイギョ → PA-D セイギョ (PA-D 連動) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 01 (不審者サイン音の起動番号) キンキュウユウセンブロック No: 002 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ / PA-D セイギョ → PA-D セイギョ (PA-D 連動) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 02 (不審者威嚇音の起動番号)
メッセージブロック スイッチ設定	1-3-3. メッセージ	メッセージブロック No: 001 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) PA-D セイギョ No センタク: 2-1 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 21 (レジ応援アナウンスの起動番号) メッセージブロック No: 002 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) PA-D セイギョ No センタク: 2-1 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 22 (従業員呼出しアナウンスの起動番号) メッセージブロック No: 003 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) PA-D セイギョ No センタク: 2-1 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 23 (売り上げ達成の起動番号)

次のページへつづく ...

8. デジタル音源 (PA-D) シリーズを使用した放送

8-1. デジタル音源(PA-D) シリーズの使用方法 (つづき)

PA-D シリーズを使用したシステム例(つづき)

■ ショッピングセンターのシステム例 (つづき)

< EM-D36 >(つづき)

設定項目	設定メニュー	設定値
BGM ブロックスイッチ設定	1-3-4.BGM ブロック	BGM ブロック No:001 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ/PA-D セイギョ→PA-D セイギョ (PA-D 連動) PA-D セイギョ No センタク: 2 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 31 (雨 BGM の起動番号) BGM ブロック No:002 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ/PA-D セイギョ→PA-D セイギョ (PA-D 連動) PA-D セイギョ No センタク: 2 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 32 (雨あがり BGM の起動番号) BGM ブロック No:003 カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ/PA-D セイギョ→PA-D セイギョ (PA-D 連動) PA-D セイギョ No センタク: 2 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョシュツリョク センタク: 01 (通常 BGM の起動番号)
起動入力端子	1-3-5. キドウニューリョク	センタク:01 BGM (PA-DT600 より起動) カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ/PA-D セイギョ→PA-D セイギョ (PA-D 連動) PA-D セイギョ No センタク: 2 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョ出力 センタク 01 ... センタク:05 メッセージ (PA-DT600 より起動) カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ (緊急指定なし) PA-D セイギョ No センタク: 2-1 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョ出力 センタク 11 センタク:61 BGM(防犯スイッチより起動) カイセンセンタク (任意の回線選択) ツウジョウ/PA-D セイギョ→PA-D セイギョ (PA-D 連動) PA-D セイギョ No センタク: 2 (PA-D ID 番号) PA-D セイギョ出力 センタク 41

< PA-DT600 >

設定項目	設定メニュー	設定値
パターンの作成	2.2 パターンサクセイ	※設定例: センタク 01 >ヘイジツ:S001 S001 リレー1 09:59:00-22:50:00 (BGM1 再生) S002 リレー2 22:50:01-24:00:00 (BGM2 再生) S003 リレー5 10:00:00-12:00:00 (メッセージ 1 再生) S004 リレー6 12:00:01-19:00:00 (メッセージ 2 再生)

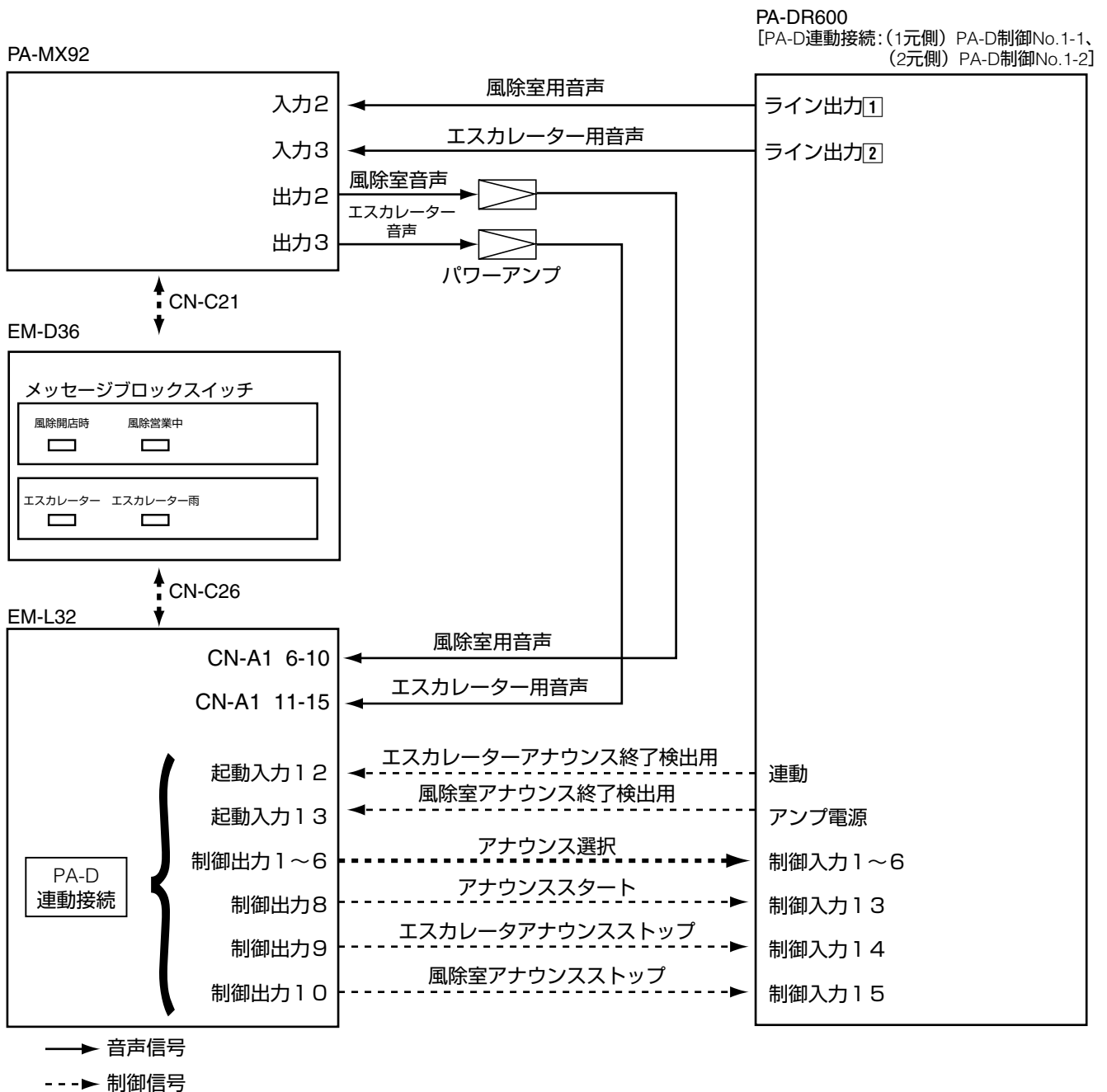
* リレー制御同士の間には 1 秒以上のブランクを設けてください。

8-1. デジタル音源(PA-D) シリーズの使用方法 (つづき)

PA-D シリーズを使用したシステム例(つづき)

■ エスカレーター、風除室で別々の放送をするシステム例

- エスカレーター、風除室で別々のアナウンスを繰り返し放送(PA-DR600 は 1 台で 2 元放送が可能)



<動作1>

業務操作器 (EM-D36) のメッセージブロックスイッチを操作することによって、エスカレーター用アナウンスと風除室用アナウンスが、それぞれ PA-DR600 に設定した再生間隔で繰り返し放送されます。

<動作2>

開店時や雨が降ってきたときなど、業務操作器 (EM-D36) のメッセージブロックスイッチを操作することによって、風除室アナウンスを開店時用に、エスカレーターアナウンスを雨の日用などへ切り換えることができます。

各ユニットの設定値（関連箇所のみ）

< EM-D36 >

設定項目	設定メニュー	設定値
マトリックスユニット 接続設定	1-1-2. マトリックスセッテイ	20 ニュウリョク 10 シュツリョク マトリックスニュウリョク 02 フェード：0/0 ミキシング：ナシ マトリックスニュウリョク 03 フェード：0/0 ミキシング：ナシ マトリックスシュツリョク SP センタク：6-10 マトリックスシュツリョク：02 マトリックスシュツリョク SP センタク：11-15 マトリックスシュツリョク：03
PA-D 接続設定	1-1-4.PA-D セッテイ	PA-D セイギョモード バイナリ PA-D セツゾク ダイスウ：1
メッセージブロック スイッチ設定	1-3-3. メッセージ	設定例： メッセージブロック No:001 カイセンセンタク（6-10の任意の回線選択） ツウジョウ（緊急指定なし） PA-D セイギョ No センタク：1-1（PA-D ID 番号） PA-D セイギョシュツリョク センタク：01 （風除室開店時アナウンスの起動番号） マトリックスニュウリョク No. センタク：02 メッセージブロック No:006 カイセンセンタク（11-15の任意の回線選択） ツウジョウ（緊急指定なし） PA-D セイギョ No センタク：1-2（PA-D ID 番号） PA-D セイギョシュツリョク センタク：10 （エスカレーター通常時アナウンスの起動番号） マトリックスニュウリョク No. センタク：03

< PA-DR600 >

設定項目	設定メニュー	設定値
出力モード設定	1-3. シュツリョクセッテイ	2 ゲンシュツリョク
制御入力の優先モード	1-4. キドウユウセン	アト-バルス
制御入力モード	1-5. セイギョニュウリョクモード	バイナリ
再生ウェイト時間	1-6. サイセイウェイトジカン	ビョウ:02（アンプ起動時間）
連動出力	1-7. レンドウシュツリョク	アンプ
ブランク / インターバル	1-8. ブランク / インターバル	オン
制御入力への動作割り当て	2-7. セイギョニュウリョク	設定例： キドウバンゴウ E001 センタク 001 >カゼカイテン（風除室開店時アナウンス） サイセイモード：レンゾク サイセイカイスウ：エンドレス サイセイインターバル 03:00 シャッフル：オフ ツウジョウ 2 ゲンシュツリョク：1 ゲン キドウバンゴウ E010 センタク 010 >エスカ（エスカレーター通常時アナウンス） サイセイモード：レンゾク サイセイカイスウ：エンドレス サイセイインターバル 01:00 シャッフル：オフ ツウジョウ 2 ゲンシュツリョク：2 ゲン

8. デジタル音源（PA-D）シリーズを使用した放送

8-2.PA-D シリーズのユニット 選定と使用台数

週間 / 年間スケジュールタイマーの有無や、メッセージ（チャイム）放送、BGM 放送の起動数によって必要なユニットと使用台数（組合せ）を決定します。

■ 週間 / 年間スケジュールタイマーによって自動放送する場合

- 下記のどちらかのユニットが必要です。
- 接続形態：基本接続

	メッセージ (チャイム)放送	BGM 放送	放送先選択 (制御出力)数
PA-DT600	○	×	8
PA-DA600	○	○	5

■ EM-D36 から PA-D シリーズを起動して放送する場合

- 下記のユニットが必要です。
- 接続形態：PA-D 連動接続
- 入出力拡張用 EM-L92 を追加することによって接続台数を増やすことができます。

	メッセージ放送	BGM 放送	制御モード	メッセージ、BGM 合計起動数	2元放送
PA-DR600	○	○*	バイナリ	63	○
PA-DA300	○	○	バイナリ	63	×
PA-DA600	○	○	ダイレクト	4	×

* PA-DR600 を 2 元出力モードで使用する場合、BGM 放送することも可能です。ただし、PA-DA300、PA-DA600 と比べて再生時間は短くなります。

メモ

- バイナリモードは「制御出力 No 指定用ビット 1 ～ 6」と「スタート」「ストップ」端子で制御します。
- ダイレクトモードは「制御出力 No.1 ～ 4 スタート」と「ストップ」端子で制御します。

< PA-D シリーズ最大接続数 >

	入出力拡張 EM-L92 なしの場合	入出力拡張 EM-L92 ありの場合
PA-DR600, PA-DA300 (バイナリモード)	1 台まで	4 台まで
PA-DA600 (ダイレクトモード)	1 台まで	3 台まで

* バイナリモードとダイレクトモードの混在はできません。

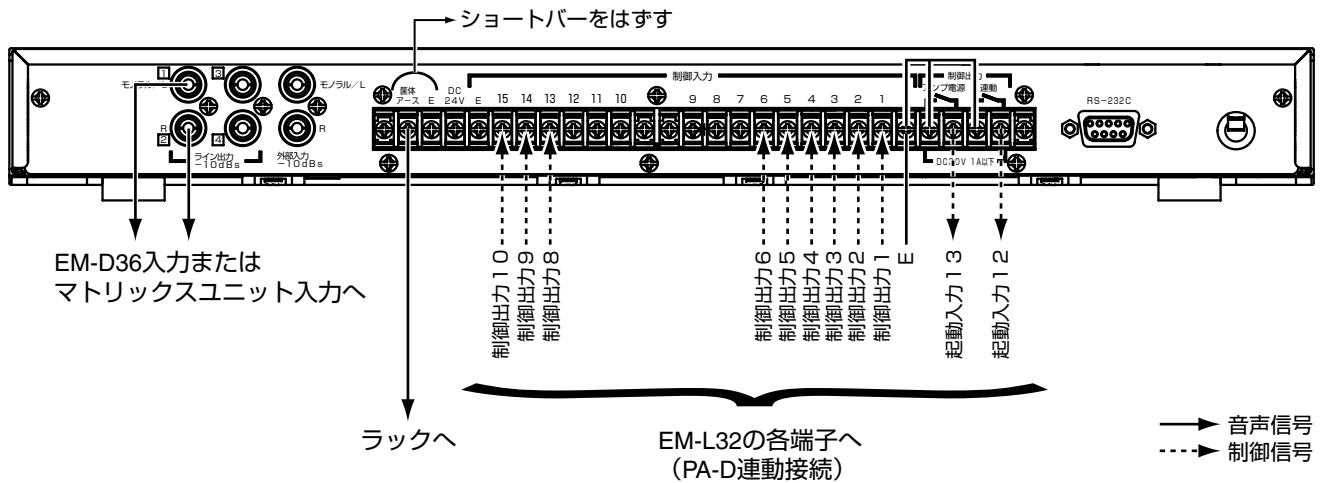
* 2 台以上「PA-D 連動接続」する場合は、PA-DA600（ダイレクト）と PA-DR600/DA300（バイナリ）を組み合わせることはできません。

メモ

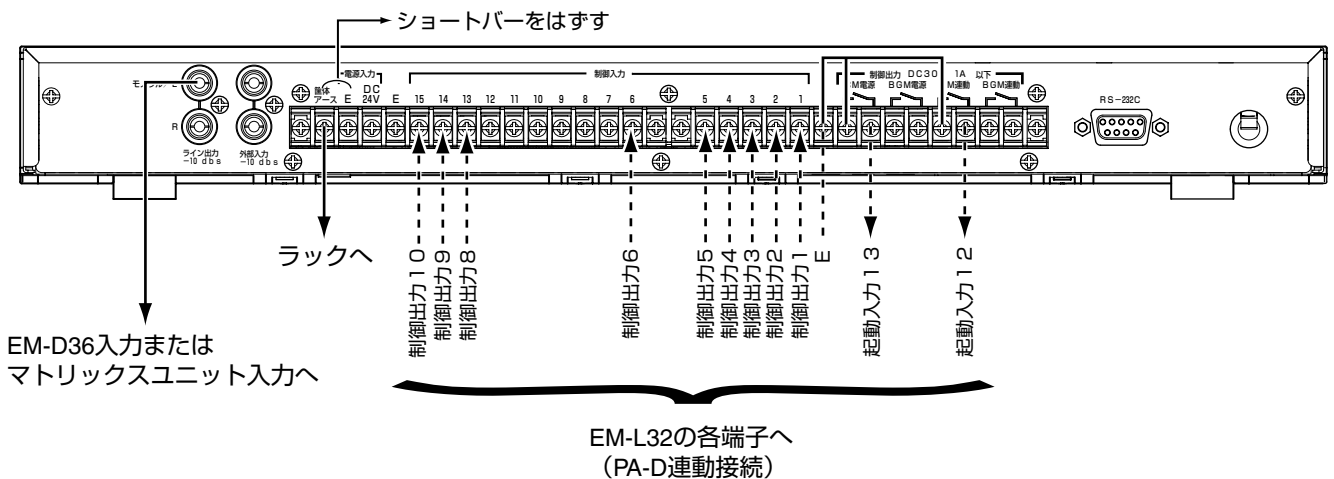
- PA-DT600 を PA-D 連動接続で制御することはできません。
- PA-DA600 で、タイマーによる自動放送（基本接続）とメッセージブロック放送（PA-D 連動接続）を併用する場合、メッセージブロック放送が優先されます。報時チャイムなど、タイマーによる自動放送を優先させる場合は、メッセージブロック用に別途 PA-DR600 や PA-DA300 などを使用してください。

8-3.PA-D シリーズの接続方法

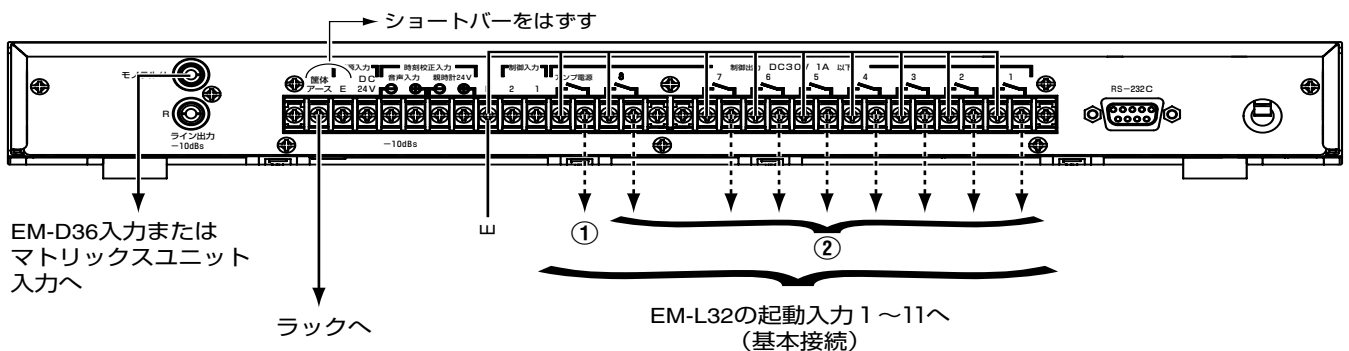
■ PA-DR600



■ PA-DA300



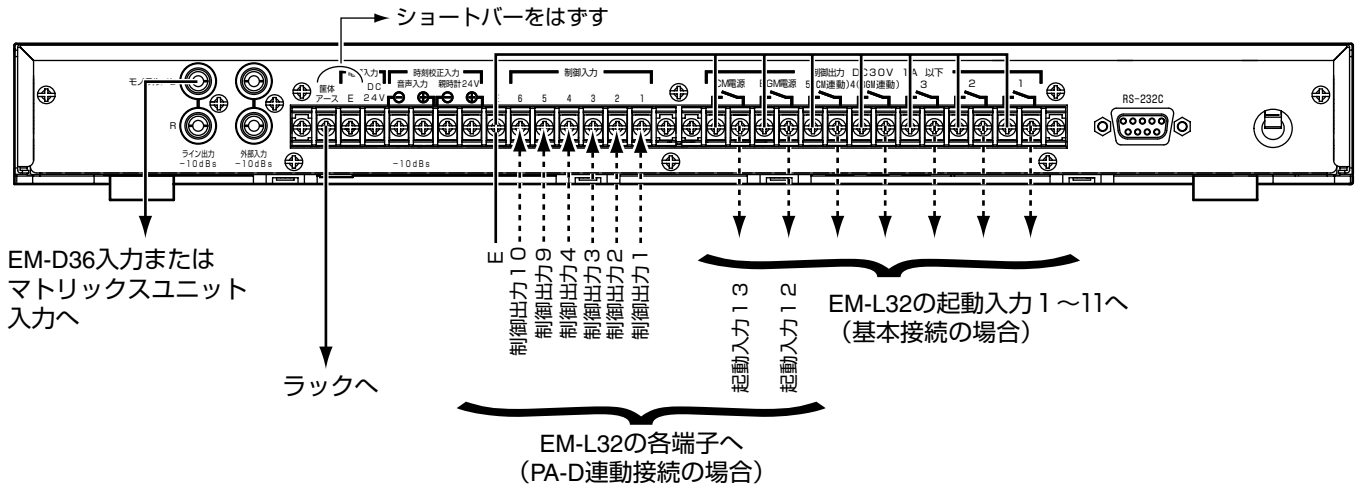
■ PA-DT600



- ① アンプ電源: 放送先が共通の場合に使用します。
- ② 制御出力1~8: 放送する内容により、放送先を選択する場合に使用します。

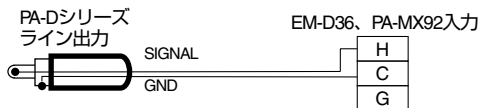
8-3.PA-D シリーズの接続方法 (つづき)

■ PA-DA600



■ ライン出力の接続

< EM-D36、PA-MX92 >



< PA-MX52 >

99 ページを参照してください。

■ EM-L32 制御出力端子の機能 (※ PA-D 連動接続用です。他の機器の制御には使用できません。)

端子	機能					
	PA-D 制御モード=バイナリ				PA-D 制御モード=ダイレクト	
	PA-DR600		PA-DA300		PA-DA600	
	1元制御	2元制御	CM 制御	BGM 制御	CM 制御	BGM 制御
制御出力1	制御出力ビット1(全ID共通)				制御出力1(ID=1)	
制御出力2	制御出力ビット2(全ID共通)				制御出力2(ID=1)	
制御出力3	制御出力ビット3(全ID共通)				制御出力3(ID=1)	
制御出力4	制御出力ビット4(全ID共通)				制御出力4(ID=1)	
制御出力5	制御出力ビット5(全ID共通)				-	
制御出力6	制御出力ビット6(全ID共通)				-	
制御出力7	-				-	
制御出力8	スタート (ID=1-1)	スタート (ID=1-2)	スタート (ID=1-1)	スタート (ID=1)	-	
制御出力9	-	ストップ (ID=1-2)	-	ストップ (ID=1)	-	ストップ(ID=1)
制御出力10	ストップ (ID=1-1)	-	ストップ (ID=1-1)	-	ストップ(ID=1)	-

※ バイナリモードは全部の機器に並列に接続した「制御出力ビット1~6」で番号指定し、機器(ID)別の「スタート」「ストップ」で再生制御します。ダイレクトモードは機器(ID)ごとに「制御出力1~4」で再生開始、「ストップ」で再生停止制御します。

■ EM-L32 起動入力端子の機能 (PA-D 連動接続時)

端子	機能					
	PA-D 制御モード=バイナリ				PA-D 制御モード=ダイレクト	
	PA-DR600		PA-DA300		PA-DA600	
	1元制御	2元制御	CM制御	BGM制御	CM制御	BGM制御
起動入力1	未使用				未使用	
起動入力2	未使用				未使用	
起動入力3	未使用				未使用	
起動入力4	未使用				未使用	
起動入力5	未使用				未使用	
起動入力6	未使用				未使用	
起動入力7	未使用				未使用	
起動入力8	未使用				未使用	
起動入力9	未使用				未使用	
起動入力10	未使用				未使用	
起動入力11	未使用				未使用	
起動入力12	—	再生終了検出 (ID = 1-2)	—	再生終了検出 (ID = 1)	—	再生終了検出 (ID = 1)
起動入力13	再生終了検出 (ID = 1-1)	—	再生終了検出 (ID = 1-1)	—	再生終了検出 (ID = 1)	—

※未使用の起動入力端子は、通常の起動入力として使用できます。

■ 入出力拡張用 EM-L92 SPN 端子の機能 (PA-D 連動接続時)

ご注意

- 2台以上接続する場合は、入出力拡張用 EM-L92 が必要になります。

端子	機能					
	PA-D 制御モード=バイナリ				PA-D 制御モード=バイナリ	
	PA-DR600		PA-DA300		PA-DA600	
	1元制御	2元制御	CM制御	BGM制御	CM制御	BGM制御
SPN 1	未使用				制御出力 1 (ID = 3)	
SPN 2	未使用				制御出力 2 (ID = 3)	
SPN 3	未使用				制御出力 3 (ID = 3)	
SPN 4	未使用				制御出力 4 (ID = 3)	
SPN 5	未使用				—	
SPN 6	未使用				—	
SPN 7	未使用				—	
SPN 8	未使用				—	
SPN 9	未使用				—	ストップ (ID = 3)
SPN10	未使用				ストップ (ID = 3)	—
SPN11	未使用				制御出力 1 (ID = 2)	
SPN12	スタート (ID = 4-1)	スタート (ID = 4-2)	スタート (ID = 4-1)	スタート (ID = 4)	制御出力 2 (ID = 2)	
SPN13	—	ストップ (ID = 4-2)	—	ストップ (ID = 4)	制御出力 3 (ID = 2)	
SPN14	ストップ (ID = 4-1)	—	ストップ (ID = 4-1)	—	制御出力 4 (ID = 2)	
SPN15	スタート (ID = 3-1)	スタート (ID = 3-2)	スタート (ID = 3-1)	スタート (ID = 3)	—	
SPN16	—	ストップ (ID = 3-2)	—	ストップ (ID = 3)	—	
SPN17	ストップ (ID = 3-1)	—	ストップ (ID = 3-1)	—	—	
SPN18	スタート (ID = 2-1)	スタート (ID = 2-2)	スタート (ID = 2-1)	スタート (ID = 2)	—	
SPN19	—	ストップ (ID = 2-2)	—	ストップ (ID = 2)	—	ストップ (ID = 2)
SPN20	ストップ (ID = 2-1)	—	ストップ (ID = 2-1)	—	ストップ (ID = 2)	—

※未使用の SPN 端子は、マルチ業務リモコン (PA-C620) の制御スイッチで使用できます。(P.114 ページ)

※ダイレクトモード時、2台目は SPN11 ~ 20、3台目は SPN1 ~ 10 を使用します。

8-3.PA-D シリーズの接続方法 (つづき)

■ 入出力拡張用 EM-L92 EL 端子機能 (PA-D 連動接続時)

端子	機能					
	PA-D 制御モード=バイナリ				PA-D 制御モード=バイナリ	
	PA-DR600		PA-DA300		PA-DA600	
	1 元制御	2 元制御	CM 制御	BGM 制御	CM 制御	BGM 制御
EL 1	未使用				未使用	
EL 2	未使用				未使用	
EL 3	未使用				未使用	
EL 4	未使用				未使用	
EL 5	未使用				未使用	
EL 6	未使用				未使用	
EL 7	未使用				未使用	
EL 8	未使用				未使用	
EL 9	未使用				未使用	
EL10	未使用				未使用	
EL11	未使用				未使用	
EL12	未使用				未使用	
EL13	未使用				未使用	
EL14	未使用				未使用	
EL15	—	再生終了検出 (ID = 4-2)	—	再生終了検出 (ID = 4)	—	再生終了検出 (ID = 4)
EL16	再生終了検出 (ID = 4-1)	—	再生終了検出 (ID = 4-1)	—	再生終了検出 (ID = 4)	—
EL17	—	再生終了検出 (ID = 3-2)	—	再生終了検出 (ID = 3)	—	再生終了検出 (ID = 3)
EL18	再生終了検出 (ID = 3-1)	—	再生終了検出 (ID = 3-1)	—	再生終了検出 (ID = 3)	—
EL19	—	再生終了検出 (ID = 2-2)	—	再生終了検出 (ID = 2)	—	再生終了検出 (ID = 2)
EL20	再生終了検出 (ID = 2-1)	—	再生終了検出 (ID = 2-1)	—	再生終了検出 (ID = 2)	—

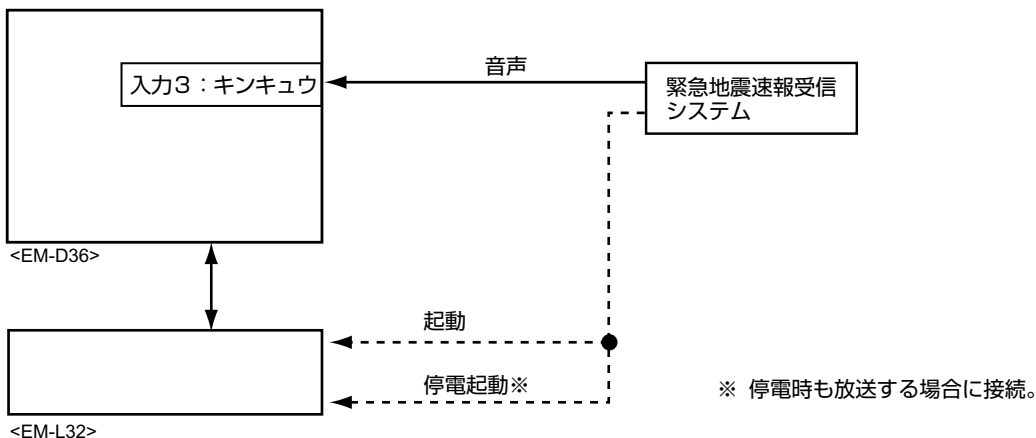
* 未使用の EL 端子は、通常の起動入力として使用できます。

9-1. 緊急優先放送を使用するシステムについて

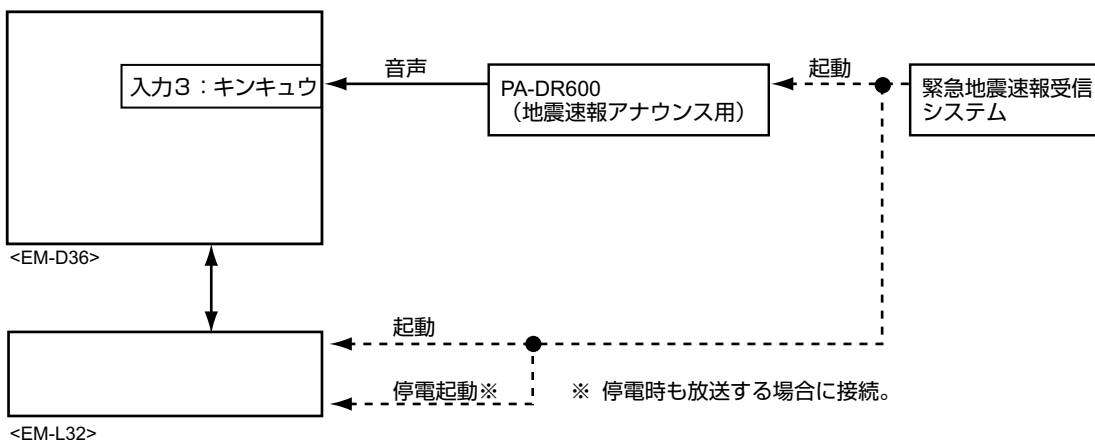
- 緊急地震速報などの速報性を重視する放送で、起動機器の音源を利用する場合は、音声入力端子を入力 3 など(通常使用するメッセージ、BGM用と別の端子)に設定してください。また、音源にPA-Dシリーズを使用する場合は、下記のように接続・設定を行なってください。
 - ・音源ユニットは通常使用するメッセージ、BGM用と別のユニットとする
 - ・接続形態＝基本接続
 - ・音声入力端子＝入力3など(通常使用するメッセージ、BGM用と別の端子)
- 上記以外の緊急優先放送時は、84 ページの接続例のように、PA-D 連動接続を使用した制御が可能です。この場合も下記のように接続・設定を行なってください。
 - ・音源ユニットは通常使用するメッセージ、BGM用と別のユニットとする
 - ・接続形態＝PA-D 連動接続
 - ・音声入力端子＝入力3など(通常使用するメッセージ、BGM用と別の端子)
- 同じ音源を使用した場合、緊急優先放送の前後に(またはミックスされて)メッセージやBGMが放送される場合があります。
- 多元システムの場合でも、緊急優先放送の音源は EM-D36 の入力端子に接続します。
- 以下の推奨接続例のシステムでは、いずれも起動から 2 秒(停電時は 3.5 秒)以内に放送を開始することができます。ただし、これは EM-D300 システム単独の起動時間で、使用する音源装置(PA-D シリーズなど)、起動をかける機器、システムによって変化します。放送内容によっては起動時間が重要となる場合がありますので、設置工事後に必ずシステム全体の動作を確認してください。

■ 緊急地震速報装置の推奨接続例

<起動機器の音源を利用>



<音源に PA-D シリーズを利用>

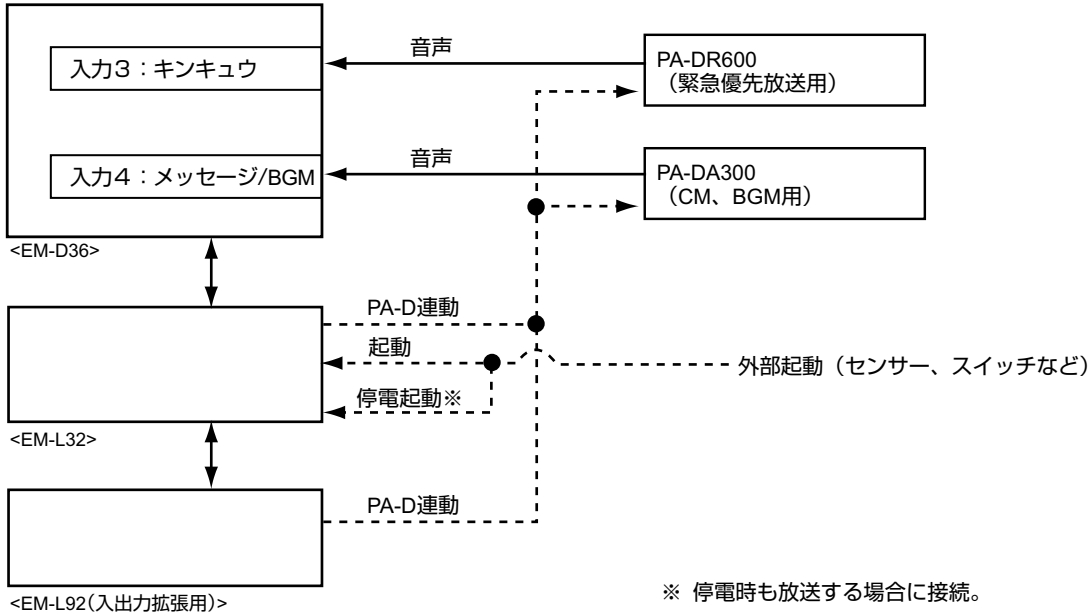


9. 緊急優先放送を使用するシステムについて

9-1. 緊急優先放送を使用するシステムについて(つづき)

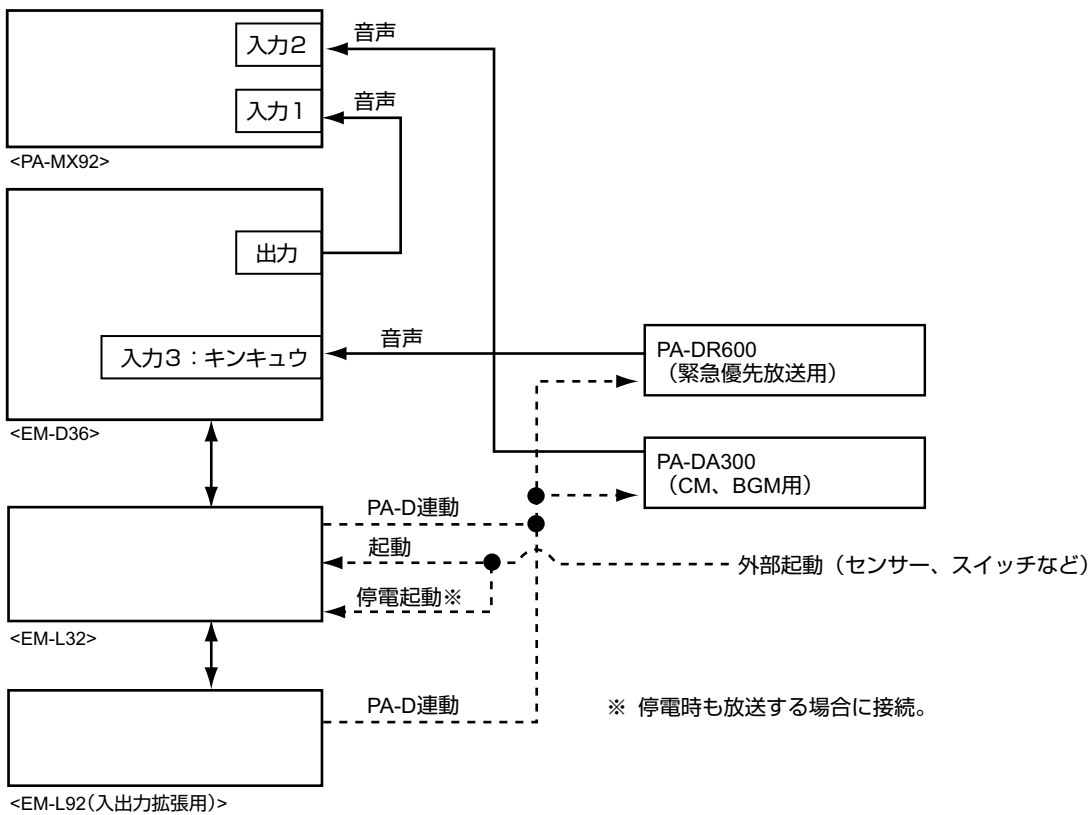
■ 緊急優先放送の推奨接続例

<単元システム>



※ 停電時も放送する場合に接続。

<多元システム>



※ 停電時も放送する場合に接続。

10-1. マトリックス(多元)放送とは

- マトリックス(多元)放送は、複数の BGM・案内放送などを、異なるスピーカー回線へ同時に放送することができます。
- マトリックス放送システムを構築するためには、マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)を使用します。また、BGMと呼び出し放送をミキシングするデジタルマトリックス放送システムを構築するためにはデジタルマトリックスユニット(PA-MX92)を使用します

<ショッピングセンターにおける4元放送の例>

3階	「呼び出し放送」
2階	「BGM放送 2」
1階	「BGM放送 1」
地下1階	「案内放送」

マトリックス放送のシステム例

ショッピングセンターで次の放送機能を実現

- 1階と2階へ異なったBGM(PA-DA300)を連続放送
- 地下1階へは、駐車場案内(PA-DR600)を放送
- 業務リモコンで、駐車場と3階従業員事務所の呼び出し放送
- 閉店時の放送は全館一斉放送

3階	事務所 ⊙ 40W		
2階	日用品 ⊙ 30W	衣料品 ⊙ 30W	
1階	食料品 西 ⊙ 30W	食料品 東 ⊙ 30W	テナント ⊙ 20W
地下1階	駐車場 西 ⊙ 20W	駐車場 北 ⊙ 20W	駐車場 東 ⊙ 20W

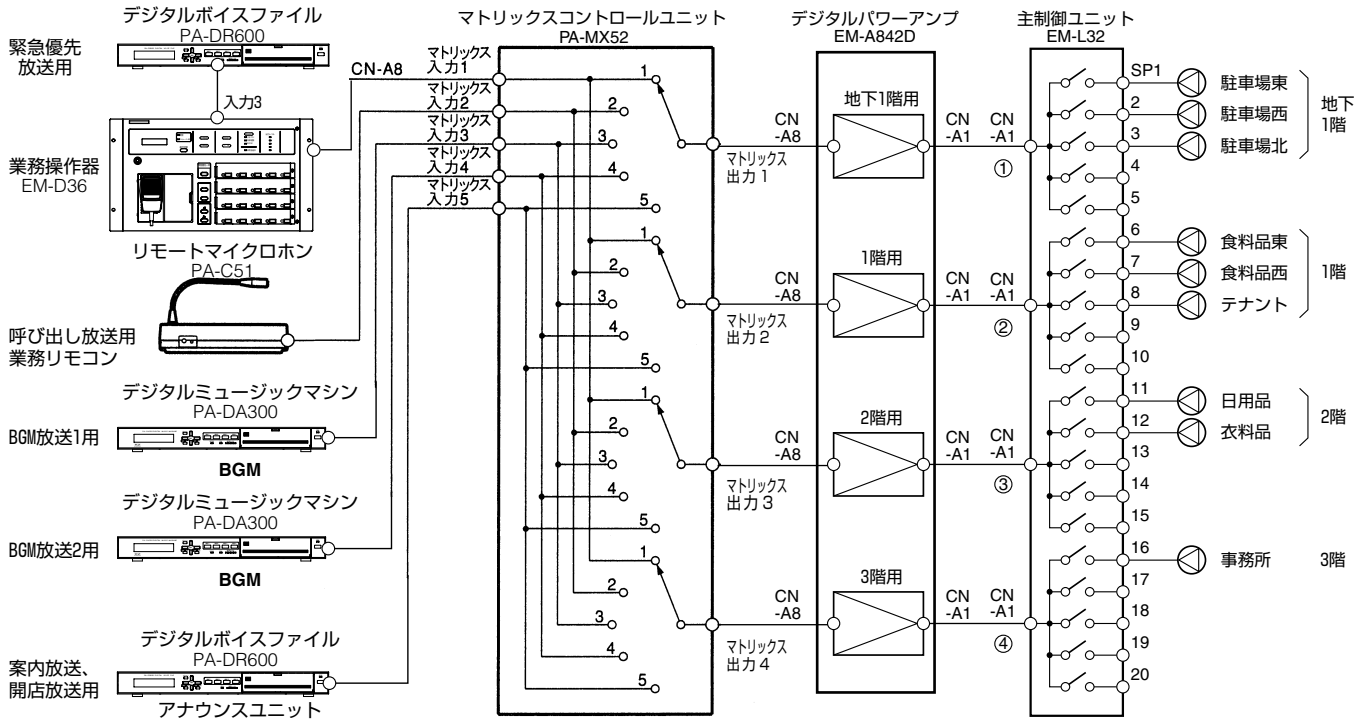
<ショッピングセンターにおける4元マトリックス放送の例>

■ プログラムシート例

放送エリア	接続機器名	マトリックス入力No	放送機器名	起動力No.	スピーカーエリア	スピーカー回線																		
						1				2				3				4				緊急指定		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		17	18
全館	業務リモコン1	2	業務リモコン	1	事務所	○	○	○																
駐車場	業務リモコン2	2	業務リモコン	2	B1 駐車場東	○	○	○																
食料品	業務リモコン3	2	業務リモコン	3	1F 食料品東					○	○													
テナント	業務リモコン4	2	業務リモコン	4	1F テナント							○												
日用品衣類	業務リモコン5	2	業務リモコン	5	2F 日用品									○	○									
駐車場北	業務リモコン6	2	業務リモコン	6	B1 駐車場西			○																
BGM放送1	BGM 1	3	BGM	7	1F 食料品西					○	○													
BGM放送2	BGM 2	4	BGM	8	2F 衣類									○	○									
案内放送	PA-DR600	5	アナウンスユニット	9	B1 駐車場北	○	○	○																
開店放送	PA-DR600	5	アナウンスユニット	10	B1 駐車場東	○	○	○						○	○				○					

10-1. マトリックス(多元)放送とは(つづき)

■ PA-MX52 システムブロック図

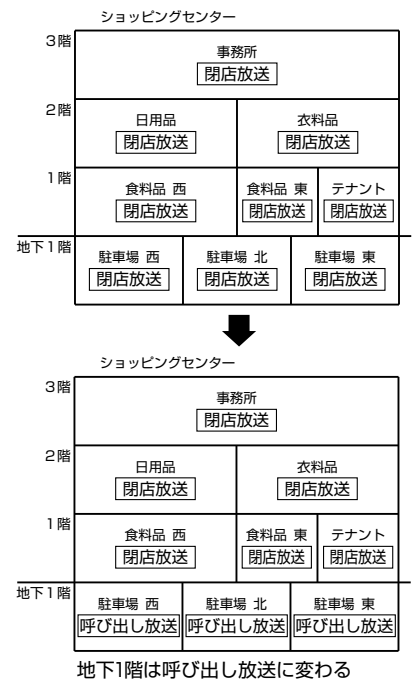


マトリックス放送時の動作

- スピーカー回線制御方式が「1系統5回線制御」を基本としていますので、この基本単位の中では同時に複数の放送を行うことはできません。
- 複数の放送が起動されると、優先順位(システム設定で指定された順位)の高い放送から放送が行われます。

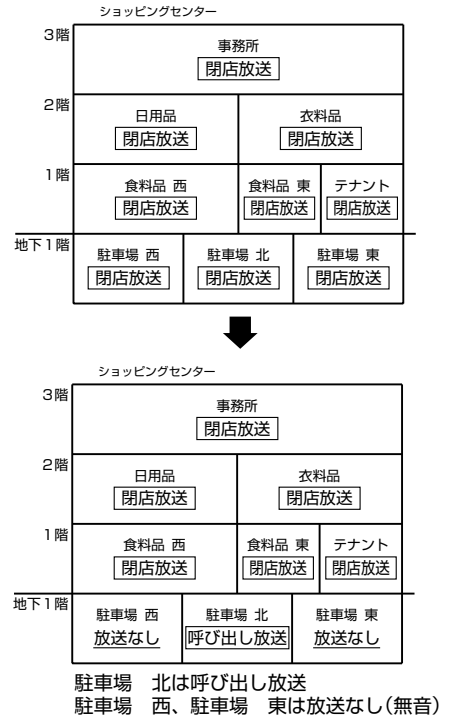
■ 動作例 1

全館に閉店放送(PA-DR600)を放送中、業務リモコンから「駐車場」を選び、呼び出し放送を行う場合の動作は右図のように放送されます。



■ 動作例2

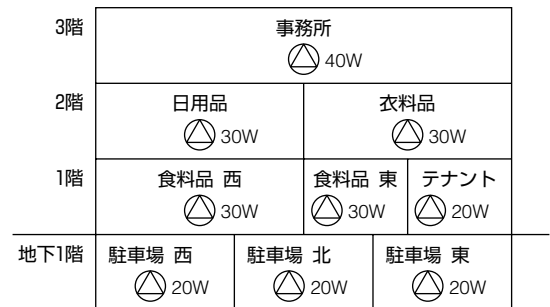
全館に閉店放送(PA-DR600)を放送中、業務リモコンから「駐車場北」を選び、呼び出し放送を行う場合の動作は右図のように放送されます。「駐車場西」と「駐車場東」は閉店放送が停止し、放送なし(無音)状態が起こります。



デジタルマトリックス放送のシステム例

ショッピングセンターで次の放送機能を実現

- 1階と2階へ異なったBGM(PA-DA300)を連続放送
- 地下1階へは、駐車場案内(PA-DR600)を放送
- 業務リモコンで、駐車場と3階従業員事所の呼び出し放送
- 閉店時の放送は全館一斉放送



<ショッピングセンターにおける4元マトリックス放送の例>

次のページへつづく ...

10-1. マトリックス(多元)放送とは(つづき)

デジタルマトリックス放送のシステム例(つづき)

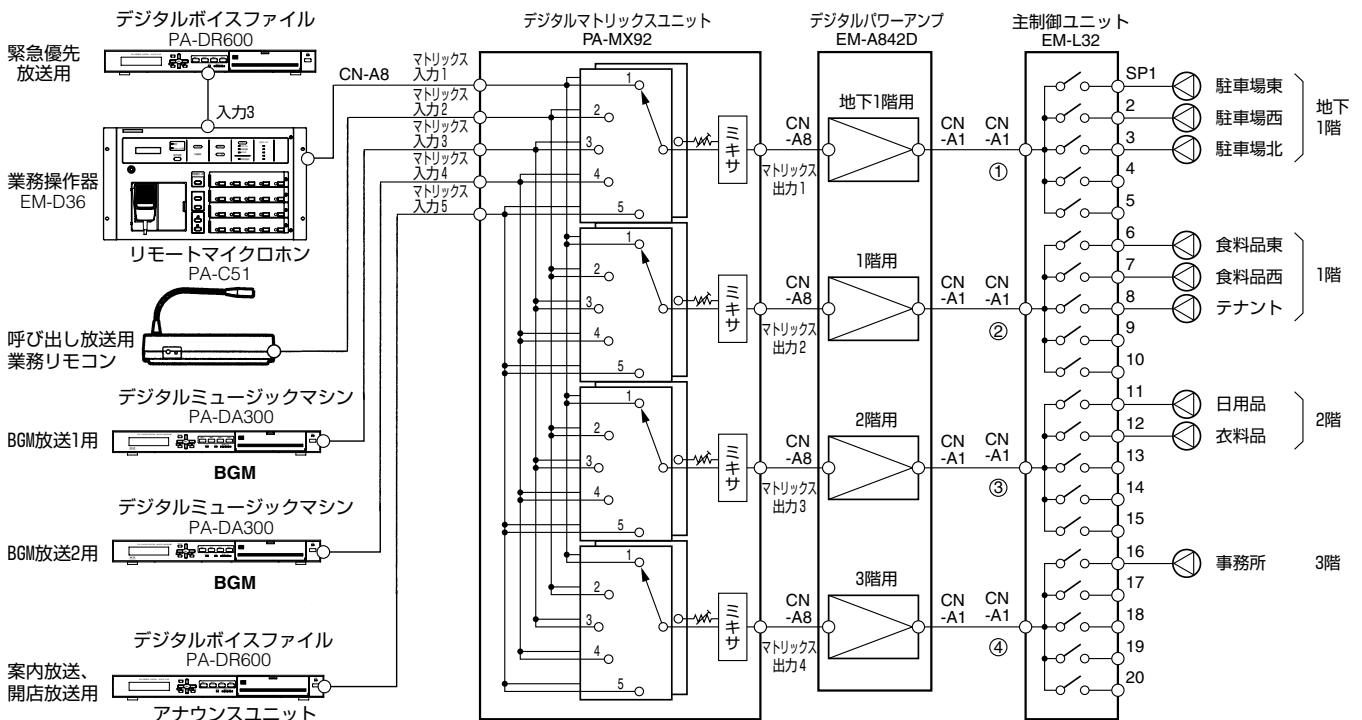
■ プログラムシート側

放送エリア	接続機器名	マトリックス 入力No.	放送機器名	起動入力No.	緊急指定																				
					1					2					3					4					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
全館	業務リモコン1	2	業務リモコン	1																					
駐車場	業務リモコン2	2	業務リモコン	2																					
食料品	業務リモコン3	2	業務リモコン	3																					
テナント	業務リモコン4	2	業務リモコン	4																					
日用品衣類	業務リモコン5	2	業務リモコン	5																					
駐車場北	業務リモコン6	2	業務リモコン	6																					
BGM放送1	BGM 1	3	BGM	7																					
BGM放送2	BGM 2	4	BGM	8																					
案内放送	PA-DA600	5	アナウンス ユニット	9																					
開店放送	PA-DA600	5	アナウンス ユニット	10																					

デジタルマトリックス設定

入力	ミキシング	フェーダー
1	ミックスなし	パターン 0/0
2	ミックス小	パターン 0/0
3	ミックスなし	パターン 3/1
4	ミックスなし	パターン 3/1
5	ミックス小	パターン 1/1
6	ミックスなし	パターン 0/0

■ PA-MX92 システムブロック図

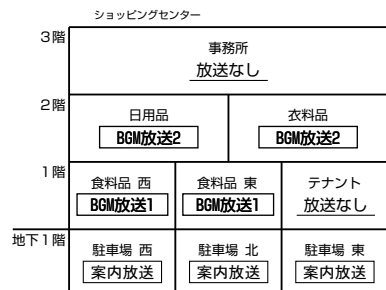


デジタルマトリックス放送時の動作

- マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)を使用したマトリックス放送と同様に、スピーカー回線制御方式が「1 系統 5 回線制御」を基本としているので、この基本単位の中では同時に複数の放送を行うことはできません。
- マトリックス出力ごとに、その時点での優先順位 1 位の放送機器(放送グループ)の設定データにもとづきスピーカー回線が選択されます。また、優先順位 1 位の放送の音量は通常レベルとなり、優先順位 2 位の放送の音量がミキシングレベルとなります。

■ 動作例 1

1 階と 2 階に BGM を、地下 1 階に駐車場案内を放送中に業務リモコンで「駐車場」を選び、呼び出し放送する場合は、右図のように放送されます。

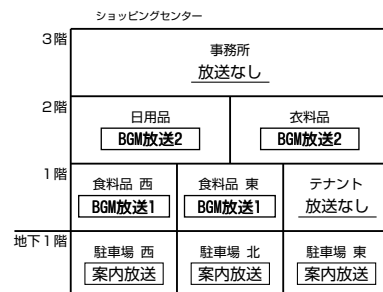


駐車場案内放送がミキシングレベルとなり、呼び出し放送とミックスして放送されます。

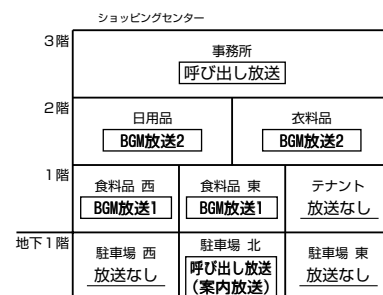


■ 動作例 2

動作例 1 と同じ状態で、業務リモコンで「駐車場北」を選び、呼び出し放送する場合は、右図のように放送されます。



駐車場北は、呼び出し放送と案内放送がミックスされた放送になりますが、駐車場西と駐車場東は放送なし(無音)状態になります。



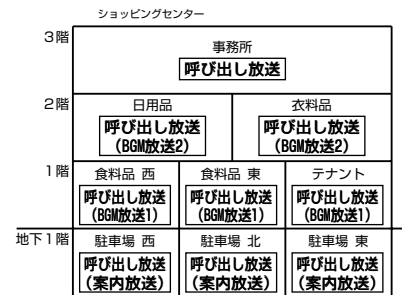
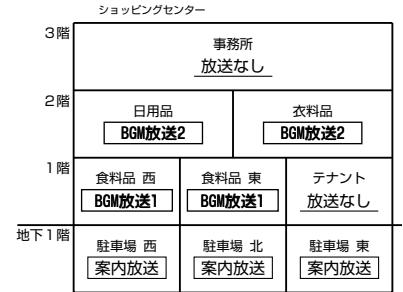
次のページへつづく...

10-1. マトリックス(多元)放送とは(つづき)

デジタルマトリックス放送時の動作(つづき)

■ 動作例3

動作例 1 と同じ状態で、業務リモコンで「全館」を選び、呼び出し放送する場合は、右図のように放送されます。



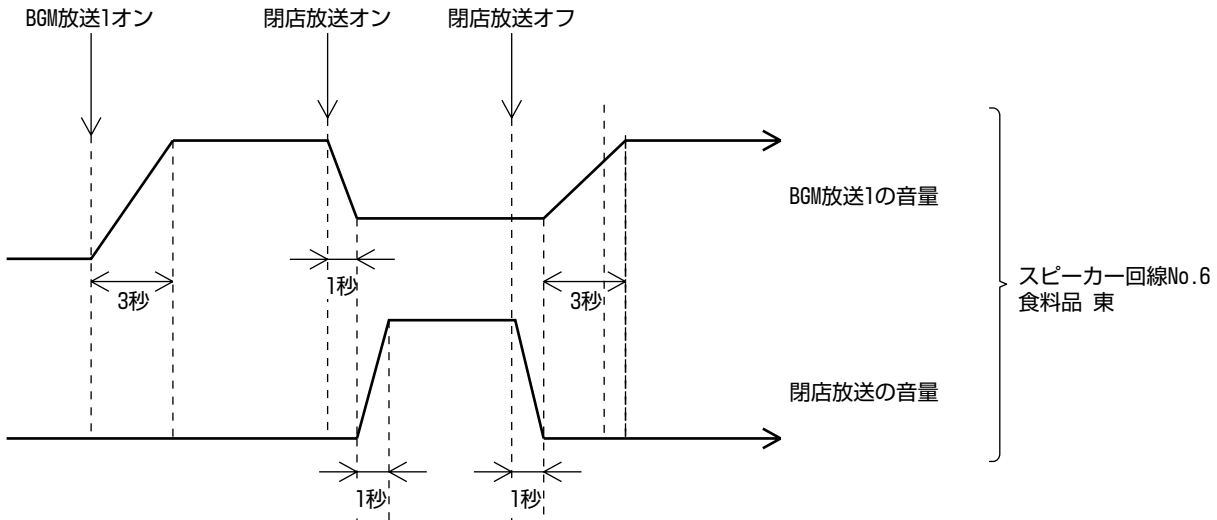
テナントは、呼び出し放送と BGM 放送 1 がミックスされて放送されます。

■ フェーダー動作について

<フェードイン、フェードアウトの基本動作>

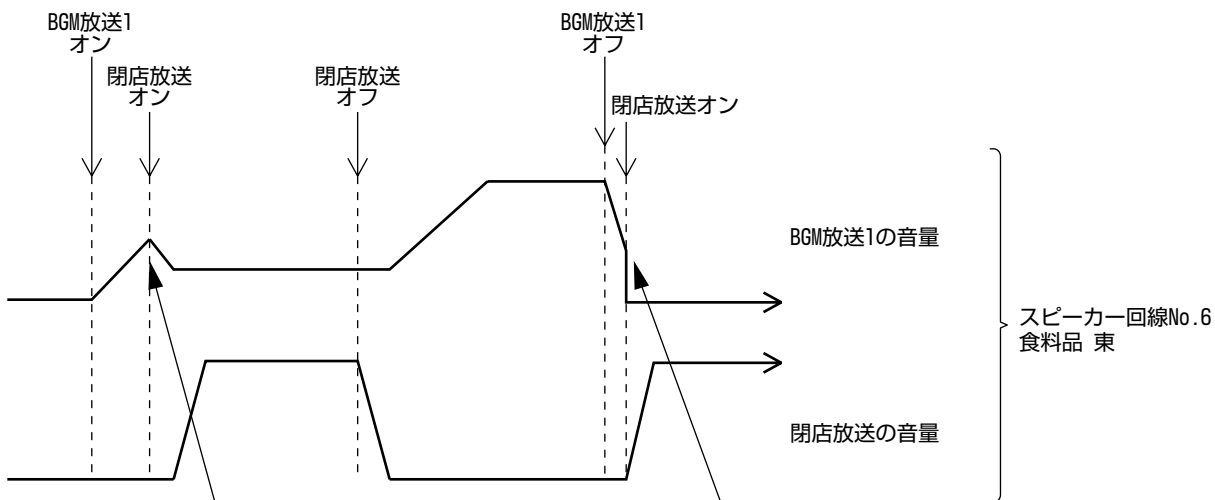
設定したフェーダーパターンに従って、フェードイン、フェードアウト動作をします。

食料品東(スピーカー回線 No.6)において、BGM を放送中に案内放送が入ってきた場合は、下図のように放送されます。



<フェードイン、フェードアウトの応用動作>

フェードイン、フェードアウト動作中に、あらたな動作が発生した場合は、下図のように放送されます。



イン中に放送動作が発生した場合
イン動作を途中で中止して、次の放送動作に入ります。

フェードアウト中に放送動作が発生した場合
フェードアウト動作を途中で中止して、次の放送動作に入ります。

10-2. マトリックス(多元)システム用のユニット選定

ユニットの選定と使用台数

■ マトリックス制御ユニットの選定と台数

マトリックス制御を行うユニットは、次のユニットから選択し、使用台数を決定します。

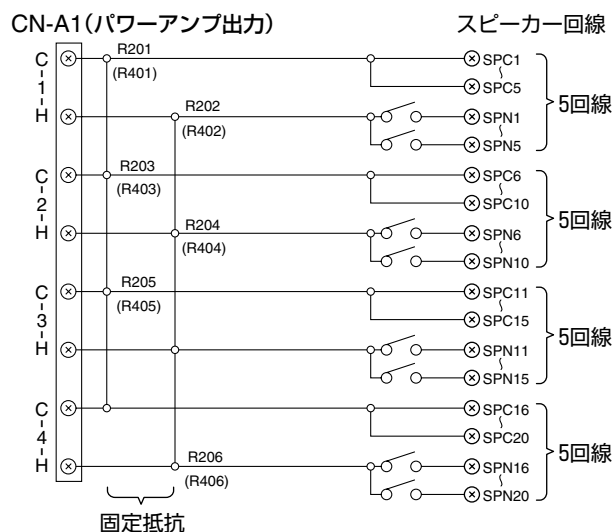
商品名 / 機種名	マトリックスコントロールユニット PA-MX52		デジタルマトリックスユニット PA-MX92		
基本入力数	8 入力		20 入力		
基本出力数	8 出力		10 出力		
最大マトリックス数	16 入力× 16 出力(4 台使用)		20 入力× 20 出力(2 台使用)		
最大同時放送数	16 元(4 台使用)		20 元(2 台使用)		
入力信号レベル	可変	-20 dBs / 0 dBs、切り換え式	可変	-20 dBs / 0 dBs、切り換え式	
出力信号レベル	固定	0 dBs 平衡	可変	0 dBs 平衡	
ユニット必要台数	1 台	入力 8 以下	出力 8 以下		
	2 台	入力 16 以下	出力 8 以下	1 台	入力 20 以下
	2 台	入力 8 以下	出力 16 以下		
	4 台	入力 16 以下	出力 16 以下	2 台	入力 20 以下
				出力 10 以下	
					出力 20 以下

■ パワーアンプ(EM-A □□□)の選定と台数

- 使用するマトリックス出力数のパワーアンプ系統が必要です。
- パワーアンプは、接続するスピーカー負荷(W)の総和以上の定格出力を有する必要があります。
- デジタルパワーアンプは系統を分割可能です。

■ 主制御ユニット(EM-L32)と回線制御ユニット(EM-L92)の台数

- マトリックス出力グループの系統に接続するスピーカー回線は、5 回線単位になります。
1 出力グループのスピーカー回線数は、5 の整数倍を使用することになります。
EM-L32 は 1 台で、20 回線(5 回線× 4)を制御します。
- 追加する回線制御ユニットの使用台数は、各出力グループが使用するスピーカー回線数の合計で決めてください。
EM-L92 は 1 台で、20(5 回線× 4)回線を制御します。



システム例で使用するユニット

入力		機器名
1	業務放送	業務操作器
2	呼び出し	業務リモコン
3	1 階 BGM	デジタルミュージックマシン
4	2 階 BGM	デジタルミュージックマシン
5	案内 / 閉店放送	デジタルボイスファイル

5 入力 / 4 出力 = PA-MX52……1 台、
または
= PA-MX92……1 台

※ PA-MX92 を使用すると、入力 2 系統をミックスして放送することができます。

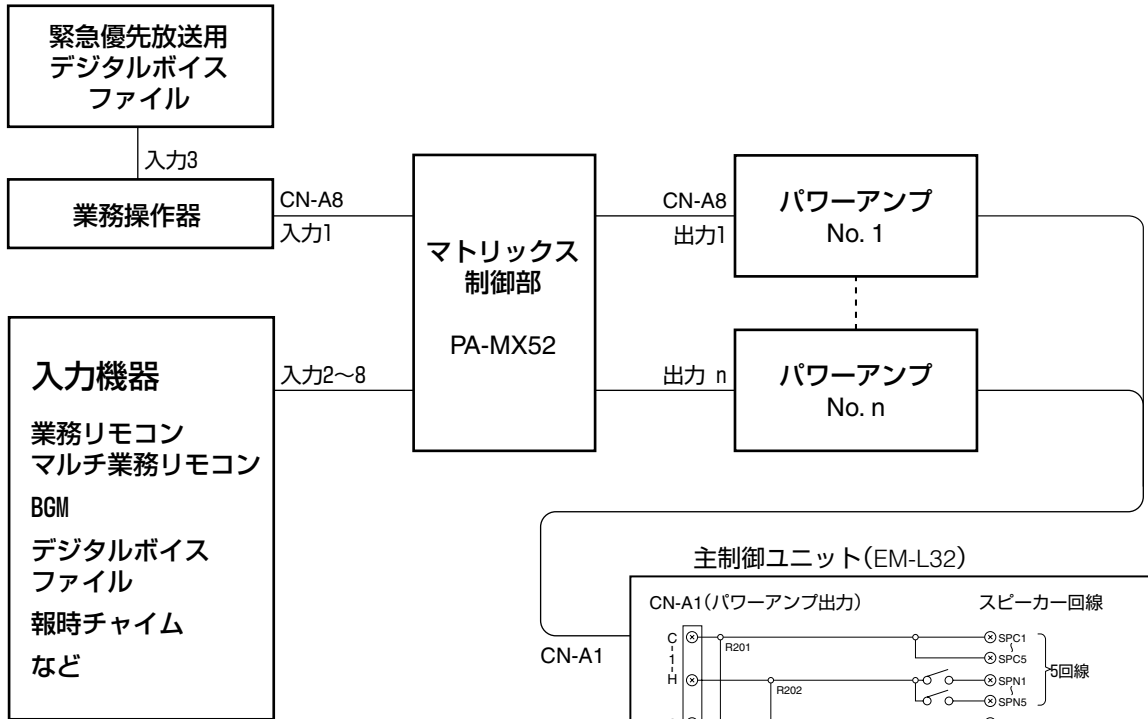
出力	スピーカー回線数	占有回線数	スピーカー負荷
1 地下 1 階	3 回線	5 回線	60 W
2 1 階	3 回線	5 回線	80 W
3 2 階	2 回線	5 回線	60 W
4 3 階	1 回線	5 回線	40 W

5 回線単位を 4 グループ = 20 回線
= EM-L32……1 台(4 分割使用)
= EM-A842D 80 W × 4……1 台
または
EM-A083 80 W……4 台

10-3. マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の設置

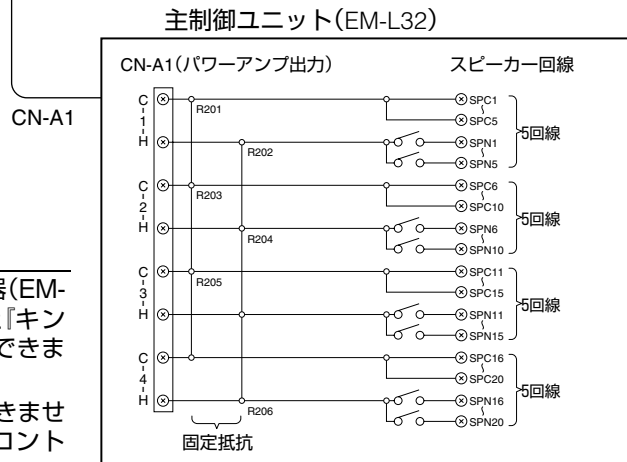
- マトリックス信号系以外の接続については、各ユニットの接続ページをご覧ください。
- マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の説明書もあわせてご覧ください。

基本接続



ご注意

- マトリックス放送システムでは、業務操作器(EM-D36)の音声入力端子のうち、『ミキサー』と『キンキュウユウセン』に設定した端子以外は使用できません。
- EM-L32 の業務リモコン音声端子も使用できません。これら全ての音声入力は、マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)へ接続してください。

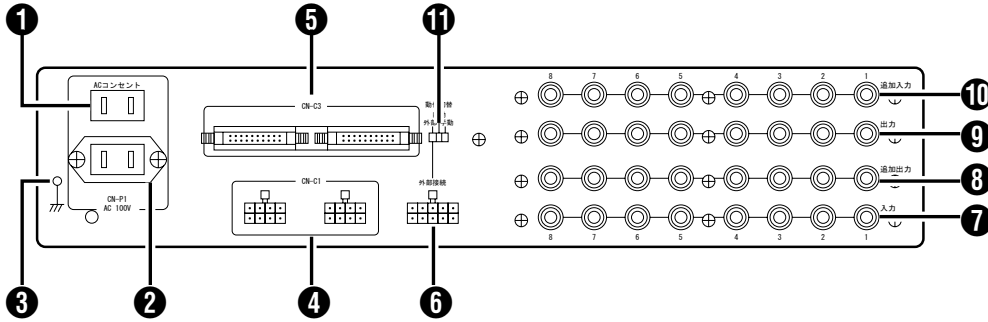


ご注意

- 各グループ系統のパワーアンプ出力を主制御ユニット(EM-L32)または回線制御ユニット(EM-L92)の、CN-A1 へ入力します。出力グループの占有する回線数が少なく、主制御ユニット(EM-L32)を複数グループに分割して使用するときは、出力グループ毎に占有する回線数に対応させてください。
- 回線の分割は、グループ回線数に対応した固定抵抗 R201 ~ R206 を切断してください。切断するジャンパーの位置で、5/10/15 回線グループに分割できます。(P. 24 ページ)
- グループ占有回線数が 20 回線を超えるときは、EM-L92 を追加し、CN-A1 を並列接続します。

10-3. マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の設置(つづき)

接続方法



① AC100 V

本機を複数台数使用するとき、各機を順送り配線してください。PA-MX52 専用です。

② CN-P1 (AC100 V)

付属の電源コードを主電源ユニット(EM-P11)の CN-P1 (非連動)コンセントに接続します。

③ SIGNAL GND(筐体アース)

ラックケースの筐体アースに付属アースケーブルで接続してください。

④ CN-C1 (Molex 8P)

業務操作器(EM-D36)の CN-C1A に接続します。本機を複数台数使用するとき、もう一方の CN-C1 から各機の CN-C1 を順送り接続してください。

⑤ CN-C3 (3M-20P)

業務操作器(EM-D36)の CN-C3 に接続します。本機を複数台数使用するとき、もう一方の CN-C3 から各機の CN-C3 を順送り接続してください。

⑥ 外部起動入力 (Molex 10P)

起動入力 No ピンを GND へ短絡することにより、対応の入力 No への入力信号を、フロントパネルのクロスポイントスイッチで設定したマトリックス出力に出力します。

⑦ 入力 (1~8)

- 複式フォンジャック -20/0 dBs 切り換え・電子平衡マトリックス入力機器の音声出力信号を接続します。
- マトリックス入力機器の音声出力信号を接続します。
- EM-D36の出力(CN-A8)は必ず入力1に接続してください。
- PA-MX52 を複数台数使用して、出力数の拡張接続については、96 ページをご覧ください。

⑧ 追加出力 (1~8)

- 複式フォンジャック 0 dBs 平衡
- PA-MX52 を複数台数使用して、出力数を 16 に拡張するとき使用します。詳細は、96 ページをご覧ください。

⑨ 出力 (1~8)

- 複式フォンジャック 0 dBs 平衡
- パワーアンプ(EM-A ○○○)の入力(CN-A8)に接続します。
- PA-MX52 を複数台数使用して、入力数の拡張接続については、96 ページをご覧ください。

⑩ 追加入力 (1~8)

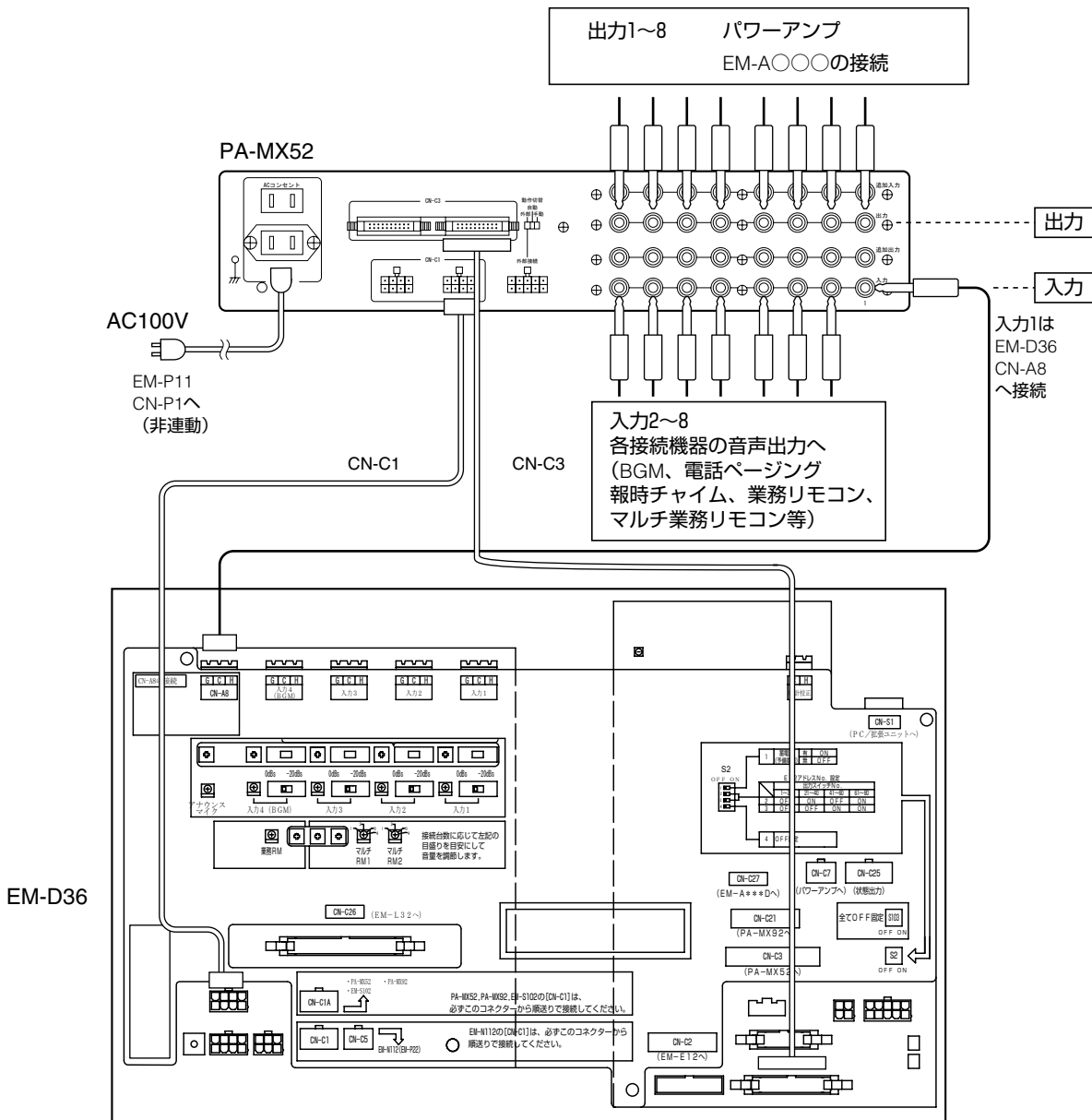
- 複式フォンジャック 0 dBs 平衡
- PA-MX52 を複数台数使用して、入力数を 16 に拡張するとき使用します。詳細は、96 ページをご覧ください。

⑪ 動作切換スイッチ (1~8)

☞ 100 ページ

■ 8 入力 8 出力の場合 (動作切換: 自動)

背面の動作切換スイッチが自動的に設定されていることと、前面のユニット No. スイッチが 1 に設定されていることをご確認ください。



ご注意

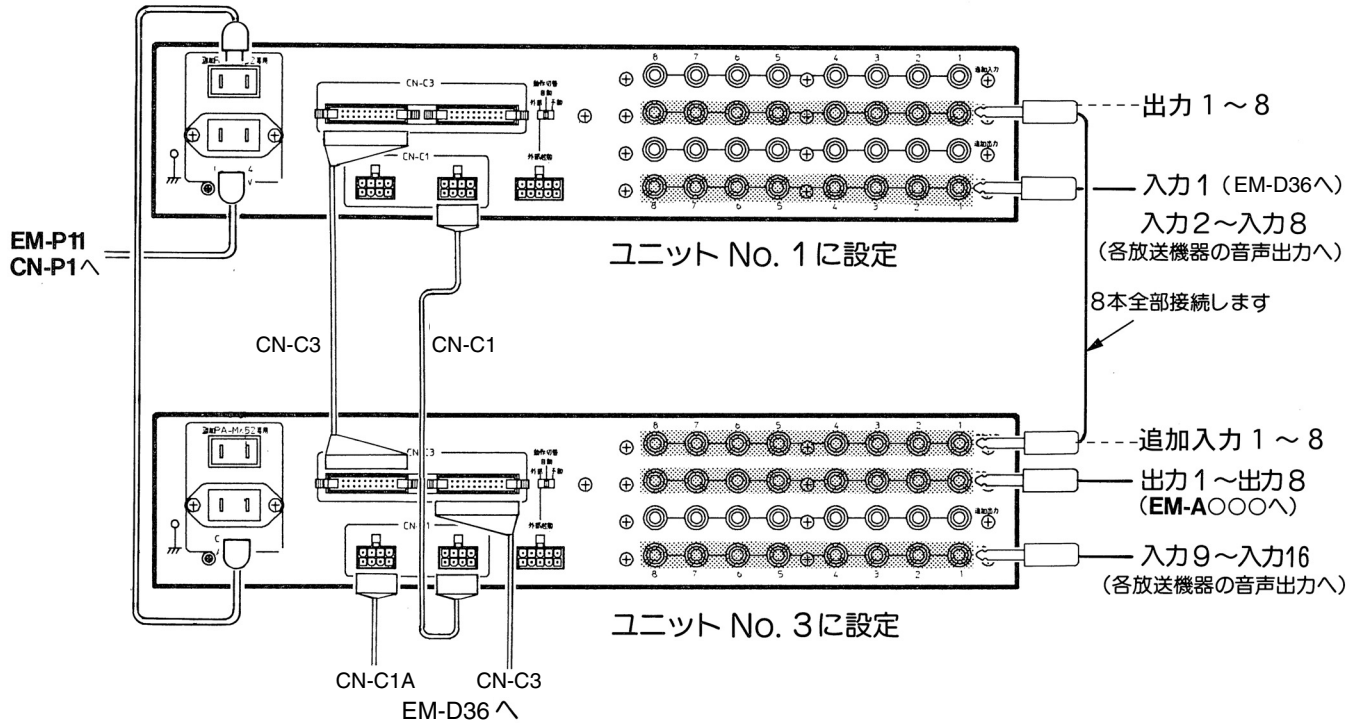
- 業務操作器 EM-D36 の出力は必ず入力 1 に接続してください。
- 業務操作器 EM-D36 が接続される入力 1 の音量ボリュームは必ず最大のままお使いください。
(工場出荷時は最大に設定されています。)
- 業務操作器 EM-D36 の音声入力端子のうち、『ミキサー』と『キンキュウユウセン』に設定した端子以外および主制御ユニット EM-L32 の業務リモコン、マルチ業務リモコンの音声入力は使用できませんので PA-MX52 の入力に接続してください。
- PA-MX52 を使用する場合には業務操作器 EM-D36 へのプログラム入力が必要です。
- PA-MX52 の CN-C1 は、必ず EM-D36 の CN-C1A へ接続してください。

10-3. マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の設置(つづき)

システム拡張の接続

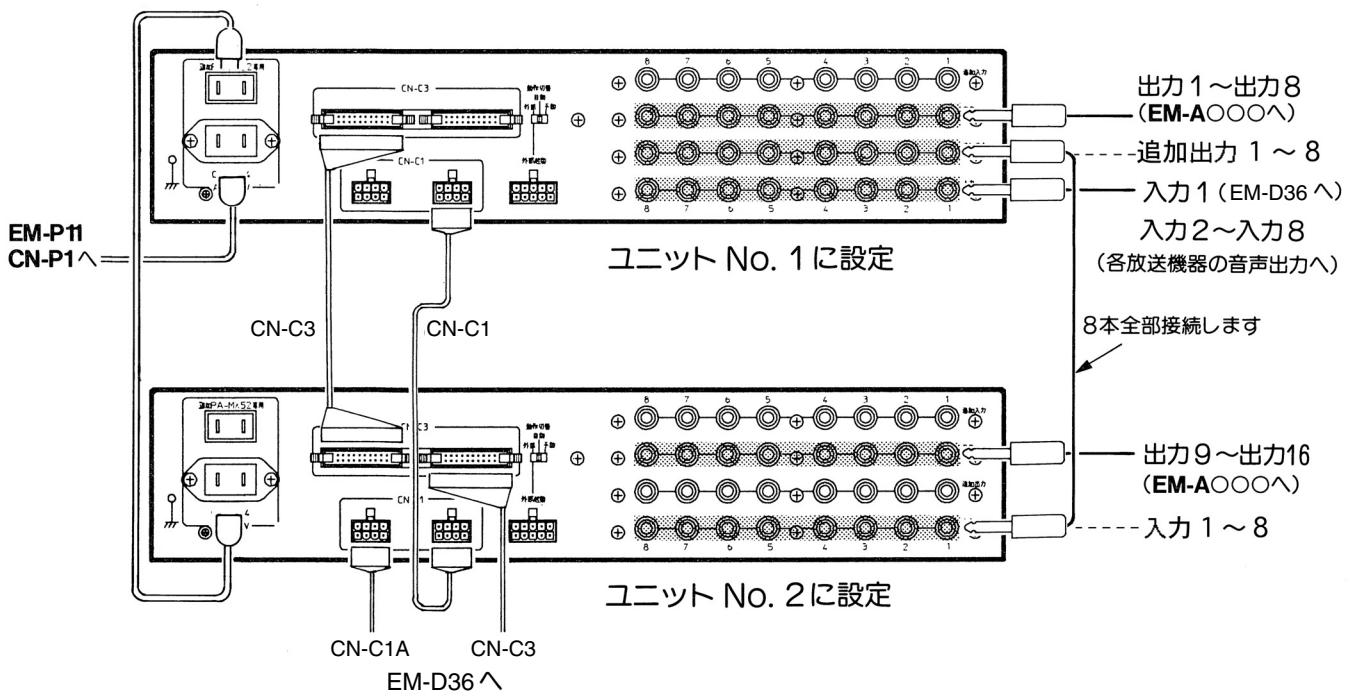
■ 16 入力 8 出力の接続

- 動作切り換えスイッチは 2 台とも「自動」に設定してください。P. 100 ページ
- 各 PA-MX52 のユニット No スイッチは図のとおり設定してください。



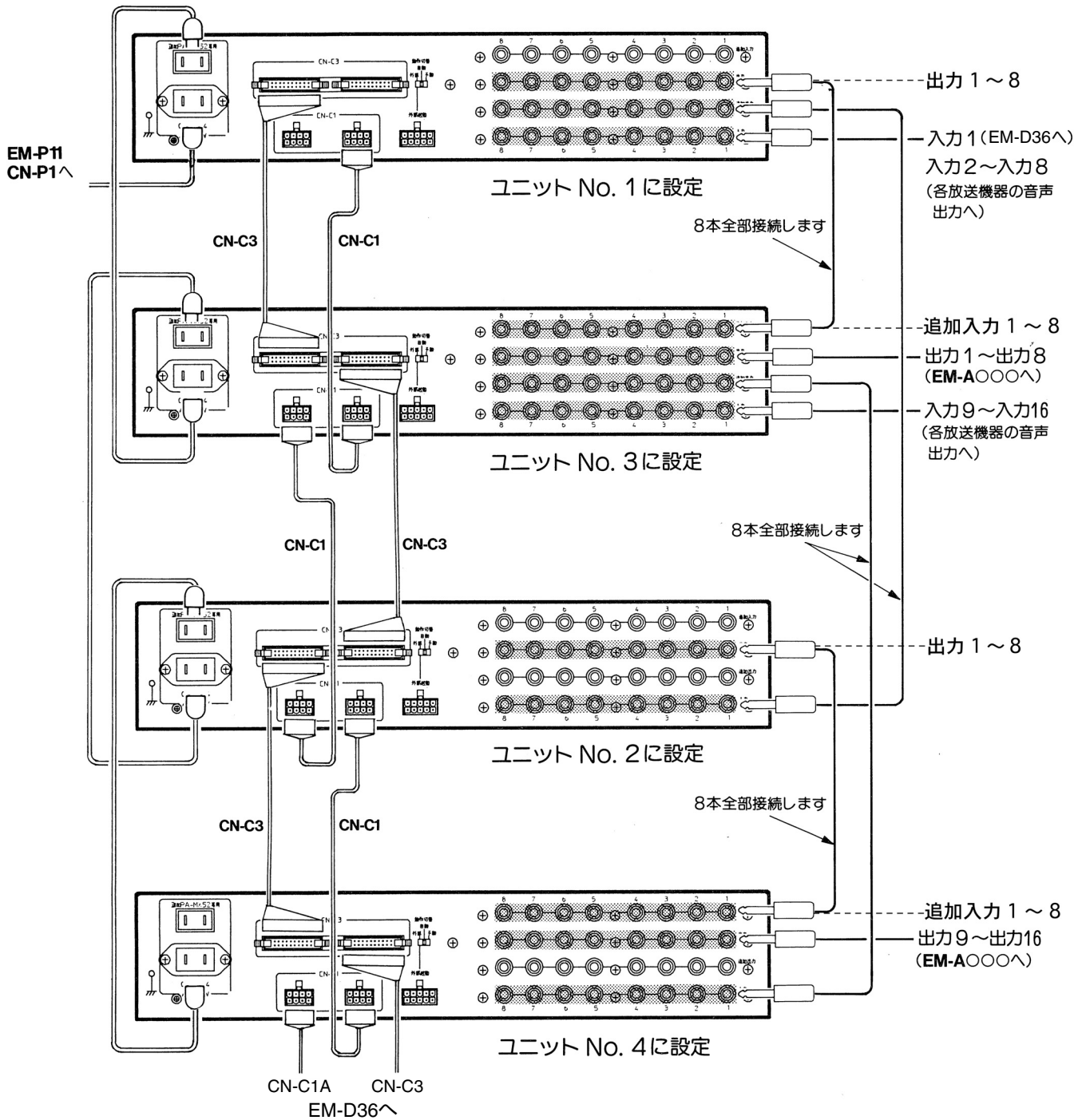
■ 8 入力 16 出力の接続

- 動作切り換えスイッチは 2 台とも「自動」に設定してください。P. 100 ページ
- 各 PA-MX52 のユニット No スイッチは図のとおり設定してください。



■ 16 入力 16 出力の接続

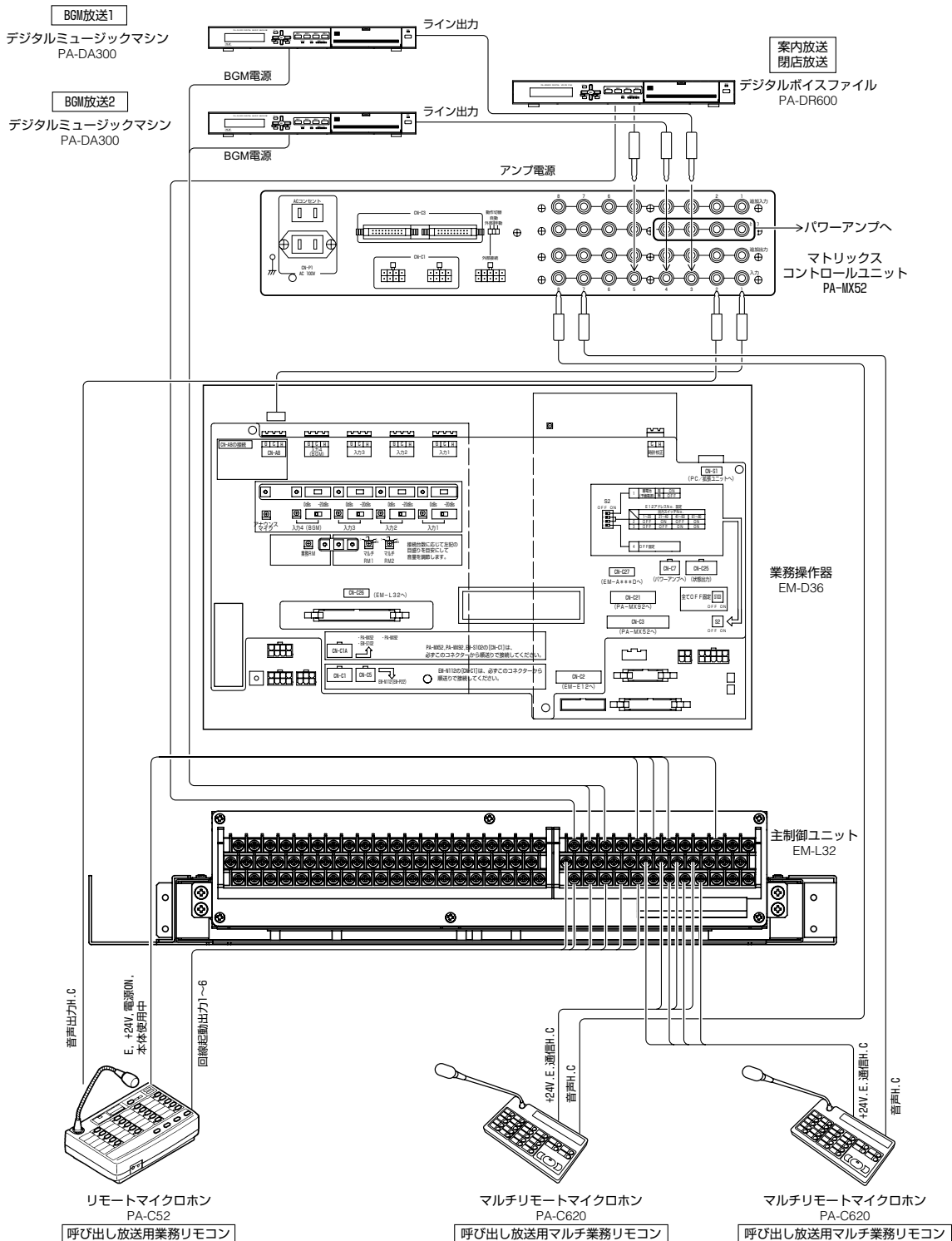
- 動作切換スイッチ(背面パネル)は 4 台とも「自動」に設定してください。P. 100 ページ
- 各 PA-MX52 のユニット No スイッチは、図のとおり設定してください。



10-3. マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の設置(つづき)

システム例の音声線、制御線の接続

呼び出し放送用マルチ業務リモコンを追加した接続例です。
 マトリックス放送システムでは、業務リモコンのチャイムスイッチが使用できません。
 チャイムを内蔵しているマルチ業務リモコンの使用をお勧めします。

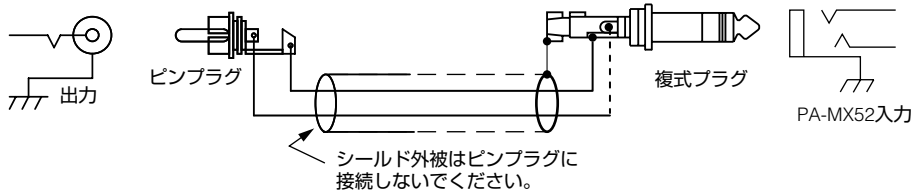


音声信号系のフォンプラグ接続

- 音声信号系の接続は、すべてシールド線をご使用いただき、使用フォンプラグは接続機器・システムに応じてご用意ください。
- 接続シールド線が2m以上になるときは、複式フォンプラグと2芯シールド線で平衡型としてください。

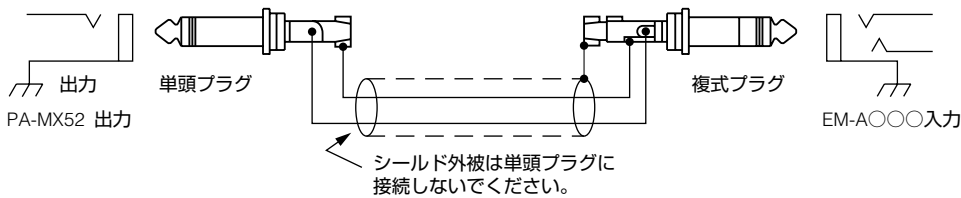
■ マトリックスコントロールユニットへの入力用プラグの接続

<デジタルミュージックマシン(PA-DA300)、デジタルプログラムチャイム(PA-DT600)など>



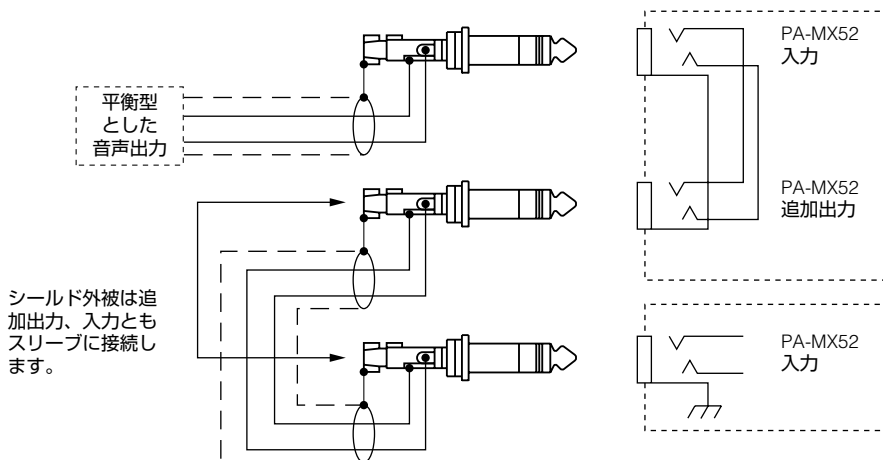
■ 出力用プラグの接続

<パワーアンプ(EM-A ○○○)までの距離が2m以上のとき>



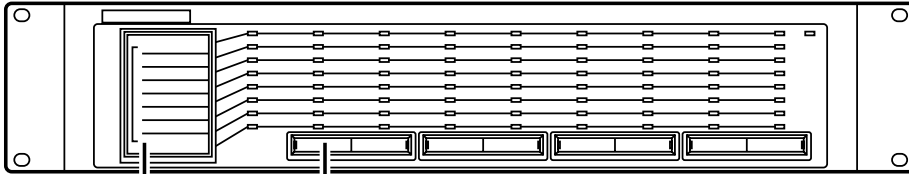
< PA-MX52 を複数台使用して、出力回路数を増設したときの追加出力用プラグの接続 >

入りに2芯シールド線を使用し、複式フォンプラグで接続(平衡型)した追加出力は、必ず平衡型接続としてください。



10-3. マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の設置(つづき)

基本設定と調節



①, ②, ③ (記名シートの中) ④ (記名シートの中)

① 入力レベル切換スイッチ(入力 1 ~ 8)

0dB、または、-20dB へ切り換え。
各入力機器からの信号レベルに対応して選択設定します。

② 入力音量ボリューム(入力 1 ~ 8)

各入力機器からの音量を調節します。

③ ユニット No. スイッチ

- 複数台数使用時には各ユニットの No を設定します。
詳細は、PA-MX52 の説明書をご覧ください。
- 本機を 2 台(8 入力 16 出力、または 16 入力 8 出力)、4 台(16 入力 16 出力)使用するときユニット No. を設定します。(工場出荷時は 1 に設定されています。)



④ クロスポイントスイッチ(出力 1 ~ 8)

EM-D300 シリーズのシステムでは使用しません。

■ PA-MX52 を複数台数使用するときのユニット No

使用台数順番	設定する ユニット No	複数台数使用のシステム		備考
		入力 No	出力 No	
1 台目	1	No.1 ~ 8	No.1 ~ 8	工場出荷状態
2 台目	2	No.1 ~ 8	No.9 ~ 16	No.1 追加出力から入力へ接続
	3	No.9 ~ 16	No.1 ~ 8	No.1 出力から追加入力へ接続
4 台目	4	No.9 ~ 16	No.9 ~ 16	

■ 動作切換スイッチ(手動・自動・外部)・・・背面パネル

クロスポイントの動作起動を選択設定します。

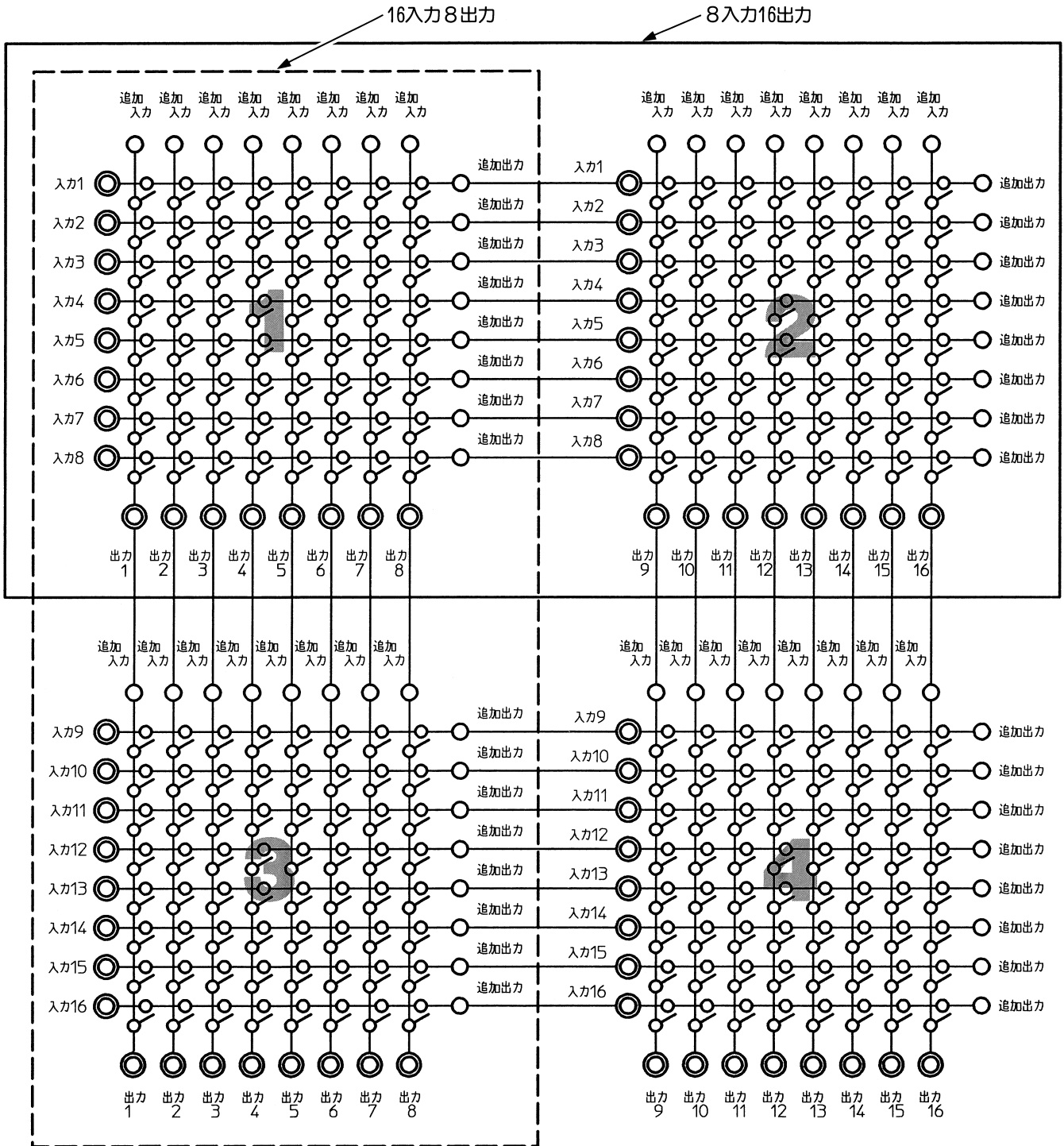
「自動」 業務操作器(EM-D36)で、クロスポイントスイッチ設定状態に関係なく制御できます。

「手動」 EM-D300 シリーズのシステムでは使用しません。

「外部」 EM-D300 シリーズのシステムでは使用しません。

※ 「手動」と「外部」についての詳細は PA-MX52 の取扱説明書をご覧ください。

■ PA-MX52 1台～4台までのマトリックス図
 追加入力、追加出力、クロスポイント等参考にしてください。

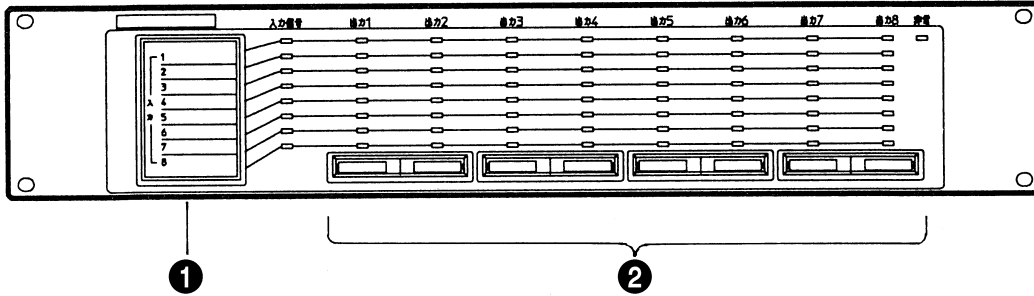


ユニット No.

10-3. マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の設置(つづき)

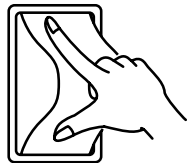
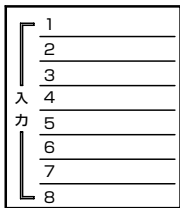
記名シート記入と取り付け

記入シートへ入力機器名、出力先名を記入する場合、市販のテーブライターを利用すると、便利です。



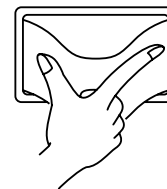
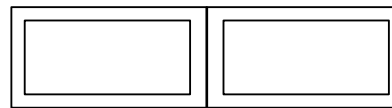
① 入力機器名記名シート

- 本機添付の記名シートに、入力接続されている機器名を記入します。
【例】 報時チャイム
BGM
電話ペーシング など
- 記名シートを ① の位置にセットして、透明カバーを図のように軽く曲げ、取り付けてください。



② 放送出力先記名シート

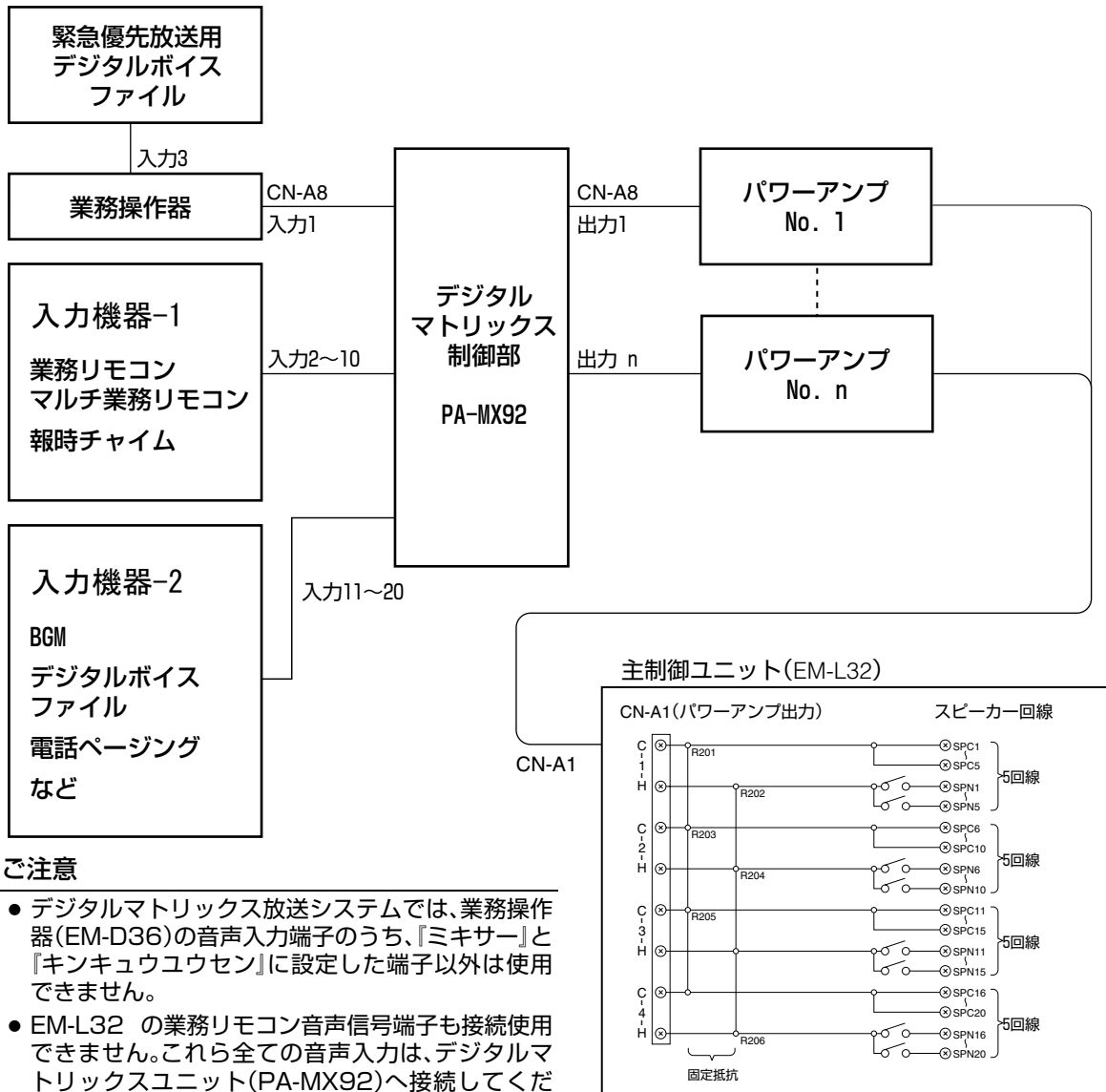
- 本機添付の記名シートに、マトリックス放送出力先名を記入します。
【例】 事務所
店舗
エレベーター など
- 記名シートを ② の位置にセットして、透明カバーを取り付けてください。



10-4. デジタルマトリックス ユニット(PA-MX92)の 設置

マトリックス信号系以外の接続については、各ユニットの接続ページをご覧ください。

基本接続



ご注意

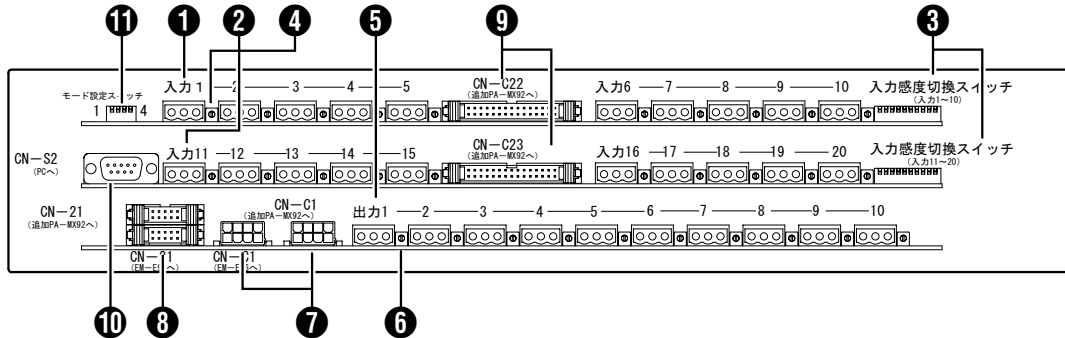
- デジタルマトリックス放送システムでは、業務操作器(EM-D36)の音声入力端子のうち、『ミキサー』と『キンキュウユウセン』に設定した端子以外は使用できません。
- EM-L32 の業務リモコン音声信号端子も接続使用できません。これら全ての音声入力は、デジタルマトリックスユニット(PA-MX92)へ接続してください。

ご注意

- 各グループ系統のパワーアンプ出力を主制御ユニット(EM-L32)または回線制御ユニット(EM-L92)の、CN-A1 へ入力します。
出力グループの占有する回線数が少なく、1 台の主制御ユニット(EM-L32)を複数グループに分割して使用するときは、出力グループ毎に占有する回線数に対応させてください。
- 回線の分割は、グループ回線数に対応した固定抵抗 R201 ~ R206 を切断してください。
切断するジャンパーの位置で、5/10/15 回線グループに分割できます。
- グループ占有回線数が 20 回線を超えるときは、EM-L92 を追加し、CN-A1 を並列接続します。

10-4. デジタルマトリックス ユニット(PA-MX92)の 設置(つづき)

接続方法



① 入力 1 ~ 10

- 3P ネジ端子・電子平衡、- 20dBs/0 dBs 切り換え (③ 入力感度切換スイッチにて)
- マトリックス入力機器の音声出力信号を接続します。
- 電子平衡式ですので、ラック内の機器や PA-C620、PA-C51 /C52/C53 の音声入力に使用します。

② 入力 11 ~ 20

- 3P ネジ端子・トランス平衡、- 20dBs/0 dBs 切り換え (③ 入力感度切換スイッチにて)
- マトリックス入力機器の音声出力信号を接続します。
- トランス平衡式ですので、電話ページングトランクなどの外線で接続する機器の音声入力にも使用できます。

③ 入力感度切換スイッチ

- - 20dBs/0 dBs 切り換え
- 入力機器の出力信号レベルに合わせて切り換えてください。

④ 入力音量ボリューム(入力 1 ~ 20)

入力感度切換スイッチで入力信号レベルに合わせた後、音量を調節します。

⑤ マトリックス出力 1 ~ 10

- 3P ネジ端子・トランス平衡
- マトリックス出力で、パワーアンプ(CN-A8)に接続します。

⑥ 出力音量ボリューム(出力 1 ~ 10)

パワーアンプへの入力レベルを調節します。

⑦ CN-C1 (Molex 8P)

業務操作器(EM-D36)のCN-C1Aに接続します。本機を複数台数使用するときは、もう一方のCN-C1から各機のCN-C1を順送り配線してください。

⑧ CN-C21 (3M-20P)

2台のPA-MX92を使用するときは、付属のCN-C21ケーブルでCN-C21間を接続してください。

⑨ CN-C22/C23 (3M-30P)

PA-MX92を2台使用して、20入力20出力のマトリックス放送システムを構築するための入力を並列接続してください。2台相互間を付属ケーブルで接続します。

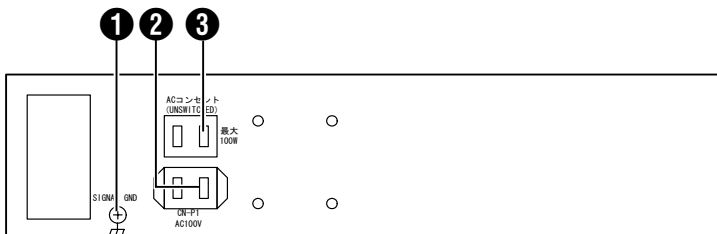
⑩ CN-S2 (D-SUB 9P)

システムアップ時に使用します。接続にはRS-232Cクロスケーブルが必要です。システムアップについては、営業窓口にご相談ください。

⑪ モード設定スイッチ

本機を2台使用して、20入力20出力のマトリックス制御を行うときは設定が必要になります。

☞ 109 ページ



① 筐体アース

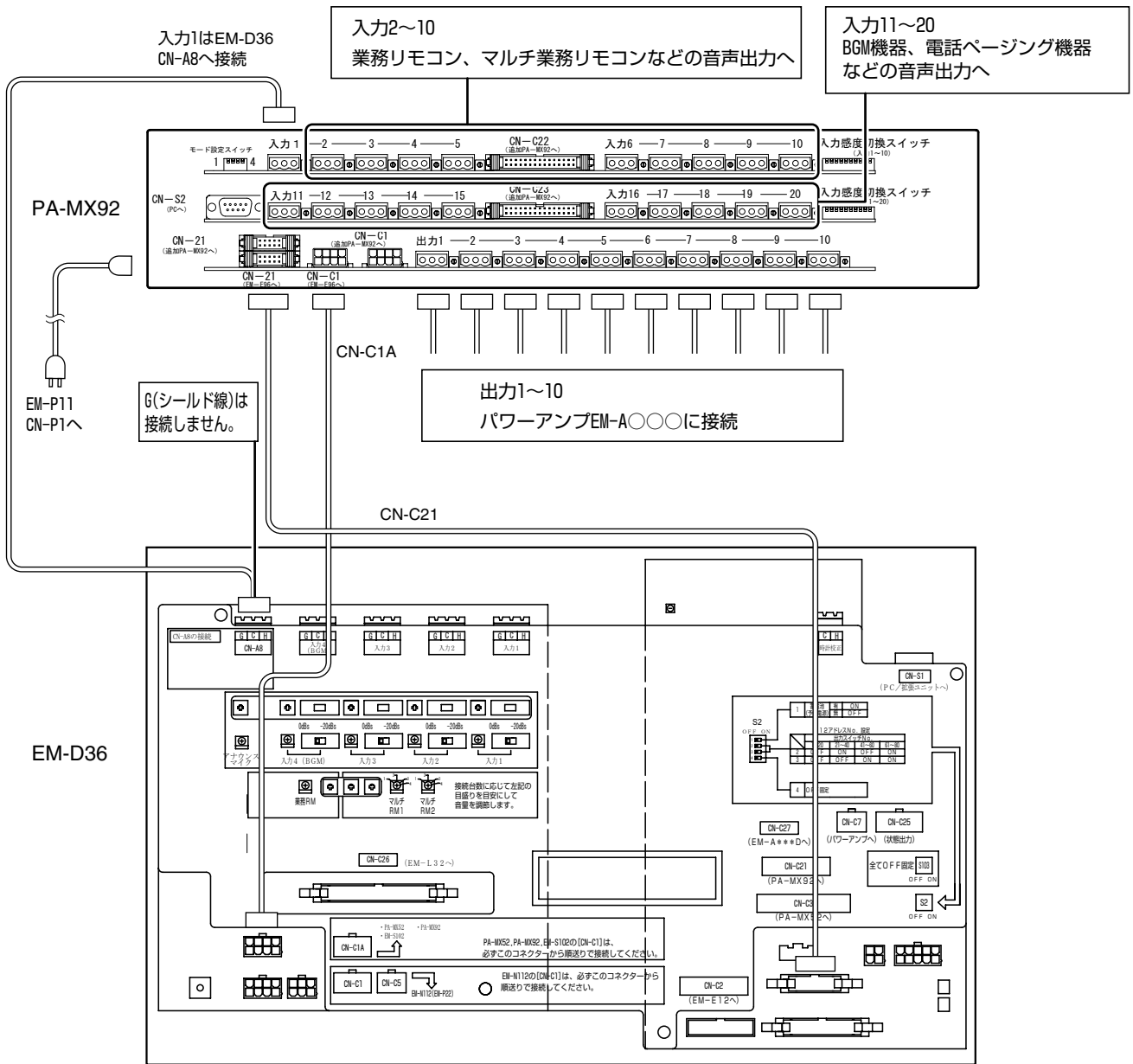
ラックに接続します。
(接続ワイヤーはPA-MX92に付属)

② CN-P1 (AC100V)

付属の電源コードでEM-P11の非連動コンセントCN-P1に接続します。

③ コンセント (AC100V 100W)

- PA-MX92を2台使用時に2台目のCN-P1を接続します。
- 2台目のPA-MX92のACコンセントは使用しないでください。
- PA-MX92以外の機器は接続しないでください。



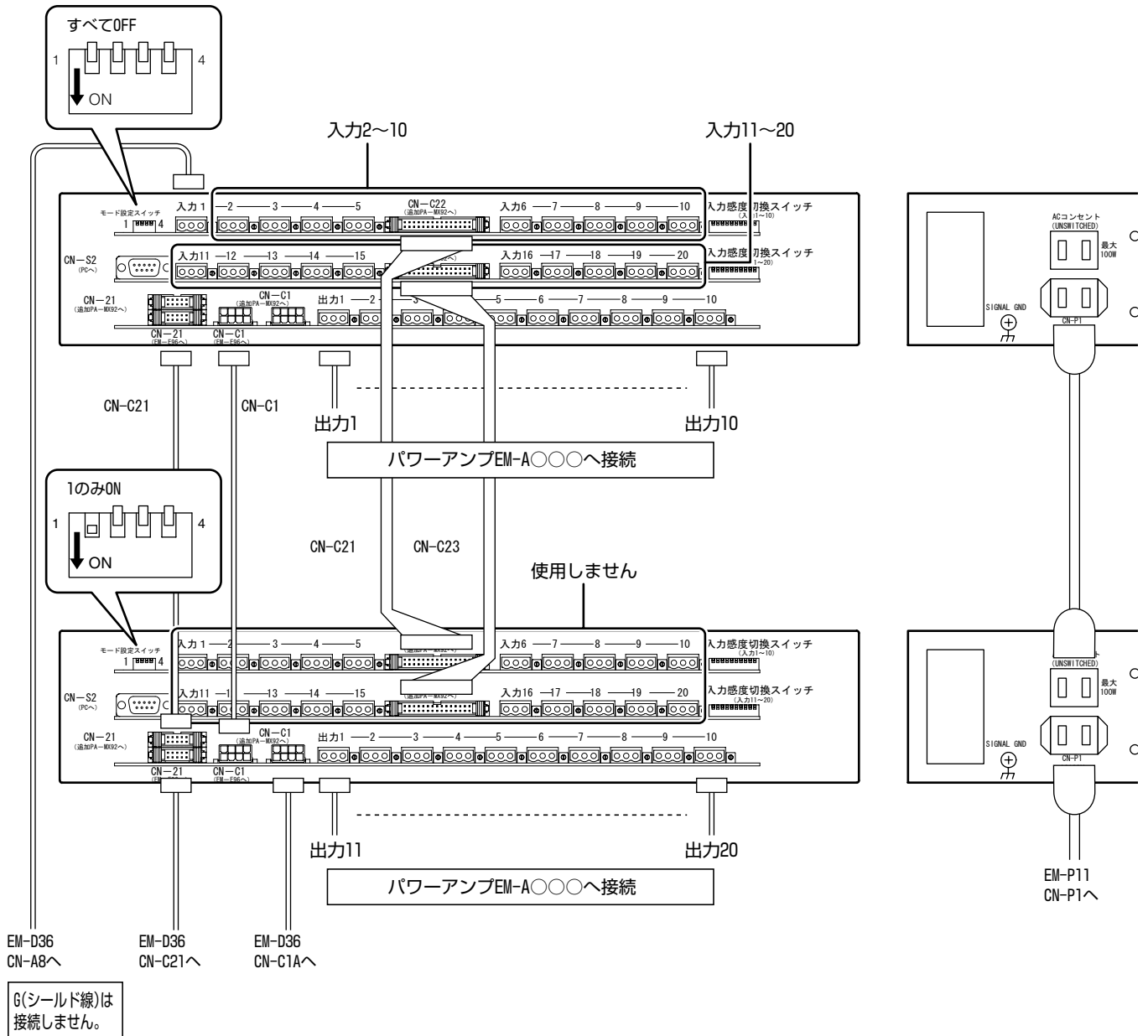
ご注意

- 業務操作器 EM-D36 の出力は必ず入力 1 に接続してください。
- 業務操作器 EM-D36 の音声入力端子のうち、『ミキサー』と『キンキュウウセン』に設定した端子以外および主制御ユニット EM-L32 の業務リモコン、マルチ業務リモコン音声入力は使用できません。PA-MX92 の入力に接続してください。
- PA-MX92 を使用する場合は、業務操作器 EM-D36 へのプログラム入力が必要です。
- 接続するケーブルの本数が多い場合は、PA-MX92 の上下にブランクパネルを取り付けることをおすすめします。
- PA-MX92 の CN-C1 は、必ず EM-D36 の CN-C1A へ接続してください。

10-4. デジタルマトリクス ユニット(PA-MX92)の 設置(つづき)

拡張 (20 入力 20 出力) システムの接続

- PA-MX92 を 2 台使用して 20 入力 20 出力へ拡張できます。
- モード設定スイッチは、図の中に示したとおりに設定してください。
- No.2 の入力音量ボリュームも有効です。No.1 の同じ位置に調節してください。

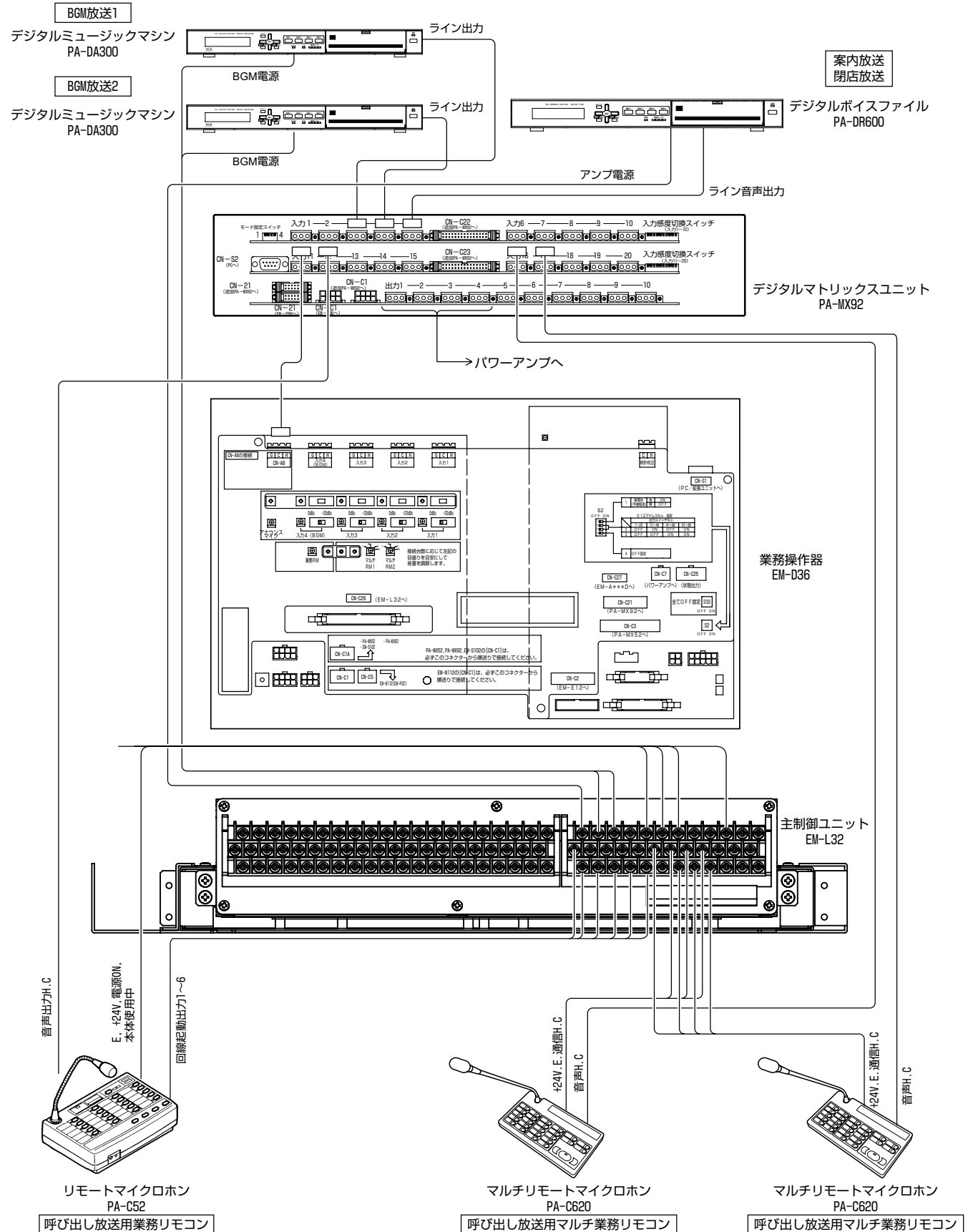


ご注意

- 接続するケーブルの本数が多い場合は、PA-MX92 の上下にブラックパネルを取り付けることをおすすめします。

システム例の音声線、制御線の接続

- 呼び出し放送用マルチ業務リモコンを追加した接続例です。
- デジタルマトリックス放送システムでは、業務リモコンのチャイムスイッチが使用できません。チャイムを内蔵しているマルチ業務リモコンの使用をおすすめします。



10-4. デジタルマトリックス ユニット(PA-MX92)の 設置(つづき)

コネクター端子台の入出力信号接続

- PA-MX92 の入出力はすべて、圧着端子部品を不要とし、作業性に優れる「コネクター端子台」を採用しています。
- 入力回路は、すべて誘導雑音に強い平衡型で、入力1～10は電子平衡回路、入力11～20はトランス平衡回路を搭載しています。
- 入力1～10(電子平衡型)は、ラック内機器や、PA-C620、PA-C51/C52/C53の音声入力に使用ください。
- 入力11～20(トランス平衡型)は、ペーシングトランクなどの外線で接続する機器の音声入力に適しています。
- 出力回路はトランス平衡型です。

■ コネクター端子台の接続方法

- 信号接続線は2芯シールド線を使用して下図のように、被覆をストリップ後ネジで芯線を固定してください。
- 端子コネクターは端子台から外して接続作業も可能ですので、内部接続用信号コードは設置工事前に準備することもできます。

<コネクター接続手順> (+)No.1 ドライバー使用

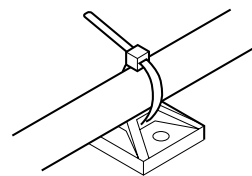
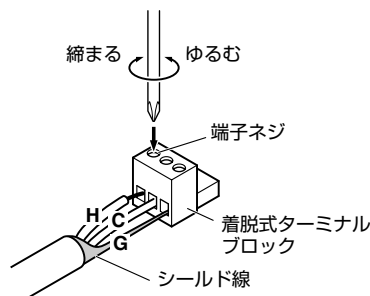
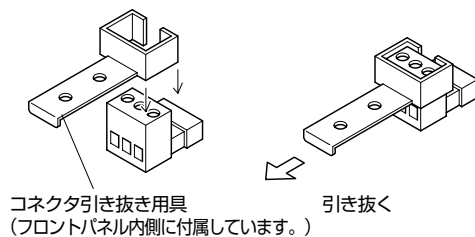
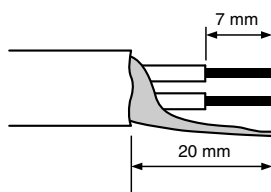
1. 端子ネジをゆるめて線材を差し込みます。
2. 芯線を各挟み込み口に挿入し、ネジを締め付けます。
※ 線材を引っ張って抜けないことを確認してください。
3. コネクター部を接続する端子台ベースに確実に差し込みます。

ストリップ寸法

<単線、より線>



<シールド線>

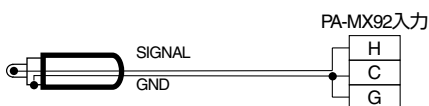


4. シールド線の抜け防止のため、必要に応じてPA-MX92に添付のクランプベースを貼り付けてシールド線をワイヤークランプにて固定してください。

■ 入出力機器との接続

<不平衡機器(RCA ピンプラグ)との接続>

カセットデッキ、CD プレイヤーなど



※ PA-D シリーズとの接続については 79 ページを参照ください。

<パワーアンプとの接続>

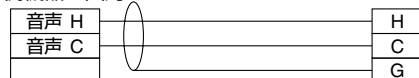
EM-A083/A163/A243/A363



<平衡機器(端子台)との接続>

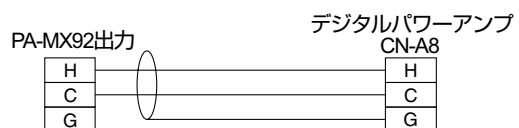
PA-C50 シリーズ、PA-C620 など

平衡機器の出力

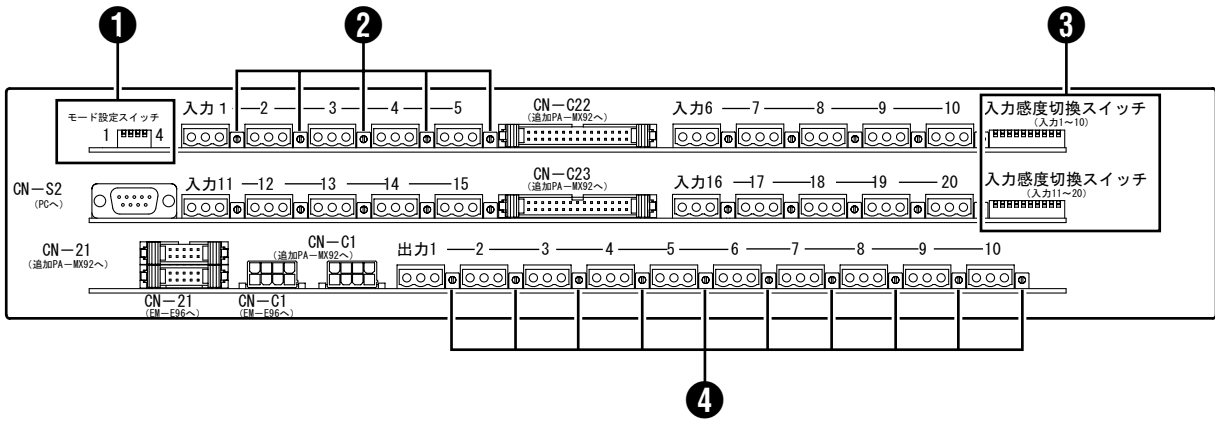


<デジタルパワーアンプとの接続>

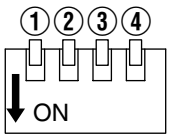
EM-A842D/A822D



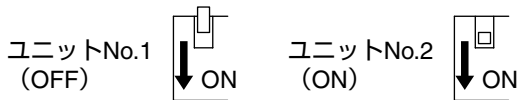
基本設定と調節



① モード設定スイッチ



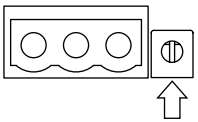
① ユニット No 設定 (スイッチ -1)
本機を 2 台使用して 20 入力 20 出力のマトリクス制御を行うときは、「ユニット No」を設定してください。



出力 1 ~ 10 の PA-MX92 はユニット No = 1
出力 11 ~ 20 の PA-MX92 はユニット No = 2

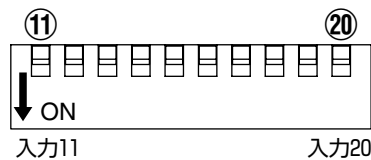
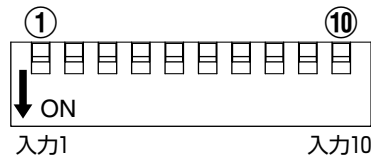
②③④ サービス用スイッチ
常に OFF でお使いください。

② 入力音量ボリューム

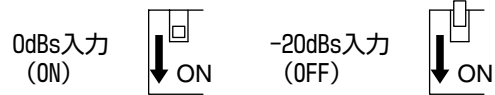


入力感度切換スイッチで入力信号レベルに合わせた後、音量を調節します。

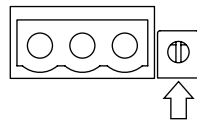
③ 入力感度切換スイッチ



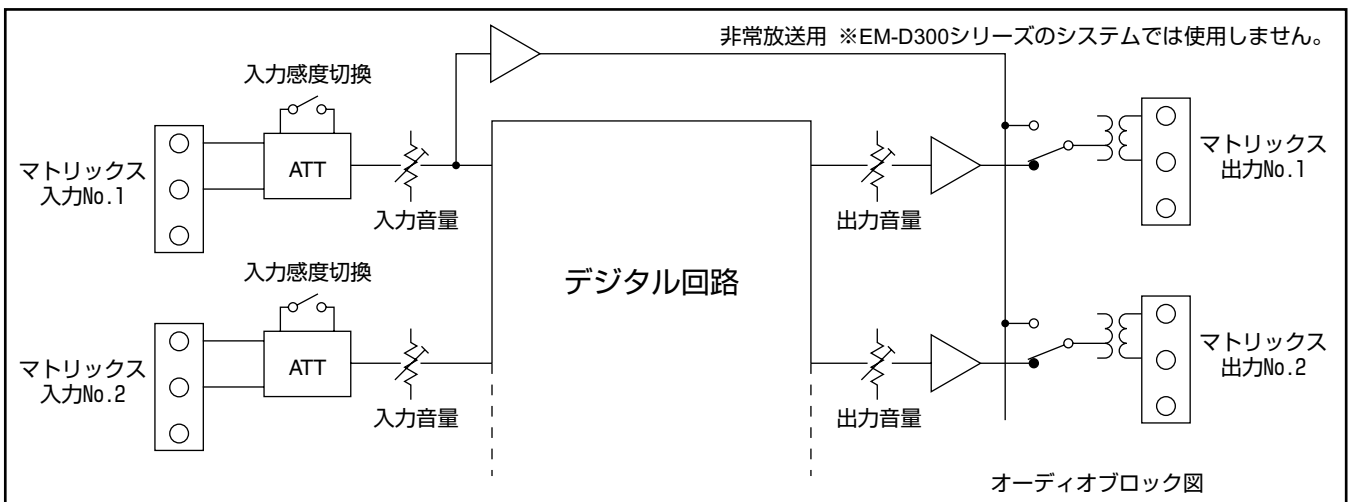
マトリクス入力ごとに入力感度を切り換えます。



④ 出力音量ボリューム



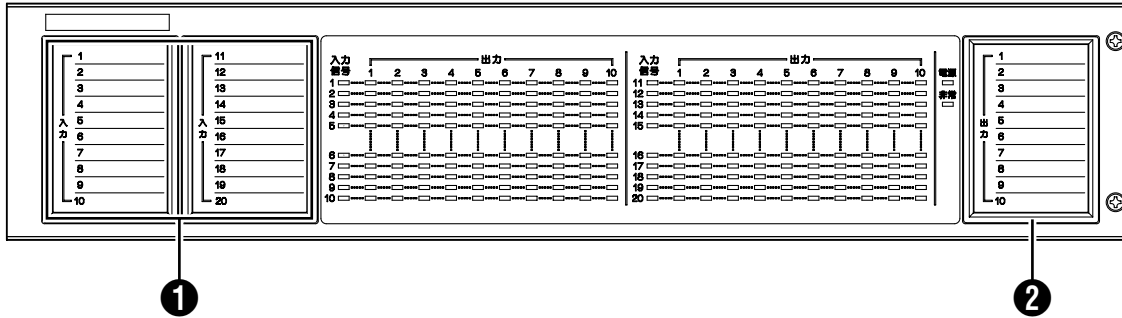
パワーアンプへの入力レベルを調節します。



10-4. デジタルマトリックス ユニット(PA-MX92)の 設置(つづき)

記名シート記入と取り付け

記入シートへ入力機器名、出力先名を記入する場合は、市販のテープライターを利用すると、便利です。

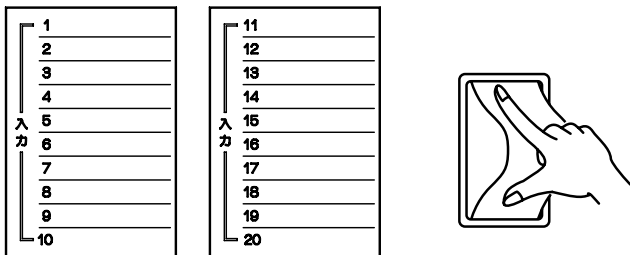


① 入力機器記名シート

- 本機添付の記名シートに、入力接続されている機器名を記入します。

【例】 報時チャイム / BGM / 電話ページング など

記名シートを ① の位置にセットして、透明カバーを図のように軽く曲げ、取り付けてください。

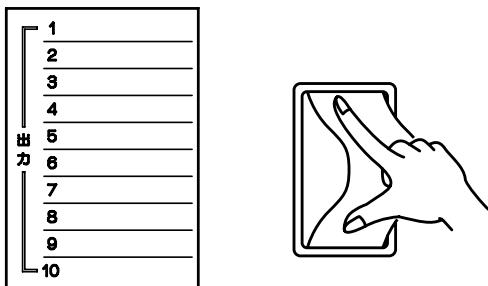


② 放送出力先記名シート

- 本機添付の記名シートに、マトリックス放送先を記入します。

【例】 事務所 / 店舗 / エレベーター など

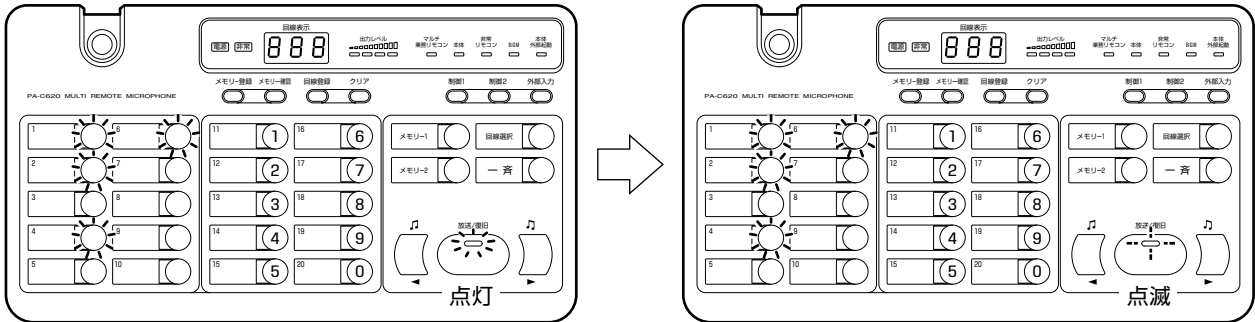
記名シートを ② の位置にセットして、透明カバーを図のように軽く曲げ、取り付けてください。



10-5. マトリックス(多元)放送時のマルチ業務リモコンの動作

マトリックス放送時のマルチ業務リモコンは次のような動作になります。
 (マトリックスコントロールユニット PA-MX52 使用時、デジタルマトリックスユニット PA-MX92 使用時、ともに同じ動作になります。)

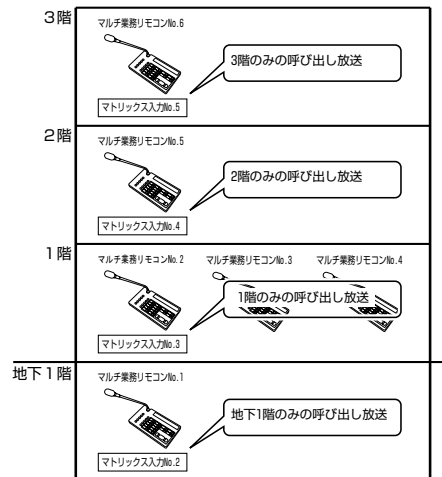
■ マルチ業務リモコンで放送中に優先順位の高い放送機器(放送グループ)による放送が入った場合
 マルチ業務リモコンから放送できるエリアがあれば、放送/復旧表示灯が点灯します。
 放送できるエリアがなくなった場合に、放送/復旧表示灯が点滅します。



■ 動作状態確認表示灯とマトリックス入力との関係

マルチ業務リモコンが違う放送場所にある場合は、異なるマトリックス入力 No. を指定します。放送しているエリアが重ならない限り、同時にマトリックス放送が可能です。

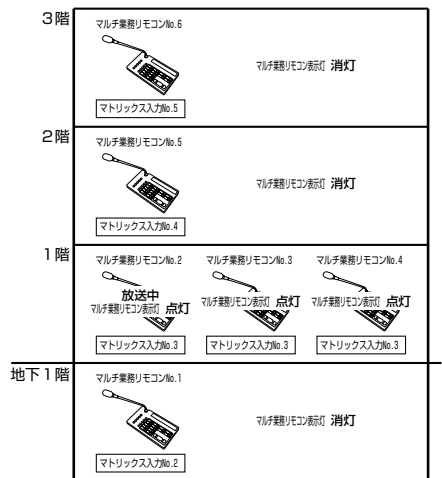
例) マルチ業務リモコン No.1 で地下 1 階のみ放送
 No.2 で 1 階のみ放送。No.5 で 2 階のみ放送。
 No.6 で 3 階のみ放送。



同じ放送場所に複数のマルチ業務リモコンがある場合は、同じマトリックス入力 No. を指定します。

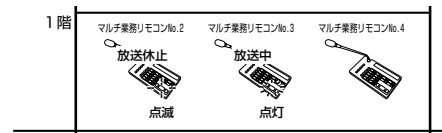
同じ場所のマルチ業務リモコンのマルチ業務リモコン表示灯が点灯するので、放送していることがわかります。

例) マルチ業務リモコン No.2 で放送中は、No.3 と No.4 のマルチ業務リモコン表示灯が点灯する。



また、同じ場所のマルチ業務リモコン間で優先関係がなりたちます。

例) マルチ業務リモコン No.2 ~ No.4 が同じ順位の場合、No.2 で放送中に、No.3 で放送すると、No.2 は放送できなくなり、No.3 のみの放送となる。



10-6. マトリックス(多元)放送 時の注意点

■ デジタルマトリックス放送システム、マトリックス放送システムの共通事項

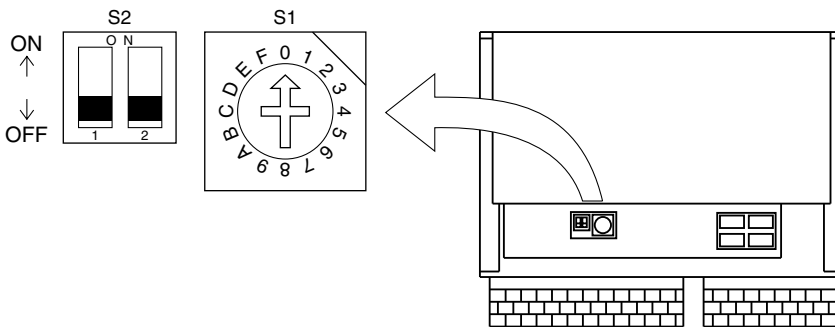
- 業務リモコンからのチャイム放送はできません。チャイム機能を内蔵したマルチ業務リモコン(PA-C620)の使用をおすすめします。
- 業務リモコンからの一斉放送はできません。起動入力の回線設定時に全回線を指定して使用してください。
- 起動時のチャイムは使用できません。

回線制御ユニット EM-L92 を使用すると、起動入力 21 ~ 80、および制御出力 11 ~ 30 が拡張されます。

11-1. 設定のしかた

EM-L92 は S1、S2 の設定によって以下の表のように動作します。

	S2	S1	SP 回線	起動入力	制御出力
増設 EM-L92 ①	OFF, OFF	1	21 ~ 40 回線	21 ~ 40 (EL1 ~ 20)	—
増設 EM-L92 ②	OFF, OFF	2	41 ~ 60 回線	41 ~ 60 (EL1 ~ 20)	—
増設 EM-L92 ③	OFF, OFF	3	61 ~ 80 回線	—	—
増設 EM-L92 ④	OFF, OFF	4	81 ~ 100 回線	—	—
拡張 EM-L92	ON, ON	0	—	61 ~ 80 (EL1 ~ 20)	11 ~ 30 (SPN1 ~ 20)



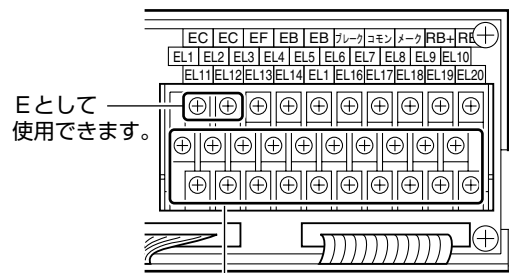
11.

11-2. 起動入力 21 ~ 80 の 使いかた

回線制御ユニット(EM-L92)の EL 端子が起動入力 21 ~ 80 になります。業務リモコン、報時チャイム、電話ページング、デジタル音源 (PA-D) シリーズなどに接続できます。

ご注意

- デジタル音源 (PA-D) シリーズを 2 台以上連動接続する場合、起動入力 75 ~ 80 が使用されます。(台数によって変化します。☞ 82 ページ)

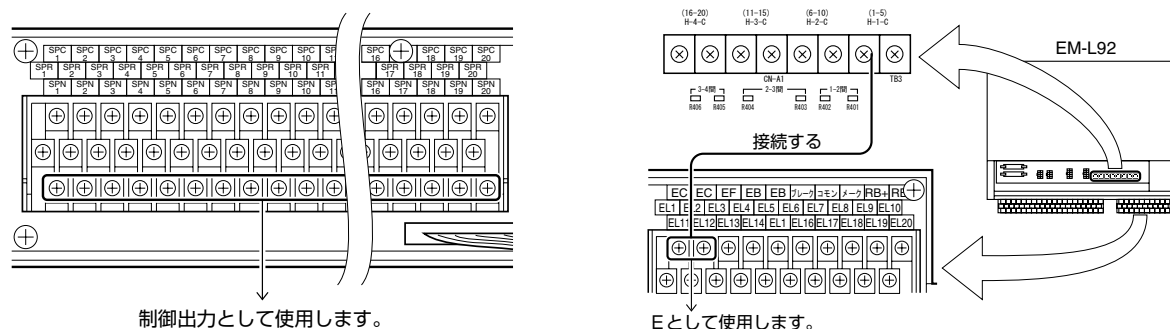


起動入力として使用できます。
 EL1 → 起動入力 21、41、61 (S1, S2による)
 EL2 → 起動入力 22、42、62
 ……
 EL20 → 起動入力 40、60、80

11. 入出力拡張について

11-3. 制御出力 11 ~ 30 の 使いかた

拡張 EM-L92 に設定した回線制御ユニット EM-L92 のスピーカー端子が制御出力 11 ~ 30 になります。この制御出力はデジタル音源(PA-D)シリーズの制御に使用したり、マルチ業務リモコン(PA-C620)の制御スイッチによる制御で、BGM 機器や CM 機器を演奏できます。



制御出力として使用します。

Eとして使用します。

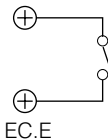
- マルチ業務リモコンの制御スイッチは、マルチ業務リモコンの放送状態にかかわらず、使用できます。
- マルチ業務リモコンの内部設定により、制御スイッチおよび制御出力の動作を選択できます。接続するBGM機器やCM機器に合わせて、ロック動作かノンロック動作を選択します。

ロック動作 : 制御スイッチを押すとメーク(ON)。もう一度押すとブレーク(OFF)。

ノンロック動作 : 制御スイッチを押したときだけ 3 秒間メーク(ON)。

マルチ業務リモコン No.	制御スイッチ	動作する制御出力	出力仕様
NO.1	制御スイッチ 1	11(SPN1)	リレー出力 DC50 V 0.5 A 以下
	制御スイッチ 2	12(SPN2)	
NO.2	制御スイッチ 1	13(SPN3)	
	制御スイッチ 2	14(SPN4)	
NO.3	制御スイッチ 1	15(SPN5)	
	制御スイッチ 2	16(SPN6)	
NO.4	制御スイッチ 1	17(SPN7)	
	制御スイッチ 2	18(SPN8)	
NO.5	制御スイッチ 1	19(SPN9)	
	制御スイッチ 2	20(SPN10)	
NO.6	制御スイッチ 1	21(SPN11)	
	制御スイッチ 2	22(SPN12)	
NO.7	制御スイッチ 1	23(SPN13)	
	制御スイッチ 2	24(SPN14)	
NO.8	制御スイッチ 1	25(SPN15)	
	制御スイッチ 2	26(SPN16)	

制御出力11~26



ご注意

- デジタル音源(PA-D)シリーズを2台以上連動接続する場合、制御スイッチ 1、2 を使用できなくなるマルチ業務リモコンがあります。この制限は PA-D の接続台数、動作モードによって変わります。

PA-D 接続台数	PA-D 動作モード	制御スイッチが使用可能なマルチ業務リモコン No
0	バイナリ	1 ~ 8
	ダイレクト	1 ~ 8
1	バイナリ	1 ~ 8
	ダイレクト	1 ~ 8
2	バイナリ	1 ~ 8
	ダイレクト	1 ~ 5
3	バイナリ	1 ~ 7
	ダイレクト	なし
4	バイナリ	1 ~ 5

11-4. 起動入力 制御出力 接続 先表示シートの貼り付け

本体外部起動機器の接続や制御出力への機器の接続が終わったら、業務操作器(EM-D36)に添付の接続先表示シートに記入します。メンテナンスやシステム変更時に有効です。
記入したら、フロントパネル裏に貼り付けてください。

制御出力/起動入力 接続先表示シート(記入後、入出力拡張用回線制御ユニットEM-L92のフロントパネル裏に貼付けてください)

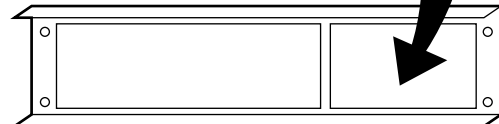
制御出力No.	接続機器	制御出力No.	接続機器	起動入力No.	放送機器	接続機器	放送エリア	起動入力No.	放送機器	接続機器	放送エリア
11	PA-DA300	21		61	BGM	PA-DA600	テナント8F	71			
12	PA-DA300	22		62	BGM	PA-DA600	共用	72			
13	PA-DA300	23		63				73			
14		24		64				74			
15		25		65				75			
16		26		66				76			
17		27		67				77			
18		28		68				78			
19		29		69				79			
20		30		70				80			

接続機器名を
記入します。

放送機器(放送グループ)
名を記入します。

放送エリア名を
記入します。

接続機器名を
記入します。



入出力拡張用回線制御ユニット(EM-L92)の
フロントパネル裏に貼り付ける

12. 接続完了の確認と総合動作確認

12-1. 確認チェックポイント

機器の取り付け、接続等が完了したら、電源を投入して、各種システム設定、動作確認作業を開始しますが、未接続、未設定などを再度確認してください。

Step1	機器の取り付け位置は適正か確認する。 ☞ 17 ページ、19 ページ 放送設備としての操作上、点検上必要な空間などを確認してください。
-------	---

Step2	作成したプログラムシートとシステムの差異がないようにする。 ☞ 8 ページ
-------	--

Step3	接続を見直す。 <ul style="list-style-type: none">● 接続コネクタは確実に挿入されていることを確認してください。● 外線ケーブルの接続端子ネジの緩みがないことを確認してください。
-------	---

Step4	業務操作器 (EM-D36) の設定を確認する。 ☞ 58 ページ 業務操作器 (EM-D36)、回線追加ケース (EM-E12) の E12 アドレス No. 設定を確認してください。
-------	---

Step5	主制御ユニット (EM-L32) の設定を確認する。 ☞ 61 ページ 「RB 入力設定」と「短絡検出感度切換スイッチ」を確認してください。
-------	--

Step6	回線制御ユニット (EM-L92) の設定を確認する。 ☞ 62 ページ 「ユニット No 設定」と「短絡検出感度切換スイッチ」を確認してください。
-------	--

Step7	非常電源ユニット (EM-N112) のニッカド蓄電池収納状態を確認する。 <ul style="list-style-type: none">● ニッカド蓄電池の収納台数、容量と収納位置、充電電流設定スイッチと収納電池型名など、確認してください。(☞ 30 ページ)● ニッカド蓄電池のワイヤーコネクタは、すべての設定、動作確認作業が終了するまで接続しないでください。
-------	--

Step8	その他の確認。 ラックケース、リモコンケースなどの内部に、ケーブル切断破片や配線材料の取り残し、工具などの置き忘れなどないことを確認してください。
-------	--

確認終了

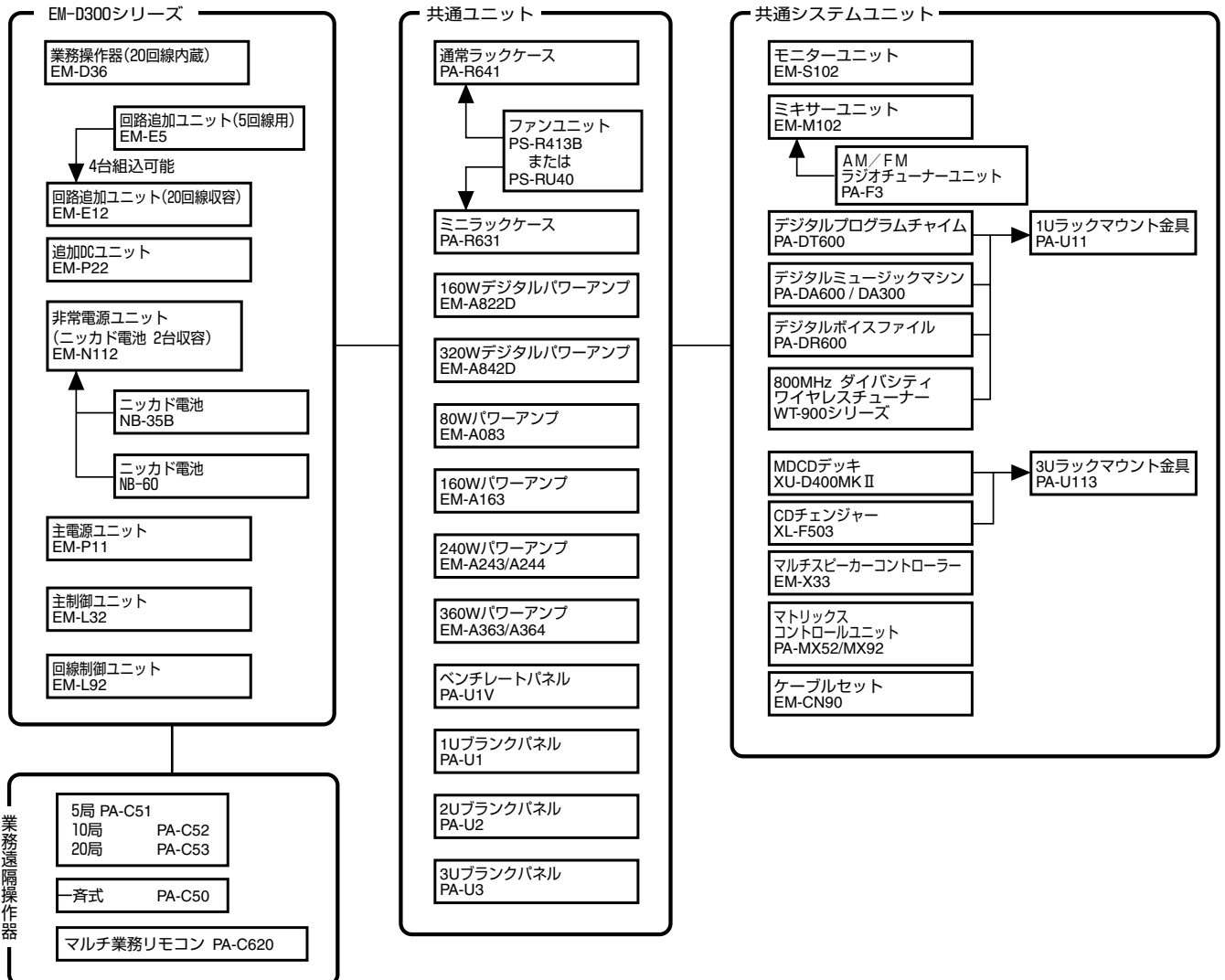
12-2. システム設定と総合動作確認

- 各種の機能を内部 CPU に設定する作業を行います。
- 設定方法などは、【設定編】をご覧ください。
- 具体的な動作確認内容については、176 ページ「設置工事、システム設定後の確認について」をご覧ください。

13-1. システムユニットの選択

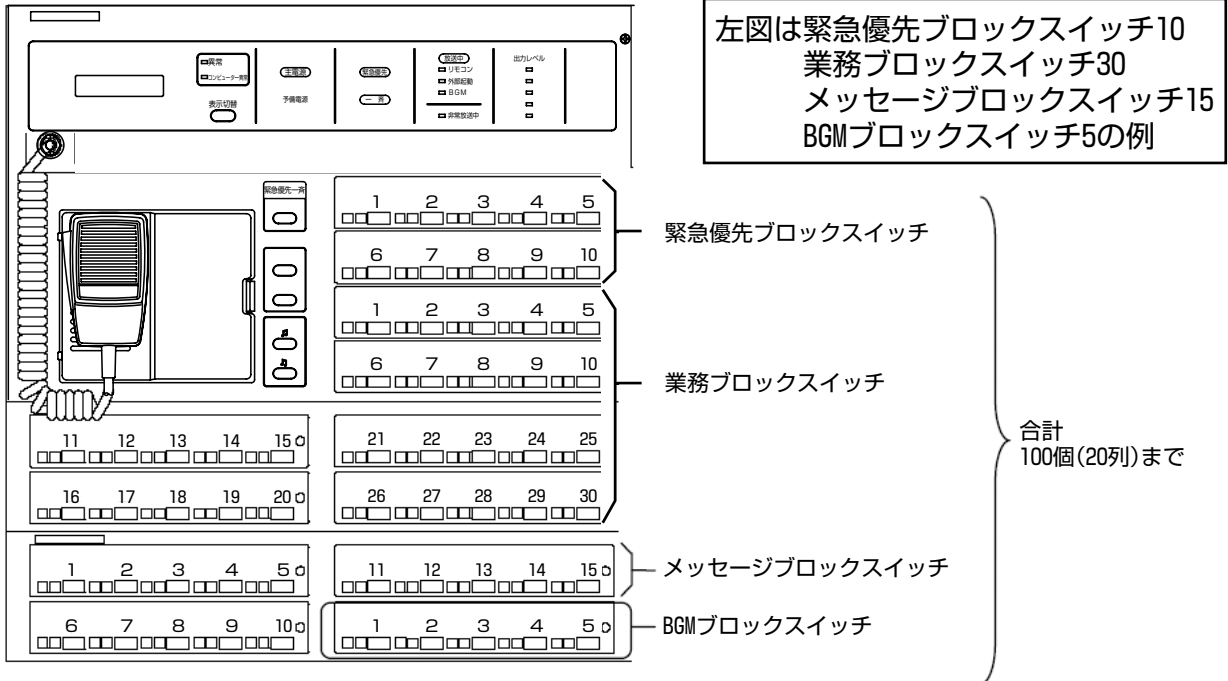
- システムは、以下の機器・ユニットで構成されます。
- 業務用放送設備として各種放送サービスやコミュニケーションシステムとして、多様な機能に対応すべく下記ユニットが用意されています。
- システム仕様に対応するためには、システム内容を十分ご確認のうえ、ユニットの選択、使用台数の設定、ラック取り付け位置の設定、接続ケーブルの仕様選定などを行なってください。

システム構成ユニット 《EM-D300シリーズ》



13-1. システムユニットの選択 (つづき)

出力スイッチとスピーカー回線



■ 出力スイッチの機能

- 総出力スイッチの最大数は 100 個です。
- 出力スイッチは、システム設定により、次のような 4 種類の機能に設定することができます。
- 各出力スイッチは、スイッチ列(スイッチ 5 個)単位で設定できます。
- 上記の例の出力スイッチのレイアウトは、業務操作器(EM-D36)を「E12 アドレス No=1」、回線追加ケース(EM-E12)のアドレスを No.2、No.3 として、緊急優先ブロック→業務ブロック→メッセージブロック→BGM ブロックの順で設定したものです。スイッチレイアウトを変更するときは「E12 アドレス No」の設定にご注意ください。(59 ページ参照)

<緊急優先ブロックスイッチ>

緊急優先放送用の出力スイッチです。

スイッチ列(スイッチ 5 個)単位で割り当てでき、橙色ラベルで放送エリア名を表示します。

システム設定により、1 つの緊急優先ブロックスイッチで、複数のスピーカー回線へ出力できます。

ブロックスイッチを「ON」にすると、システム設定で指定したデジタル音源シリーズをスタートさせ、指定した複数のスピーカー回線へ緊急メッセージを出力することもできます。

<業務ブロックスイッチ>

スイッチ列(スイッチ 5 個)単位で割り当てでき、緑色ラベルでブロック名を表示します。

システム設定により、1 つのブロックスイッチで、複数のスピーカー回線へ出力できます。

<メッセージブロックスイッチ>

スイッチ列(スイッチ 5 個)単位で割り当てることができ、青色ラベルでメッセージブロック名を表示します。

ブロックスイッチを「ON」にすると、システム設定で指定したデジタル音源シリーズをスタートさせ、指定した複数のスピーカー回線へメッセージ放送を出力します。

<BGM ブロックスイッチ>

スイッチ列(スイッチ 5 個)単位で割り当てでき、黄色ラベルで BGM ブロック名を表示します。

ブロックスイッチの「ON」操作で、システム設定で指定したデジタル音源シリーズをスタートさせ、設定した複数のスピーカー回線へ BGM 放送を出力することもできます。

パワーアンプ

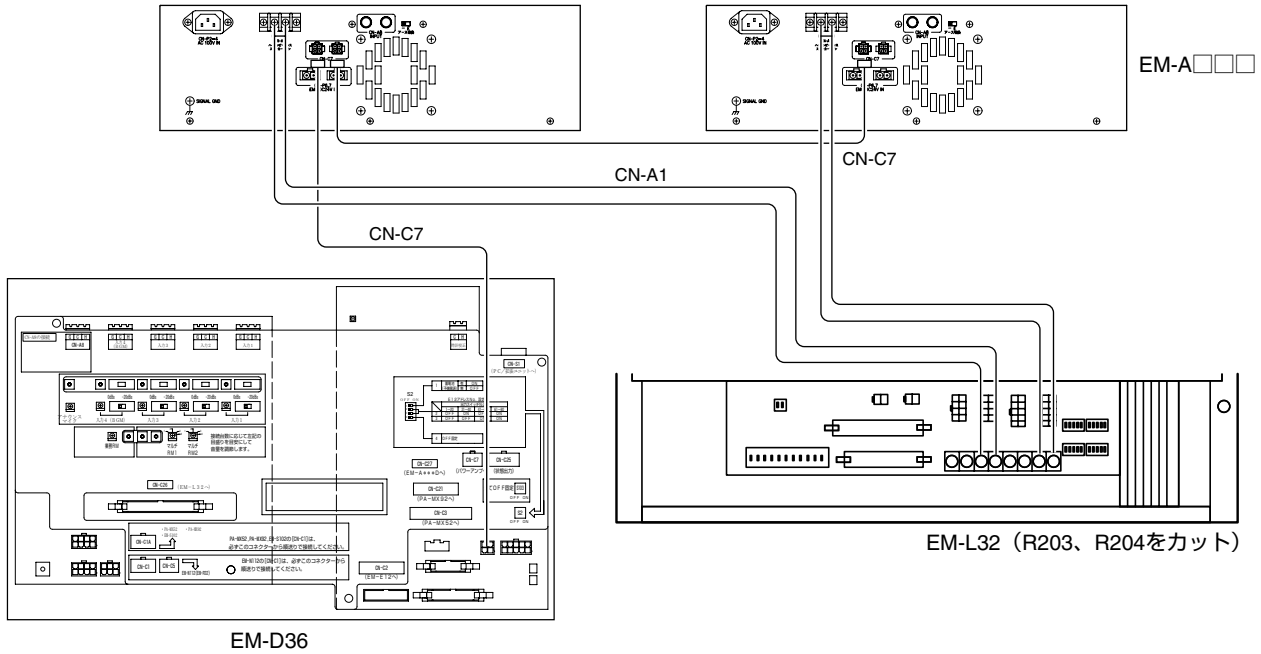
■ 推奨する接続(回線の分割)

パワーアンプ 1 台では出力が足りない場合、複数台の並列運転によって出力を増やすことが可能ですが、特性のバラツキによりロスが発生します。

回線の分割が可能な場合は、回線分割接続が効率的ですので、下記の例を参考に接続を行なってください。

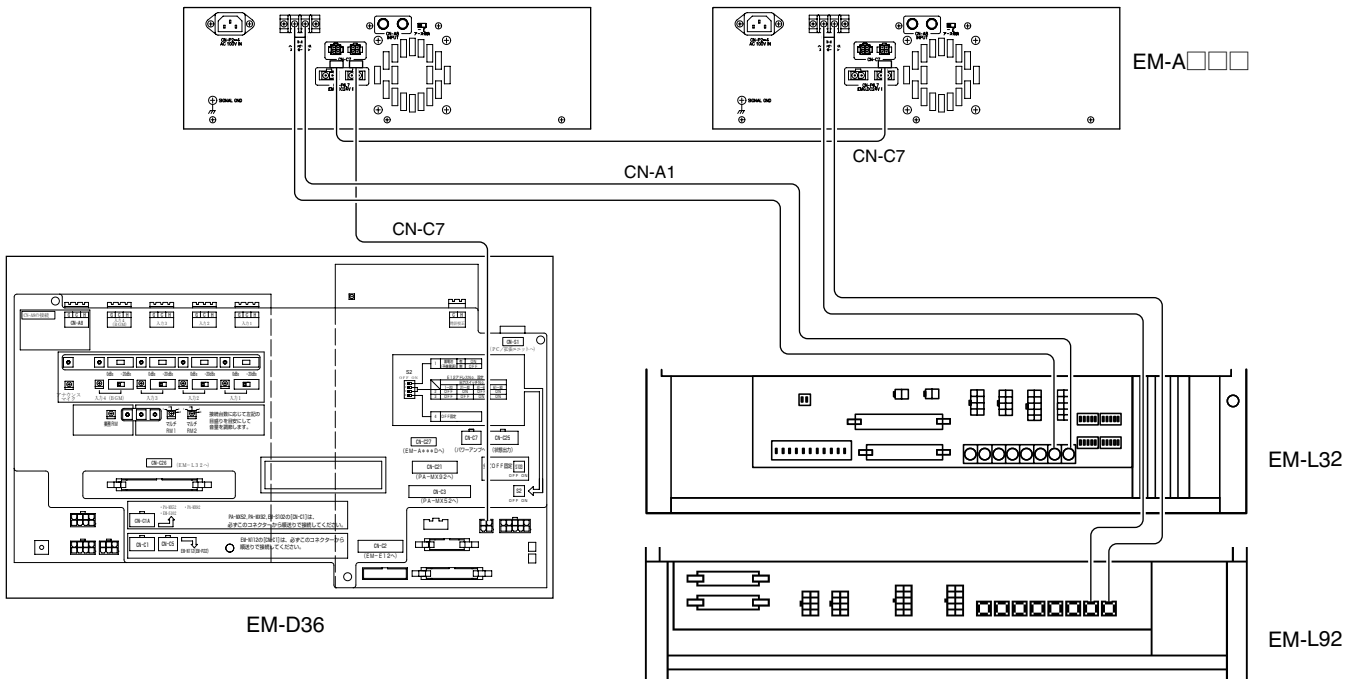
【接続例 1】

(スピーカー20 回線にパワーアンプ 2 台を並列運転→ 10 回線ごとに分割し、各 1 台のパワーアンプを接続)



【接続例 2】

(スピーカー40 回線にパワーアンプ 2 台を並列運転→ 20 回線ごとに分割し、各 1 台のパワーアンプを接続)



13-1. システムユニットの選択 (つづき)

パワーアンプ(つづき)

■ パワーアンプの並列運転

回線の分割が行えない場合などに使用する並列運転接続の可能台数は、下記のとおりです。
グループ1とグループ2は出力形式が異なっているため組み合わせでの並列運転はできません。

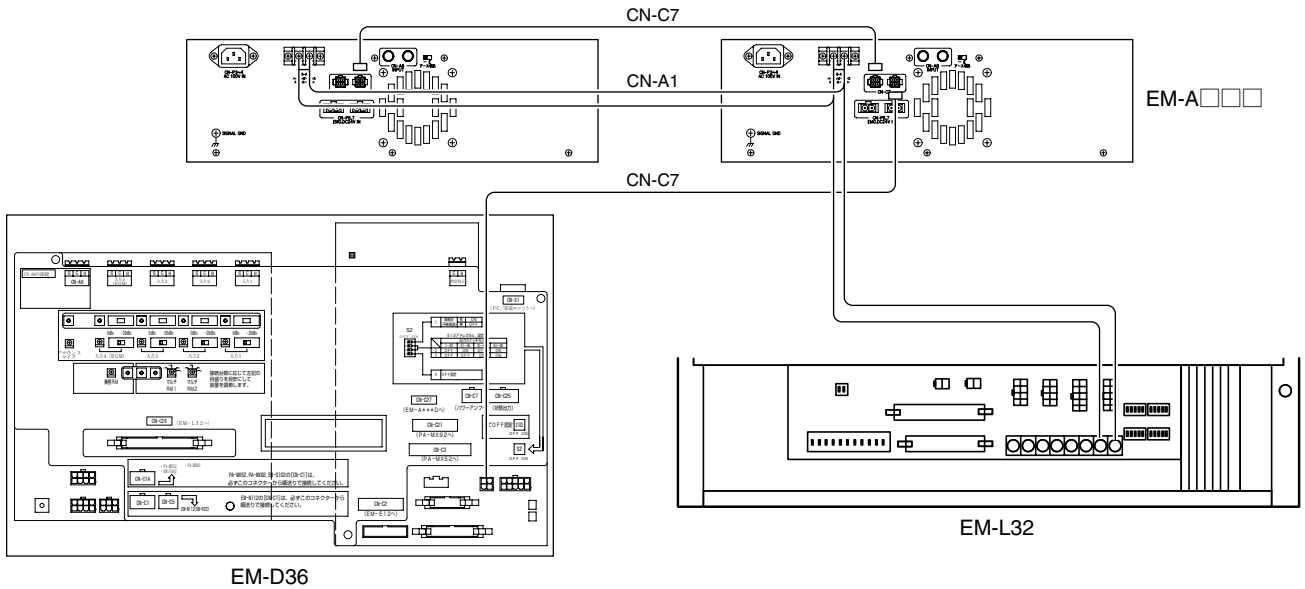
同一機種.....同一グループ内で3台まで
異機種混合...同一グループ内で2機種3台まで

<パワーアンプの定格出力と機種名>

グループ1	グループ2
80 W : EM-A083	240 W : EM-A243
160 W : EM-A163	360 W : EM-A363
240 W : EM-A244	
360 W : EM-A364	

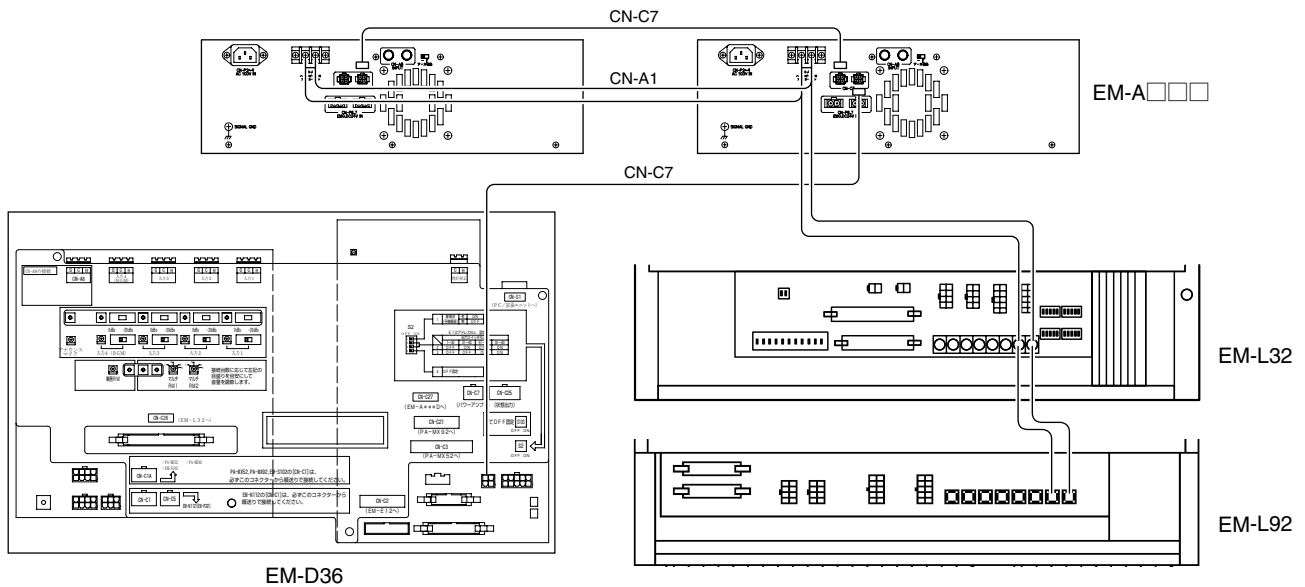
[接続例 1]

(スピーカー回線 = 20、2台のパワーアンプ並列運転接続)



[接続例 2]

(スピーカー回線 = 40、2台のパワーアンプ並列運転接続)



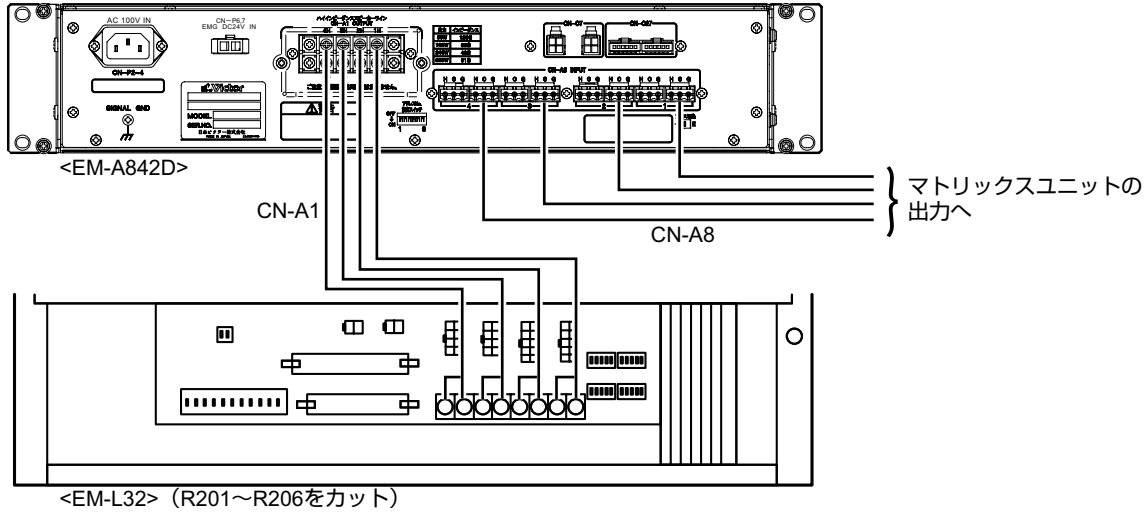
■ デジタルパワーアンプ(EM-A842D、EM-A822D)の接続

EM-A842D は入出力が 80 W × 4 系統、EM-A822D は 80 W × 2 系統あります。

これらの入出力系統は、別々に使用したり、並列運転で使用することが可能です。ただし、1 台のパワーアンプ内の並列運転に限ります。

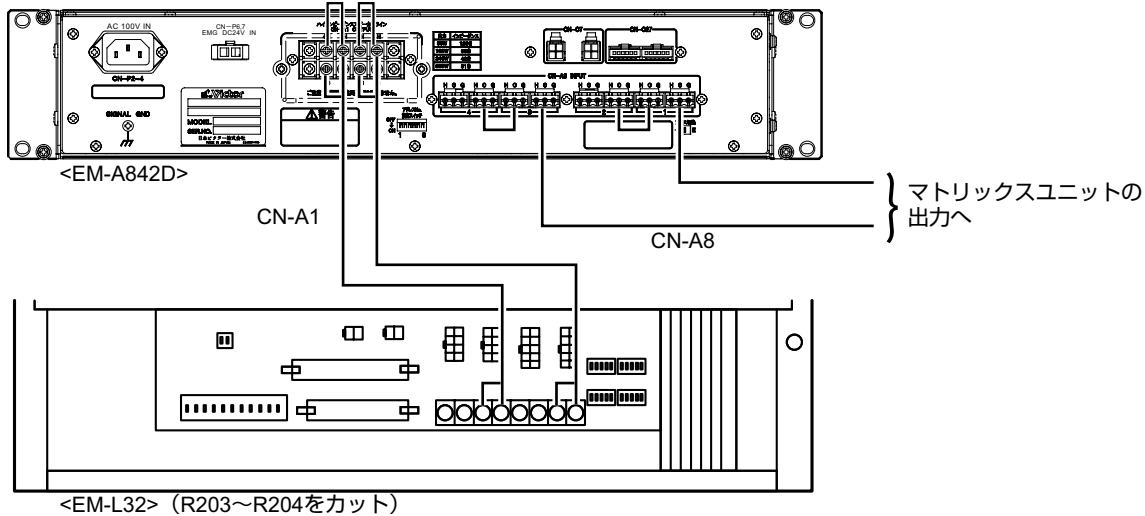
【接続例 1】

(スピーカー5 回線(80 W まで) × 4 系統)



【接続例 2】

(スピーカー10 回線(160 W まで) × 2 系統)



ご注意

- 並列運転は、同一ユニット内の系統のみ可能です。
- 同一機種でも、異なるユニット間での並列運転はできません。

次のページへつづく...

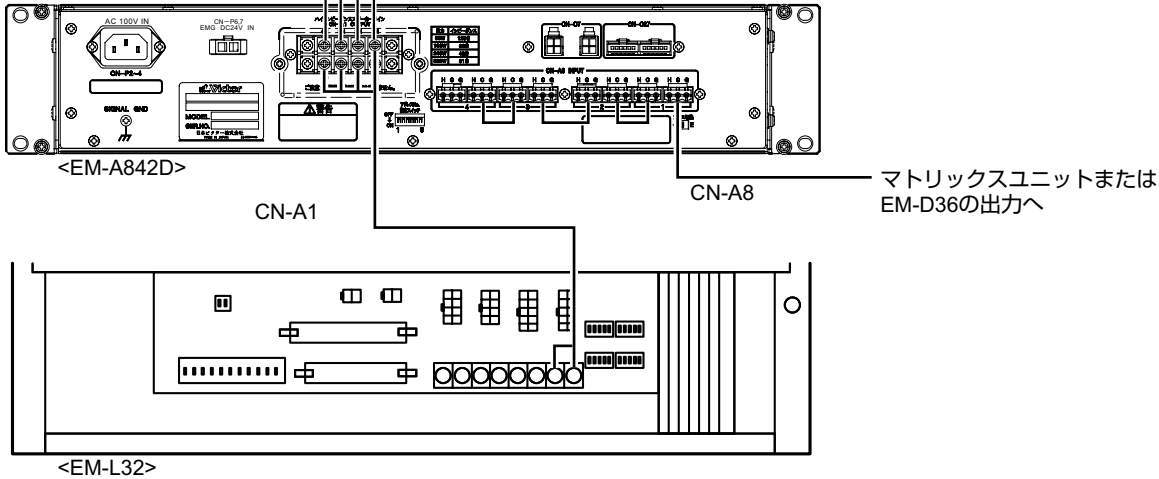
13-1. システムユニットの選択 (つづき)

パワーアンプ(つづき)

■ デジタルパワーアンプ(EM-A842D、EM-A822D)の接続(つづき)

[接続例 3]

(スピーカー20回線(320 W まで) × 1 系統)



システム電源ユニット

- システムのスピーカー回線数および接続する周辺機器の台数により、電源ユニットの必要台数は異なります。
- 停電放送に対応する場合と対応しない場合とで、使用する電源ユニットの機種、台数が異なります。システム規模に合わせて電源ユニットの必要台数を算出してください。

■ 停電放送に対応しない場合

停電時に放送を行わない場合、システムの電源は追加 DC ユニット(EM-P22)を使用します。必要台数を下記の手順で算出してください。

① オプション機器の DC24 V 消費電流の計算をする。

リモコンマイクなどの DC24 V 電源を使用するオプション機器の消費電流合計を求めます。

型番	商品名	DC24 V 消費電流(mA)	最大接続可能台数
PA-C50 シリーズ	リモートマイクロホン	55	4 台
PA-C620	マルチリモートマイクロホン	220	8 台
EM-M102	ミキサーユニット	180	—
EM-S102	モニターユニット	60	—

* 下記の機種は、④で考慮するため、ここでは計算不要です。

回線制御ユニット (EM-L92)、回線追加ケース (EM-E12)、回線追加ユニット (EM-E5)

* マトリックスユニット (PA-MX52、PA-MX92) は、停電時以外は AC 電源で動作するため計算不要です。

② スピーカー回線数を決定する。

必要となるスピーカー回線数を決定します。

③ 電源ユニットの必要台数を求める。

下表より、上記 ① と ② の値から追加 DC ユニット(EM-P22)の必要台数を求めます。

- 入出力拡張用として EM-L92 を接続する場合は、スピーカー回線数を 20 回線分増加させたことに相当します。電源ユニットの必要台数を算出するときに換算してください。

① DC24 V 消費電流	② スピーカー回線数								
使用しない場合	~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100				
0.7 A まで		~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100			
1.4 A まで			~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100		
2.1 A まで				~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100	
EM-P22 の必要台数	1 台				2 台				

■ 停電放送に対応する場合

- 停電時にも放送を行う場合、システムの電源には下記のユニットを使用します。
 - ・ 非常電源ユニット(EM-N112)
 - ・ ニッケルカドミウム蓄電池(NB-35B または NB-60)
 - ・ 追加 DC ユニット(EM-P22)
- 蓄電池は、1 時間停電状態を続けた後に、10 分間の定格出力を維持できる容量になります。各ユニットの必要台数を下記の手順で求めてください。

① オプション機器の DC24 V 消費電流の計算をする。

リモコンマイクなどの DC24 V 電源を使用する機器および、停電時に DC24 V を必要とする機器の消費電流合計を求めます。

型番	商品名	DC24 V 消費電流 (mA)	最大接続可能台数
PA-C50 シリーズ	リモートマイクロホン	55	4 台
PA-C620	マルチリモートマイクロホン	220	8 台
EM-M102	ミキサーユニット	180	—
EM-S102	モニターユニット	60	—
PA-MX92	デジタルマトリックスユニット	360(停電時)	2 台
PA-MX52	マトリックスコントロールユニット	150(停電時)	4 台
PA-DT600	デジタルプログラムチャイム	350(停電時)	
PA-DR600	デジタルボイスファイル	250(停電時)	
PA-DA300	デジタルミュージックマシン	350(停電時)	
PA-DA600	デジタルミュージックマシン	400(停電時)	

※ 下記の機種は、④ で考慮するため、ここでは計算不要です。
回線制御ユニット (EM-L92)、回線追加ケース (EM-E12)、回線追加ユニット (EM-E5)

② スピーカー回線数を決定する。

必要となるスピーカー回線数を決定します。

③ パワーアンプ用非常電源ユニット台数の算出。

非常電源ユニット(EM-N112)は、1 台で蓄電池を 2 本収納可能です。

使用するパワーアンプの型番、台数に応じて必要な蓄電池の本数を下表から求め、非常電源ユニットの必要台数を算出します。

パワーアンプ		蓄電池本数	
型番	定格出力	NB-35B	NB-60
EM-A083	80 W	1	0
EM-A163	160 W	0	1
EM-A244	240 W	0	1
EM-A364	360 W	0	2
EM-A243	240 W	0	1
EM-A363	360 W	0	2
EM-A822D	80 W × 2ch	1	0
EM-A842D	80 W × 4ch	0	1

例 1: EM-A243 1 台と EM-A363 1 台の場合、蓄電池は合計 3 本のため、EM-N112 は 2 台必要です。

例 2: EM-A822D 1 台と EM-A842D 1 台の場合、蓄電池は合計 2 本のため、EM-N112 は 1 台です。

次のページへつづく...

13-1. システムユニットの選択 (つづき)

システム電源ユニット(つづき)

■ 停電放送に対応する場合(つづき)

④ 追加制御用非常電源ユニットの必要台数を算出する。

- 下表より、前ページの①、②、③の値から追加が必要な非常電源ユニット(EM-N112)と追加 DC ユニット(EM-P22)の台数を求めます。
- 表の中の記号は、N:EM-N112+NB-35B、P:EM-P22 を示します。
例:「2N+P」は、「EM-N112+NB-35B」× 2 台と EM-P22 × 1 台になります。
- 入出力拡張用として EM-L92 を接続する場合は、スピーカー回線数を 20 回線分増加させたことに相当します。電源ユニットの必要台数を算出するときに換算してください。

① DC24 V 消費電流		② スピーカー回線数											
使用しない場合		~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100							
0.7 A まで			~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100						
1.4 A まで				~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100					
2.1 A まで					~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100				
2.8 A まで						~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100			
3.5 A まで							~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100		
4.2 A まで								~ 20	~ 40	~ 60	~ 80	~ 100	
③ パワーアンプ用 非常電源ユニット (EM-N112) 台数	1 台	—	P	P(*)	N+P	N+P	N+P	N+P	N+P	N+P	2N+P	2N+P	2N+P
	2 台	—	—	—	P	P	P	P	P	P	N+P	N+P	N+2P
	3 台	—	—	—	—	—	—	—	P	P	P	P	2P
	4 台	—	—	—	—	—	—	—	—	—	P	P	P
	5 台	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	P

※ パワーアンプ用非常電源の蓄電池が NB-35B × 1 本(EM-A083 × 1 台または EM-A822D × 1 台)の場合、デジタル音源ユニット (PA-D シリーズ) の接続台数によって、蓄電池の容量が不足する場合があります。下記の制約があります。

- ・ EM-A083 × 1 台のときは、デジタル音源ユニットを 3 台まで接続可能。
4 台のときはパワーアンプ用の蓄電池を NB-60 に変更のこと。
- ・ EM-A822D × 1 台のときは、デジタル音源ユニットを 2 台まで接続可能。
3 台以上のときはパワーアンプ用の蓄電池を NB-60 に変更のこと。

⑤ 電源ユニットの必要台数を算出する。

電源ユニットおよび蓄電池の必要台数は、③と④の合計したユニットになります。

③ パワーアンプ用非常電源(蓄電池含む)

+

④ 追加制御用非常電源(蓄電池含む)

合計 = 必要なシステム電源

起動入力

- 起動入力は報時チャイム・業務リモコン・電話ページングなど、外部からの起動入力回路を最大 73 回路保有しています。
- 各起動入力は、スピーカー回線を任意に複数回線指定(システム設定にて)できますので、多様な放送システムを構築できます。
- 接続端子 起動入力
No1 ~ 13(EM-L32)
No21 ~ 60(EM-L92 を使用)
No61 ~ 80(EM-L92 を入出力拡張用として使用)
(82 113 ページ参照)

起動入力を使用した例

起動入力機器	起動数
業務リモコン	20 起動
報時チャイム	2 起動
タイマー+BGM	5 起動
タイマー+アナウンスユニット	5 起動
電話ページング	10 起動
合計	合計:42 起動

ご注意

- デジタル音源 (PA-D) シリーズを連動接続する場合は、No.12、13 を使用します。また、台数によっては No.75 ~ No.80 を使用します。(82 ページ)

主制御ユニット(EM-L32)と回線制御ユニット(EM-L92)

制御ユニットの内容は、下記の 2 つです。

- 主制御ユニット(EM-L32)は、システムに必ず 1 台必要な基本ユニットで、以下の接続端子を有しています。

パワーアンプ信号入力 5 回線ごとに入力を分割し、パワーアンプを接続できます。

スピーカー回線出力 (20)

起動入力 (13)

制御出力 (10)

リモコン通信信号

リモコン音声信号入力

停電起動入力

非常制御信号入力 (RB 入力)

- 回線制御ユニット(EM-L92)は、スピーカー回線数・追加する起動入力数、制御出力数によってユニット台数が決まります。最大 5 台(100 回線、起動入力 73、制御出力 30)カスケード接続でき、以下の接続端子を有しています。

パワーアンプ信号入力 5 回線ごとに入力を分割し、パワーアンプを接続できます。

スピーカー回線出力 (制御出力) (20)

起動入力 (20)

緊急優先制御信号出力 (RB 出力)

主電源ユニット(EM-P11)

- 必要台数は、パワーアンプの総合計定格出力によって決まります。

総合計定格出力 = 1,080 W 以下のときは 1 台

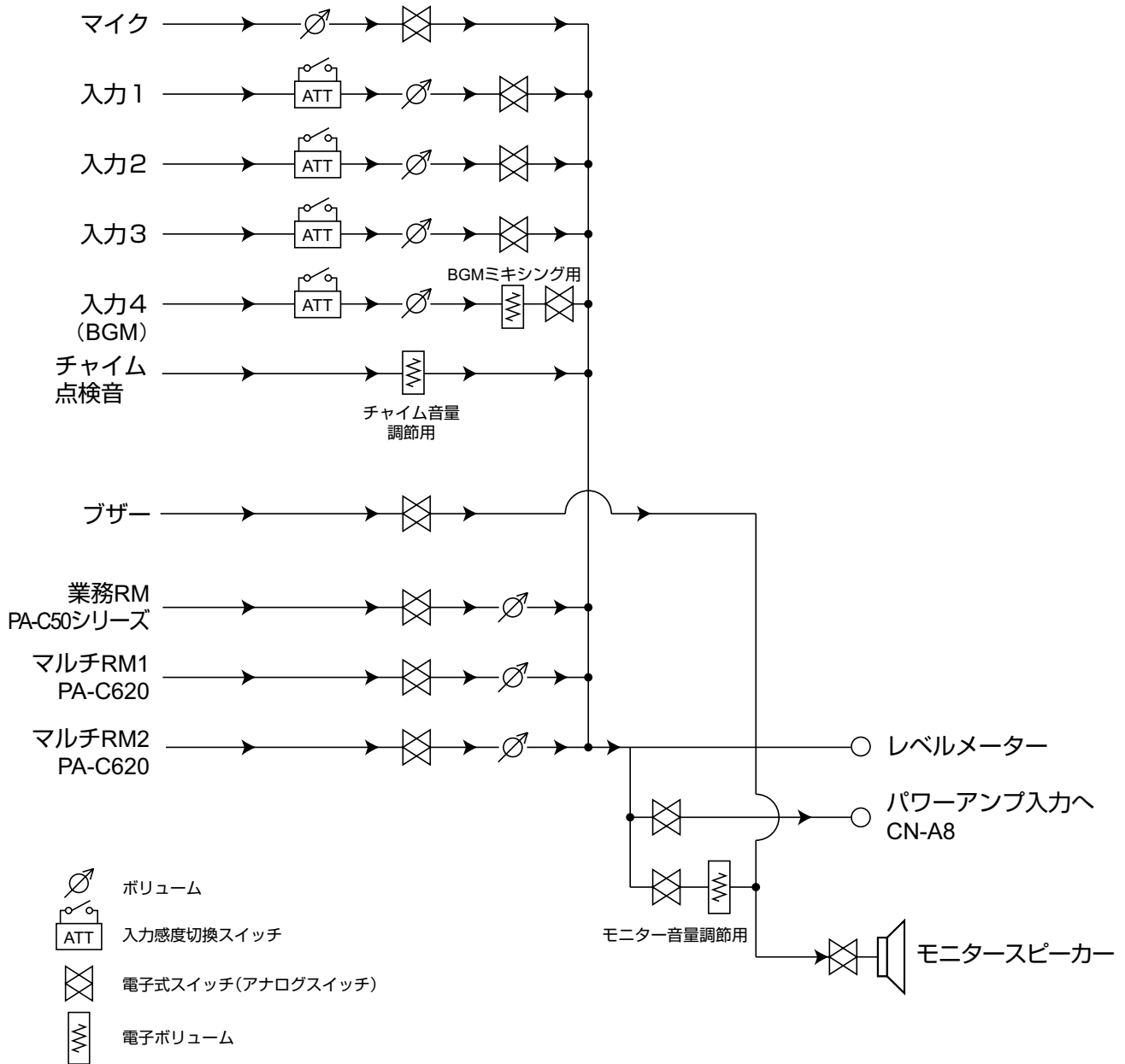
総合計定格出力 = 1,080 W を越え、1,800 W 以下のときは 2 台

メモ

- ACアウトレットの容量・個数によって台数を確認してください。
出力容量(1 台) = 最大 8A、3 回路
* 1 回路に 3 個の AC アウトレットを内蔵(合計:9 個)
- 接続可能台数は、最大 10 台です。
CN-C10:最大 5 台
CN-C10(DELAY):最大 5 台

13-1. システムユニットの選択 (つづき)

業務操作器(EM-D36)のオーディオ系統図



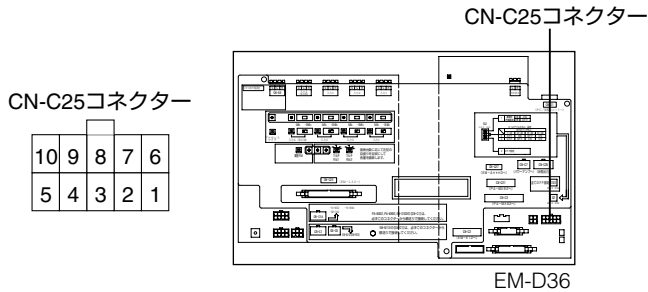
放送優先順位の設定

- 放送機器(放送グループ)は、下表のように 17 グループに分かれており、優先順位を設定できます。
- "緊急優先放送"は 1 位、"BGM"は 6 位固定です。
- その他の放送は、優先順位を 2 位～6 位に設定できます。同一優先順位に設定した放送機器は、後で操作した放送が優先となります。

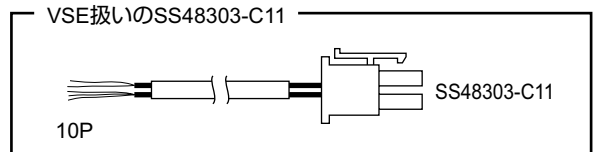
優先順位	放送機器(放送グループ)名	備考
1 位(固定)	緊急優先放送	緊急優先一斉放送、緊急優先ブロック放送、外部起動(緊急優先)
2 位～6 位で設定可	本体放送	業務ブロック放送、一斉放送
	業務リモコン	PA-C50 シリーズ
	報時チャイム	外部起動(報時チャイム)
	アナウンスユニット	外部起動(アナウンスユニット)
	電話ページング	外部起動(電話ページング)
	拡張ユニット	パソコンからの放送
	マルチ業務リモコン 1～8	PA-C620、ユニット毎に順位の設定が可能
	メッセージ放送	メッセージブロック放送、外部起動(メッセージ)
6 位(固定)	BGM	BGM ブロック放送、外部起動(BGM)

13-2. 状態出力について

- 本システムでは、システムアップ用として本システムの動作状態を示す状態出力を装備しています。
- 業務操作器 EM-D36 の内部の CN-C25 コネクターに動作状態を出力します。



ピンNo	機能	内容	出力仕様	SS48303-C11 ケーブル使用時の ワイヤー色
1	本体放送中	本体の業務ブロックSW、メッセージブロックSWで放送中	オープンコレクター 出力 DC24 V 100 mA 	黒
2	BGM 放送中	本体の BGM ブロック SW または外部起動による BGM 放送中		灰
3	リモコン放送中	業務リモコン、マルチ業務リモコン、拡張ユニットで放送中		青
4	緊急優先放送中	本体の緊急優先一斉SW、緊急優先ブロック放送および外部起動の緊急優先起動放送中		黄
5	外部起動放送中	報時チャイム、アナウンスユニット、電話ページング、メッセージ放送の外部起動放送中		赤
6	一斉放送中	本体の一斉放送 SW にて放送中		白
7	異常発生中	システムが異常を検出したとき(各ユニット間通信異常、パワーアンプ異常、蓄電池電圧異常、SP 回線短絡など)		紫
8	メンテナンス中	通常モード以外するとき(システム設定、履歴確認、システム点検)		緑
9	E	信号 GND		橙
10	E	信号 GND		茶



13-3. 停電時の放送について

非常電源ユニット(EM-N112)とニッケルカドミウム蓄電池(NB-35B/60)を接続することによって、常用電源が停電したときでも放送することができます。123 ページを参考にして、電源ユニットおよび蓄電池の数量を決定してください。緊急優先一斉放送以外の放送をする場合は、停電起動用のスイッチを追加してください。

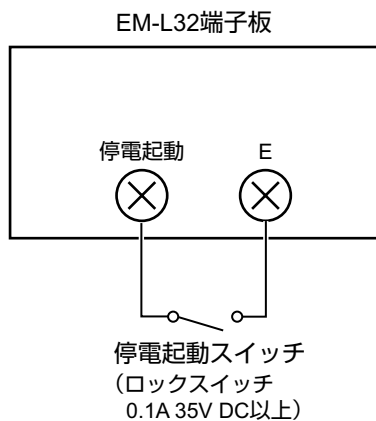
■ 緊急優先一斉放送

- 業務操作器(EM-D36)の緊急優先一斉スイッチを押すことによって放送できます。
- 非常電源ユニット(EM-N112)以外のユニットや、回路の追加は必要ありません。

■ 緊急優先一斉以外の放送

- 主制御ユニット(EM-L32)の停電起動端子を E 端子に接続することによって、電源が起動します。電源起動後は通常の操作が可能です。
- 停電起動端子を E 端子に接続している間だけ電源が ON になります。
- この機能を使用する場合は、下記の停電起動スイッチを追加してください。
- 停電起動スイッチは定格 0.1A 35V DC 以上のロックスイッチを使用してください。

<接続回路>



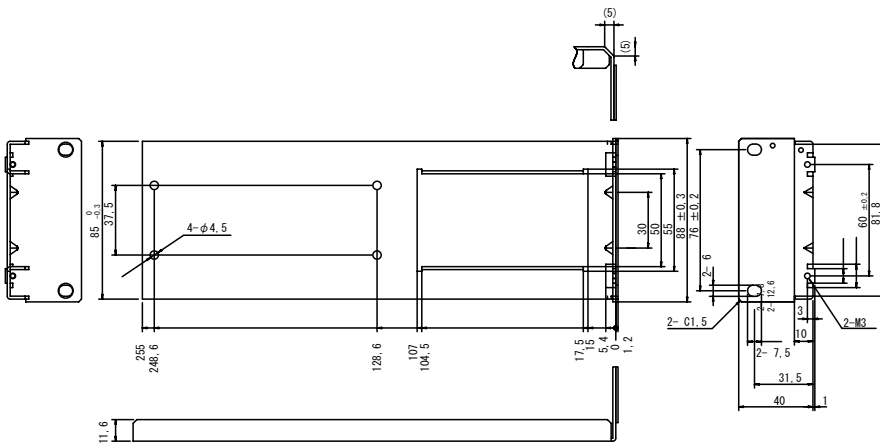
13-4. 主制御ユニット (EM-L32)、回線制御ユ ニット(EM-L92)の取り 付け応用

主制御ユニット(EM-L32)、回線制御ユニット(EM-L92)は、弊社標準ラック(PA-R641/R631)取り付け専用設計されていますので、この標準ラック以外のラックには取り付けないでください。

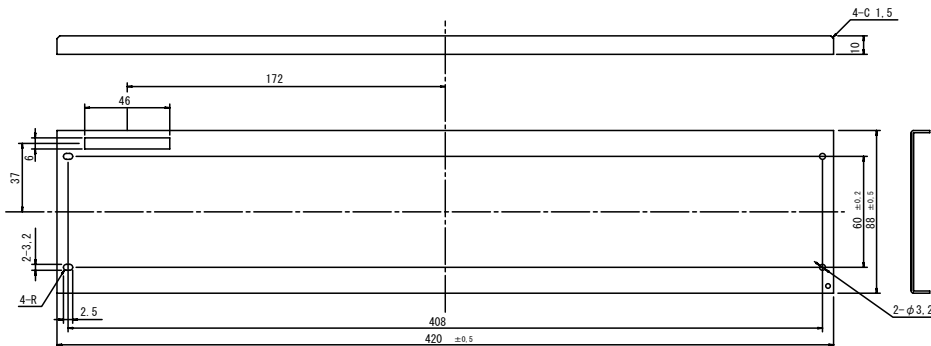
他の EIA ラックに取り付けるときは、下図を参考にし、あっせん品の取付金具(EMZY92J)をご使用ください。

一般ラックへの取り付け

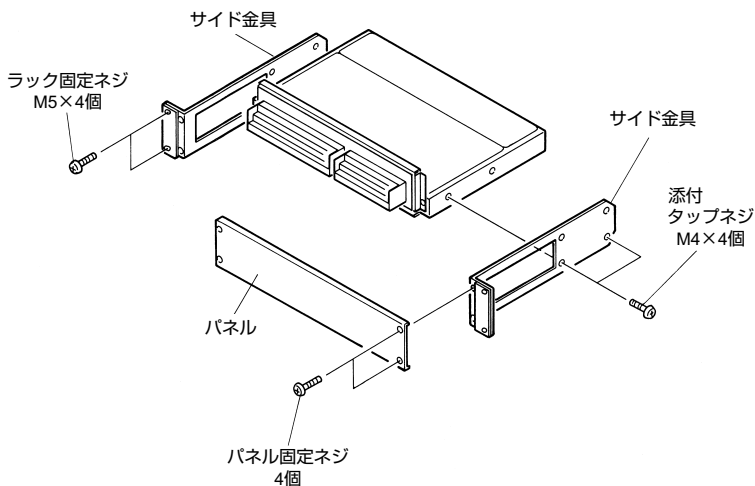
■ 一般ラックへの取付金具 EMZY92J(あっせん品)寸法図
<サイド金具>



<フロントパネル>



組立参考図



14-1. システム設定の項目

業務用放送設備(EM-D300 シリーズ)は「設定スイッチ」と「液晶表示」による対話式の書き込みにより様々なシステムに対応できます。

設定によって以下のような放送ができます。

業務放送

本体のスイッチ操作や業務リモコンからの放送、デジタル音源(PA-D) シリーズによるメッセージ、BGM 放送、プログラムタイマーによる自動放送などを行なうことができます。

マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)またはデジタルマトリックスユニット(PA-MX92)の追加により多元放送が可能です。

システム設定により、優先順位を決定したり放送機器(放送グループ)や放送する場所を決定します。

■ 緊急優先ブロック

1つの緊急優先ブロックスイッチでグループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

他のBGMやCMメッセージよりも優先して放送します。

PA-D シリーズを制御することもできます。

■ 業務ブロック

1つの業務ブロックスイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

■ メッセージブロック

1つのメッセージブロックスイッチでPA-D シリーズを制御し、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

■ BGM ブロック

1つのBGM ブロックスイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

PA-D シリーズを制御することもできます。

■ 起動入力

1つの起動入力ごとに以下の放送機器(放送グループ)名を設定でき、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

[業務リモコン・報時チャイム・電話ページング・アナウンスユニット・BGM・メッセージ・緊急優先]

■ マルチ業務リモコン / 拡張ユニットのブロック選択

マルチ業務リモコンの1つのブロック選択スイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

また、拡張ユニットからも同様に放送できます。

14-2. システム設定の手順

Step1 プログラムシートを記入する (P. 9 ページ)
 プログラムシートの書きかたを参考に記入します。



Step2 環境設定を行う (P. 139 ページ)
 環境設定のプログラムシートを見ながら、説明に従って、順に設定してください。

- 放送中は設定をすることはできません。
- システム設定中はプログラムタイマーなどの外部起動がかからないようにしてください。また、業務リモコンの操作をしないでください。

設定項目	初期設定	ページ	
スイッチ列	合計	4 列	140
	緊急優先ブロック	0 列	
	業務ブロック	4 列	
	メッセージブロック	0 列	
	BGM ブロック	0 列	
マトリックスユニット	マトリックスなし		142
音声入力端子	報時チャイム	入力1	144
	電話ページング	入力2	
	ミキサー、メッセージ、緊急優先	入力3	
	BGM	入力4 (固定)	
デジタル音源 (PA-D) シリーズ接続	接続台数	0 台	145
デジタルアンプ (EM-A □□□ D) 接続	接続台数	0 台	147
メンテナンス時刻	01:00 (am)		147
LCD バックライト	点灯		148



Step3 動作設定を行う (P. 149 ページ)
 動作設定プログラムシートを見ながら、説明に従って、順に設定してください。

設定項目	初期設定	ページ
パワーアンプウェイト時間	1 秒	150
チャイムの種類	アップチャイム 4音 - はやい	151
	ダウンチャイム 4音 - はやい	
チャイムの音量	5	151
BGM ミキシング放送	なし	152
業務リモコンの一斉放送の緊急指定	緊急	153
放送機器 (放送グループ) の優先順位	緊急優先放送は 1 位 (最上位固定)	153
	BGM は 6 位 (最下位固定)	
	他はすべて 2 位	



Step4

回線 No. 設定を行う (☞ 155 ページ)

緊急優先ブロック、業務ブロック、メッセージブロック、BGM ブロック、マルチ業務リモコン、起動入力の各プログラムシートを見ながら、155 ページからの説明に従って、順に設定してください。

設定項目	ページ
緊急優先ブロック	156
回線 No. の設定 / PA-D シリーズ使用の設定 / PA-D シリーズ制御の設定	
業務ブロック	157
回線 No. の設定 / 緊急指定の設定	
メッセージブロック	159
回線 No. の設定 / PA-D シリーズ制御の設定 / 緊急指定 / マトリックス入力の設定	
BGM ブロック	161
回線 No. の設定 / PA-D シリーズ使用の設定 / マトリックス入力の設定	
起動入力	164
放送機器(放送グループ)の設定 / 回線 No. の設定 / 緊急指定の設定 / 起動時のチャイム / PA-D シリーズ使用の設定 / PA-D シリーズ制御の設定 / マトリックス入力の設定	
マルチ業務リモコン / 拡張ユニット	169
リモコン No. の設定 / 回線 No. 設定 / 緊急指定の設定 / マトリックス入力の設定	



Step5

動作確認を行う (☞ 176 ページ)

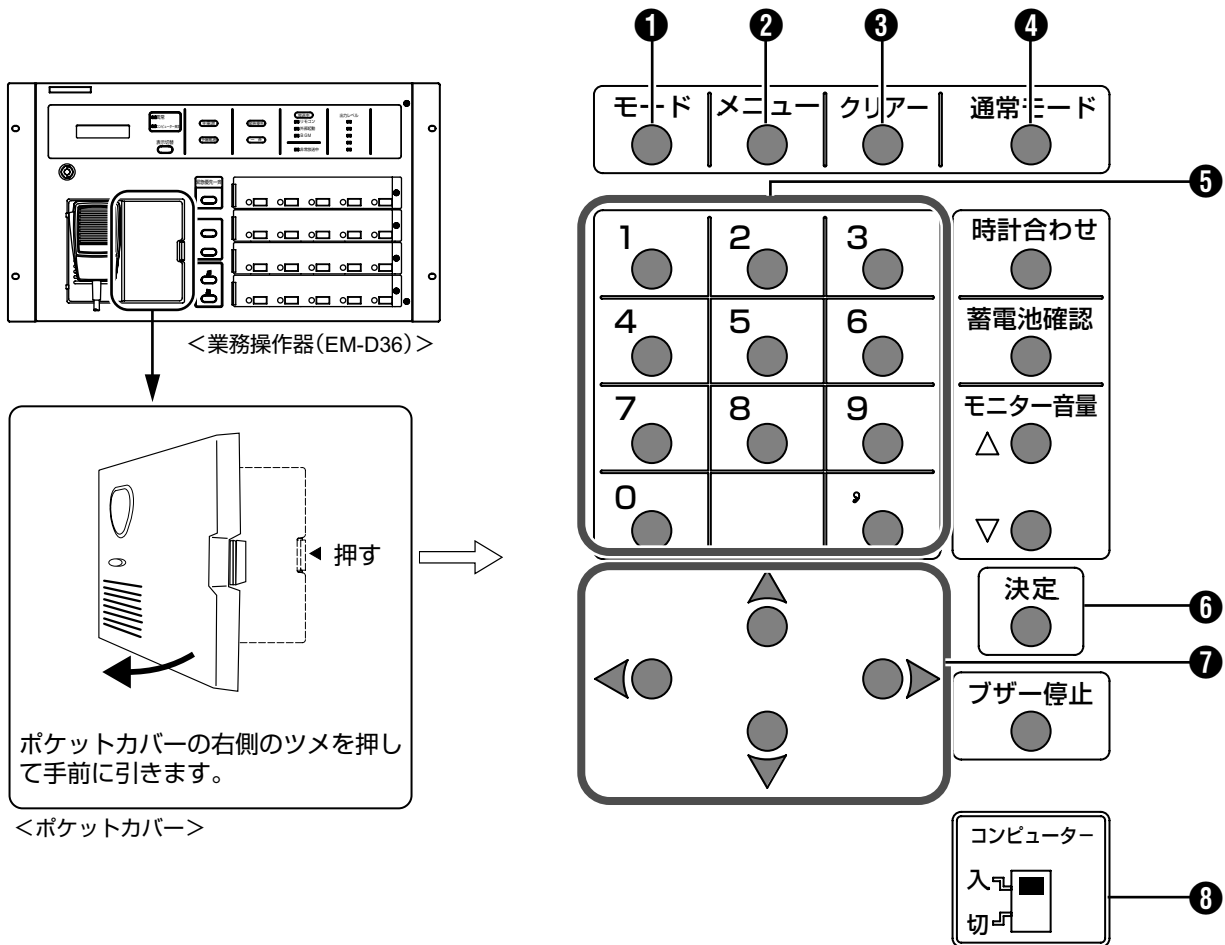
通常モードに戻し、176 ページからの説明に従って動作の確認を行なってください。



システム設定終了

14-3. システム設定用スイッチについて

本システムを設定するときは、業務操作器(EM-D36)のポケットカバー内にある、設定スイッチによって行ないます。



設定スイッチのはたらき

① モードスイッチ

通常モードから、設定のためのメインメニュー画面を表示するときに使います。(3秒以上押ししてください)
またはメインメニュー画面から通常モードに戻るときに使います。

② メニュースイッチ

メニュー画面を一つ前の画面に戻すときに使います。

③ クリアスイッチ

設定により一度入力した数値をクリアするときに使います。回線設定時は、全スピーカー回線 No. を削除します。

④ 通常モードスイッチ

時計合わせ / 蓄電池確認 / 音量調節の各モードから通常モードに戻るときに使います。また、設定のメニュー画面を一つ前の画面に戻すときに使います。

⑤ テンキー

設定項目の内容の変更や回線 No. の設定など、数字を入力するときに使います。

⑥ 決定スイッチ

設定する内容を確定するときに使います。

⑦ 選択・変更スイッチ

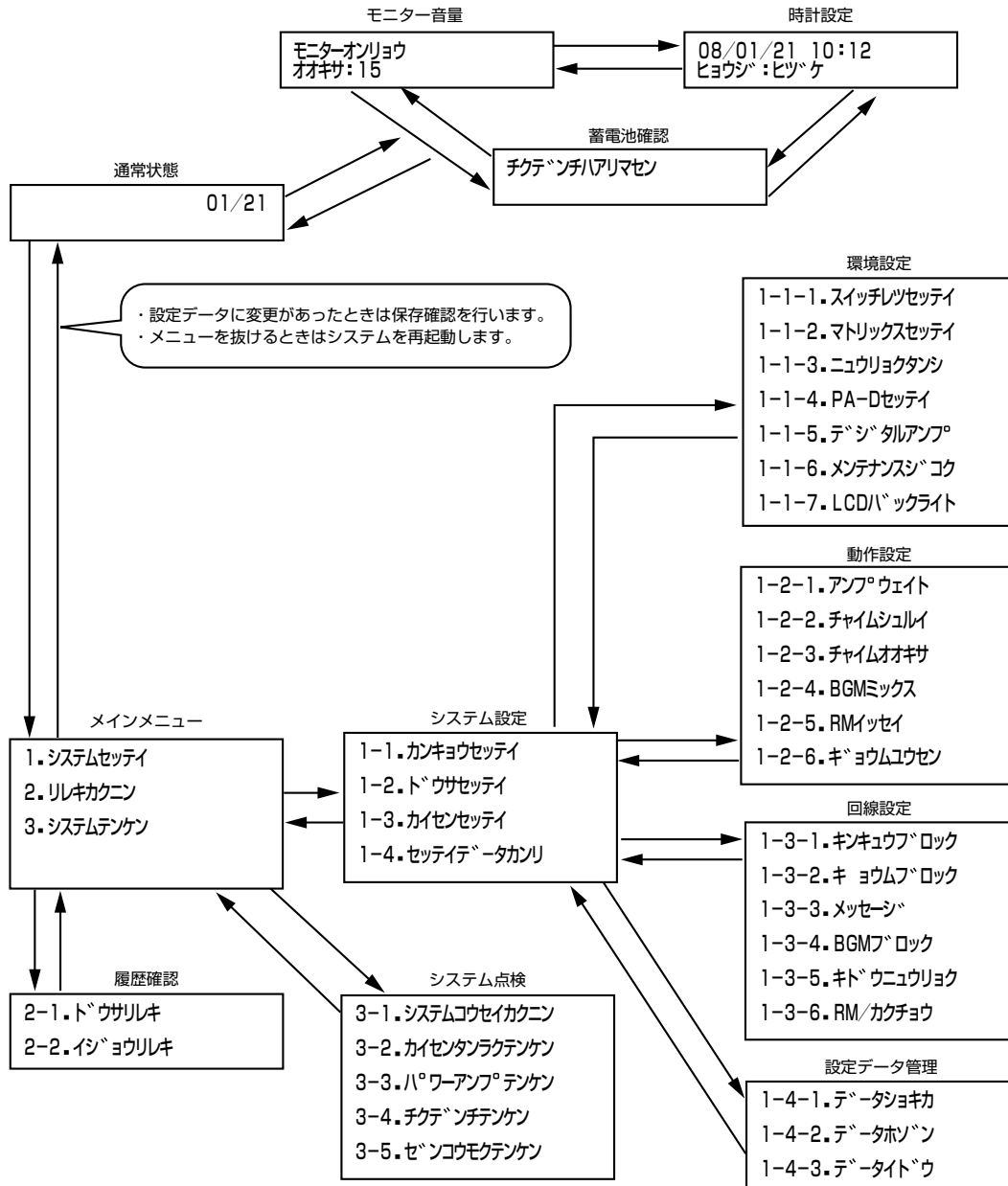
設定項目の選択などに使う選択スイッチ(▲▼)と、設定項目の内容を変更する変更スイッチ(◀▶)です。

⑧ コンピュータースイッチ

通常は「入」の位置にしてください。
動作が異常の場合にスイッチを「切」(3秒以上)にして、「入」にすることでシステムを再起動することができます。
上記の操作でも正常な状態に戻らない場合は、最寄りのサービス窓口にご連絡ください。

14-4. システム設定メニューについて

本システムでは設定時に必要な情報を業務操作器(EM-D36)の液晶画面に表示します。
 下記に、システム設定に使用するメニュー階層を表します。



メモ

- 設定モードから通常モードに切り換えるには、メインメニュー画面でモードスイッチを押します。モードスイッチを押すと、再起動して通常モードになります。設定データが変更されている場合は下記の画面が表示されます。

セッテイデータホヅン
 ハイ/イエ

◀ ▶ スイッチで保存 (『ハイ』 / 『イエ』) を選択します。『ハイ』 を選択して決定スイッチを押すと、設定データを本体メモリーに保存してシステムを再起動します。
 設定データ保存中は下記の画面が表示され、しばらくするとシステムを再起動します。

ホヅンシテイマス...

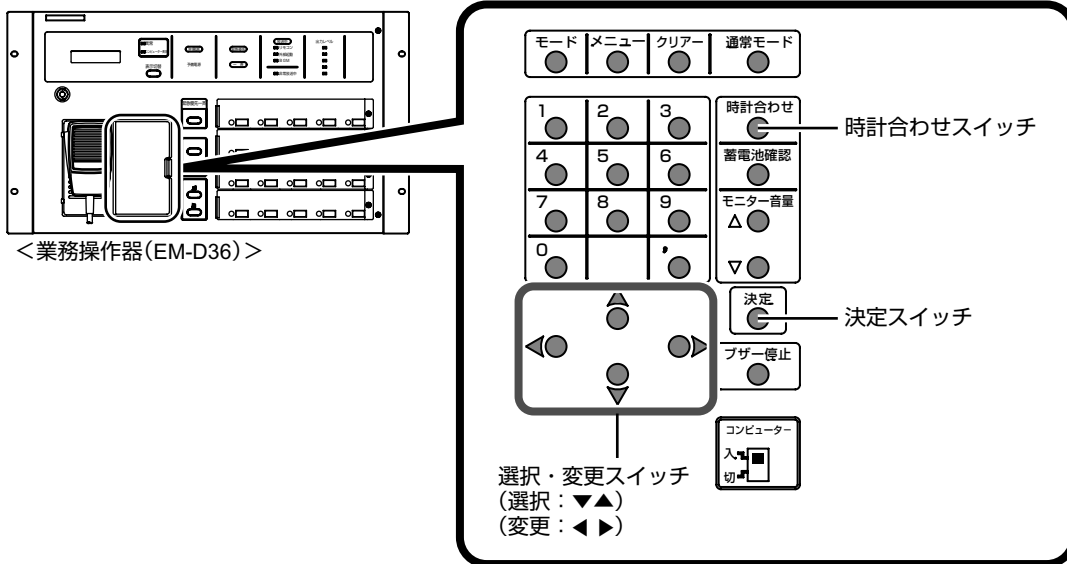
14-5. システム設定パラメーター一覧表

システム設定メニュー	詳細メニュー	設定項目	詳細項目	初期値	設定値	備考	
1-1. カンキョウセッテイ	1-1-1. スイッチレツセッテイ	スイッチレツゴウケイ		04レツ	04 ~ 20レツ		
		キンキョウユウセン ブロック		00レツ	00 ~ 20レツ		
		ギョウムブロック		04レツ	00 ~ 20レツ		
		メッセージブロック		00レツ	00 ~ 20レツ		
		BGMブロック		00レツ	00 ~ 20レツ		
	1-1-2. マトリックスセッテイ	マトリックスセッテイ			マトリックス ナシ	マトリックスナシ	
						8 ニュウリョク 8 シュツリョク	PA-MX52
						8 ニュウリョク 16 シュツリョク	PA-MX52
						16 ニュウリョク 8 シュツリョク	PA-MX52
						16 ニュウリョク 16 シュツリョク	PA-MX52
						20 ニュウリョク 10 シュツリョク	PA-MX92
					20 ニュウリョク 20 シュツリョク	PA-MX92	
		マトリックス ニュウリョクセッテイ				セッテイカンリョウ、01 ~ 20	
			フェード	0/0	0/0、1/1、2/2、3/3、3/1	イン / アウト	
			ミキシング	ナシ	ナシ、ショウ、チュウ、ダイ		
		マトリックス シュツリョク	SP センタク			セッテイカンリョウ、001-005、 006-010 … 096-100	回線 No.
			マトリックス シュツリョク	01	01 ~ 20		出力 No.
	1-1-3. ニュウリョクタンシ	ニュウリョクタンシ				ミキサー、キンキョウユウセン、 ページング、カクチョウユニット、 メッセージ、アナウンスユニット、 ホウジチャイム	放送機器 (放送グループ)
				ニュウリョクタンシ		1 ~ 4、ナシ	音声入力端子
	1-1-4. PA-D セッテイ	PA-D セツゾク			ナシ	ナシ、ダイレクト、バイナリ	
			ダイスウ	1	1 ~ 4(ダイレクトは3まで)		
1-1-5. デジタルアンプ	デジタルアンプ セツゾク	ダイスウ		00	00 ~ 40		
1-1-6. メンテナンスジコク	メンテナンスジコク			01:00	00:00 ~ 23:59		
1-1-7. LCD バックライト	LCD バックライト			テントウ	テントウ、ショウトウ、 キーレンドウ		
1-2. ドウサセッテイ	1-2-1. アンブウェイト	アンブウェイト		1 ビョウ	1 ビョウ、ナシ		
	1-2-2. チャイム チャイムシュルイ	チャイム	アップ	4 オン - ハヤイ	4 オン - ハヤイ、4 オン - オソイ、 2 オン、1 オン		
			ダウン	4 オン - ハヤイ	4 オン - ハヤイ、4 オン - オソイ、 2 オン、1 オン		
	1-2-3. チャイムオオキサ	チャイムオオキサ	オオキサ	5	0 ~ 9		
	1-2-4. BGM ミックス	BGM ミックス		ナシ	アリ、ナシ		
	1-2-5. RM イッセイ	ギョウム RM イッセイ		キンキョウ	ツウジョウ、キンキョウ		
	1-2-6. ギョウムユウセン	ホウソウユウセン ジュンイ				ホンタイ、ギョウム RM、 ホウジチャイム、 アナウンスユニット、ページング、 カクチョウユニット、 マルチギョウム RM1 ~ 8、 メッセージ	放送機器 (放送グループ)
				ジュンイ	2	2 ~ 6	

システム 設定メニュー	詳細メニュー	設定項目	詳細項目	初期値	設定値	備考
1-3. カイセンセッテイ	1-3-1. キンキュウブロック	キンキュウユウセン ブロック No.		001	001 ~ 100	スイッチ番号
			カイセンセンタク		001 ~ 100	複数選択可
			キンキュウユウセン ホウソウ	ツウジョウ	ツウジョウ、PA-D セイギョ	PA-D 使用選択
			PA-D セイギョ シュツリョク	01	01 ~ 63	
	1-3-2. ギョウムブロック	ギョウムブロック No.		001	001 ~ 100	スイッチ番号
			カイセンセンタク		001 ~ 100	複数選択可
			ギョウムブロック No □□□	ツウジョウ	ツウジョウ、キンキュウ	緊急指定
	1-3-3. メッセージ	メッセージブロック No.		001	001 ~ 100	スイッチ番号
			カイセンセンタク		001 ~ 100	複数選択可
			メッセージブロック No □□□	ツウジョウ	ツウジョウ、キンキュウ	緊急指定
			PA-D セイギョNo	1-1	1-1、1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、 4-1、4-2、1 ~ 3	
			PA-D セイギョ シュツリョク	01	01 ~ 63	
			マトリックス ニューリョク No	02	02 ~ 20	
	1-3-4. BGM ブロック	BGM ブロック No.		001	001 ~ 100	スイッチ番号
			カイセンセンタク		001 ~ 100	複数選択可
			BGM ブロック	ツウジョウ	ツウジョウ、PA-D セイギョ	PA-D 使用選択
			PA-D セイギョNo	1	1 ~ 4	
			PA-D セイギョ シュツリョク	01	01 ~ 63	
			マトリックス ニューリョク No	02	02 ~ 20	
	1-3-5. キドウニューリョク	キドウニューリョク		01	01 ~ 80	14 ~ 20 欠番
			キドウ ニューリョク□□		ギョウムリモコン、 キンキュウユウセン、 メッセージ、BGM、ページング、 アナウンスユニット、 ホウジチャイム	放送機器 (放送グループ)
			カイセンセンタク		001 ~ 100	複数選択可
			キドウ ニューリョク□□	ツウジョウ	ツウジョウ、キンキュウ	緊急指定
			キンキュウユウセン ホウソウ BGM	ツウジョウ	ツウジョウ、PA-D セイギョ	PA-D 使用選択
			PA-D セイギョNo	1 または 1-1	1-1、1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、 4-1、4-2、1 ~ 4	
			PA-D セイギョ シュツリョク	01	01 ~ 63	
			マトリックス ニューリョク No	02	02 ~ 20	
キドウジチャイム			ナシ	アリ、ナシ		
1-3-6. RM/ カクチョウ	マルチ RM No カクチョウユニット		1	1 ~ 9	9:カクチョウ ユニット	
		マトリックス ニューリョク No	03	02 ~ 20		
	マルチ RM □ ブロック No、 カクチョウユニットブ ロック No		01	01 ~ 20		
		カイセンセンタク		001 ~ 100	複数選択可	
		マルチ RM □ カクチョウユニット	ツウジョウ	ツウジョウ、キンキュウ	緊急指定	

14-6. 時計を合わせる

- 業務操作器 (EM-D36) に内蔵されている時計を設定します。
- 業務操作器 (EM-D36) の時計は機器のメンテナンス用に使用します。
- メンテナンス用のため精度が高くありません。
常に LCD 画面に時刻を表示する場合は、精度の高い親時計を接続してください。



1. 時計設定画面を表示する。

”時計合わせスイッチ” を押し、画面を表示させます。

08/01/21 20:40
ヒョウジ:ナシ

<時計設定画面>

2. 年月日、時刻、LCD 表示を設定する。

- 時計設定画面で、” 変更 (◀ ▶) スイッチ” を押し、年・月・日・時・分・『ヒョウジ』の表示項目を選択します。
- 選択されている項目に、カーソル () が表示されます。
- 選択した項目の値を、” 選択 (▼▲) スイッチ” で選択し、時報などに合わせて” 決定スイッチ” を押します。

年 月 日 時 分
08/01/21 20:40
ヒョウジ:ナシ

<時計設定画面>

■ 『ヒョウジ』の選択肢

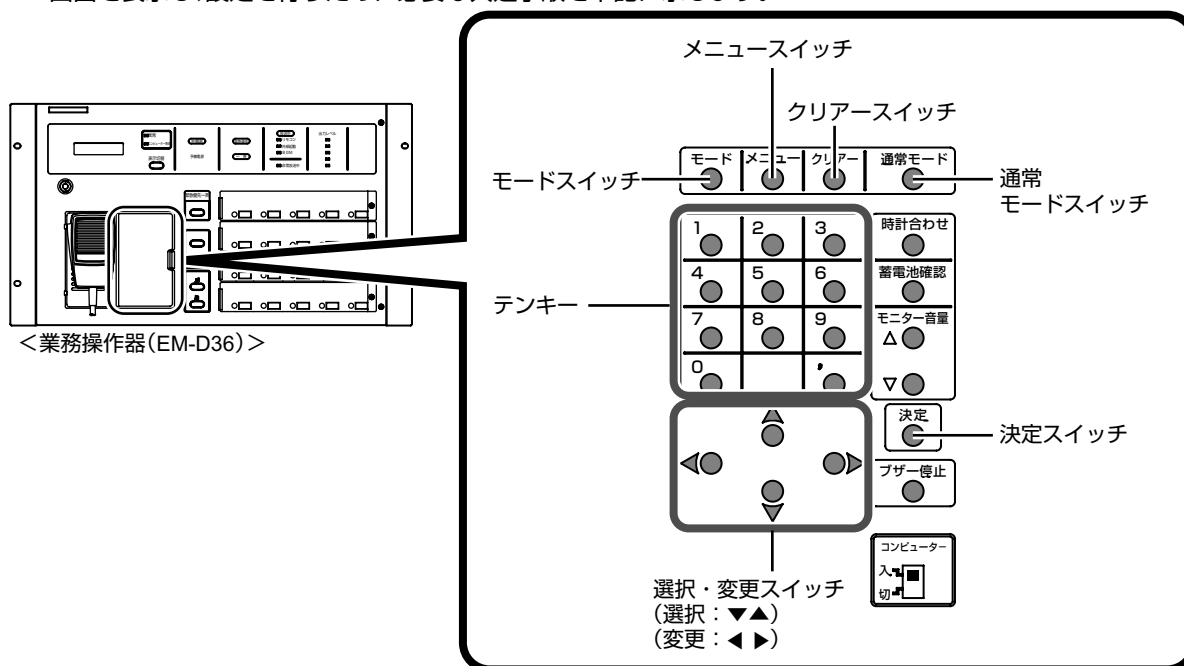
- 『ナシ』 : 表示なし(通常はこの設定にします)
- 『ヒツケ』: 月/日(親時計を接続した場合)
- 『ジコク』: 時:分(親時計を接続した場合)

メモ

- しばらく操作しないと、自動的に時計設定を終了します。
- 時計は停電時でも内蔵の電池によって 14 日間バックアップします。
- 内蔵の電池は充電式です。
フル充電まで約 50 時間かかります。

15-1. 環境設定画面の表示

メインメニューから環境設定画面を表示します。環境設定画面の表示につづいて、スイッチ列、音声入力端子の設定などの各メニュー画面を表示し、設定を行うために必要な共通手順を下記に示します。



メモ

- 内容を変更せずに前の画面に戻るときには、メニューまたは通常モードスイッチを押します。

1. メインメニュー画面を表示する。

モードスイッチを3秒以上押し、『メインメニュー』画面を表示します。

メインメニュー
1. システムセッテイ

<メインメニュー画面>

2. システム設定画面を表示する。

▼▲スイッチで、『1. システムセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

1. システムセッテイ
1-1. カンキョウセッテイ

<システム設定画面>

3. 環境設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで、『1-1. カンキョウセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

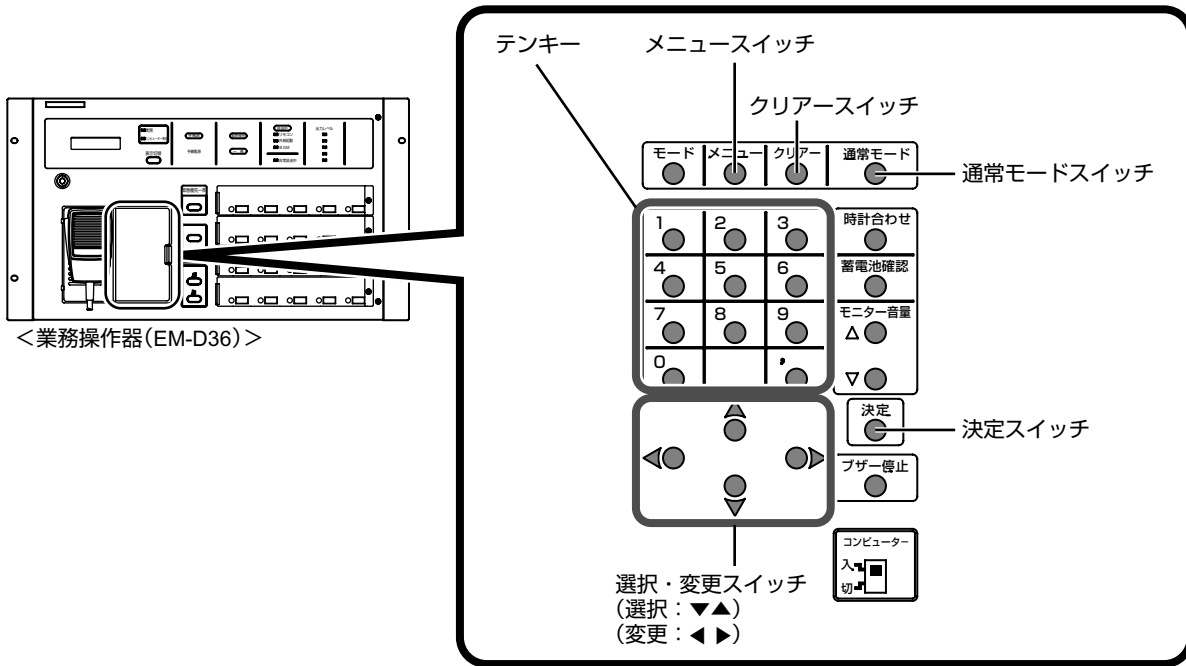
1-1. カンキョウセッテイ
1-1-1. スイッチレツセッテイ

<環境設定画面>

- 環境設定画面で以下の設定項目を選択し、決定スイッチを押します。
 - ・ 『1-1-1. スイッチレツセッテイ』
(☞140 ページ「スイッチ列の設定」)
 - ・ 『1-1-2. マトリックスセッテイ』
(☞142 ページ「マトリックスユニットの設定」)
 - ・ 『1-1-3. ニュウリョクタンシ』
(☞144 ページ「音声入力端子の設定」)
 - ・ 『1-1-4. PA-D セッテイ』
(☞145 ページ「デジタル音源(PA-D)シリーズの設定」)
 - ・ 『1-1-5. デジタルアンプ』
(☞147 ページ「デジタルパワーアンプの設定」)
 - ・ 『1-1-6. メンテナンスジコク』
(☞147 ページ「メンテナンス時刻の設定」)
 - ・ 『1-1-7. LCD バックライト』
(☞148 ページ「LCD バックライトの設定」)

15-2. スイッチ列の設定

出力スイッチをスイッチ列(出力スイッチ5個)単位で緊急優先ブロック、業務ブロック、メッセージブロック、BGM ブロックのスイッチに設定します。



メモ

- スイッチ列は、出力スイッチNo.1～5のスイッチ列より緊急優先ブロック、業務ブロック、メッセージブロック、BGMブロックの順番で配置されます。

1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、『1-1. カンキョウセツテイ』を選択します。

2. スイッチ列設定画面を表示する。

- ▼▲スイッチで『1-1-1. スイッチレツセツテイ』を選択し、決定スイッチを押すと、スイッチ列の合計が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセツテイ』画面に戻ります。

1-1.カンキョウセツテイ
1-1-1.スイッチレツセツテイ

<環境設定画面>



スイッチレツ コウケイ
センタク: 20レツ

<スイッチ列設定画面>

3. スイッチ列合計を設定する。

- テンキーで数値を入力するか、▼▲ スイッチで数値を変更します。
- 決定スイッチを押すと、スイッチ列合計が確定され「緊急優先ブロック」画面が表示されます。
選択肢: 4～20
※ クリアスイッチを押すと、使用可能な最大列数になります。

ご注意

- スイッチ列合計を変更すると、すべてのスイッチ列が緊急優先ブロックに割り当てられます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「1-1. カンキョウセツテイ」画面に戻ります。

スイッチレツ コウケイ
センタク: 20レツ

— スイッチ列合計

<スイッチ列設定画面>

4. 緊急優先ブロックの列数を設定する。

- テンキーで数値を入力するか、▼▲ スイッチで数値を変更します。
- 決定スイッチを押すと、緊急優先ブロック列数が確定され業務ブロック列画面が表示されます。

選択肢：0～20

※ クリアスイッチを押すと、『0』になります。

キンキョウセツブロッ
ク
センタク：00レツ

緊急優先ブロッ
ク
列数

<緊急優先ブロック列画面>

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、「スイッチ列設定」画面に戻ります。

5. 業務ブロックの列数を設定する。

- テンキーで数値を入力するか、▼▲ スイッチで数値を変更します。
- 決定スイッチを押すと、業務ブロック列数が確定され「メッセージブロック列」画面が表示されます。

選択肢：0～20

※ 選択できる最大値は、「スイッチ列合計－緊急ブロッ
ク列数」となります。

※ クリアスイッチを押すと、『0』になります。

キョウムブロッ
ク
センタク：00レツ

業務ブロッ
ク
列数

<業務ブロック列選択画面>

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、「緊急優先ブロック列」画面に戻ります。

6. メッセージブロックの列数を設定する。

- テンキーで数値を入力するか、▼▲ スイッチで数値を変更します。
- 決定スイッチを押すと、メッセージブロック列数が確定され「BGM ブロック列」画面が表示されます。

選択肢：0～20

※ 選択できる最大値は、「スイッチ列合計－緊急ブロッ
ク列数－業務ブロック列数」となります。

※ クリアスイッチを押すと、『0』になります。

メッセージブロッ
ク
センタク：00レツ

メッセージブロッ
ク
列数

<メッセージブロック列画面>

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、「業務ブロック列」画面に戻ります。

7. BGM ブロックの列数を設定する。

- テンキーで数値を入力するか、▼▲ スイッチで数値を変更します。
- 決定スイッチを押すと、BGM ブロック列数が確定され、設定が完了します。

選択肢：0～20

※ 選択できる最大値は、「スイッチ列合計－緊急ブロッ
ク列数－業務ブロック列数－メッセージブロック列数」
となります。

※ クリアスイッチを押すと、『0』になります。

BGMブロッ
ク
センタク：00レツ

BGMブロッ
ク
列数

<BGM ブロック列画面>

- 設定が完了すると、『1-1. カンキョウセツテイ』画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、「メッセージブロック列」画面に戻ります。

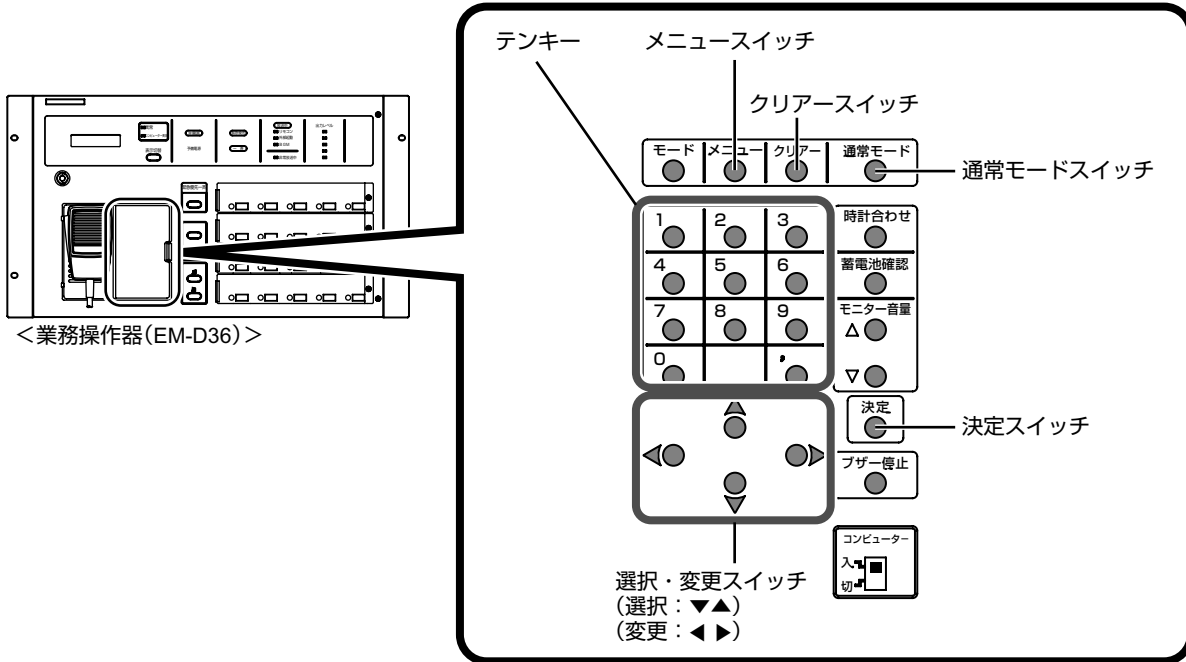
メモ

- 「緊急優先ブロック」、「業務ブロック」、「メッセージブ
ロック」、「BGM ブロック」の列数の合計が「スイッチ
列合計」より少ない場合は、下記のエラー画面が表示さ
れます。
決定スイッチを押して BGM ブロック列画面に戻り、各
列数を設定しなおしてください。

01レツ セツテイサレタイムセ
ン
モドル

15-3. マトリックスユニットの設定

- マトリックスユニット(PA-MX52/PA-MX92)の有無、入出力の設定をします。
- マトリックスユニットがある場合(多元放送システム)は、5回線ごとにマトリックス出力 No. を設定します。
- PA-MX92 を使用する場合は、入力 No. 毎にフェーダー、ミキシングの設定をします。



ご注意

- マトリックス設定は、手順 5. の「マトリックス出力の設定」で『セッテイカンリョウ』を選択して決定スイッチを押すと、ここではじめて設定内容が保存されます。
設定の途中で「マトリックスセッテイ」の画面まで戻ると、マトリックスユニットに関する設定がすべてクリアされます。

1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、『1-1. カンキョウセッテイ』を選択します。

2. マトリックス設定画面を表示する。

- ▼▲スイッチで『1-1-2. マトリックスセッテイ』を選択し、決定スイッチを押すと、現在のマトリックス設定(入出力数)が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

3. 接続するマトリックスユニットを設定する。

- 接続するユニットと台数によって▼▲スイッチで入出力数を選択します。
- PA-MX52 の項目を選択して決定スイッチを押すと、「マトリックス出力設定」画面(手順 5.)が表示されます。
- PA-MX92 の項目を選択して決定スイッチを押すと、「マトリックス入力設定」画面(手順 4.)が表示されます。

マトリックスセッテイ
マトリックスナシ

<マトリックス設定(入出力)画面>

選択肢

『マトリックスナシ』	—
『8 ニュウリョク 8 シュツリョク』	マトリックスコントロールユニット PA-MX52 × 1
『8 ニュウリョク 16 シュツリョク』	マトリックスコントロールユニット PA-MX52 × 2
『16 ニュウリョク 8 シュツリョク』	マトリックスコントロールユニット PA-MX52 × 2
『16 ニュウリョク 16 シュツリョク』	マトリックスコントロールユニット PA-MX52 × 4
『20 ニュウリョク 10 シュツリョク』	デジタルマトリックスユニット PA-MX92 × 1
『20 ニュウリョク 20 シュツリョク』	デジタルマトリックスユニット PA-MX92 × 2

※ クリアスイッチを押すと、『マトリックスナシ』になります。

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-1. カンキョウセッテイ』画面に戻ります。

4. マトリックス入力の設定をする。

(デジタルマトリックスユニット / PA-MX92)

- フェードパターン、ミキシングレベルを設定します。
- ▼▲ スイッチで、設定する入力 No. (『01』～『20』) 選択して決定スイッチ押すと、「フェードパターン設定」画面が表示されます。
- 『セッテイカンリョウ』を選択して決定スイッチを押すと、「マトリックス出力設定」画面(手順 5.)が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「マトリックス設定(入出力)」画面に戻ります。

このとき、設定はすべてキャンセルされます。

マトリックスニューリョクセッテイ
センタク: 01

<マトリックス入力設定画面>

選択肢: 『01』～『20』、『セッテイカンリョウ』

- ※ クリアスイッチを押すと、『セッテイカンリョウ』になります。

■ フェードパターンの選択

- ▼▲ スイッチで、フェードパターンを選択します。
 - 決定スイッチを押すと、「ミキシングレベル選択」画面が表示されます。
 - メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「マトリックス入力設定」画面に戻ります。
- このとき、設定はすべてキャンセルされます。

マトリックスニューリョク 01
フェード: 0/0

<フェードパターン設定画面>

選択肢

『0/0』: フェードイン 0 秒、フェードアウト 0 秒
『1/1』: フェードイン 1 秒、フェードアウト 1 秒
『2/2』: フェードイン 2 秒、フェードアウト 2 秒
『3/3』: フェードイン 3 秒、フェードアウト 3 秒
『3/1』: フェードイン 3 秒、フェードアウト 1 秒

- ※ クリアスイッチを押すと、『0/0』になります。

■ ミキシングレベルの選択

- 入力 No. のソースを通常レベルで再生しているときに、ミキシングソースとなる側のミキシングレベルを設定します。
- ▼▲ スイッチで、ミキシングレベルを選択します。
- 決定スイッチを押すと、「マトリックス入力設定」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「フェードパターン選択」画面に戻ります。

マトリックスニューリョク 01
ミキシング: ナシ

<ミキシングレベル設定画面>

選択肢

『ナシ』 : ミュート
『ダイ』 : 0 dB
『チュウ』: -10 dB
『ショウ』: -20 dB

- ※ クリアスイッチを押すと、『ナシ』になります。

5. マトリックス出力の設定をする。

■ スピーカー回線の選択

- ▼▲ スイッチで、マトリックス出力 No. を設定するスピーカー回線を選択します。
- 『001 ~ 005』などのスピーカー回線を選択して決定スイッチを押すと、「マトリックス出力 No. 選択」画面が表示されます。
- 『セッテイカンリョウ』を選択して決定スイッチを押すと、設定が完了し、『1-1. カンキョウセッテイ』画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、下記の画面に戻ります。
 - ・ PA-MX52 を接続している場合は、「マトリックス設定(入出力)」画面。(手順 3.)
 - ・ PA-MX92 を接続している場合は、「マトリックス入力設定」画面。(手順 4.)

マトリックスシュツリョク
SPセンタク: 001-005

<マトリックス出力設定画面>

選択肢:

『001-005』、『006-010』…『096-100』、
『セッテイカンリョウ』

- ※ クリアスイッチを押すと、『セッテイカンリョウ』になります。

■ マトリックス出力 No. の選択

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、マトリックス出力 No. を設定します。
- 決定スイッチを押すと、設定を保存し、「マトリックス出力設定」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「マトリックス出力設定」画面に戻ります。

SP 001-005
マトリックスシュツリョク: 01

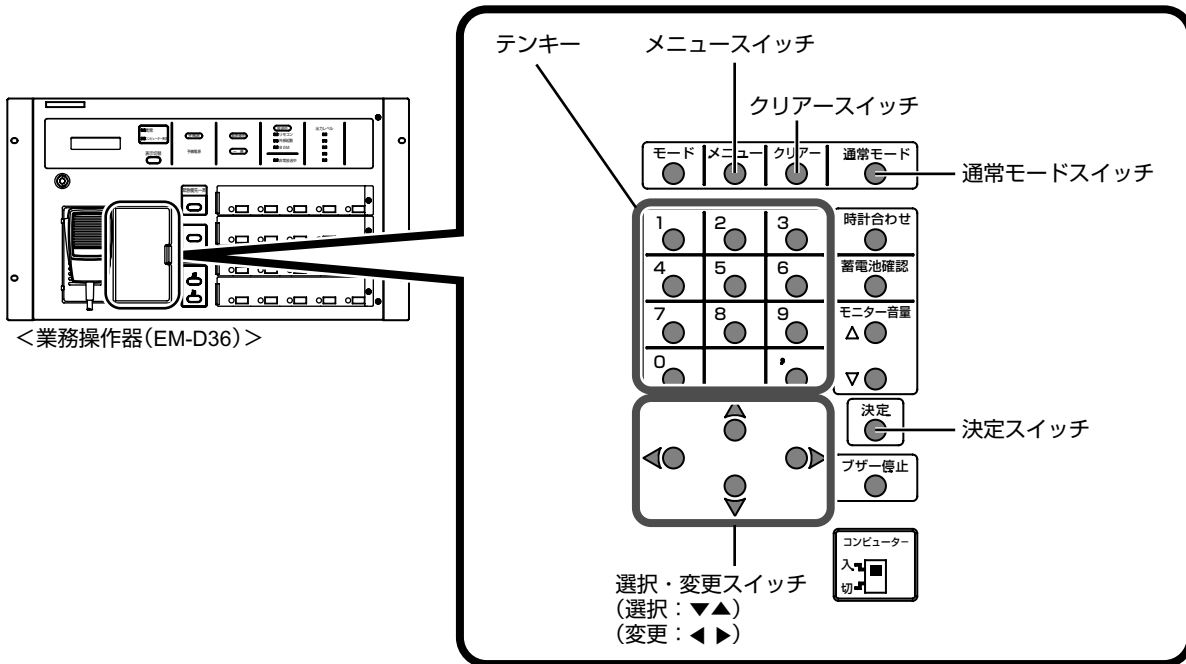
<マトリックス出力 No. 選択画面>

選択肢: 『01』～『20』

- ※ 接続したマトリックスユニットの種類と台数によって出力数が変わります。
- ※ クリアスイッチを押すと、『01』になります。

15-4. 音声入力端子の設定

放送機器(放送グループ)[報時チャイム、電話ページング、メッセージなど]に対して、使用する放送機器を接続した音声入力端子(入力1～4)を割り当てます。



1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、『1-1. カンキョウセツテイ』を選択します。

2. 放送機器選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-1-3. ニュウリョクタンシ』を選択して決定スイッチを押すと、「放送機器選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセツテイ』画面に戻ります。

1-1.カンキョウセツテイ
1-1-3.ニュウリョクタンシ

<環境設定画面>



ニュウリョクタンシ
センタク: ミキサー

<放送機器選択画面>

3. 放送機器を選択する。

- ▼▲ スイッチで放送機器を選択します。
- 決定スイッチを押すと、「入力端子選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-1. カンキョウセツテイ』画面に戻ります。

ニュウリョクタンシ
センタク: ミキサー

<放送機器選択画面>

放送機器 (放送グループ)	接続する機器
『ミキサー』	ミキサーユニット(EM-M102) (業務ブロック / 一斉放送)
『キンキュウユウセン』	緊急優先放送機器 デジタル音源(PA-D)シリーズ (緊急優先ブロック / 緊急優先一斉 / 起動入力)
『ページング』	電話ページングトランク (起動入力)
『カクチョウユニット』	パソコンの音声など (拡張ユニットリモコン)
『メッセージ』	デジタル音源(PA-D)シリーズ (メッセージブロック / 起動入力)
『アナウンスユニット』	PA-DR600 など (起動入力)
『ホウジチャイム』	PA-DT600 など (起動入力)

メモ

- 多元放送システムの場合、『ミキサー』と『キンキュウユウセン』以外はマトリックスユニットの入力を使用するため、設定不要です。

4. 入力端子を選択する。

- ◀▶ スイッチで、放送機器ごとに入力端子を選択します。
- 決定スイッチを押すと、設定が確定して「放送機器選択」画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「1-1. カンキョウセッテイ」画面に戻ります。

ミキサー
センタク: 1/2/3/ナシ

<入力端子選択画面>

選択肢

- ミキサー : 1、2、3、ナシ (初期値:3)
キンキュウウセン : 1、2、3、4、ナシ (初期値:3)
ページング : 1、2、3、ナシ (初期値:2)
カクチョウユニット : 1、2、3、ナシ (初期値:ナシ)
メッセージ : 1、2、3、4、ナシ (初期値:3)
アナウンスユニット : 1、2、3、4、ナシ (初期値:ナシ)
ホウジチャイム : 1、2、3、ナシ (初期値:1)

15-5. デジタル音源(PA-D)シリーズの設定

EM-D300のシステムからデジタル音源(PA-D)シリーズに起動をかけ、連動させて放送する場合、デジタル音源(PA-D)シリーズの台数と制御モードを設定します。

1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、「1-1. カンキョウセッテイ」を選択します。

2. PA-D 接続台数画面を表示する。

- ▼▲スイッチで「1-1-4.PA-Dセッテイ」を選択して決定スイッチを押すと、「制御モード選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「1. システムセッテイ」画面に戻ります。

1-1.カンキョウセッテイ
1-1-4.PA-Dセッテイ

<環境設定画面>



PA-Dセツゾク
ナシ/ダイレクト/バイナリ

<制御モード選択画面>

3. 制御モードを選択する。

- ◀▶ スイッチで、接続する機種によって制御モードを選択します。
- 『ダイレクト』または『バイナリ』を選択して決定スイッチを押すと、制御モードを確定して「PA-D 接続台数」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「PA-D 接続台数」画面に戻ります。
『ナシ』を選択して決定スイッチを押した場合も「PA-D 接続台数」画面に戻ります。

PA-Dセツゾク
ナシ/ダイレクト/バイナリ

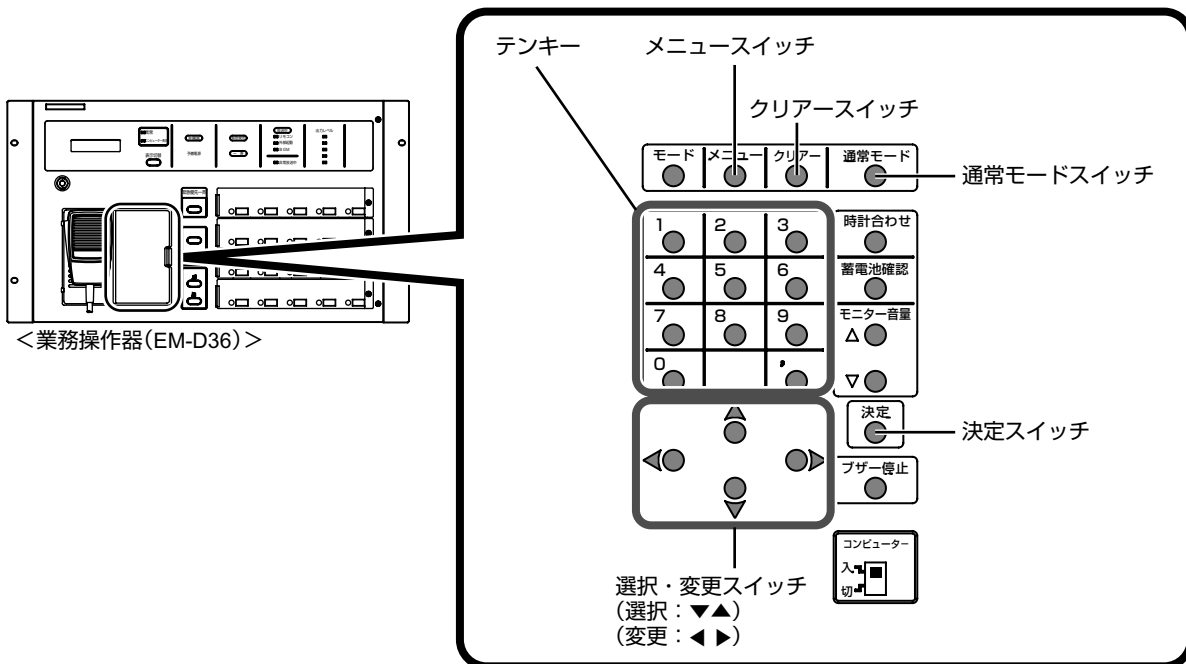
<制御モード選択画面>

選択肢

- 『ナシ』 : 接続しない場合
『ダイレクト』 : PA-DA600 を接続する場合
『バイナリ』 : PA-DA300、PA-DR600 を接続する場合

次のページへつづく...

15-5. デジタル音源(PA-D)シリーズの設定(つづき)



4. 接続台数を選択する。

- ▼▲ スイッチで接続台数を選択します。
- 「1」～「4」を選択して決定スイッチを押すと、「1-1. カンキョウセツテイ」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「制御モード選択」画面に戻ります。

PA-Dセツゾク
ダイズウ: 1

< PA-D 接続台数画面 >

選択肢: 「1」～「4」

※ クリアスイッチを押すと、「1」になります。

メモ

- EM-D36+EM-L32 の組み合わせでは 1 台まで、入出力拡張用 EM-L92 を接続した場合、4 台(ダイレクトモードでは 3 台)まで接続できます。

15-6. デジタルパワーアンプの設定

デジタルパワーアンプを接続する場合、台数に応じた通信を行うため、接続する台数を設定します。

1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、『1-1. カンキョウセッテイ』を選択します。

2. デジタルパワーアンプ接続台数設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-1-5. デジタルアンプ』を選択して決定スイッチを押すと、「デジタルアンプ接続台数設定」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-1. カンキョウセッテイ
1-1-5. デジタルアンプ

<環境設定画面>



デジタルアンプ セツソク
ダイスウ: 00

<デジタルアンプ接続台数設定画面>

3. 接続台数を選択する。

- ▼▲ スイッチで接続台数を選択します。
- 決定スイッチを押すと、値を確定して『1-1. カンキョウセッテイ』画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-1. カンキョウセッテイ』画面に戻ります。

デジタルアンプ セツソク
ダイスウ: 00

<デジタルアンプ接続台数設定画面>

選択肢: 『00』～『40』

※ クリアスイッチを押すと、『00』になります。

15-7. メンテナンス時刻の設定

設定データのサービスメモリーへの保存、履歴データの保存、蓄電池点検(接続してある場合)を行う時刻を設定します。

メモ

- システムの電源が常時入電ではない場合、必ず入電している時刻を設定してください。
- メンテナンス時刻の設定は、夜間などシステムの稼働率が少ない時刻をおすすめします。
- システム設定、システム点検中にメンテナンス時刻になった場合、メンテナンスは行われません。

1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、『1-1. カンキョウセッテイ』を選択します。

2. メンテナンス時刻設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-1-6. メンテナンスジコク』を選択して決定スイッチを押すと、「メンテナンス時刻設定」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-1. カンキョウセッテイ
1-1-6. メンテナンスジコク

<環境設定画面>



メンテナンスジコク
01:00

<メンテナンス時刻設定画面>

3. メンテナンス時刻を設定する。

- ◀▶ スイッチで、時、分を選択し、▼▲ スイッチまたはテンキーで時刻(24時間制)を設定します。
- 決定スイッチを押すと、時刻を確定して『1-1. カンキョウセッテイ』画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-1. カンキョウセッテイ』画面に戻ります。

メンテナンスジコク
01:00

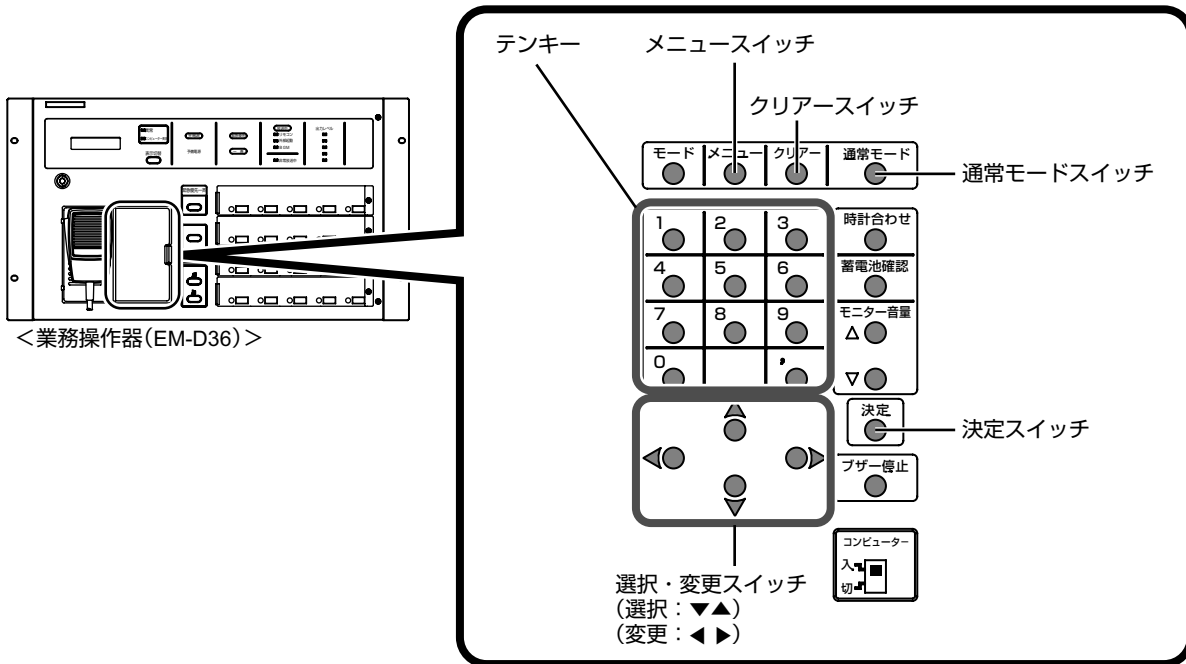
<メンテナンス時刻設定画面>

選択肢: 『00:00』～『23:59』

※ クリアスイッチを押すと、カーソルのある側が『00』になります。

15-8.LCD バックライトの設定

LCD 表示のバックライトの点灯モードを設定します。



1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、『1-1. カンキョウセツテイ』を選択します。

2. LCD バックライト設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-1-7.LCD バックライト』を選択して決定スイッチを押すと、『LCD バックライト設定』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセツテイ』画面に戻ります。

1-1. カンキョウセツテイ
1-1-7. LCDバックライト

<環境設定画面>



LCDバックライト
センタク: テントウ

< LCD バックライト設定画面 >

3. 点灯モードを選択する。

- ▼▲ スイッチで点灯モードを選択します。
- 決定スイッチを押すと、点灯モードを確定して『1-1. カンキョウセツテイ』に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-1. カンキョウセツテイ』画面に戻ります。

LCDバックライト
センタク: **テントウ** 点灯モード

< LCD バックライト設定画面 >

選択肢

『テントウ』 : 常に点灯します。

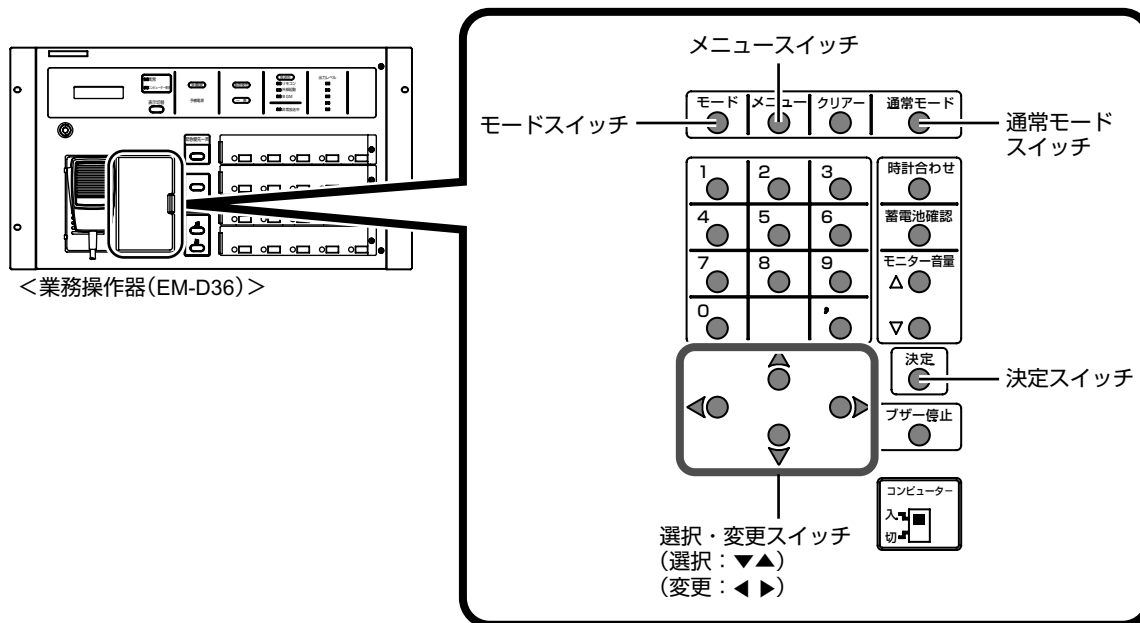
『ショウトウ』 : 常に消灯します。

『キーレンドウ』: スイッチを操作してから約 60 秒間点灯します。

16-1. 動作設定画面の表示

メインメニューから動作設定画面を表示します。

動作設定画面の表示につづいて、アンプウェイト時間、チャイム種類の設定などの各メニュー画面を表示し、設定を行なうために必要な共通手順を下記に示します。



メモ

- 内容を変更せずに前の画面に戻るときには、メニューまたは通常モードスイッチを押します。

1. メインメニュー画面を表示する。

モードスイッチを3秒以上押し、『メインメニュー』画面を表示します。

メインメニュー
1. システムセッテイ

＜メインメニュー画面＞

2. システム設定画面を表示する。

▼▲スイッチで、『1. システムセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

1. システムセッテイ
1-1. カンキョウセッテイ

＜システム設定画面＞

3. 動作設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで、『1-2. ドウサセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

1-2. トウサセッテイ
1-2-1. アンプウェイト

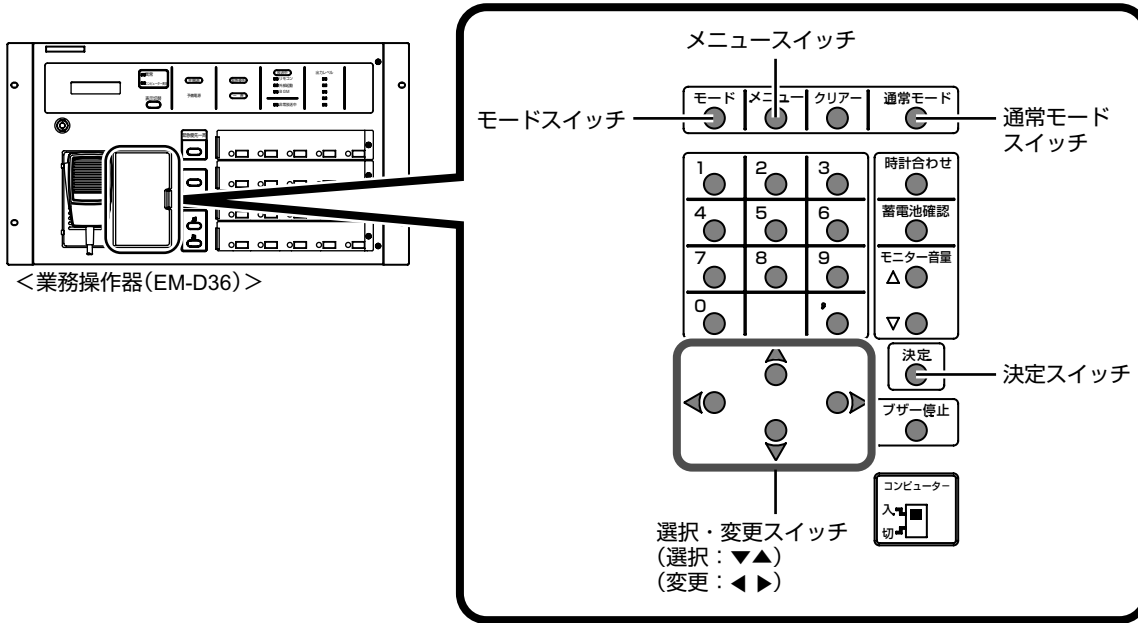
＜動作設定画面＞

- 動作設定画面で以下の設定項目を選択し、決定スイッチを押します。

- ・ 『1-2-1. アンプウェイト』
(☞150 ページ「アンプウェイト時間の設定」)
- ・ 『1-2-2. チャイムシュルイ』
(☞151 ページ「チャイムの設定」)
- ・ 『1-2-3. チャイムオオキサ』
(☞151 ページ「チャイムの設定」)
- ・ 『1-2-4. BGM ミックス』
(☞152 ページ「BGM ミキシング放送の設定」)
- ・ 『1-2-5. RM イッセイ』
(☞153 ページ「業務リモコン一斉放送の設定」)
- ・ 『1-2-6. ギョウムユウセン』
(☞153 ページ「放送の優先順位設定」)

16-2. アンプウェイト時間の設定

- 放送開始時のパワーアンプの動作安定までの時間を設定します。
- アンプウェイト時間中はスピーカー回線に音声が出力されません。



1. 動作設定画面を表示する。

- 149 ページの操作を行い、『1-2. ドウサセッテイ』を選択します。

2. アンプウェイト設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-2-1. アンプウェイト』を選択して決定スイッチを押すと、『アンプウェイト設定』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-2. ドウサセッテイ
1-2-1. アンプ ウェイト

<動作設定画面>



アンプ ウェイト
1ビョウ/ナシ

<アンプウェイト設定画面>

3. アンプウェイト時間を選択する。

- ◀▶ スイッチで、時間(『1 ビョウ』または『ナシ』)を選択します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して『1-2. ドウサセッテイ』画面に戻ります。

アンプ ウェイト
1ビョウ/ナシ

<アンプウェイト設定画面>

メモ

- 通常は『1 ビョウ』に設定してください。
- 放送開始時の起動時間を短くするために、パワーアンプを常時入電で使用するときには『ナシ』に設定してください。

16-3. チャイムの設定

チャイムスイッチ(アップ、ダウン)の音色、音量を設定します。

1. 動作設定画面を表示する。

- 149 ページの操作を行い、『1-2. ドウサセッテイ』を選択します。
- チャイムの設定は下記の2種類があります。
 - ・チャイムの音色設定(☞手順 2.)
 - ・チャイムの音量設定(☞手順 5.)

2. アップ/ダウンチャイム選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-2-2. チャイムシュルイ』を選択して決定スイッチを押すと、『アップ/ダウンチャイム選択』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-2. ドウサセッテイ
1-2-2. チャイムシュルイ

<動作設定画面>



チャイム
アップ/ダウン

<アップ/ダウンチャイム選択画面>

3. アップチャイム/ダウンチャイムのどちらかを選択する。

- ◀▶ スイッチで、『アップ』または『ダウン』を選択します。
- 決定スイッチを押すと、『チャイム種類選択』画面が表示されます。
- アップチャイム/ダウンチャイム両方の設定が完了し、メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、『1-2. ドウサセッテイ』画面に戻ります。

チャイム
アップ/ダウン

<アップ/ダウンチャイム選択画面>

4. チャイム種類を選択する。

- ▼▲ スイッチでチャイムの種類を選択します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定し、『アップ / ダウンチャイム選択』画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『アップ/ダウンチャイム選択』画面に戻ります。

チャイム アップ
センタク: 4オン-ハヤイ

<チャイム種類選択画面>

選択肢

『4オン-ハヤイ』: 4音(約2秒)

『4オン-オソイ』: 4音(約4秒)

『2オン』 : 2音

『1オン』 : 1音

メモ

- 『2オン』および『1オン』は、アップチャイムとダウンチャイムが同じ音色となります。

5. チャイム音量設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-2-3. チャイムオオキサ』を選択して決定スイッチを押すと、『チャイム音量設定』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-2. ドウサセッテイ
1-2-3. チャイムオオキサ

<動作設定画面>



チャイムオオキサ
オオキサ: 5

<チャイム音量設定画面>

6. チャイム音量を設定する。

- ▼▲ スイッチで音量を選択します。
- 決定スイッチを押すと、値を確定し、『1-2. ドウサセッテイ』画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-2. ドウサセッテイ』画面に戻ります。

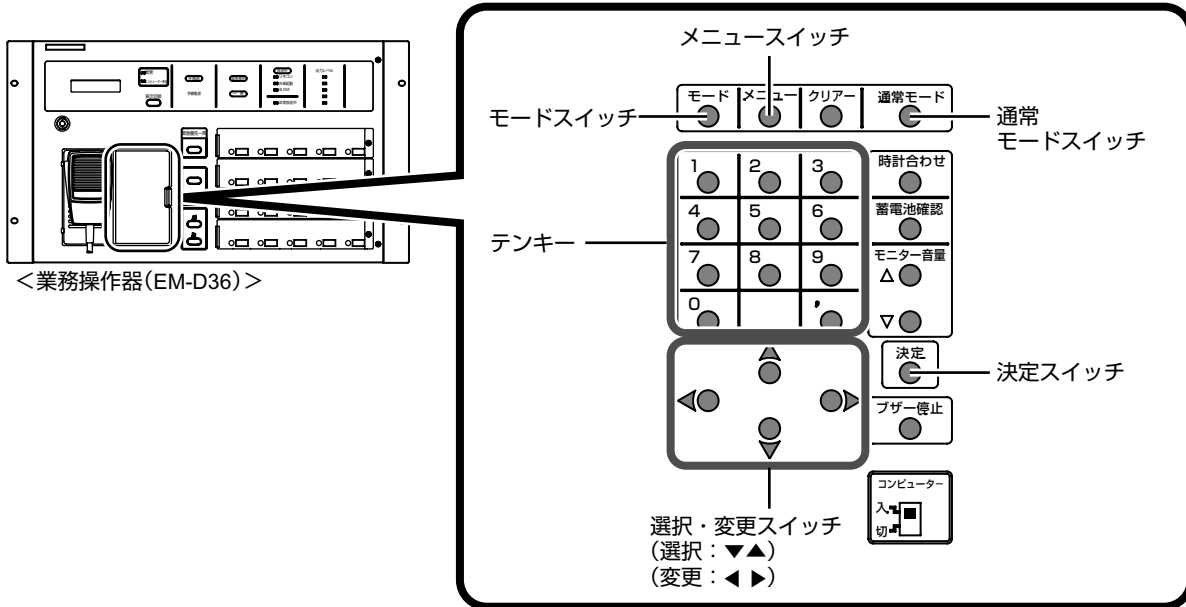
チャイムオオキサ
オオキサ: 5

<チャイム音量設定画面>

選択肢: 『0』～『9』(最大)

16-4.BGM ミキシング放送の 設定

BGM 放送と他の放送が重なった場合に、ミキシングする / ミキシングしないを設定します。ただし、マトリクスユニットを使用した場合、この設定は使用しません。



1. 動作設定画面を表示する。

- 149 ページの操作を行い、『1-2. ドウサセッテイ』を選択します。

2. BGM ミキシング設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-2-4.BGM ミックス』を選択して決定スイッチを押すと、『BGM ミキシング設定』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-2. ドウサセッテイ
1-2-4. BGMミックス

<動作設定画面>



BGMミックス
アリ/ナシ

< BGM ミキシング設定画面 >

3. BGM ミキシングの有無を選択する。

- ◀▶ スイッチで、ミキシング時間の『アリ』、『ナシ』を選択します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定し、『1-2. ドウサセッテイ』画面に戻ります。

BGMミックス
アリ/ナシ

< BGM ミキシング設定画面 >

16-5. 業務リモコン一斉放送の設定

業務リモコンでの一斉放送時のモードを、通常放送または緊急放送(アッテネーター解除)の2つから選択します。ただし、マトリックスユニットを使用した場合、この設定は使用しません。

1. 動作設定画面を表示する。

- 149 ページの操作を行い、『1-2. ドウサセッテイ』を選択します。

2. 業務リモコン一斉放送設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-2-5.RM イッセイ』を選択して決定スイッチを押すと、「業務リモコン一斉放送設定」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-2. ドウサセッテイ
1-2-5. RMイッセイ

<動作設定画面>



キョウムRMイッセイ
ツウジョウ/キンキュウ

<業務リモコン一斉放送設定画面>

3. 通常放送 / 緊急放送を選択する。

- ◀▶ スイッチで、『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確認し、「1-2. ドウサセッテイ」画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-2. ドウサセッテイ』画面に戻ります。

キョウムRMイッセイ
ツウジョウ/キンキュウ

<業務リモコン一斉放送設定画面>

選択肢

『ツウジョウ』: アッテネーター有効(音量調節可)

『キンキュウ』: アッテネーター無効(最大音量)

16-6. 放送の優先順位設定

- 放送機器(放送グループ)[報時チャイム、電話ページング、メッセージなど]ごとに、放送の優先順位を設定します。
- 緊急優先放送は常に最優先され、BGM 放送は最下位に固定されています。
- 同一順位内では、後から起動された放送が優先されます。

1. 動作設定画面を表示する。

- 149 ページの操作を行い、『1-2. ドウサセッテイ』を選択します。

2. 放送機器選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-2-6. ギョウムユウセン』を選択して決定スイッチを押すと、「放送機器選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-2. ドウサセッテイ
1-2-6. キョウムユウセン

<動作設定画面>



ホウソウユウセンシユンイ
センタク: ホンタイ

<放送機器選択画面>

3. 放送機器を選択する。

- ▼▲ スイッチで放送機器を選択します。
- 決定スイッチを押すと、「優先順位選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-2. ドウサセッテイ』画面に戻ります。

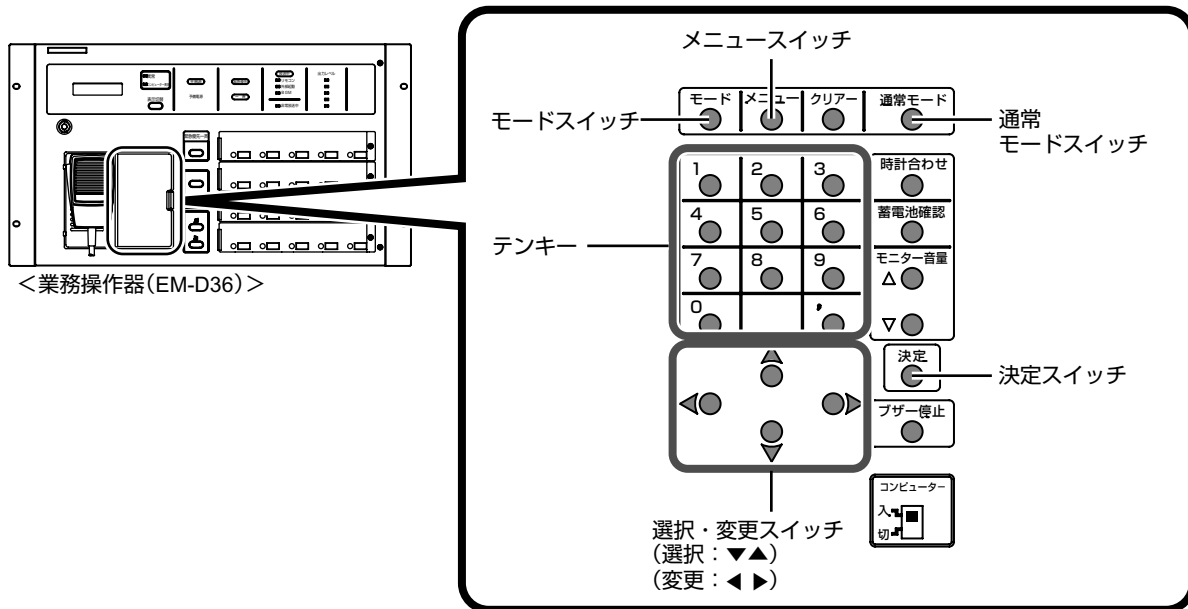
ホウソウユウセンシユンイ
センタク: ホンタイ

<放送機器選択画面>

放送機器(放送グループ)	接続機器
『ホンタイ』	本体業務ブロック / 一斉スイッチ
『ギョウム RM』	業務リモコン
『ホウジチャイム』	PA-DT600 など
『アナウンスユニット』	PA-DR600 など
『ページング』	電話ページングトランク
『カクチョウユニット』	パソコンの音声など
『マルチギョウム RM1 ~ 8』	マルチ業務リモコン 1 ~ 8
『メッセージ』	デジタル音源(PA-D)シリーズ

次のページへつづく...

16-6. 放送の優先順位設定 (つづき)



4. 優先順位を選択する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、放送機器ごとに優先順位 (『2』～『6』) を選択します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「放送機器選択」画面に戻ります。
- 表示されない放送機器の優先順位は固定されます。(緊急優先は『1』、BGM は『6』)
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「放送機器選択」画面に戻ります。

ホントイ
ジ`ユンイ: 2

＜優先順位選択画面＞

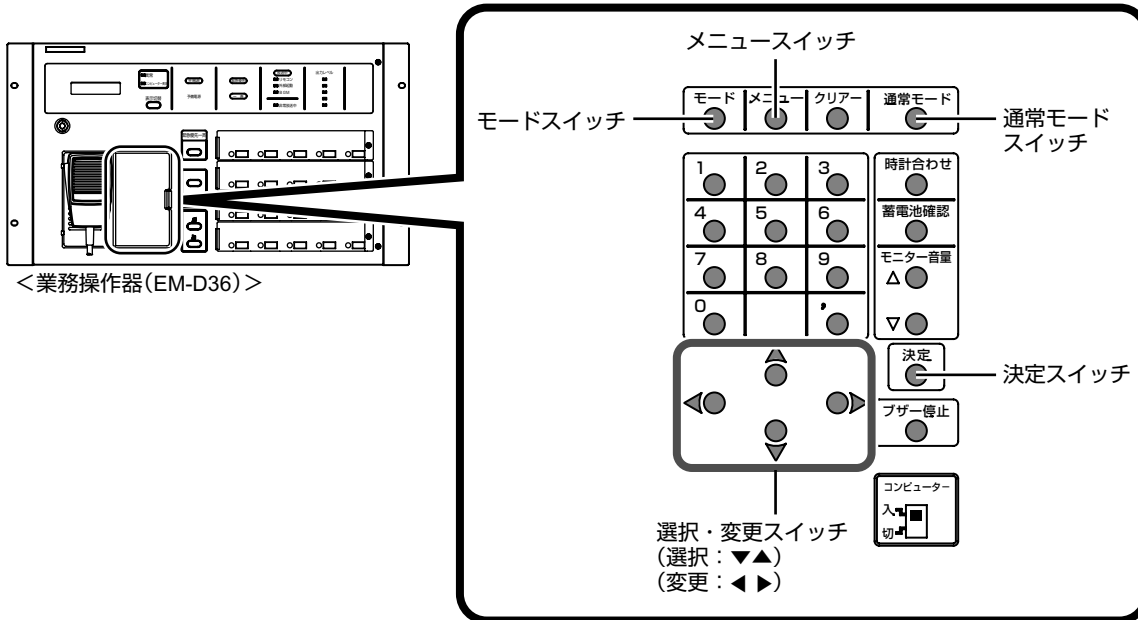
初期値: すべて『2』

※ クリアスイッチを押すと、『2』になります。

17-1. 回線設定画面の表示

メインメニューから回線設定画面を表示します。

回線設定画面の表示につづいて、緊急優先ブロックの設定などの各メニュー画面を表示し、設定を行なうために必要な共通手順を下記に示します。



メモ

- 内容を変更せずに前の画面に戻るときには、メニューまたは通常モードスイッチを押します。

1. メインメニュー画面を表示する。

モードスイッチを3秒以上押し、『メインメニュー』画面を表示します。

メインメニュー
1. システムセッテイ

<メインメニュー画面>

2. システム設定画面を表示する。

▼▲スイッチで、『1. システムセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

1. システムセッテイ
1-1. カンキョウセッテイ

<システム設定画面>

3. 回線設定画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで、『1-3. カイセンセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

1-3. カイセンセッテイ
1-3-1. キンキュウブロック

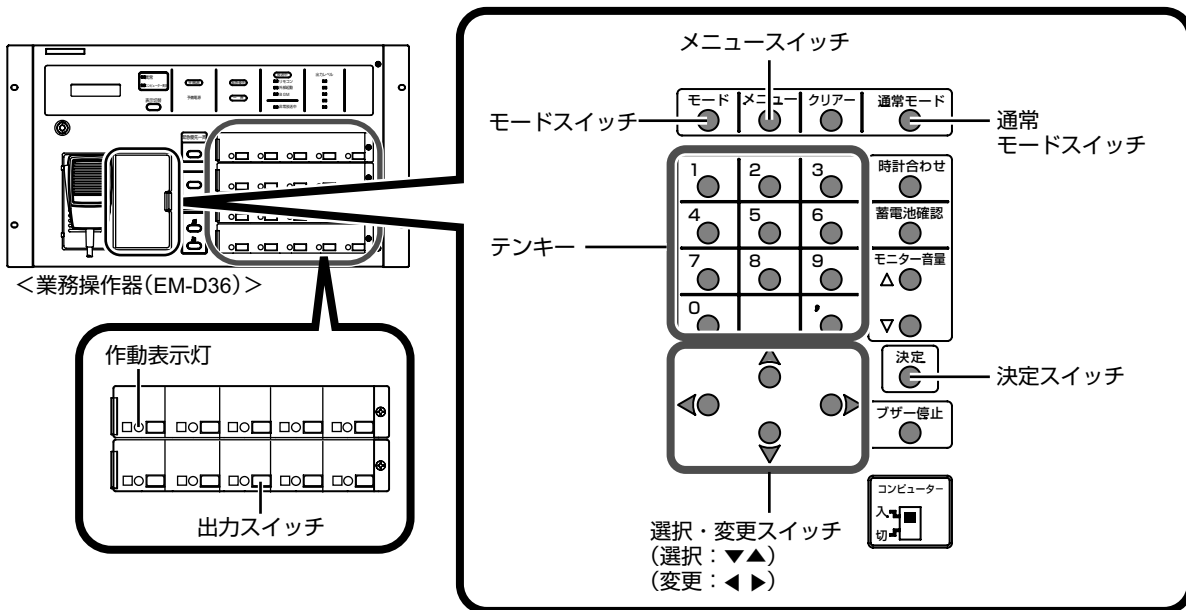
<回線設定画面>

- 回線設定画面で以下の設定項目を選択し、決定スイッチを押します。

- ・ 『1-3-1. キンキュウブロック』
(☞156 ページ「緊急優先ブロックの設定」)
- ・ 『1-3-2. ギョウムブロック』
(☞157 ページ「業務ブロックの設定」)
- ・ 『1-3-3. メッセージ』
(☞159 ページ「メッセージブロックの設定」)
- ・ 『1-3-4. BGM ブロック』
(☞161 ページ「BGM ブロックの設定」)
- ・ 『1-3-5. キドウニューリョク』
(☞164 ページ「起動入力の設定」)
- ・ 『1-3-6. RM/ カクチョウ』
(☞169 ページ「マルチ業務リモコン/ 拡張ユニットの設定」)

17-2. 緊急優先ブロックの設定

緊急優先ブロックスイッチに割り当てるスピーカー回線 No. およびデジタル音源(PA-D)シリーズ連動の設定を行います。



1. 回線設定画面を表示する。

- 155 ページの操作を行い、『1-3. カイセンセッテイ』を選択します。

2. 緊急優先ブロック No. 選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-3-1. キンキュウブロック』を選択して決定スイッチを押すと、『緊急優先ブロック No. 設定』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-3. カイセンセッテイ
1-3-1. キンキュウブロック

<回線設定画面>

キンキュウウセンブ'ロックNo
センタク(1-10):001

<緊急優先ブロック No. 選択画面>

メモ

- 緊急優先ブロックのスイッチ列が1列も設定されていない場合は、下記のエラー画面が表示されます。決定スイッチを押すと、『1-3. カイセンセッテイ』画面に戻ります。
(140 ページ「スイッチ列の設定」)

キンキュウウセンスイッチ列
セッテイサレテマセン

3. 設定を行う緊急優先ブロックスイッチNo.を選択する。

- 出力スイッチ、▼▲スイッチ、テンキーのどれかを使って緊急優先ブロック No. を選択します。このとき、選択した出力スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 決定スイッチを押すと、『スピーカー回線 No. 選択』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-3. カイセンセッテイ』画面に戻ります。

キンキュウウセンブ'ロックNo
センタク(1-10):001

<緊急優先ブロック No. 選択画面>

選択肢:『001』～『100』(最大時)

※ クリアースイッチを押すと、『001』になります。

4. スピーカー回線 No. を選択する。

- 出力スイッチまたはテンキーで、放送するスピーカー回線 No. を選択します。
- 4 回線ごとに表示し、全部で 25 ページあります。
- テンキーでの入力時は、, (カンマ) スイッチを押すと、カーソルが右に移動します。右端までくると、次のページの先頭に移動します。カーソル位置のクリアは"0"を入力します。
- ◀▶ スイッチでカーソルが左右に移動します。
- ▼▲ スイッチでページを切り換えます。このとき、カーソルの位置は変わりません。
- 決定スイッチを押すと、設定を確認して『デジタル音源 (PA-D) 使用選択』画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『緊急優先ブロック No. 設定』画面に戻ります。

カイセンセンタク
001, 000, 000, 000

<スピーカー回線 No. 選択画面>

メモ

- 一斉スイッチを押すと、001～100のすべてが選択されます。
- クリアスイッチを押すと、すべての設定が削除されます。
- 番号が重複している場合は、1つを残して削除されます。

5. デジタル音源(PA-D)シリーズの使用 / 不使用を選択する。

- ◀▶ スイッチで、『ツウジョウ』(PA-D 不使用)または『PA-D セイギョ』(PA-D 使用)を選択します。
- 『ツウジョウ』を選択して決定スイッチを押すと、「回線設定継続の選択」画面を表示します。
- 『PA-D セイギョ』を選択して決定スイッチを押すと、設定を確認し、「PA-D 制御出力 No. 設定」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「スピーカー回線 No. 選択」画面に戻ります。

キンキュウコウセンホウソウ
ツウジ`ョウ/PA-Dセイキ`ョ

<デジタル音源(PA-D)使用選択画面>

メモ

- 緊急優先ブロックでPA-D制御を使用する場合、PA-DのID番号は 1-1 に固定されています。

6. PA-D 制御出力 No. を設定する。

- ▼▲スイッチまたはテンキーで、PA-D制御出力No.(PA-Dシリーズ側では制御入力番号)を設定します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確認して「回線設定継続の選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「デジタル音源(PA-D)使用選択」画面に戻ります。

PA-Dセイキ`ョシュツリョク
セントク:01

< PA-D 制御出力 No. 設定画面 >

選択肢

『01』～『04』: PA-D 制御モード=ダイレクト

『01』～『63』: PA-D 制御モード=バイナリ

※ クリアスイッチを押すと、『01』になります。

回線設定継続の選択画面について

- ◀▶ スイッチで『ハイ』(継続)または『イイエ』(完了)を選択します。
- 『ハイ』を選択して決定スイッチを押すと、「緊急優先ブロック No. 選択」画面に戻ります。
- 『イイエ』を選択して決定スイッチを押すと、緊急優先ブロックの設定を完了し、「1-3. カイセンセッテイ」画面を表示します。

カイセンセッテイヲツツ`ケル?
ハイ/イイエ

17-3. 業務ブロックの設定

業務ブロックスイッチに割り当てるスピーカー回線No.の設定を行います。

1. 回線設定画面を表示する。

- 155 ページの操作を行い、『1-3. カイセンセッテイ』を選択します。

2. 業務ブロック No. 選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-3-2. ギョウムブロック』を選択して決定スイッチを押すと、「業務ブロック No. 選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-3. カイセンセッテイ
1-3-2. ギョウムブロック

<回線設定画面>

ギョウムブロックNo
セントク(1-10):001

<業務ブロック No. 選択画面>

メモ

- 業務ブロックのスイッチ列が1列も設定されていない場合は、下記のエラー画面が表示されます。
- 決定スイッチを押すと、「1-3. カイセンセッテイ」画面に戻ります。
(☞ 140 ページ「スイッチ列の設定」)

ギョウムスイッチレツカ`
セッテイサレテイマセン

3. 設定を行う業務ブロックスイッチ No. を選択する。

- 出力スイッチ、▼▲スイッチ、テンキーのどれかを使って業務ブロック No. を選択します。このとき、選択した出力スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 決定スイッチを押すと、「スピーカー回線 No. 選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「1-3. カイセンセッテイ」画面に戻ります。

ギョウムブロックNo
セントク(1-10):001

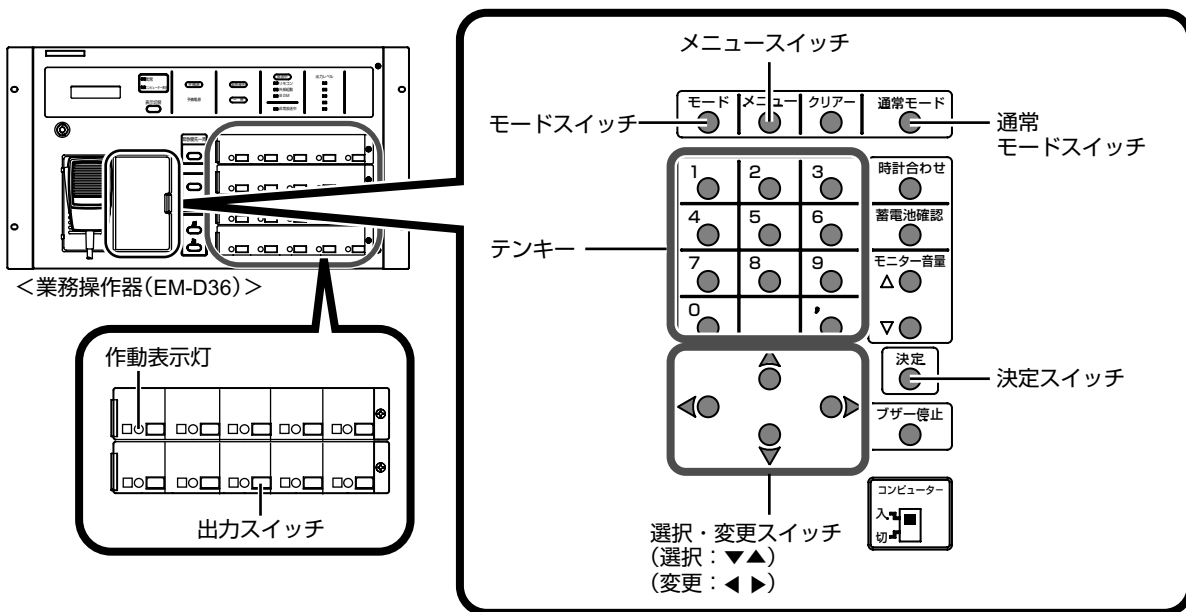
<業務ブロック No. 選択画面>

選択肢:『001』～『100』(最大時)

※ クリアスイッチを押すと、『001』になります。

次のページへつづく...

17-3. 業務ブロックの設定 (つづき)



4. スピーカー回線 No. を選択する。

- 出力スイッチまたはテンキーで、放送するスピーカー回線 No. を選択します。
- 4 回線ごとに表示し、全部で 25 ページあります。
- テンキーでの入力時は、”,” (カンマ) スイッチを押すと、カーソルが右に移動します。右端までくると、次のページの先頭に移動します。カーソル位置のクリアは”0”を入力します。
- ◀▶ スイッチでカーソルが左右に移動します。
- ▼▲ スイッチでページを切り換えます。このとき、カーソルの位置は変わりません。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「緊急指定」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「業務ブロック No. 選択」画面に戻ります。

カイセンセントク
001, 000, 000, 000

<スピーカー回線 No. 選択画面>

メモ

- 一斉スイッチを押すと、001～100のすべてが選択されます。
- クリアースイッチを押すと、すべての設定が削除されます。
- 番号が重複している場合は、1 つを残して削除されます。

5. 緊急指定を選択する。

- ◀▶ スイッチで、『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択します。
- 決定スイッチを押すと、「回線設定継続の選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「スピーカー回線 No. 選択」画面に戻ります。

キョウムブロックNo001
ツウジョウ/キンキュウ

<緊急指定画面>

選択肢

『ツウジョウ』: スピーカーの音量調節が有効

『キンキュウ』: スピーカーの音量調節が無効(最大音量)

回線設定継続の選択画面について

- ◀▶ スイッチで『ハイ』(継続)または『イイエ』(完了)を選択します。
- 『ハイ』を選択して決定スイッチを押すと、「業務ブロック No. 選択」画面に戻ります。
- 『イイエ』を選択して決定スイッチを押すと、業務ブロックの設定を完了し、「1-3. カイセンセッテイ」画面を表示します。

カイセンセッテイヲツツケル?
ハイ/イイエ

17-4. メッセージブロックの設定

メッセージブロックスイッチに割り当てるスピーカー回線 No. およびデジタル音源(PA-D)シリーズ連動、マトリックス入力の設定を行います。

1. 回線設定画面を表示する。

- 155 ページの操作を行い、『1-3. カイセンセッテイ』を選択します。

2. メッセージブロック No. 選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-3-3. メッセージ』を選択して決定スイッチを押すと、『メッセージブロック No. 選択』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-3. カイセンセッテイ
1-3-3. メッセージ

<回線設定画面>

メッセージブロックNo
センタク(1-10):001

<メッセージブロック No. 選択画面>

メモ

- メッセージブロックのスイッチ列が1列も設定されていない場合は、下記のエラー画面が表示されます。決定スイッチを押すと、『1-3. カイセンセッテイ』画面に戻ります。
(☞140 ページ「スイッチ列の設定」)

メッセージスイッチ列が
セッテイサレテイマセン

- PA-D シリーズの接続台数が“なし”の場合は、下記のエラー画面が表示されます。決定スイッチを押すと、『1-3. カイセンセッテイ』画面に戻ります。
(☞145 ページ「デジタル音源(PA-D)シリーズの設定」)

PA-Dが
セッテイサレテイマセン

3. 設定を行うメッセージブロックスイッチNo.を選択する。

- 出力スイッチ、▼▲ スイッチ、テンキーのどれかを使ってメッセージブロック No. を選択します。このとき、選択した出力スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 決定スイッチを押すと、『スピーカー回線 No. 選択』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-3. カイセンセッテイ』画面に戻ります。

メッセージブロックNo
センタク(1-10):001

<メッセージブロック No. 選択画面>

選択肢:『001』~『100』(最大時)

- ※ クリアスイッチを押すと、『001』になります。

4. スピーカー回線 No. を選択する。

- 出力スイッチまたはテンキーで、放送するスピーカー回線 No. を選択します。
- 4 回線ごとに表示し、全部で 25 ページあります。
- テンキーでの入力時は、“,” (カンマ) スイッチを押すと、カーソルが右に移動します。右端までくると、次のページの先頭に移動します。カーソル位置のクリアは“0”を入力します。
- ◀ スイッチでカーソルが左右に移動します。
- ▼▲ スイッチでページを切り換えます。このとき、カーソルの位置は変わりません。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して『緊急指定』画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『メッセージブロック No. 選択』画面に戻ります。

カイセンセンタク
001, 000, 000, 000

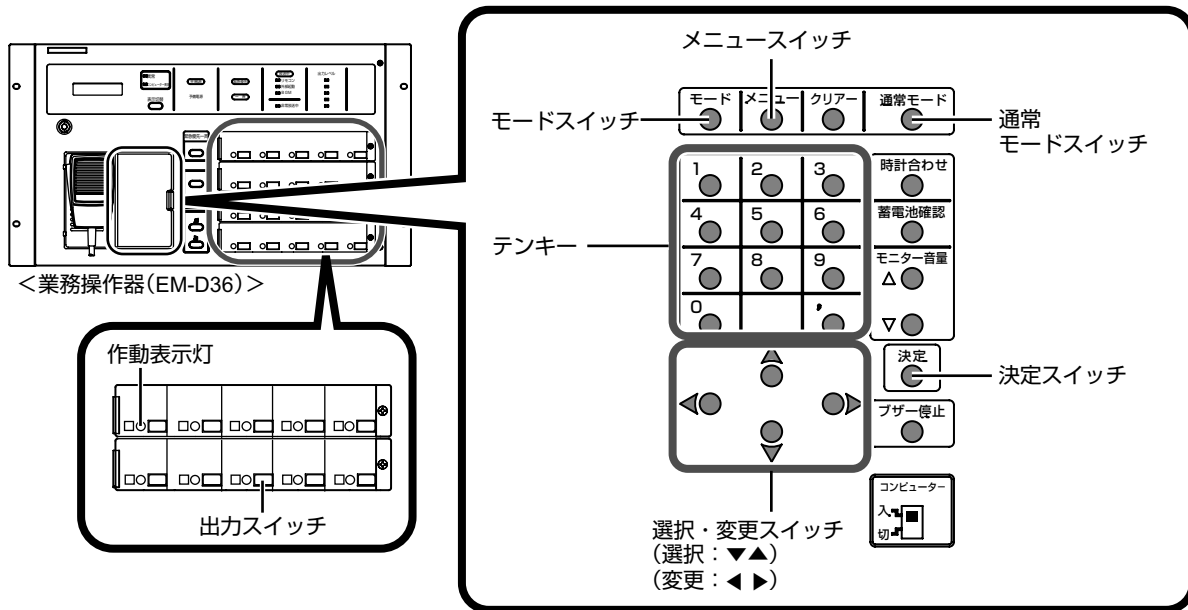
<スピーカー回線 No. 選択画面>

メモ

- 一斉スイッチを押すと、001~100のすべてが選択されます。
- クリアスイッチを押すと、すべての設定が削除されます。
- 番号が重複している場合は、1 つを残して削除されます。

次のページへつづく...

17-4. メッセージブロックの設定(つづき)



5. 緊急指定を選択する。

- ◀▶ スイッチで、『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択します。
- 決定スイッチを押すと、『PA-DのID選択』画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『スピーカー回線 No. 選択』画面に戻ります。

メッセージブロックNo.001
ツウジョウ/キンキュウ

<緊急指定画面>

選択肢

- 『ツウジョウ』: スピーカーの音量調節が有効
- 『キンキュウ』: スピーカーの音量調節が無効(最大音量)

6. 制御する PA-D シリーズの ID を選択する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、制御する PA-D シリーズの ID を選択します。
選択肢は、PA-D 制御モードによって変わります。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して『PA-D 制御出力 No. 設定』画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『緊急指定』画面に戻ります。

PA-Dセキ`ヨNo.
センタク: 1-1

< PA-D の ID 選択画面 >

選択肢

	ID 番号
バイナリモード	『1-1』、『2-1』、『3-1』、『4-1』: ・PA-DA300(CM プレイリスト) ・PA-DR600(1 元)
	『1-2』、『2-2』、『3-2』、『4-2』: ・PA-DR600(2 元)
ダイレクトモード	『1』、『2』、『3』: ・PA-DA600(CM プレイリスト)

クリアースイッチを押すと、『1』または『1-1』になります。

※ PA-DR600は1台で2元放送が可能のため、それぞれの元に別のIDを割り当てることができます。

7. PA-D 制御出力 No. を設定する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、PA-D 制御出力 No. (PA-D シリーズ側では制御入力番号) を設定します。
- マトリックスユニットを接続していない場合は、決定スイッチを押すと、設定を確定して『回線設定継続の選択』画面を表示します。
- マトリックスユニットを接続している場合は、決定スイッチを押すと、設定を確定して『マトリックス入力 No. 選択』画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『PA-D の ID 選択』画面に戻ります。

PA-Dセキ`ヨシュツリョク
センタク: 01

< PA-D 制御出力 No. 設定画面 >

選択肢

- 『01』 ~ 『04』: PA-D 制御モード=ダイレクト
- 『01』 ~ 『63』: PA-D 制御モード=バイナリ

※ クリアースイッチを押すと、『01』になります。

8. マトリックス入力 No. を設定する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、マトリックス入力 No. を設定します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「回線設定継続の選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「PA-D の ID 選択」画面に戻ります。

マトリックスニューヨークNo
センタク:02

<マトリックス入力 No. 選択画面>

選択肢:『02』～『20』(最大値は接続ユニットによって変化)

※ クリアスイッチを押すと、『02』になります。

回線設定継続の選択画面について

- ◀▶ スイッチで『ハイ』(継続)または『イイエ』(完了)を選択します。
- 『ハイ』を選択して決定スイッチを押すと、「メッセージブロック No. 選択」画面に戻ります。
- 『イイエ』を選択して決定スイッチを押すと、メッセージブロックの設定を完了し、「1-3. カイセンセッテイ」画面を表示します。

カイセンセッテイヲツツケル?
ハイ/イイエ

17-5.BGM ブロックの設定

BGM ブロックスイッチに割り当てるスピーカー回線 No. およびデジタル音源(PA-D)シリーズ連動、マトリックス入力の設定を行います。

1. 回線設定画面を表示する。

- 155 ページの操作を行い、『1-3. カイセンセッテイ』を選択します。

2. BGM ブロック No. 選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-3-4.BGM ブロック』を選択して決定スイッチを押すと、「BGM ブロック No. 選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-3. カイセンセッテイ
1-3-4. BGMブロック

<回線設定画面>

BGMブロックNo
センタク(1-10):001

< BGM ブロック No. 選択画面 >

メモ

- BGM ブロックのスイッチ列が1列も設定されていない場合は、下記のエラー画面が表示されます。決定スイッチを押すと、「1-3. カイセンセッテイ」画面に戻ります。
(☞140 ページ「スイッチ列の設定」)

BGMスイッチレツカ
セッテイサレテイマセン

3. 設定を行う BGM ブロックスイッチ No. を選択する。

- 出力スイッチ、▼▲ スイッチ、テンキーのどれかを使って BGM ブロック No. を選択します。このとき、選択した出力スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 決定スイッチを押すと、「スピーカー回線 No. 選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「1-3. カイセンセッテイ」画面に戻ります。

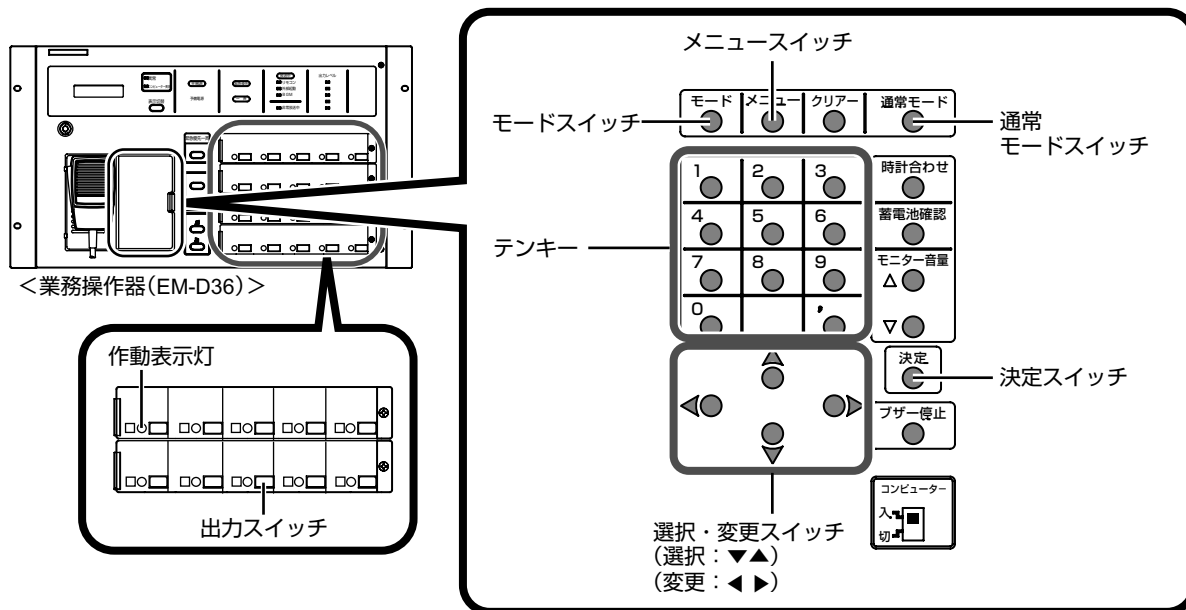
メッセージブロックNo
センタク(1-10):001

< BGM ブロック No. 選択画面 >

選択肢:『001』～『100』(最大時)

※ クリアスイッチを押すと、『001』になります。

17-5.BGM ブロックの設定 (つづき)



4. スピーカー回線 No. を選択する。

- 出力スイッチまたはテンキーで、放送するスピーカー回線 No. を選択します。
- 4 回線ごとに表示し、全部で 25 ページあります。
- テンキーでの入力時は、", " (カンマ) スイッチを押すと、カーソルが右に移動します。右端までくると、次のページの先頭に移動します。カーソル位置のクリアは "0" を入力します。
- ◀▶ スイッチでカーソルが左右に移動します。
- ▼▲ スイッチでページを切り換えます。このとき、カーソルの位置は変わりません。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「デジタル音源 (PA-D) 使用選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「BGM ブロック No. 選択」画面に戻ります。

カイセンセンタク
001, 000, 000, 000

<スピーカー回線 No. 選択画面>

メモ

- 一斉スイッチを押すと、001～100のすべてが選択されます。
- クリアスイッチを押すと、すべての設定が削除されます。
- 番号が重複している場合は、1 つを残して削除されます。

5. デジタル音源 (PA-D) シリーズの使用 / 不使用を選択する。

- ◀▶ スイッチで、『ツウジョウ』 (PA-D 不使用) または『PA-D セイギョ』 (PA-D 使用) を選択します。
- 項目を選択して決定スイッチを押したときの動作は下記を参照ください。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「スピーカー回線 No. 選択」画面に戻ります。

BGMブロック
ツウジョウ/PA-Dセイギョ

<デジタル音源 (PA-D) 使用選択画面>

選択肢

- 『ツウジョウ』 : マトリックスなし
☞「回線設定継続の選択」へ
- マトリックスあり
☞「マトリックス入力 No. 選択」
(手順 8.) へ
- 『PA-D セイギョ』 : ☞「PA-D の ID 選択」(手順 6.) へ

6. 制御する PA-D シリーズの ID を選択する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、制御する PA-D シリーズの ID を選択します。
選択肢は、PA-D 制御モードによって変わります。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「PA-D 制御出力 No. 設定」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「デジタル音源(PA-D)使用選択」画面に戻ります。

PA-Dセイク`ヨNo.
セントク:1-1

< PA-D の ID 選択画面 >

選択肢

	ID 番号
バイナリモード	『1』、『2』、『3』、『4』: ・ PA-DA300(BGM プレイリスト) ・ PA-DR600(2元側※)
ダイレクトモード	『1』、『2』、『3』: ・ PA-DA600 (BGM プレイリスト)

クリアスイッチを押すと、『1』になります。

- ※ PA-DR600 を 2 元モードで使用する場合、BGM ブロックで 2 元出力側を制御することができます。

7. PA-D 制御出力 No. を設定する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、PA-D 制御出力 No. (PA-D シリーズ側では制御入力番号) を設定します。
- マトリックスユニットを接続していない場合は、決定スイッチを押すと、設定を確定して「回線設定継続の選択」画面を表示します。
- マトリックスユニットを接続している場合は、決定スイッチを押すと、設定を確定して「マトリックス入力 No. 選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「PA-D の ID 選択」画面に戻ります。

PA-Dセイク`ヨシュツリョク
セントク:01

< PA-D 制御出力 No. 設定画面 >

選択肢

『01』 ~ 『04』 : PA-D 制御モード=ダイレクト

『01』 ~ 『63』 : PA-D 制御モード=バイナリ

- ※ クリアスイッチを押すと、『01』になります。

8. マトリックス入力 No. を設定する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、マトリックス入力 No. を設定します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「回線設定継続の選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「PA-D の ID 選択」画面に戻ります。

マトリックスニュウリョクNo
セントク:02

< マトリックス入力 No. 選択画面 >

選択肢: 『02』 ~ 『20』 (最大値は接続ユニットによって変化)

- ※ クリアスイッチを押すと、『02』になります。

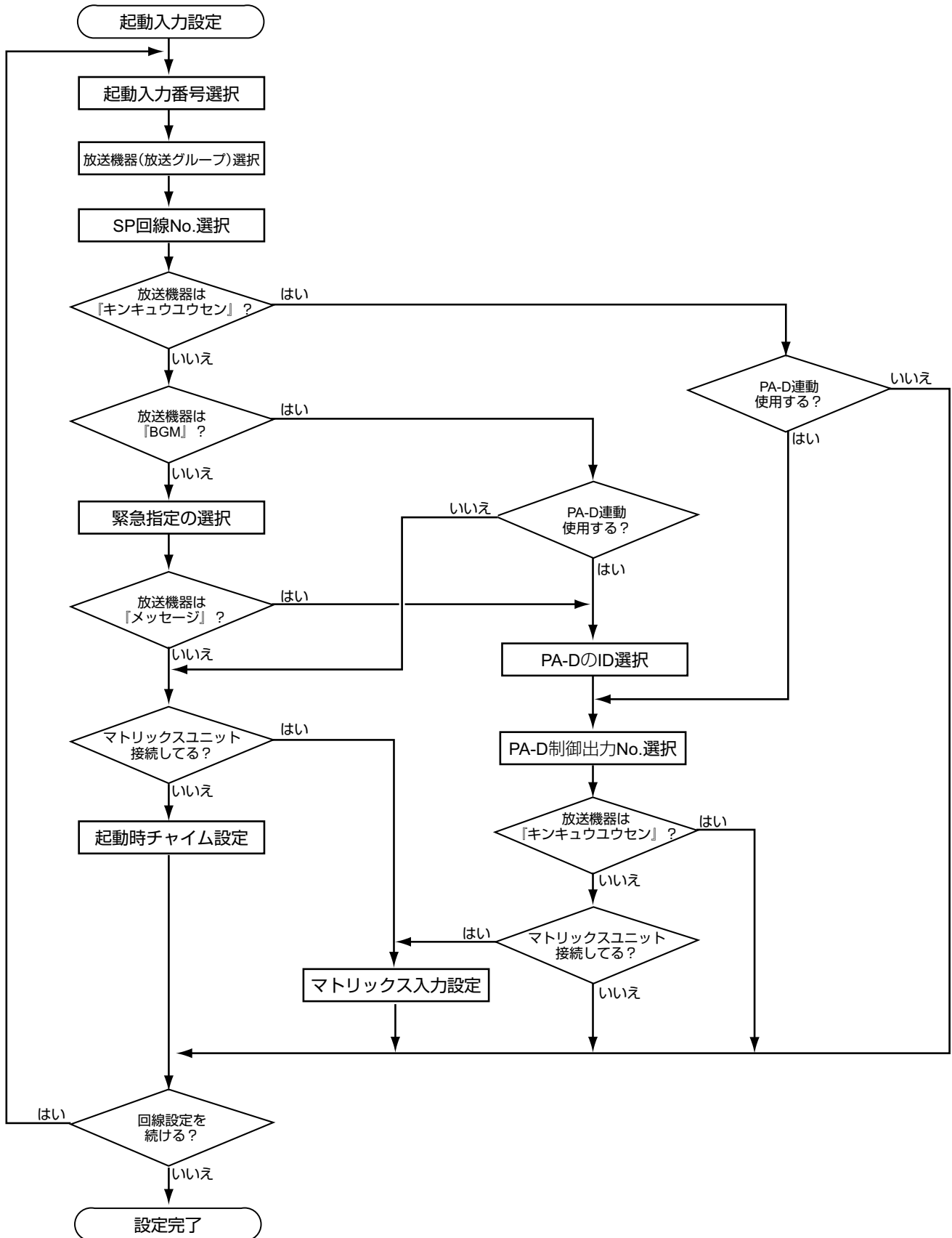
回線設定継続の選択画面について

- ◀▶ スイッチで「ハイ」(継続)または「イイエ」(完了)を選択します。
- 「ハイ」を選択して決定スイッチを押すと、「BGM ブロック No. 選択」画面に戻ります。
- 「イイエ」を選択して決定スイッチを押すと、BGM ブロックの設定を完了し、「1-3. カイセンセツテイ」画面を表示します。

カイセンセツテイヲツツケル?
ハイ/イイエ

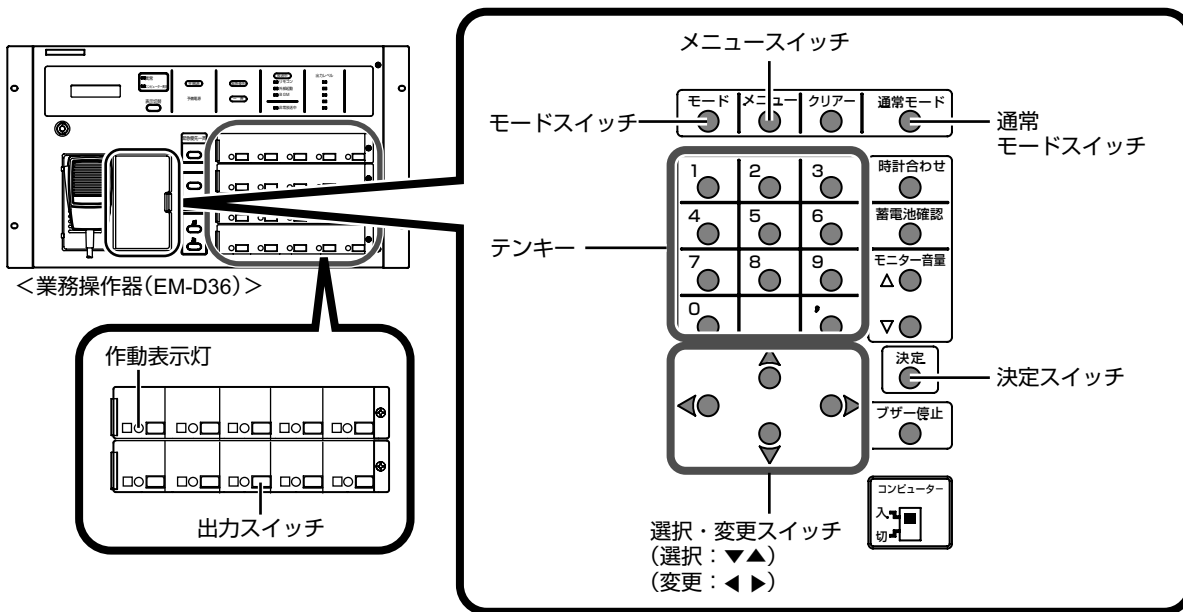
17-6. 起動入力の設定

■ 起動入力設定のフローチャート



■ 起動入力の設定手順

起動入力番号に割り当てるスピーカー回線 No. およびデジタル音源 (PA-D) シリーズ連動、マトリックス入力の設定を行います。



1. 回線設定画面を表示する。

- 155 ページの操作を行い、『1-3. カイセンセッテイ』を選択します。

2. 起動入力番号選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-3-5. キトウニュウリョク』を選択して決定スイッチを押すと、『起動入力番号選択』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-3. カイセンセッテイ
1-3-5. キトウニュウリョク

<回線設定画面>



キトウニュウリョク
センタク: 01

<起動入力番号選択画面>

3. 設定を行う起動入力番号を選択する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、起動入力番号を選択します。
- 決定スイッチを押すと、『放送機器選択』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-3. カイセンセッテイ』画面に戻ります。

キトウニュウリョク
センタク: 01

<起動入力番号選択画面>

選択肢

『01』～『13』: EM-L32
『21』～『80』: EM-L92 増設時

※ クリアースイッチを押すと、『01』になります。

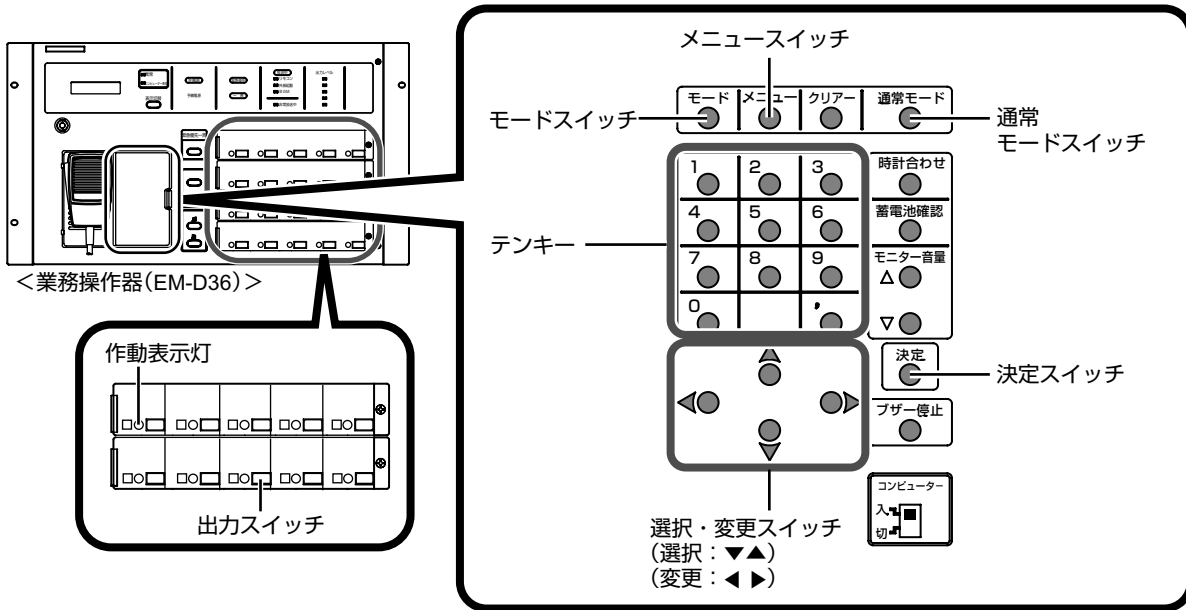
ご注意

- PA-D シリーズ連動放送時は、接続台数によって下記の端子を使用するため、通常の起動入力としては使用できません。

	EM-L32 端子台	入出力拡張用 EM-L92 端子台
PA-D 接続 1 台	起動入力 12,13	—
PA-D 接続 2 台	起動入力 12,13	EL19 ~ 20 (起動入力 79 ~ 80)
PA-D 接続 3 台	起動入力 12,13	EL17 ~ 20 (起動入力 77 ~ 80)
PA-D 接続 4 台	起動入力 12,13	EL15 ~ 20 (起動入力 75 ~ 80)

次のページへつづく...

17-6. 起動入力の設定(つづき)



■ 起動入力の設定手順 (つづき)

4. 放送機器(放送グループ)を選択する。

- ▼▲ スイッチで、放送機器を選択します。
- 決定スイッチを押すと、「スピーカー回線 No. 選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「起動入力番号選択」画面に戻ります。

キトウニューヨーク 01
センタク: ホウジチャイム

<放送機器選択画面>

選択肢

- 『ギョウムリモコン』 : 業務リモコン
- 『キンキュウユウセン』: 緊急優先放送機器(デジタル音源(PA-D)シリーズを含む)
- 『メッセージ』 : デジタル音源(PA-D)シリーズ
- 『BGM』 : BGM 機器(デジタル音源(PA-D)シリーズを含む)
- 『ページング』 : 電話ページングトランク
- 『アナウンスユニット』: PA-DR600 など
- 『ホウジチャイム』 : PA-DT600 など

5. スピーカー回線 No. を選択する。

- 出力スイッチまたはテンキーで、放送するスピーカー回線 No. を選択します。
- 4 回線ごとに表示し、全部で 25 ページあります。
- テンキーでの入力時は、”,” (カンマ) スイッチを押すと、カーソルが右に移動します。右端までくると、次のページの先頭に移動します。カーソル位置のクリアは”0”を入力します。
- ◀▶ スイッチでカーソルが左右に移動します。
- ▼▲ スイッチでページを切り換えます。このとき、カーソルの位置は変わりません。
- ▼▲ スイッチで 4 回線ごとに表示を切り換えます。
- 決定スイッチを押したときの動作は放送機器によって変わります。

放送機器	動作
『BGM』	『PA-D 使用選択』(手順 8.)へ
『キンキュウユウセン』	『緊急優先用 PA-D 使用選択』(手順 9.)へ
上記以外	『緊急指定』(手順 6.)へ

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「放送機器選択」画面に戻ります。

カイセンセンタク
001, 000, 000, 000

<スピーカー回線 No. 選択画面>

メモ

- 一斉スイッチを押すと、001~100のすべてが選択されます。
- クリアスイッチを押すと、すべての設定が削除されます。
- 番号が重複している場合は、1 つを残して削除されます。

6. 緊急指定を選択する。

- ◀ スイッチで、『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択します。
- 決定スイッチを押したときの動作は放送機器によって変わります。

放送機器	動作
『メッセージ』	『PA-D の ID 選択』(手順 10.)へ
上記以外	マトリックスなし ☞ 『起動時チャイム設定』(手順 7.)へ マトリックスあり ☞ 『マトリックス入力 No. 選択』(手順 12.)へ

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「スピーカー回線 No. 選択」画面に戻ります。

キトウニユウリョク 01
ツウジョウ/キンキュウ

<緊急指定画面>

選択肢

- 『ツウジョウ』: スピーカーの音量調節が有効
- 『キンキュウ』: スピーカーの音量調節が無効(最大音量)

7. 起動時チャイムを設定する。

- ◀ スイッチで、『アリ』または『ナシ』を選択します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「回線設定継続の選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、1 つ前の設定画面に戻ります。

キトウシチャイム
アリ/ナシ

<起動時チャイム選択画面>

選択肢

- 『アリ』: 起動入力時の冒頭にアップチャイムを鳴らす。
- 『ナシ』: チャイムなし

8. BGM 放送用のデジタル音源(PA-D)シリーズの使用 / 不使用を選択する。

- ◀ スイッチで、『ツウジョウ』(PA-D 不使用)または『PA-D セイギョ』(PA-D 使用)を選択します。
- 項目を選択して決定スイッチを押したときの動作は下記を参照ください。

選択肢	動作
『ツウジョウ』	マトリックスなし ☞ 『起動時チャイム設定』(手順 7.)へ マトリックスあり ☞ 『マトリックス入力 No. 選択』(手順 12.)へ
『PA-D セイギョ』	『PA-D の ID 選択』(手順 10.)へ

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、「スピーカー回線 No. 選択」画面に戻ります。

BGM
ツウジョウ/PA-Dセイギョ

< PA-D 使用選択画面 >

9. 緊急放送用のデジタル音源(PA-D)シリーズの使用 / 不使用を選択する。

- ◀ スイッチで、『ツウジョウ』(PA-D 不使用)または『PA-D セイギョ』(PA-D 使用)を選択します。
- 項目を選択して決定スイッチを押したときの動作は下記を参照ください。

選択肢	動作
『ツウジョウ』	『回線設定継続の選択』へ
『PA-D セイギョ』	『PA-D セイギョ出力 No. 設定』(手順 11.)へ (緊急優先放送は PA-D ID = 1 (1-1) 固定)

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、「スピーカー回線 No. 選択」画面に戻ります。

キンキュウユウセンホウソウ
ツウジョウ/PA-Dセイギョ

<緊急優先用 PA-D 使用選択画面>

10. 制御する PA-D シリーズの ID を選択する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、制御する PA-D シリーズの ID を選択します。
選択肢は、PA-D 制御モードと放送機器で変わります。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「PA-D 制御出力 No. 設定」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで 1 つ前の設定画面に戻ります。

PA-DセイギョNo.
センタク: 1-1

< PA-D の ID 選択画面 >

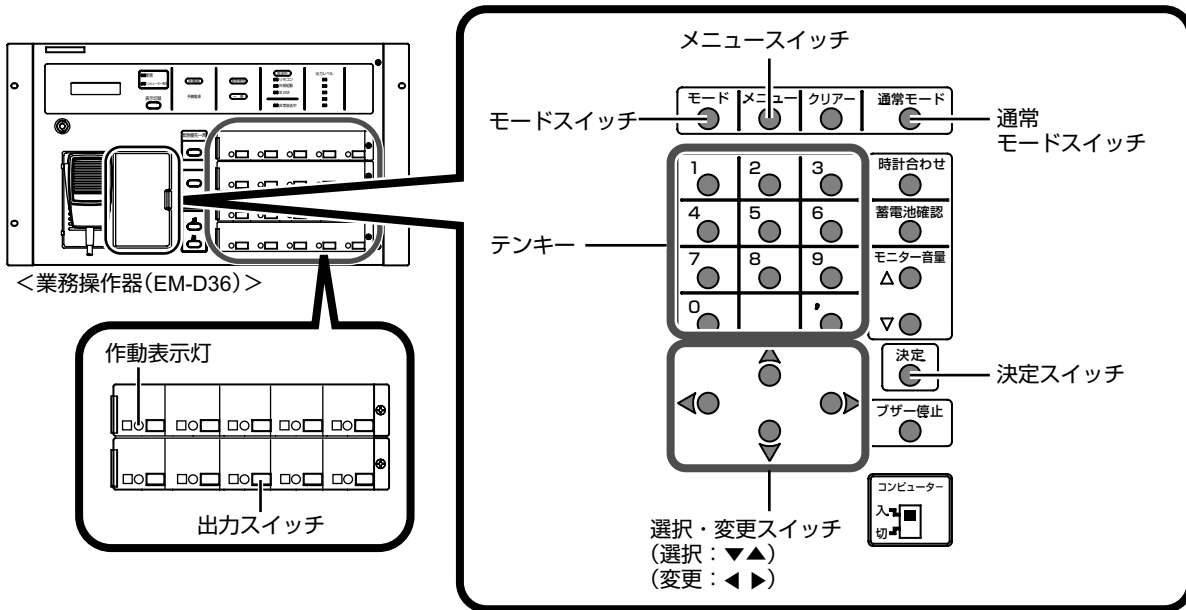
選択肢

	【放送機器「メッセージ」】	【放送機器「BGM」】
バイナリモード	『1-1』、『2-1』、『3-1』、『4-1』: ・ PA-DA300(CM プレイリスト) ・ PA-DR600(1 元)	『1』、『2』、『3』、『4』: ・ PA-DA300(BGM プレイリスト) ・ PA-DR600(2 元)
ダイレクトモード	『1-2』、『2-2』、『3-2』、『4-2』: ・ PA-DR600(2 元)	『1』、『2』、『3』: PA-DA600 (BGM プレイリスト)

- ※ クリアスイッチを押すと、『1』になります。

次のページへつづく...

17-6. 起動入力の設定(つづき)



■ 起動入力の設定手順 (つづき)

11. PA-D 制御出力 No. を設定する。

- ▼▲スイッチまたはテンキーで、PA-D制御出力No.(PA-Dシリーズ側では制御入力番号)を設定します。
- 放送機器(『メッセージ』、『キンキュウユウセン』、『BGM』)に応じた制御出力 No. を設定します。
- 決定スイッチを押したときの動作は放送機器によって変わります。

放送機器	動作
『キンキュウユウセン』	「回線設定継続の選択」画面へ
上記以外	マトリックスなし ☞「回線設定継続の選択」画面へ マトリックスあり ☞「マトリックス入力No.選択」(手順 12.)へ

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで 1 つ前の設定画面に戻ります。

PA-Dセイキョシツリョク
センタク:01

< PA-D 制御出力 No. 設定画面 >

選択肢

- 『01』～『04』: PA-D 制御モード=ダイレクト
- 『01』～『63』: PA-D 制御モード=バイナリ

* クリアスイッチを押すと、『01』になります。

12. マトリックス入力 No. を設定する。

- ▼▲スイッチまたはテンキーで、マトリックス入力 No. を設定します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「回線設定継続の選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで 1 つ前の設定画面に戻ります。

マトリックスニューリョクNo
センタク:02

<マトリックス入力 No. 選択画面>

選択肢:『02』～『20』(最大値は接続ユニットによって変化)

* クリアスイッチを押すと、『02』になります。

回線設定継続の選択画面について

- ◀▶ スイッチで『ハイ』(継続)または『イイエ』(完了)を選択します。
- 『ハイ』を選択して決定スイッチを押すと、「起動入力番号選択」画面に戻ります。
- 『イイエ』を選択して決定スイッチを押すと、起動入力の設定を完了し、「1-3. カイセンセッテイ」画面に戻ります。

カイセンセッテイヲツツケル?
ハイ/イイエ

17-7. マルチ業務リモコン / 拡張ユニットの設定

マルチ業務リモコンや拡張ユニットのブロック選択スイッチに割り当てるスピーカー回線No.およびマトリックス入力の設定を行います。

1. 回線設定画面を表示する。

- 155 ページの操作を行い、『1-3. カイセンセッテイ』を選択します。

2. マルチ業務リモコン / 拡張ユニット選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-3-6.RM/ カクチョウ』を選択して決定スイッチを押すと、「マルチ業務リモコン/拡張ユニット選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-3. カイセンセッテイ
1-3-6. RM/カクチョウ

<回線設定画面>



マルチRM No
センタク: 1

<マルチ業務リモコン / 拡張ユニット選択画面>

3. 設定を行うマルチ業務リモコン No./ 拡張ユニットを選択する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、マルチ業務リモコン No. を選択します。(『1』～『8』: マルチ業務リモコン、『9』: 拡張ユニットが割り当てられています。)
- 項目を選択して決定スイッチを押したときの動作は下記を参照ください。

	動作
マトリックスなし	「ブロック No. 選択」(手順 5.)へ
マトリックスあり	「マトリックス入力 No. 選択」(手順 4.)へ

- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-3. カイセンセッテイ』画面に戻ります。

マルチRM No
センタク: 1

カクチョウユニット
センタク: 9

<マルチ業務リモコン / 拡張ユニット選択画面>

選択肢

『1』～『8』: マルチ業務リモコン
『9』 : 拡張ユニット

※ クリアスイッチを押すと、『1』になります。

4. マトリックス入力 No. を設定する。

- ▼▲ スイッチまたはテンキーで、マトリックス入力 No. を設定します。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「ブロック No. 選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「マルチ業務リモコン / 拡張ユニット選択」画面に戻ります。

マトリックスニューリヨクNo
センタク: 02

<マトリックス入力 No. 選択画面>

選択肢: 『02』～『20』(最大値は接続ユニットによって変化)
※ クリアスイッチを押すと、『02』になります。

5. ブロック選択スイッチ No. を選択する。

- 出力スイッチ、▼▲ スイッチ、テンキーのどれかを使ってブロック No. を選択します。
- 決定スイッチを押すと、「スピーカー回線 No. 選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで1つ前の設定画面に戻ります。

マルチRM1ブロックNo
センタク(1-20): 01

<ブロック No. 選択画面>

選択肢: 『01』～『20』

※ クリアスイッチを押すと、『01』になります。

6. スピーカー回線 No. を選択する。

- 出力スイッチまたはテンキーで、放送するスピーカー回線 No. を選択します。
- 4 回線ごとに表示し、全部で 25 ページあります。
- テンキーでの入力時は、”,” (カンマ) スイッチを押すと、カーソルが右に移動します。右端までくると、次のページの先頭に移動します。カーソル位置のクリアは”0”を入力します。
- ◀▶ スイッチでカーソルが左右に移動します。
- ▼▲ スイッチでページを切り換えます。このとき、カーソルの位置は変わりません。
- 決定スイッチを押すと、設定を確定して「緊急指定」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「ブロック No. 選択」画面に戻ります。

カイセンセンタク
001, 000, 000, 000

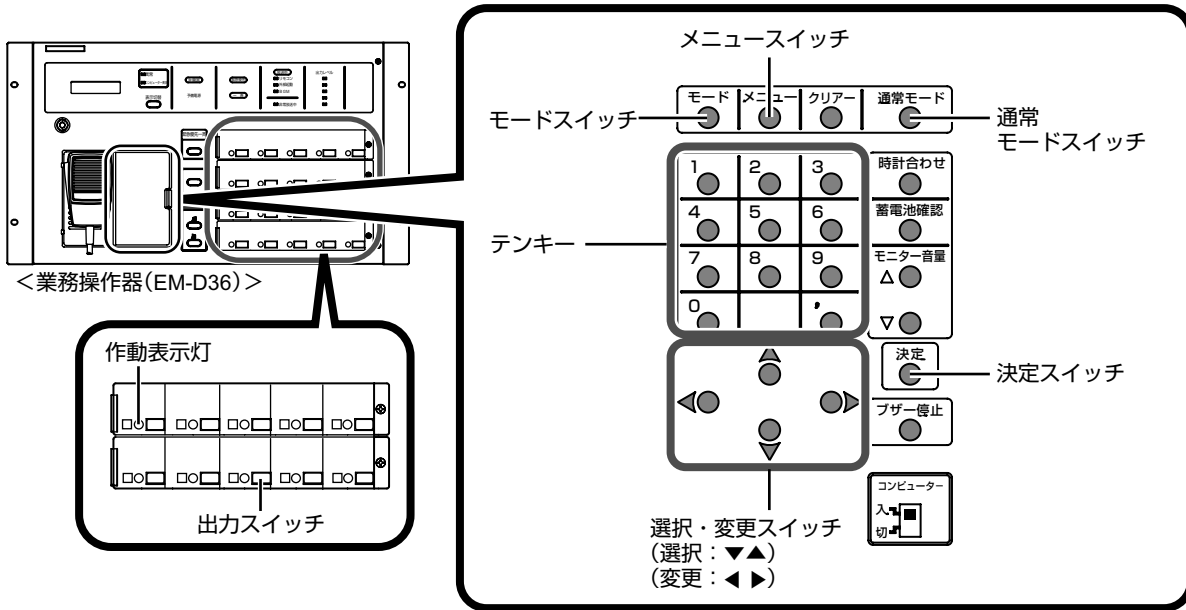
<スピーカー回線 No. 選択画面>

メモ

- 一斉スイッチを押すと、001～100のすべてが選択されます。
- クリアスイッチを押すと、すべての設定が削除されます。
- 番号が重複している場合は、1 つを残して削除されます。

次のページへつづく...

17-7. マルチ業務リモコン / 拡張ユニットの設定 (つづき)



7. 緊急指定を選択する。

- ◀▶ スイッチで、『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択します。
- 決定スイッチを押すと、「回線設定継続の選択」画面を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「スピーカー回線 No. 選択」画面に戻ります。

マルチRM1
ツウジョウ/キンキュウ

<緊急指定画面>

選択肢

- 『ツウジョウ』: スピーカーの音量調節が有効
- 『キンキュウ』: スピーカーの音量調節が無効(最大音量)

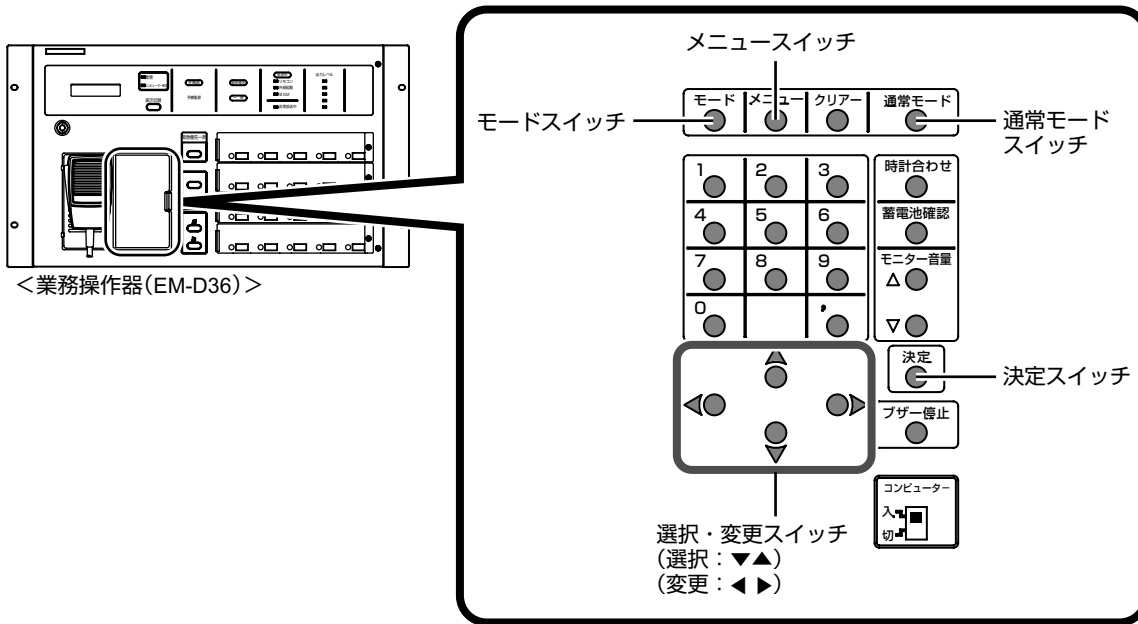
回線設定継続の選択画面について

- ◀▶ スイッチで『ハイ』(継続)または『イイエ』(完了)を選択します。
- 『ハイ』を選択して決定スイッチを押すと、「マルチ業務リモコン/拡張ユニット選択」画面に戻ります。
- 『イイエ』を選択して決定スイッチを押すと、マルチ業務リモコン/拡張ユニットの設定を完了し、「1-3. カイセンセッテイ」画面に戻ります。

カイセンセッテイヲツツガケル?
ハイ/イイエ

18-1. 設定データの初期化

本体メモリー、サービス用メモリーの設定データをすべて消去し、初期設定（工場出荷時）に戻りたいときは、次の操作を行なってください。



メモ

- 設定データの保存場所は下記の2つがあります。
 - ・ 本体メモリー（本機の基板上のフラッシュメモリー）
 - ・ サービス用メモリー（着脱可能なフラッシュメモリー）
- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、メニュースイッチまたは通常モードスイッチを押します。

1. メインメニュー画面を表示する。

モードスイッチを3秒以上押し、『メインメニュー』画面を表示します。

メインメニュー
1. システムセッテイ

<メインメニュー画面>

2. システム設定画面を表示する。

▼▲スイッチで、『1. システムセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

1. システムセッテイ
1-1. カンキョウセッテイ

<システム設定画面>

3. 設定データ管理画面を表示する。

- ▼▲スイッチで、『1-4. セッテイデータカンリ』を選択し、決定スイッチを押します。

1. システムセッテイ
1-4. セッテイデータカンリ

<システム設定画面>

4. 設定データ初期化画面を表示する。

- ▼▲スイッチで『1-4-1. データショキカ』を選択して決定スイッチを押すと、「設定データ初期化」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-4. セッテイデータカンリ
1-4-1. データショキカ

<設定データ管理画面>

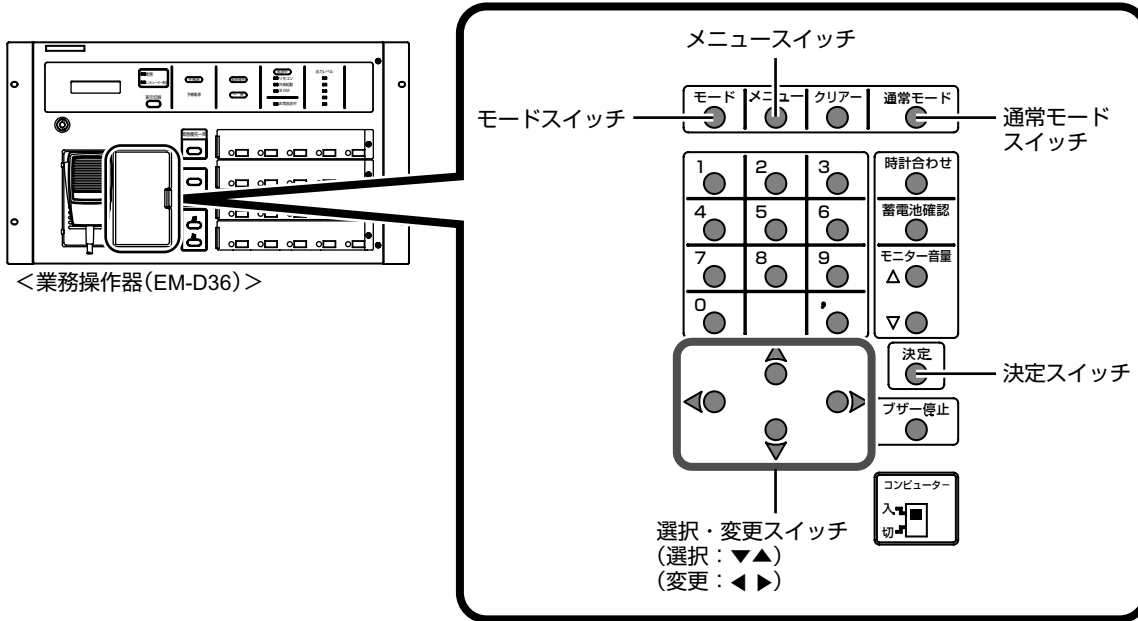


セッテイデータショキカ
ハイ/イイ

<設定データ初期化画面>

次のページへつづく...

18-1. 設定データの初期化 (つづき)



<業務操作器(EM-D36)>

5. 『ハイ』 / 『イイエ』 を選択する。

- ◀▶ スイッチで、初期化(『ハイ』/『イイエ』)を選択します。
- 『ハイ』 を選択して決定スイッチを押すと、設定データをすべて消去してシステムを再起動します。
- 『イイエ』 を選択して決定スイッチを押すと、初期化をせずに「1-4. セッテイデータカンリ」画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、初期化をせずに「1-4. セッテイデータカンリ」画面に戻ります。

セッテイデータシヨキカ
ハイ/イイエ

<設定データ初期化画面>

メモ

- 設定データの初期化を行うときは、設置支援アプリケーションソフト (EM-ZS300) で設定のバックアップを行うか、現在のデータをプログラムシートに記入してから初期化することをおすすめします。

6. 設定データ初期化中の表示

設定データ初期化中は下記の画面が表示され、しばらくすると、システムを再起動します。

シヨキカシテイマス・・・

メモ

- 時計は初期化されません。時計表示の設定は”なし”になります。履歴情報はすべて削除されます。
- サービス用メモリーが挿入されていない場合などは、下記の画面が表示されます。

イシヨウハッセイ
サービスメモリー

18-2. 設定データの保存

下記の操作によって、本体メモリーの設定データをサービス用メモリーに保存できます。

1日1回のメンテナンス時刻には自動的に設定データの保存が行われます。

1. メインメニュー画面を表示する。

モードスイッチを3秒以上押し、『メインメニュー』画面を表示します。

メインメニュー
1.システムセッテイ

<メインメニュー画面>

2. システム設定画面を表示する。

▼▲スイッチで、『1.システムセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

1.システムセッテイ
1-1.カンキョウセッテイ

<システム設定画面>

3. 設定データ管理画面を表示する。

- ▼▲スイッチで、『1-4.セッテイデータカンリ』を選択し、決定スイッチを押します。

1.システムセッテイ
1-4.セッテイデータカンリ

<システム設定画面>

4. 設定データ保存画面を表示する。

- ▼▲スイッチで『1-4-2.データホゾン』を選択して決定スイッチを押すと、『設定データ保存』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1.システムセッテイ』画面に戻ります。

1-4.セッテイデータカンリ
1-4-2.データホゾン

<設定データ管理画面>

セッテイデータホゾン
ハイ/イイエ

<設定データ保存画面>

5. 『ハイ』 / 『イイエ』 を選択する。

- ◀スイッチで、初期化(『ハイ』/『イイエ』)を選択します。
- 『ハイ』を選択して決定スイッチを押すと、設定データをサービス用メモリーに保存してシステムを再起動します。
- 『イイエ』を選択して決定スイッチを押すと、保存せずに「1-4.セッテイデータカンリ」画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、保存せずに「1-4.セッテイデータカンリ」画面に戻ります。

セッテイデータホゾン
ハイ/イイエ

<設定データ保存画面>

6. 設定データ保存中の表示

設定データ保存中は下記の画面が表示され、しばらくすると、システムを再起動します。

ホゾンジテイマス・・・

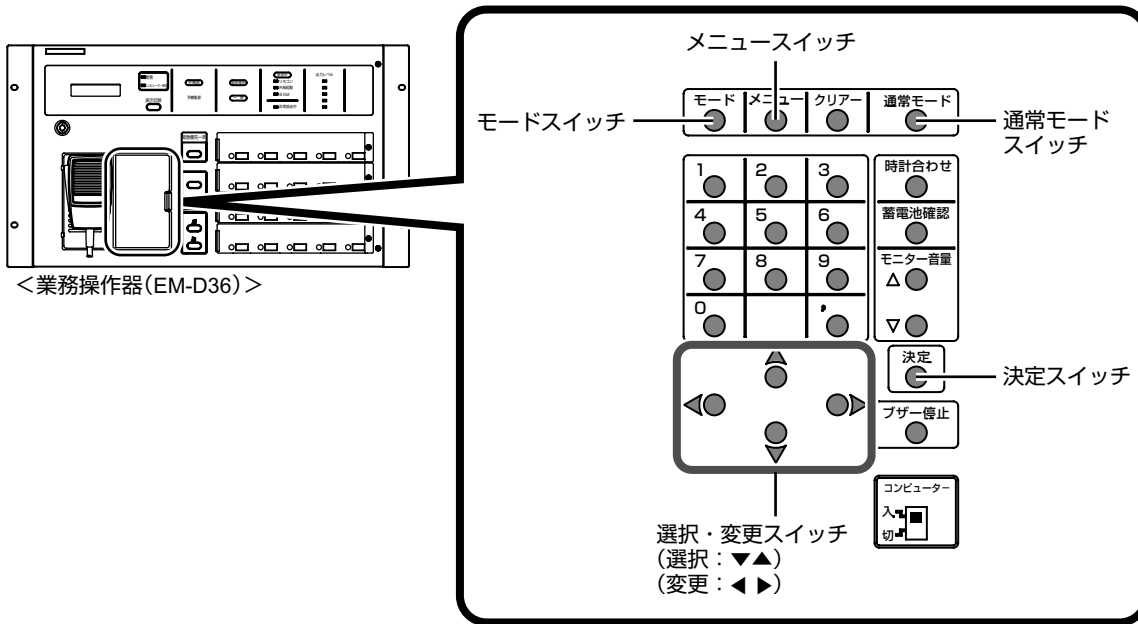
メモ

- モニター音量と動作履歴は保存されません。
- サービス用メモリーが挿入されていない場合などは、下記の画面が表示されます。

イシヨウハッセイ
サービスメモリー

18-3. 設定データの移動

下記の操作によって、サービス用メモリーの設定を本体メモリーにコピーできます。
サービス用メモリーの差し換えによって、別の EM-D300 システムの設定をコピーすることができます。



メモ

- サービスメモリーの差し換え方法は、サービス窓口にお問い合わせください。

1. メインメニュー画面を表示する。

モードスイッチを 3 秒以上押し、『メインメニュー』画面を表示します。

メインメニュー
1. システムセッテイ

<メインメニュー画面>

2. システム設定画面を表示する。

▼▲スイッチで、『1. システムセッテイ』を選択し、決定スイッチを押します。

1. システムセッテイ
1-1. カンキョウセッテイ

<システム設定画面>

3. 設定データ管理画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで、『1-4. セッテイデータカンリ』を選択し、決定スイッチを押します。

1. システムセッテイ
1-4. セッテイデータカンリ

<システム設定画面>

4. 設定データ移動画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-4-3. データイドウ』を選択して決定スイッチを押すと、「設定データ移動」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセッテイ』画面に戻ります。

1-4. セッテイデータカンリ
1-4-3. データイドウ

<設定データ管理画面>

セッテイデータイドウ
ハイ/イイ

<設定データ異動画面>

5. 『ハイ』 / 『イイエ』 を選択する。

- ◀ ▶ スイッチで、初期化(『ハイ』/『イイエ』)を選択します。
- 『ハイ』 を選択して決定スイッチを押すと、サービス用メモリーの設定データを本体メモリーにコピーしてシステムを再起動します。
- 『イイエ』 を選択して決定スイッチを押すと、コピーせずに「1-4. セッテイデータカンリ」画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチを押すと、コピーせずに「1-4. セッテイデータカンリ」画面に戻ります。

セッテイデータ
ハイ/イイエ

<設定データ移動画面>

6. 設定データ移動中の表示

設定データ移動中は下記の画面が表示され、しばらくすると、システムを再起動します。

サービスメモリー カラ
データタイムス...

メモ

- モニター音量の設定値は、サービス用メモリーに入っていないので設定してください。
- サービス用メモリーが挿入されていない場合などは、下記の画面が表示されます。

イジョウハッセイ
サービスメモリー

19-1. 主な確認の概要

設置工事・システム設定後には、システム点検モードによる確認とシステム動作の確認を実施してください。

システム点検モードによる確認

確認時は、館内スピーカーから音がでます。(300 Hz の正弦波)
十分考慮のうえ、確認してください。

<確認内容>

- システム構成の確認
- スピーカー回線の短絡点検
- パワーアンプの点検
- 蓄電池の点検

システム動作の確認

本手順による確認は、館内スピーカーから音がでます。
特に、緊急優先放送の確認時は十分考慮のうえ、確認してください。

<確認内容>

- 緊急優先ブロックの確認
- 業務ブロックの確認
- メッセージブロックの確認
- BGM ブロックの確認
- 起動入力の確認
- マルチ業務リモコンの確認

19-2. システム点検モードによる確認

本機は内蔵のシステム点検機能により自動点検を開始し、動作の確認を行います。
自動点検を行うことで、システム変更工事の最終点検や、定期点検などを短時間で済ませます。
自動点検による動作確認の内容は下表のとおりです。

システム点検の概要

点検項目	点検内容	検出項目
システム構成確認	接続されている主要ユニットの情報を自動収集し、表示します。 ^{※1}	バージョン ^{※2} 接続台数
SP 回線短絡点検	全回線の短絡試験を自動的に行います。回線数が多いときは数分間を要します。 短絡回線が検出された場合は履歴が残ります。 ☞ 189 ページ「履歴情報の確認のしかた」	短絡回線の検出
パワーアンプ点検	全スピーカー回線負荷でのパワーアンプの定格出力試験を自動的に行います。	パワーアンプ異常 (1) 出力異常 (2) 定格出力不足
蓄電池点検 ^{※3}	各蓄電池の放電試験を自動的に行います。	蓄電池電圧異常
全項目点検	上記 3 種の点検を自動的にすべて行います。	各項目ごと表示

※ 1. 主要ユニット：EM-D36、EM-L32、EM-L92、EM-E12、PA-C620、PA-MX92

※ 2. EM-D36 では本体ソフトウェア、ハード (FPGA-A) のバージョンを検出、
EM-L32 ではハード (FPGA-P) のバージョンを検出、
EM-L92、EM-E12 では接続台数を検出、
他のユニットはソフトウェアバージョンを検出表示します。

※ 3. 蓄電池を使用していないシステムでは、点検を実施しません。

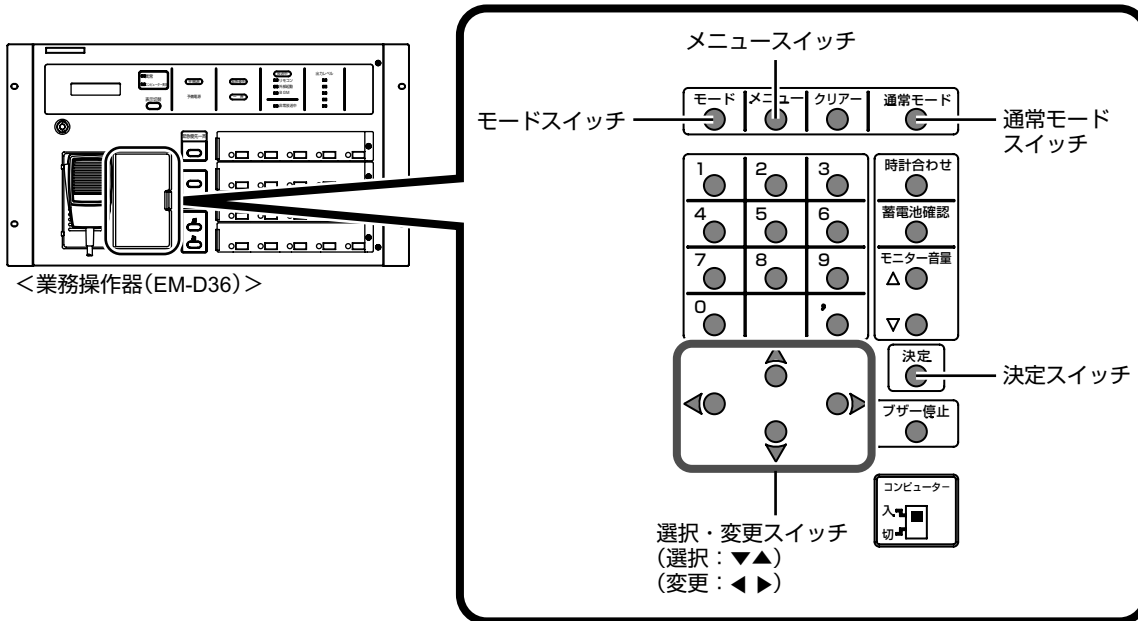
ご注意

- パワーアンプの定格出力よりもスピーカー負荷の総和が大きいつき (過負荷) には、パワーアンプ異常が検出されます。
- 工場出荷時の状態では、蓄電池がフル充電されていませんので、蓄電池電圧異常が検出されることがあります。
- デジタルパワーアンプを接続してある場合は、EM-D36 起動時にデジタルパワーアンプとの通信を行います。
この間は各点検を行うことができません。

メモ

- 音量調節や負荷の状態によっては、SP 回線短絡試験やパワーアンプ点検で異常が検出できない場合があります。
マトリックスユニット (PA-MX52)、デジタルマトリックスユニット (PA-MX92) を使用の場合は入出力音量調節用ボリュームを最大にしてください。

19-2. システム点検モードによる確認(つづき)



システム点検画面の表示

メモ

- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、メニュースイッチまたは通常モードスイッチを押します。

1. メインメニュー画面を表示する。

モードスイッチを3秒以上押し、『メインメニュー』画面を表示します。

メインメニュー
1.システムセッテイ

<メインメニュー画面>

2. システム点検画面を表示する。

▼▲スイッチで、『3.システムテンケン』を選択し、決定スイッチを押します。

3.システムテンケン
3-1.システムコウセイカクニン

<システム点検画面>

3. 点検項目を選択する。

システム点検画面で下記の設定項目を選択し、決定スイッチを押します。

- 『3-1. システムコウセイカクニン』
☞179 ページ「システム構成の確認」
- 『3-2. カイセンタンラクテンケン』
☞180 ページ「スピーカー回線の短絡点検」
- 『3-3. パワーアンプテンケン』
☞181 ページ「パワーアンプ点検」
- 『3-4. チクデンチテンケン』
☞182 ページ「蓄電池点検」
- 『3-5. ゼンコウモクテンケン』
☞183 ページ「全項目点検」

システム構成の確認

1. システム点検画面を表示する。

178 ページの操作を行い、『3. システムテンケン』を選択します。

3.システムテンケン
3-1.システムコウセイカクニ

<システム点検画面>

2. システム構成確認画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで、『3-1. システムコウセイカクニ』を選択して決定スイッチを押すと、「システム構成」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『3. システムテンケン』画面に戻ります。

3.システムテンケン
3-1.システムコウセイカクニ

<システム点検画面>



システムコウセイ←マエ/ツキ→
ホントイ v 1.00

<システム構成画面>

3. 確認結果を表示する。

- ◀▶ スイッチで、接続されている機器の確認結果を表示します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『3. システムテンケン』画面に戻ります。

システムコウセイ←マエ/ツキ→
ホントイ v 1.00

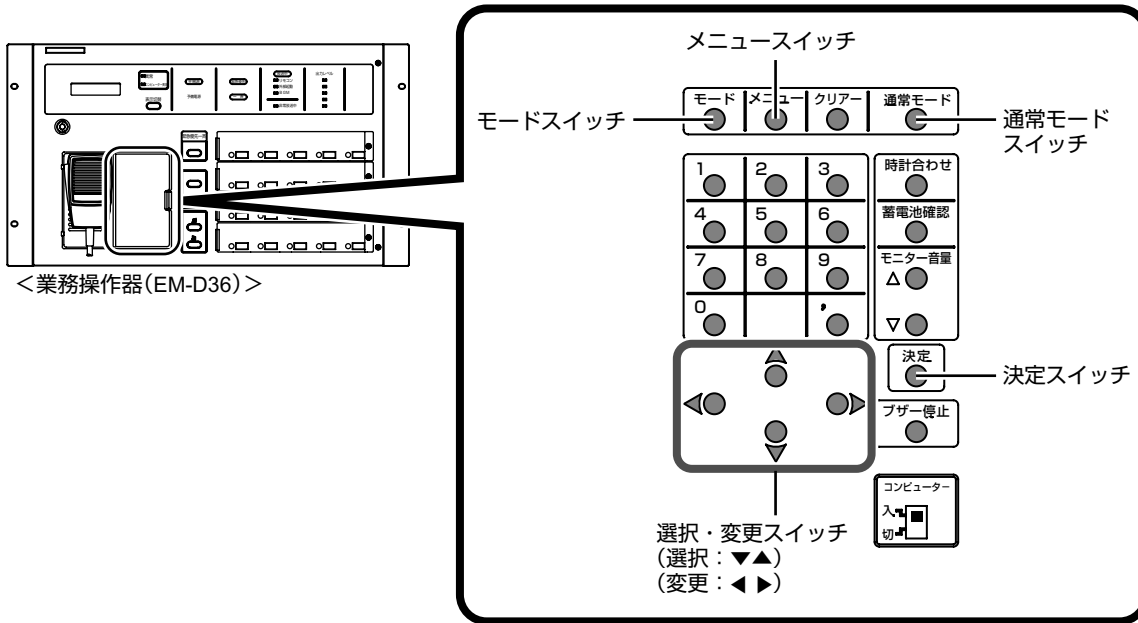
<システム構成画面>

表示	内容
『ホントイ v 1.00』	: EM-D36 本体 ソフトウェアバージョン
『FPGA-A v 14.00』	: EM-D36 ハードウェアバージョン
『FPGA-P v 10.00』	: EM-L32 ハードウェアバージョン
『E12 x ダイ』	: EM-E12 接続台数 (EM-D36 の出力スイッチ 列も1台とカウントします)
『L92 x ダイ』	: EM-L92 接続台数
『カクチョウ L92 アリ』	: 入出力拡張用 EM-L92 の 接続
『MX92-x v1.00』	: PA-MX92 のソフトウェア バージョン (x=1,2:ユニット No.)
『カクチョウユニット v1.00』	: 拡張ユニットのソフトウェ アバージョン
『C620-x v1.00』	: PA-C620 のソフトウェア バージョン (x=1 ~ 8:アドレス No.)
『D アンプ -xx v1.00』	: デジタルアンプの ソフトウェアバージョン (xx=01 ~ 40:アドレス No.)

メモ

- 接続されている主要ユニットが正しく検出されないときは、システム点検を終了し、下記のことを再確認してください。要因を修復後、再度「システム構成の確認」を実行し、正しく検出されることを確認してください。
 - ・ ユニット接続
 - ・ 各ユニットの設定スイッチ
 - ・ システム設定
 - ・ プログラムシートの確認

19-2. システム点検モードによる確認(つづき)



スピーカー回線の短絡点検

1. システム点検画面を表示する。

178 ページの操作を行い、『3. システムテンケン』を選択します。

3.システムテンケン
3-1.システムコウセイカクニ

<システム点検画面>

2. スピーカー回線短絡点検を実行する。

- ▼▲ スイッチで、『3-2. カイセタンラクテンケン』を選択して決定スイッチを押すと、スピーカー回線短絡点検が実行されます。
まず緊急リレー OFF で点検を行い、次に緊急リレー ON で全回線を点検します。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで点検を中止し、『3. システムテンケン』画面に戻ります。

SPカイセタンラクテンケン
ジッコウチュウ 00%

<スピーカー回線短絡点検実行画面>

3. 点検結果の表示。

下記のように点検結果が表示されます。

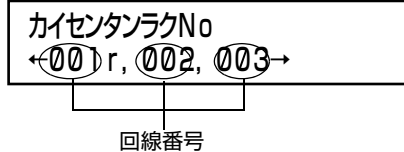
【正常な場合】

- 画面に、『イジョウナシ』と表示されます。
- 決定スイッチ、メニュースイッチ、通常モードスイッチのどれかを押し、『3. システムテンケン』画面に戻ります。

SPカイセタンラクテンケン
イジョウナシ

【短絡が検出された場合】

- 画面に、SP 回線番号が表示されます。
- 緊急リレー OFF で短絡検出した回線は緊急リレー ON での点検は行いません。
- 緊急リレー ON で短絡検出された場合は、回線番号の右に "r" が表示されます。
- 複数の短絡検出した場合は、◀▶ スイッチですべての結果を表示します。
- 決定スイッチ、メニュースイッチ、通常モードスイッチのどれかを押し、『3. システムテンケン』画面に戻ります。



メモ

- 短絡が検出されると、短絡回線が含まれるブロックの作動表示灯が点滅し、異常履歴として記録されます。
- 短絡が検出されたときはシステムを終了して、異常回線のケーブル接続などを再点検してください。
- 短絡箇所を修復後、コンピュータースイッチを3秒間 "切" にしたあと、"入" にして短絡回線の表示をクリアします。
短絡回線の表示をクリアしたら、再度「スピーカー回線の短絡点検を実行してください。」

パワーアンプ点検

1. システム点検画面を表示する。

178 ページの操作を行い、『3. システムテンケン』を選択します。

3. システムテンケン
3-1. システムコウセイカクニ

<システム点検画面>

2. パワーアンプ点検を実行する。

- ▼▲ スイッチで、『3-3. パワーアンプテンケン』を選択して決定スイッチを押すと、パワーアンプ点検が実行されます。

3. システムテンケン
3-3. パワーアンプテンケン

<システム点検画面>



パワーアンプテンケン
シッコウチュウ

<パワーアンプ点検実行中画面>

3. 点検結果の表示。

下記のように点検結果が表示されます。

【正常な場合】

- 画面に、『イジョウナシ』と表示されます。
- 決定スイッチ、メニュースイッチ、通常モードスイッチのどれかを押すと、『3. システムテンケン』画面に戻ります。

パワーアンプテンケン
イジョウナシ

【異常が検出された場合】

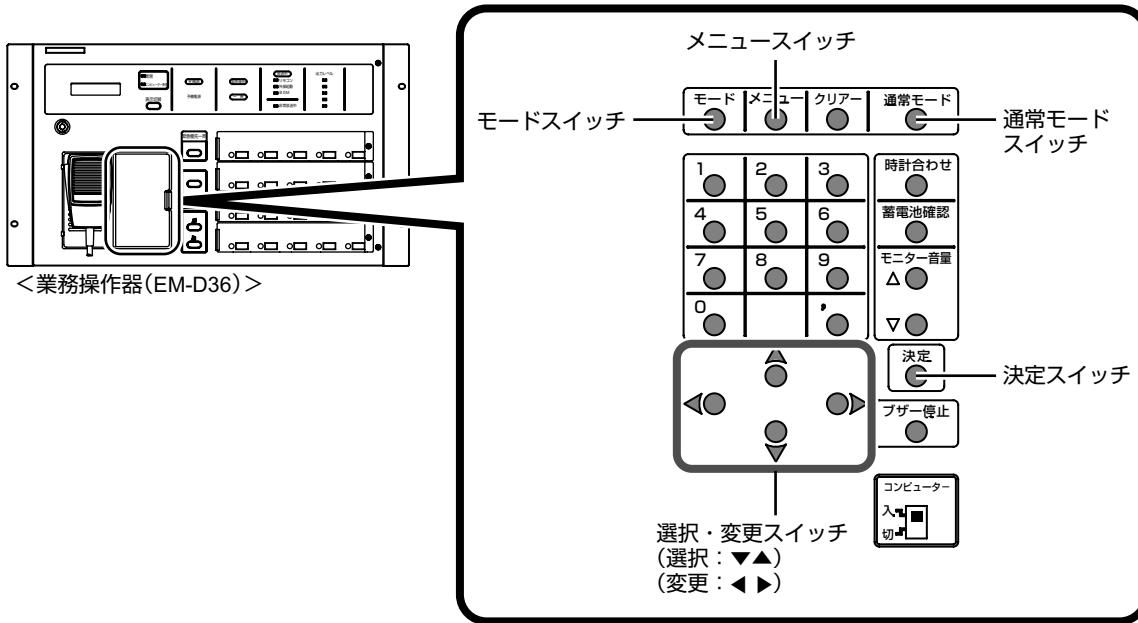
- 画面に、『イジョウハッセイ』と表示されます。
- 決定スイッチ、メニュースイッチ、通常モードスイッチのどれかを押すと、『3. システムテンケン』画面に戻ります。

パワーアンプテンケン
イジョウハッセイ

メモ

- 点検中にスピーカー回線の短絡が検出された場合、点検を中止して短絡回線が含まれるブロックの作動表示灯が点滅します。
- パワーアンプ動作異常が検出されたときはシステムを終了して、接続されているスピーカー回線負荷の総和などを再確認します。
修復後、再度「パワーアンプ点検」を実行してください。

19-2. システム点検モードによる確認(つづき)



蓄電池点検

1. システム点検画面を表示する。

178 ページの操作を行い、『3. システムテンケン』を選択します。

3. システムテンケン
3-1. システムコウセイカクニン

<システム点検画面>

2. 蓄電池点検を実行する。

- ▼▲ スイッチで、『3-4. チクデンチテンケン』を選択して決定スイッチを押すと、蓄電池点検が実行されます。

3. システムテンケン
3-4. チクデンチテンケン

<システム点検画面>



チクデンチテンケン
ジッコウチュウ

<蓄電池点検実行中画面>

3. 点検結果の表示。

下記のように点検結果が表示されます。

【正常な場合】

- 画面に、『イジョウナシ』と表示されます。
- 決定スイッチ、メニュースイッチ、通常モードスイッチのどれかを押すと、『3. システムテンケン』画面に戻ります。

チクデンチテンケン
イジョウナシ

【異常が検出された場合】

- 画面に、『イジョウハッセイ』と表示されます。
- 決定スイッチ、メニュースイッチ、通常モードスイッチのどれかを押すと、『3. システムテンケン』画面に戻ります。

チクデンチテンケン
イジョウハッセイ

【蓄電池が接続されていない場合】

- 画面に、『チクデンチハアリマセン』と表示されます。
- 決定スイッチ、メニュースイッチ、通常モードスイッチのどれかを押し、「3. システムテンケン」画面に戻ります。

チクデンチテンケン
チクデンチハアリマセン

メモ

- 蓄電池を接続していても『チクデンチハアリマセン』と表示される場合は、EM-D36の予備電源設定スイッチを確認してください。(59 ページ)
- 蓄電池異常が検出されたときはシステムを終了して、下記の内容を再確認します。
修復後、再度「蓄電池点検」を実行してください。
 - ・ 電池接続
 - ・ 充電電流切換スイッチ設定
 - ・ 充電時間 など

全項目点検

全項目点検を実行すると、システム構成確認をのぞくすべての項目を自動的に点検します。

1. システム点検画面を表示する。

178 ページの操作を行い、『3. システムテンケン』を選択します。

3. システムテンケン
3-1. システムコウセイカクニン

<システム点検画面>

2. 全項目点検を実行する。

- ▼▲ スイッチで、『3-5. ゼンコウモクテンケン』を選択して決定スイッチを押し、自動的に各項目の点検が実行されます。
- [] 中に点検中の項目を表示します。

3. システムテンケン
3-5. ゼンコウモクテンケン

<システム点検画面>



ゼンコウモクテンケン
[スピーカーカイセンタンラク]

<全項目点検実行中画面>

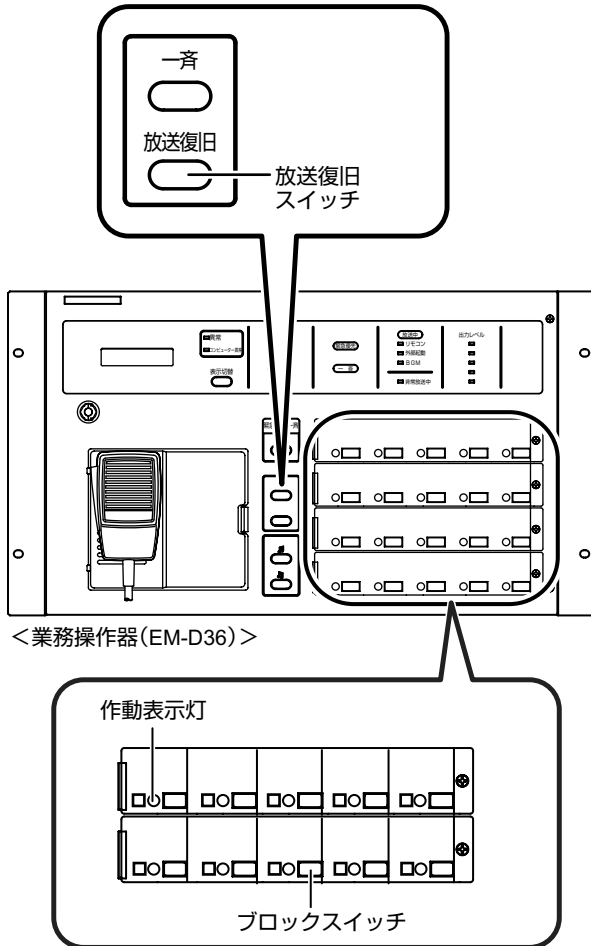
3. 点検結果の表示。

- 点検が終了したら ▼▲ スイッチで、各項目の結果を表示します。
- 結果表示の見かたについては各項目の点検のページを参照ください。
- 決定スイッチ、メニュースイッチ、通常モードスイッチのどれかを押し、「3. システムテンケン」画面に戻ります。

ケッカ: SPカイセンタンラク
イジヨウナシ

19-3. システム動作の確認

- システム全体の動作を確認します。
- 館内スピーカーから実際に音を出して確認するため、必ず試験放送中であることを案内したうえで確認作業を実施してください。
- デジタル音源 (PA-D) シリーズ連動放送では、記録されたメッセージを放送します。メッセージ内容を十分配慮したうえで確認作業を行なってください。



各放送の動作確認

■ 緊急優先 / 業務 / メッセージ / BGM 各ブロックの確認

各ブロックの回線 No. 設定プログラムシートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

1. ブロックスイッチを押す。(起動)

- ブロックスイッチを押して、マイク放送を行います。
- 緊急優先 / BGM ブロックでは PA-D 連動放送を設定している場合に、メッセージブロックでは必ず設定したメッセージが放送されます。放送される内容を確認してください。

キョウムホウソウ
・キンキュウウセンホウソウ

<緊急優先ブロック>

キョウムホウソウ
・ホントイ

<業務ブロック>

キョウムホウソウ
・メッセージ

<メッセージブロック>

キョウムホウソウ
・BGM

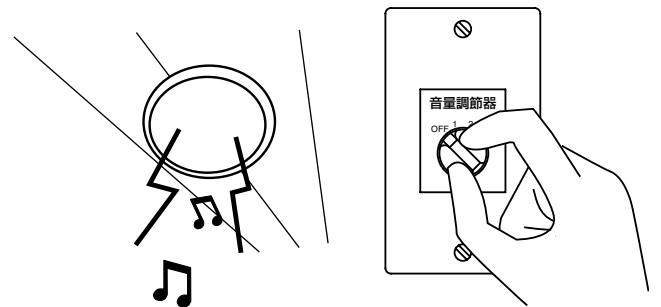
< BGM ブロック >

2. スピーカー回線 / エリアの動作確認をする。

ブロックスイッチに設定したスピーカー回線 / スピーカーエリアのスピーカーから点検音声が出力されていることを確認します。

3. アッテネーター動作の確認をする。

- スピーカーのアッテネーターが使用されているときは音量調節ツマミを操作して動作が正常であることを確認します。
- 緊急優先ブロックや、緊急指定された業務 / メッセージブロックに設定されたスピーカー回線 / スピーカーエリアのアッテネーターは無効となり、可変できないことを確認します。



4. すべてのブロックスイッチを確認をする。

すべてのブロックスイッチごとに設定したスピーカー回線 / スピーカーエリアのスピーカー、アッテネーターが正常に動作していることを確認します。

5. 通常状態に戻す。

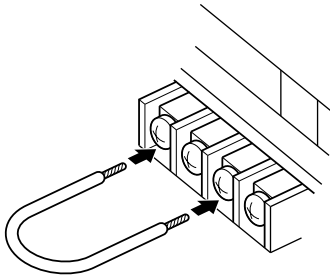
- 緊急優先 / 業務ブロックは、放送復旧スイッチまたは再度ブロックスイッチを押します。
- メッセージ / BGM ブロックは、再度ブロックスイッチを押します。

■ 起動入力の確認

起動入力回線 No. 設定プログラムシートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

1. 起動入力機器を起動する。

- 下記のどちらかの起動を行います。
 - ・ 起動入力 No. 1 に接続した機器の起動。
 - ・ 下図のように、EM-L32 の入力端子を E 端子 (GND) へ短絡して起動する。



- 設定した放送機器 (放送グループ) が表示されます。
- PA-D 連動放送を設定してある場合には、設定したメッセージが放送されます。放送される内容を確認してください。
- 起動時チャイムを設定している場合は、チャイムが鳴動することを確認してください。

キョウムハウソウ
・ハウジチャイム

2. スピーカー回線 / スピーカーエリアの動作確認をする。

起動入力 No. 1 に設定したスピーカー回線 / スピーカーエリアのスピーカーから、点検音声が出力されていることを確認します。

3. アッテネーター動作の確認をする。

- スピーカーのアッテネーターが使用されているときは、音量調節ツマミを操作して動作が正常であることを確認します。
- 緊急優先放送や、緊急指定された起動入力に設定されたスピーカー回線 / スピーカーエリアのアッテネーターは無効となり、可変できないことを確認してください。

4. すべての起動入力 No. の動作確認をする。

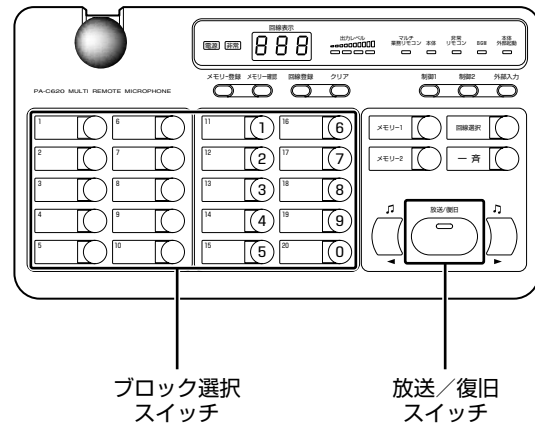
すべての起動入力について手順 1. ~ 3. の動作確認をします。

5. 通常状態に戻す。

- 起動入力に接続した機器を停止します。
- 入力端子を短絡した場合ははずします。

■ マルチ業務リモコンの確認

マルチ業務リモコン回線 No. 設定プログラムシートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。



1. マルチ業務リモコンのブロック選択をする。

ブロック選択スイッチ 1 を押し、放送 / 復旧スイッチを押し、マイク放送を行います。

2. スピーカー回線 / スピーカーエリアの動作確認をする。

ブロック選択スイッチに設定した、スピーカー回線 / スピーカーエリアのスピーカーから、マイク音声が出力されていることを確認してください。

3. アッテネーター動作の確認をする。

- スピーカーのアッテネーターが使用されているときは、音量調節ツマミを操作して動作が正常であることを確認します。
- 緊急指定されたブロックスイッチに設定されたスピーカー回線 / スピーカーエリアのアッテネーターは無効となり、可変できないことを確認してください。

4. 放送を復旧する。

放送 / 復旧スイッチを押します。

5. すべてのブロック選択スイッチの動作確認をする。

- ブロック選択スイッチ 2 ~ 20 について手順 1. ~ 4. の動作確認をします。
- 複数台のマルチ業務リモコンを使用するときは、各機ごとに手順 1. ~ 4. の動作確認をしてください。

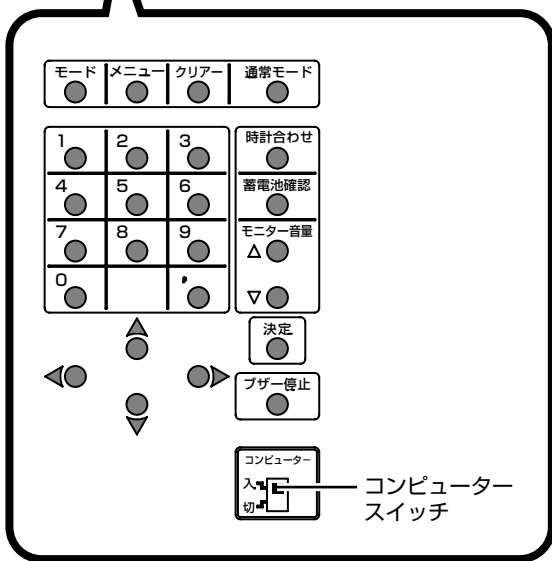
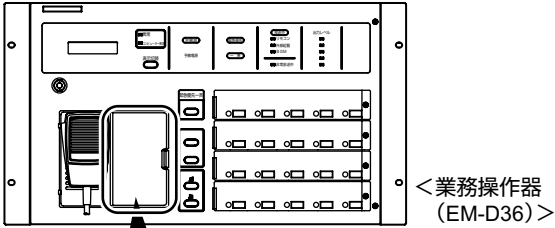
メモ

- 拡張ユニットを使用している場合は、マルチ業務リモコンと同様の手順で、拡張ユニット回線 No. 設定プログラムシートで設定した内容と動作を確認してください。

19-3. システム動作の確認 (つづき)

各放送の動作確認 (つづき)

■ コンピュータスイッチ「切」時の動作確認



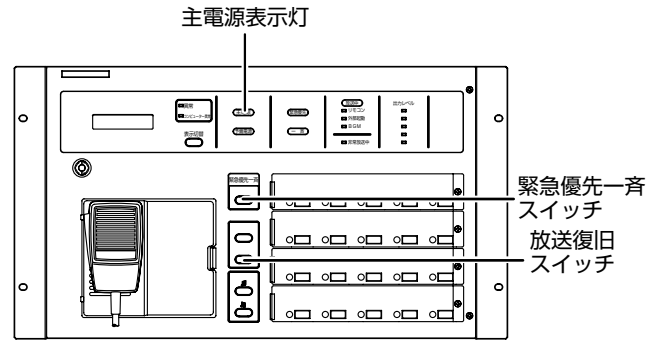
1. コンピュータスイッチを「切」にする。
業務操作器(EM-D36)のポケットカバー内のコンピュータースイッチを「切」にします。
2. マイクスイッチを押す。
3. 放送動作を確認する。
緊急優先一斉放送ができることを確認します。
4. コンピュータスイッチを「入」にする。
コンピューター起動後、通常状態に戻ります。

メモ

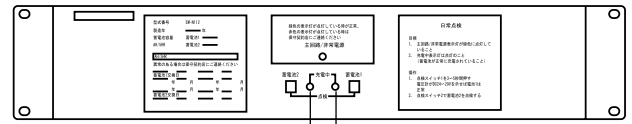
- EM-L32 の RM+24V 端子の出力は遮断されません。
- EM-L92 の RB (出力) 端子は制御されません。

■ 【停電動作の確認】

停電時の放送に対応して非常電源ユニット(EM-N112)を接続している場合、下記の手順で動作確認を行います。



<業務操作器(EM-D36)>



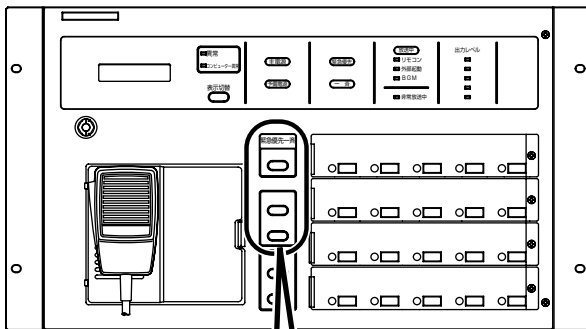
<EM-N112>

1. 放送設備の専用電源ブレーカーを切る。
 2. 業務操作器 (EM-D36) の表示を確認する。
主電源表示灯が消灯していることを確認します。
- #### メモ
- 電源ブレーカーを切ってからシステムの電源が切れるまで、約 10 秒～ 1 分 (システムの規模で異なります) かかります。
3. 非常電源ユニット (EM-N112) の表示を確認する。
充電中表示灯が消灯していることを確認します。
 4. 緊急優先一斉放送の動作を確認する。
 - 緊急優先一斉スイッチを押し、電源を投入します。
 - 緊急優先一斉放送が可能なることを確認します
 5. 放送復旧の動作を確認する。
放送復旧スイッチを押し、電源が切れて停電時の表示(手順 2..3.)に戻ることを確認します。
 6. 放送設備の専用電源ブレーカーを入れる。
 - 主電源表示灯が点灯していることを確認します。
 - 非常電源ユニット (EM-N112) の充電中表示灯が点灯していることを確認する。

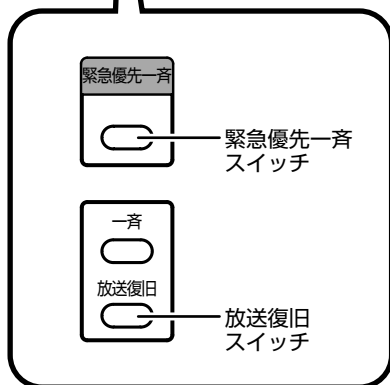
■ 緊急優先放送時の制御動作の確認

- 緊急優先放送時に機器を制御します。
- 緊急優先放送時に下記の必要がある場合は、EM-L92 を接続してRB（出力）端子を使用します。
 - ・他の音響機器(カラオケ、テナントBGMアンプなど)を遮断する必要がある場合
 - ・他設備とスピーカーを共用するシステムで、緊急優先放送時にスピーカーを自動的に本システム側に切り換える必要がある場合

下記の手順で、この動作を確認します。



<業務操作器(EM-D36)>



1. 緊急優先放送時に制御される設備・機器を通常動作状態にセットする。

2. 緊急優先放送をする。

緊急優先一斉スイッチを押します。

3. 制御される機器の動作確認をする。

- 遮断動作など (RB-1C)

緊急優先放送により遮断されることを確認します。

- 切換動作など (RB-2C)

緊急優先放送により切り換え動作が行われることを確認します。

4. 緊急優先放送の復旧をする。

放送復旧スイッチを押します。

19-4. 絶縁抵抗試験のしかた

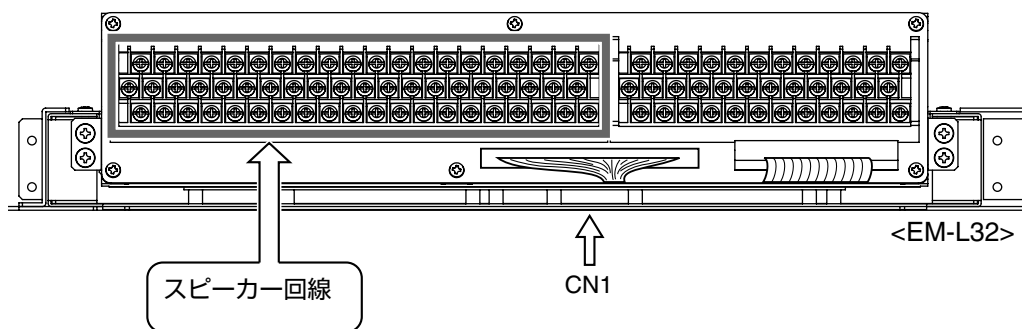
絶縁抵抗試験は、スピーカー回線と大地（接地）間を測定します。
従って、絶縁抵抗試験時は、測定回路（外線）を放送装置回路から分離して測定します。
250V 絶縁抵抗計での測定値が、0.1MΩ 以上であることを確認してください。

スピーカー回線の絶縁抵抗試験

ご注意

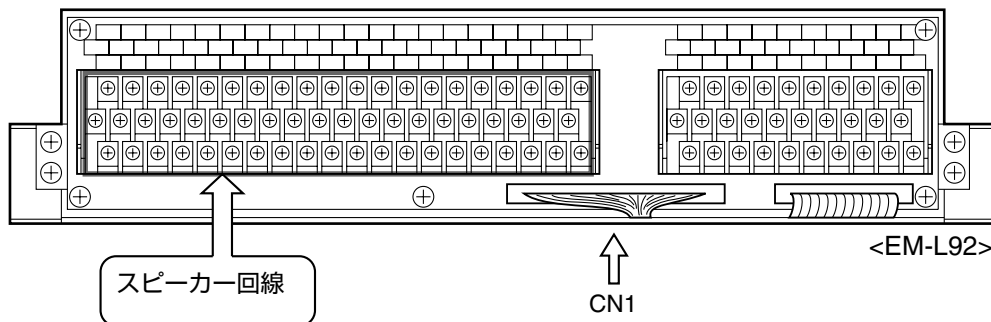
- EM-L32、EM-L92 は、雷保護用サージアブソーバーがスピーカー回線接続端子と筐体間に接続されています。このため、CN1 をはずすことでサージアブソーバーおよび内部回路を切り離していますので、スピーカー回線ケーブルを端子に接続したまま絶縁抵抗試験を実施できます。

■ EM-L32 の場合



1. 主制御ユニット（EM-L32）のコンネクター CN-1 をはずします。
2. 各回線ごとに、筐体（接地）間の絶縁抵抗を測定します。

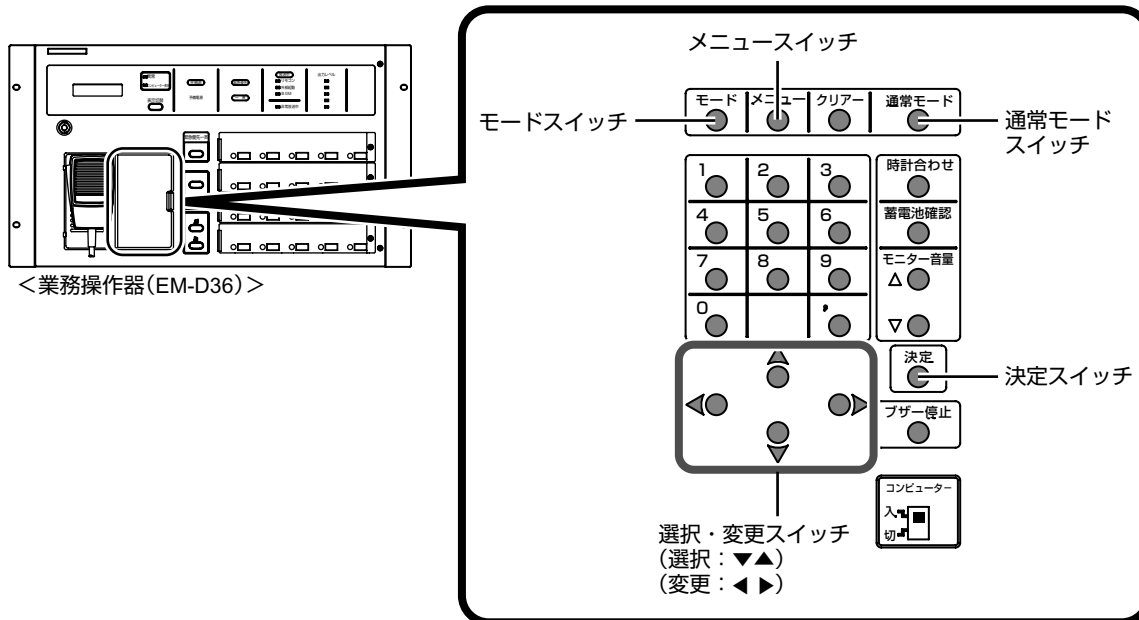
■ EM-L92 の場合



1. 回線制御ユニット（EM-L92）のコンネクター CN-1 をはずします。
2. 各回線ごとに、筐体（接地）間の絶縁抵抗を測定します。

20-1. 履歴情報の確認のしかた

- 本システムは下記の履歴情報を保存しています。
下記の履歴情報を確認することでシステム異変の発生原因や異常動作入力などの解析が行えます。
 - ・「動作履歴」: 操作・起動・動作の履歴データを、最大 1 万件保存
 - ・「異常履歴」: 異常動作の履歴データを、最大 100 件保存
- システム改善、メンテナンス、アフターサービスのための多くの情報を時系列で得ることができます。



メモ

- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、メニュースイッチまたは通常モードスイッチを押します。

1. メインメニュー画面を表示する。

モードスイッチを 3 秒以上押し、『メインメニュー』画面を表示します。

メインメニュー
1. システムセッテイ

<メインメニュー画面>

2. 履歴確認画面を表示する。

▼▲スイッチで、『2. リレキカクニン』を選択し、決定スイッチを押します。

2. リレキカクニン
2-1. ドウサリレキ

<履歴確認画面>

3. 動作履歴または異常履歴を選択する。

- ▼▲スイッチで、『2-1. ドウサリレキ』または『2-2. イジョウリレキ』を選択して決定スイッチを押すと、履歴が表示されます。
- 履歴情報はコード番号で表示されています。
内容の確認は「履歴情報コード表」(P. 191 ページ) 参照してください。

日 時刻

07/09/28 14:10

1/J000090000

履歴番号 履歴情報

- ▼▲スイッチで 1 件ごと、◀▶スイッチで 100 件ごとに表示を切り換えます。
- 履歴がない場合は下記の画面が表示されます。

ドウサリレキ
リレキハアリマセン

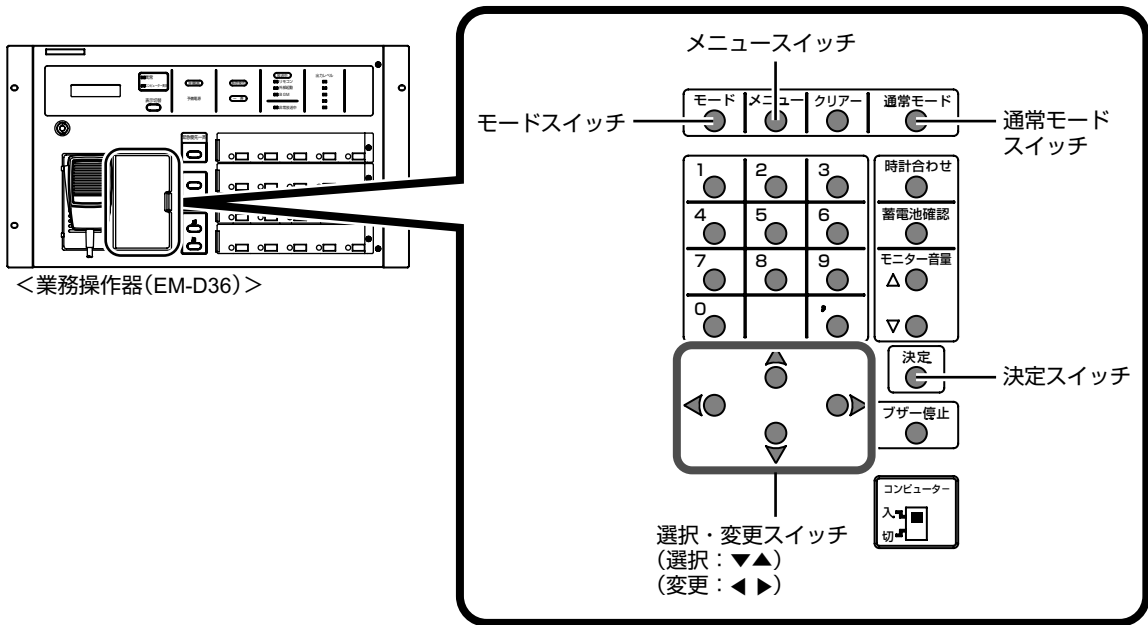
<動作履歴がない場合>

イジョウリレキ
リレキハアリマセン

<異常履歴がない場合>

次のページへつづく...

20-1. 履歴情報の確認のしかた (つづき)



4. 履歴確認を終了する。

メニュースイッチまたは通常モードスイッチを、2度押して「メインメニュー」画面に戻ります。
モードスイッチを押すと、再起動して通常状態になります。

メモ

- 履歴データは通常揮発性メモリーに保存しています。
下記のタイミングで不揮発性メモリーに保存します。
 - ・メンテナンス時刻
 - ・異常発生時
 - ・停電検出時(非常電源ユニットを接続している場合)
- 揮発性メモリーの容量がなくなった場合(約 2000 回の放送動作)は、不揮発性メモリーに保存します。
- 通常時にコンピュータースイッチを”切”にすると、揮発性メモリーに保存した履歴データがなくなります。

20-2. 履歴情報コード表

動作履歴および異常履歴は下記の各履歴情報コード表を参照してください。
履歴コードの配置は下記のとおりです。



メモ

- システム電源を切るタイミングによっては、コード表にない履歴が表示されることがあります。

■ 本体関連の動作履歴

場所	動作名		場所コード	動作コード1	動作コード2	備考	区分
業務操作器	一斉スイッチ	オン	E0	0355	0001		EM-D36 フロントパネル
	放送復旧スイッチ	オン	E0	0356	0001		
	マイクスイッチ	オン	E0	0357	0001		
		オフ	E0	0357	0001		
	緊急優先一斉スイッチ	オン	E0	0358	0001		
	出力スイッチ No.001 ~ 100	オン	E0	0001 ~ 0100	0001		
		オフ	E0	0001 ~ 0100	0000		
	蓄電池点検	出力	E0	0603	0001		EM-D36 ポケットカバー内
	メイン CPU	プログラム 開始	E0	0901	0000		EM-D36 CPU
	停電	検出	E0	0902	0000		
	設定データ	更新	E0	0903	0000		
動作履歴	バックアップ	E0	0904	0000			
主制御ユニット	起動入力 No. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	オン	Y0	0501 ~ 0580	0001		EM-L32 入力
		オフ	Y0	0501 ~ 0580	0000		
	電源 ON	オン	Y0	0581	0001		業務リモコン
		オフ	Y0	0581	0000		
	一斉	オン	Y0	0582	0001		
		オフ	Y0	0582	0000		

次のページへつづく...

20-2. 履歴情報コード表 (つづき)

■ マルチ業務リモコン関連の動作履歴

場所	動作名		場所コード	動作コード1	動作コード2	備考	区分
マルチ業務 リモコン NO.1～8	ブロックスイッチ No.1～20	オン	M1～M8	0821～0840	0001	一斉スイッチはブ ロックスイッチ20 個をオンと記録	マルチ業務 リモコン放送制御
		オフ	M1～M8	0821～0840	0000		
	メモリースイッチ No.1	オン	M1～M8	0851	0001		
		オフ	M1～M8	0851	0000		
	メモリースイッチ No.2	オン	M1～M8	0852	0001		
		オフ	M1～M8	0852	0000		
	メモリーNo.1	登録	M1～M8	0853	0001		
		確認	M1～M8	0854	0001		
	メモリーNo.2	登録	M1～M8	0855	0001		
		確認	M1～M8	0856	0001		
	回線選択スイッチ	オン	M1～M8	0857	0001		
		オフ	M1～M8	0857	0000		
	放送/復旧	オン	M1～M8	0861	0001		
		オフ	M1～M8	0861	0000		
	制御スイッチ No.1	オン	M1～M8	0871	0001		
		オフ	M1～M8	0871	0000		
	制御スイッチ No.2	オン	M1～M8	0872	0001		
		オフ	M1～M8	0872	0000		
	プログラム	開始	M1～M8	0901	0000		

■ 拡張ユニット関連の動作履歴

場所	動作名		場所コード	動作コード1	動作コード2	備考	区分
拡張ユニット	ブロックスイッチ No. □□	オン	P0	0821～0840	0001	一斉スイッチはブ ロックスイッチ20 個をオンと記録	拡張ユニット放送 制御
		オフ	P0	0821～0840	0000		
	メモリースイッチ No.1	オン	P0	0851	0001		
		オフ	P0	0851	0000		
	メモリースイッチ No.2	オン	P0	0852	0001		
		オフ	P0	0852	0000		
	メモリーNo.1	登録	P0	0853	0001		
		確認	P0	0854	0001		
	メモリーNo.2	登録	P0	0855	0001		
		確認	P0	0856	0001		
	回線選択スイッチ	オン	P0	0857	0000		
		オフ	P0	0857	0001		
	放送/復旧	オン	P0	0861	0001		
		オフ	P0	0861	0000		
	放送機器名	要求	P1	0501	0000		
	マトリックス ポイントデータ	要求	P1	0502	0000		
	スピーカ回線 データ	要求	P1	0503	0000		
	時刻データ	要求	P1	0504	0000		
		更新	P1	0505	0000		
	緊急リレーデータ	要求	P1	0506	0000		

■ 拡張ユニット関連の動作履歴 (つづき)

場所	動作名		場所コード	動作コード 1	動作コード 2	備考	区分
拡張ユニット	IPA 状態	要求	P1	0508	0000		拡張ユニット放送 制御
	起動入力 No. □□	オン	P1	0601 ~ 0680	0001		
		オフ	P1	0601 ~ 0680	0000		
	制御出力 No. □□	オン	P1	0711 ~ 0730	0001		
		オフ	P1	0711 ~ 0730	0000		
	設定データ	更新	P2	0501	0000		システム設定
設定データ	要求	P2	0502	0000			
	履歴データ	要求	P2	0503	0000		履歴確認

■ 状態の履歴

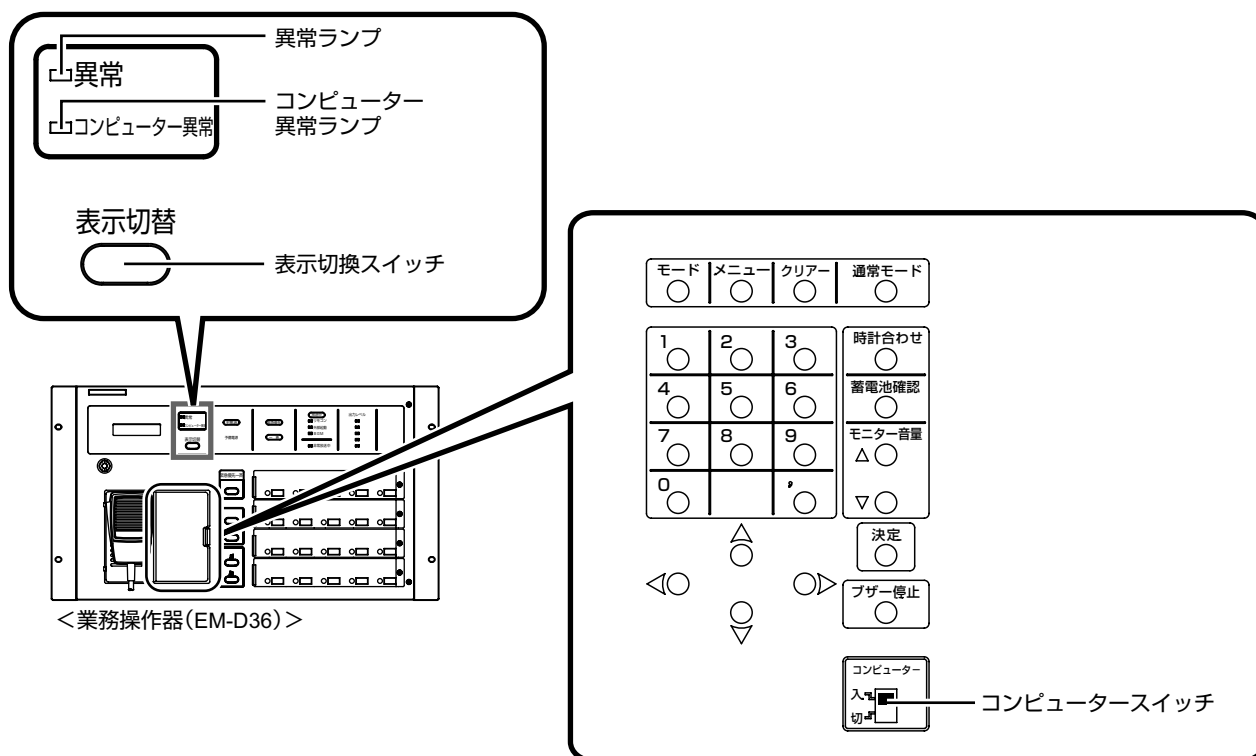
状態	動作名		場所コード	動作コード 1	動作コード 2	備考	区分
状態	アイドルング	開始	J0	0000	0000		
	業務放送	開始	J0	0001	0000		
	通常モード	開始	J0	0007	0000		
	システム設定 モード	開始	J0	0008	0000		
	履歴確認モード	開始	J0	0009	0000		
	システム点検 モード	開始	J0	0010	0000		

■ 異常の履歴

異常場所	動作名		場所コード	動作コード 1	動作コード 2	備考	区分
蓄電池	蓄電池電圧異常		n0	0001	0000		EM-D36 で検出
主制御ユニット	通信異常		y0	0001	0000		
マルチ RM No. □□	通信異常		m1 ~ m8	0001	0000		
業務 RM/ マルチ RM	リモコン電源異常		r0	0001	0000		
D マトリックス No. □□	通信異常		x1 ~ x2	0001	0000		
本体	メモリー異常		e0	0001	0000		
アナウンスマイク	アナウンスマイク 断線		f0	0001	0000		
スピーカー回線 No. □□	短絡異常		t0	0001 ~ 0100	0000		EM-L32 で検出
パワーアンプ	パワーアンプ異常		a0	0001	0000		
拡張ユニット	通信異常		p0	0001	0000	履歴のみ	EM-D36 で検出

21. エラー表示について

21-1. 本体のエラー表示と動作状態について



- 本システムでは異常が発生すると、業務操作器(EM-D36)の異常ランプが点灯します。
- コンピューターに異常があった場合や、コンピュータースイッチを”切”にした場合はコンピューター異常ランプが点灯します。
- 異常ランプ点灯時には、表示切換スイッチを押すことで詳細が表示されます。表示された内容を確認してください。異常が複数ある場合は右上に『→』が表示されます。表示切換スイッチで表示を切り換えて確認してください。

イシヨウハッセイ
・ホントイマイク

→

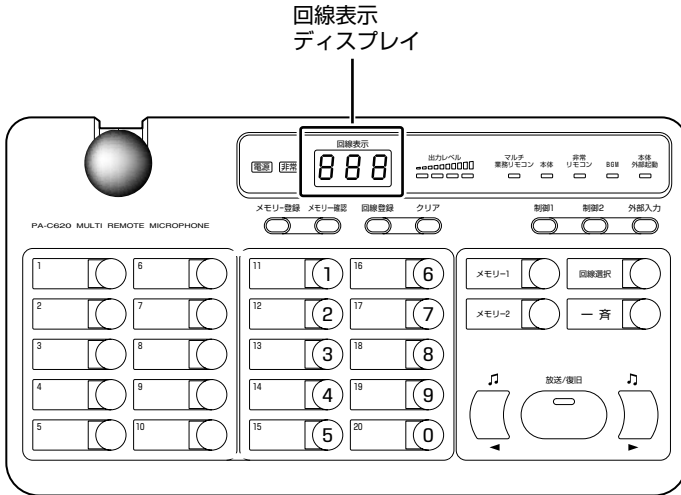
液晶表示	動作状態	操作制限と対応
『シュセイギョユニットツウシン』	EM-L32 との通信異常	動作しません。電源を切って機器の接続を確認してください。
『マルチギョウム RMx ツウシン』	PA-C620 との通信異常	異常が発生している PA-C620 の操作ができません。接続、アドレス設定スイッチの確認後、コンピュータースイッチを“切”→“入”にしてください。
『D マトリックス 1(2) ツウシン』	PA-MX92 との通信異常	異常が発生している PA-MX92 の入出力音声放送ができません。接続、アドレス設定スイッチの確認を行ってください。
『パワーアンプ』	パワーアンプの異常	異常が検出されたパワーアンプのスピーカー回線の放送ができません。接続されている各スピーカー回線負荷の総和などを確認してください。
『デジタルアンプ xyzz』	デジタルパワーアンプの異常	異常が検出されたパワーアンプ番号 zz のスピーカー回線の放送ができません。接続や、アドレス設定スイッチが台数に応じて「1」から順番に設定されているか確認を行ってください。 y = 1(出力短絡)の場合、スピーカー回線の短絡点検を行ってください。
『カイセンタンラク Noxxx』	スピーカー回線の短絡	短絡したスピーカー回線に放送できません。ケーブルの接続などの確認後、コンピュータースイッチを“切”→“入”にしてください。
『ホントイメモリー』	サービスメモリー異常	通常動作は可能ですが、サービスメモリーを使用した設定データの読み書きができません。サービスメモリーの挿入を確認してください。
『ホントイマイク』	本体マイク異常	本体マイクを使った放送ができません。接続を確認してください。
『リモコンデンゲン』	リモコン電源の過電流	業務リモコン、マルチ業務リモコンを使用した放送ができません。EM-L32 のリモコン電源(RM+24V)の接続などを確認後コンピュータースイッチを“切”→“入”にしてください。
『チクデンチデンアツ』	蓄電池電圧が低下	通常動作は可能ですが、停電時の放送ができません。電源を切って、蓄電池(EM-N112)の接続、ヒューズを確認し、蓄電池の交換を行ってください。

※ 接続の確認などを行っても異常が発生する場合は、最寄のサービス窓口にご相談ください。

21. エラー表示について

21-2. マルチ業務リモコンの エラー表示と動作状態に ついて

マルチ業務リモコン(PA-C620)の回線表示ディスプレイには、接続機器間の通信不良や設定の間違いなどによりエラー表示が発生する場合があります。

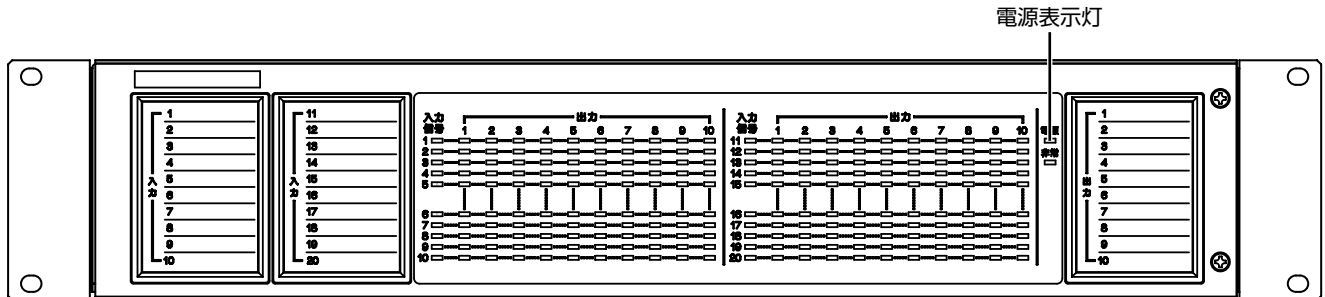


<マルチ業務リモコン(PA-C620)>

ディスプレイ表示	本機または本体 放送設備の動作状態	操作制限と対応
『Er0』が点滅	電源投入直後の本機内部のRAMチェックでのエラー	機器の故障となりますので、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
『Er1』が点滅	本機と本体放送設備との通信エラー	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機のスイッチ操作が無効になります。 ● マイク放送中や、外部機器の放送中は、放送が中断されます。 <p style="text-align: center;">▼</p> 本体放送設備との接続を確認し、本体放送設備をリセットしてください。
	アドレス設定スイッチでアドレスを重複して設定した場合の設定エラー	本機のスイッチ操作が無効になります。 <p style="text-align: center;">▼</p> アドレス設定スイッチを正しく設定したあとに本体放送設備をリセットしてください。
『Er2』が点滅	本機と PC を接続してシステムアップを行なっている場合に PC から設定外の速い間隔でデータが本機に送信された場合のエラー	PC 接続のシステムアップについては、営業窓口にご相談ください。
『Er3』が点滅	本機と PC を接続してシステムアップを行なっている場合に PC との通信が切断したり、PC がシャットダウンしたりした場合の通信エラー	PC 接続のシステムアップについては、営業窓口にご相談ください。
『Er4』が点滅	本機のアドレス設定スイッチを "0" または "9" に合わせて電源を入れた場合の設定エラー	本機のスイッチ操作が無効になります。
		<p style="text-align: center;">▼</p> アドレス設定スイッチを正しく設定したあとに本体放送設備をリセットしてください。

21-3. デジタルマトリックスユニットのエラー表示と動作状態について

デジタルマトリックスユニット(PA-MX92)に異常が発生すると、電源表示灯が点滅し続けます。



<デジタルマトリックスユニット(PA-MX92)>

ディスプレイ表示	動作状態	操作制限と対応
電源表示灯の点滅がつづく	本体との通信異常	入出力音声が発送できません。 電源を切って機器の接続、本体のシステム設定、PA-MX92 のアドレス設定スイッチの確認を行なってください。

環境設定プログラムシート

動作設定プログラムシート

回線 No. 設定プログラムシート

- 緊急優先ブロック回線 No. 設定
- 業務ブロック回線 No. 設定
- メッセージブロック回線 No. 設定
- BGM ブロック回線 No. 設定
- マルチ業務リモコン回線 No. 設定
- 起動入力 - 回線 No. 設定 (単元放送)
- 起動入力 - 回線 No. 設定 (多元放送)

環境設定プログラムシート (コピーしてお使いください)

1. 緊急優先ブロックスイッチ列 列
2. 業務ブロックスイッチ列 列
3. メッセージブロックスイッチ列 列
4. BGMブロックスイッチ列 列
5. スピーカー回線数
6. 音声入力端子 報時チャイム なし あり-入力
- 緊急優先 なし あり-入力
- メッセージ なし あり-入力
- 電話ページング なし あり-入力
- ミキサー なし あり-入力
- アナウンスユニット なし あり-入力
- 拡張ユニット なし あり-入力
7. PA-Dシリーズ連動接続 台 — ダイレクト バイナリ
8. デジタルパワーアンプ接続 台
9. メンテナンス時刻 時 分
10. マトリックス入出力 なし
- 8入力8出力 (MX52)
- 8入力16出力 (MX52)
- 16入力8出力 (MX52)
- 16入力16出力 (MX52)
- 20入力10出力 (MX92)
- 20入力20出力 (MX92)

プログラムシートを記入する方へ
プログラムシートの写しを必ずお客様へお渡しください。
プログラムシートは将来システムの変更増設時に必要となりますので大切に保管してください。

11. マトリックス設定

回線No.	出力No.	回線No.	出力No.	回線No.	出力No.	回線No.	出力No.
1-5		26-30		51-55		76-80	
6-10		31-35		56-60		81-85	
11-15		36-40		61-65		86-90	
16-20		41-45		66-70		91-95	
21-25		46-50		71-75		96-100	

12. デジタルマトリックス設定

入力	ミキシングレベル				フェーダーパターン					入力	ミキシングレベル				フェーダーパターン				
	大	中	小	なし	0/0	1/1	2/2	3/3	3/1		大	中	小	なし	0/0	1/1	2/2	3/3	3/1
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>


動作設定プログラムシート (コピーしてお使いください)

プログラムシートを記入する方へ
 プログラムシートの写しを必ずお客様へお渡しください。
 プログラムシートは将来システムの変更増設時に必要となりますので大切に保管してください。

1. パワーアンプウェイト 1秒 なし
2. チャイム種類 アップ : 4音はやい 4音おそい 2音 1音
 ダウン : 4音はやい 4音おそい 2音 1音
3. チャイム音量
4. BGMミキシング放送 あり なし
5. 業務リモコン一斉放送 緊急一斉 通常一斉
6. 放送機器 (放送グループ) の優先順位

	1	2	3	4	5	6	
緊急優先放送	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(固定)
本体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
マルチ業務リモコン1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
マルチ業務リモコン2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
マルチ業務リモコン3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
マルチ業務リモコン4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
マルチ業務リモコン5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
マルチ業務リモコン6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
マルチ業務リモコン7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
マルチ業務リモコン8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
業務リモコン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
電話ページング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
報時チャイム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
メッセージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
BGM	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(固定)
アナウンスユニット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
拡張ユニット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12